

**2019年（令和元年）
投資信託に関するアンケート調査
（NISA、iDeCo等制度に関する調査）
報告書**

2020年3月



一般社団法人
投資信託協会

<目 次>

ページ

1. 調査計画の概要	5
2. 調査結果の要約	9
3. 回答者のプロフィール	27
(1)性別・年代〔Q1〕〔Q2〕	28
(2)職業〔Q3〕	30
(3)20歳未満の親族の有無〔Q4①②〕	32
(4)世帯年収、個人年収〔Q5①②〕	34
(5)保有経験のある金融資産〔Q6①〕	36
(6)現在保有している金融資産〔Q6②〕	37
(7)投資信託/ETF/ジートの保有期間(各商品の現在保有者)〔Q7①②③〕	38
4. ETF、ジートの浸透状況、今後の購入意向	41
(1)ETFの認知状況〔Q8①〕	42
(2)ETFの特徴認知(ETF認知者)〔Q9①〕	43
(3)ETFの魅力点、最魅力点〔Q9②③〕	44
(4)ETFの不満点、最不満点(ETF内容認知者、保有経験者)〔Q10①②〕	48
(5)ETF今後の購入・継続保有意向〔Q11〕	50
(6)ジートの認知状況〔Q8②〕	52
(7)ジートの特徴認知(ジート認知者)〔Q12①〕	53
(8)ジートの魅力点、最魅力点〔Q12②③〕	54
(9)ジートの不満点、最不満点(ジート内容認知者、保有経験者)〔Q13①②〕	58
(10)ジート今後の購入・継続保有意向〔Q14〕	60

<目 次>

5. NISAの浸透状況、今後の利用意向	62
(1)NISAの認知〔Q15①〕	63
(2)NISAの利用状況(制度認知者)〔Q16_1①〕	64
(3)NISAでの保有金融商品(NISAでの現在金融商品保有者)〔Q17_1①〕	65
(4)NISAでの積立投資実施状況(NISAでの現在金融商品保有者)〔Q18①〕	66
(5)NISAの口座開設金融機関(NISAでの現在金融商品保有者)〔Q19①〕	67
(6)NISA口座開設・金融商品未購入理由 (NISA口座開設・金融商品未購入層)〔Q20①〕	68
(7)NISA口座未開設理由(NISA認知・口座未開設層)〔Q20①〕	69
(8)NISA口座での金融商品購入検討のきっかけ (NISA口座開設・金融商品未購入層)〔Q21①〕	70
(9)NISA口座開設検討のきっかけ(NISA認知・口座未開設層)〔Q21①〕	71
(10)NISAの今後の利用意向〔Q22①〕	72
(11)NISAでの投資方法意向(NISA今後利用意向者)〔Q23①〕	73
(12)NISAでの月次積立投資希望額 (NISA毎月一定額積立投資意向層)〔Q24_1〕	74
6. つみたてNISAの浸透状況、今後の利用意向	75
(1)つみたてNISAの認知〔Q15②〕	76
(2)つみたてNISAの利用状況(制度認知者)〔Q16_1②〕	77
(3)つみたてNISAでの保有金融商品 (つみたてNISAでの現在金融商品保有者)〔Q17_2〕	78
(4)つみたてNISAの口座開設検討機関 (つみたてNISAでの現在金融商品保有者)〔Q19②〕	79
(5)つみたてNISA口座開設・金融商品未購入理由 (つみたてNISA口座開設・金融商品未購入層)〔Q20②〕	80
(6)つみたてNISA口座未開設理由(つみたてNISA認知・口座未開設層)〔Q20②〕	81
(7)つみたてNISAでの金融商品購入検討のきっかけ (つみたてNISA口座開設・金融商品未購入層)〔Q21②〕	82
(8)つみたてNISAでの口座開設検討のきっかけ (つみたてNISA認知・口座未開設層)〔Q21②〕	83
(9)つみたてNISAの今後の利用意向〔Q22②〕	84
(10)つみたてNISAでの月次積立投資希望額 (つみたてNISA今後利用意向者)〔Q24_2〕	85

目次

7. ジュニアNISAの浸透状況、今後の利用意向 * 20歳未満の親族がいる者ベース	86
(1)ジュニアNISAの認知〔Q15③〕	87
(2)ジュニアNISAの利用状況(制度認知者)〔Q16_1③〕	88
(3)ジュニアNISAでの保有金融商品 (ジュニアNISAでの現在金融商品保有者)〔Q17_1②〕	89
(4)ジュニアNISAでの積立投資実施状況 (ジュニアNISAでの現在金融商品保有者)〔Q18②〕	90
(5)ジュニアNISAの口座開設金融機関 (ジュニアNISAでの現在金融商品保有者)〔Q19③〕	91
(6)ジュニアNISA口座開設・金融商品未購入理由 (ジュニアNISA口座開設・金融商品未購入層)〔Q20③〕	92
(7)ジュニアNISA口座未開設理由(ジュニアNISA認知・口座未開設層)〔Q20③〕	93
(8)ジュニアNISA口座での金融商品購入検討のきっかけ (ジュニアNISA口座開設・金融商品未購入層)〔Q21③〕	94
(9)ジュニアNISA口座開設検討のきっかけ (ジュニアNISA認知・口座未開設層)〔Q21③〕	95
(10)ジュニアNISAの今後の利用意向〔Q22③〕	96
(11)ジュニアNISAでの投資方法意向(ジュニアNISA今後利用意向者)〔Q23②〕	97
(12)ジュニアNISAでの月次積立投資希望額 (ジュニアNISA毎月一定額積立投資者)〔Q24_3〕	98
8. 企業型確定拠出年金の浸透状況、今後の利用意向	99
* (1)以外は60歳未満の者ベース	
(1)企業型確定拠出年金の認知〔Q15④〕	100
(2)企業型確定拠出年金の利用状況(制度認知者)〔Q16_2①〕	101
(3)企業型確定拠出年金での保有金融商品 (企業型確定拠出年金での現在金融商品保有者)〔Q17_3①〕	102
(4)企業型確定拠出年金のマッチング拠出実施状況 (企業型確定拠出年金での現在金融商品保有者)〔Q30〕	104

＜目 次＞

9. 個人型確定拠出年金(iDeCo)の浸透状況、今後の利用意向	105
*(1)(4)以外は60歳未満の者ベース	
(1)個人型確定拠出年金の認知〔Q15⑤〕	106
(2)個人型確定拠出年金の利用状況(制度認知者)〔Q16_2②〕	108
(3)個人型確定拠出年金での保有金融商品 (個人型確定拠出年金での現在金融商品保有者)〔Q17_3②〕	110
(4)個人型確定拠出年金の特徴認知(制度認知者全体)〔Q27①〕	111
(5)個人型確定拠出年金の特徴認知(制度認知者)〔Q27①〕	112
(6)個人型確定拠出年金の魅力点、最魅力点〔Q27②③〕	113
(7)個人型確定拠出年金の口座開設・投資性商品未購入理由および 口座未開設理由(口座開設・投資性商品未購入、口座未開設層)〔Q25〕	117
(8)個人型確定拠出年金での投資性商品購入および口座開設検討のきっかけ (口座開設・投資性商品未購入、口座未開設層)〔Q26〕	119
(9)個人型確定拠出年金の今後の利用・継続利用意向〔Q28〕	121
(10)個人型確定拠出年金の利用対象者拡大に関する認知と興味度 (個人型確定拠出年金制度認知者)〔Q29〕	123
10. その他項目	125
*ジュニアNISAは20歳未満の親族がいる者ベース / 企業型/個人型確定拠出年金は60歳未満ベース	
(1)NISA/つみたてNISA/ジュニアNISA/企業型確定拠出年金/個人型確定拠出年金 で投資する場合に、選択したい金融商品〔Q31①②③④⑤〕	126

※ 末尾添付資料 : 調査票

1. 調査計画の概要



1. 調査計画の概要

調査の目的	<p>全国の20歳～79歳の男女個人を対象に、『NISA、つみたてNISA、ジュニアNISA、企業型／個人型確定拠出年金(iDeCo)』制度の認知・利用状況、口座での金融商品未購入理由や口座未開設理由、利用意向などを確認すると同時に、『ETF、Jリート』の認知・保有状況、魅力度、不満点、購入意向などを把握し、今後の投資信託の利用拡大および啓発普及活動に役立つ資料とすること。</p>																																																																																						
調査手法	<p>インターネット調査（抽出フレーム：NRCネットワークパネル） ※ インターネット調査のモニターは、一般的に情報感度が高い事が確認されており、金融商品（投資信託）においては保有率や制度認知が郵送調査モニターなどに比べて高めに出る傾向にあります。 また、今回パネルが変更となったため、前回までとデータ傾向の異なる箇所があります。</p>																																																																																						
調査対象	<p>全国（首都圏、阪神圏、その他地域の3ブロック）の20～79歳の男女</p>																																																																																						
サンプル数	<p>総計20,000サンプル</p> <ul style="list-style-type: none"> * 性・年代・エリアで割付実施（割付は平成30年1月1日現在の住民基本台帳に基づく）。 * 職業条件による除外は実施していない。 <p><性・年代・エリアごとの回収数詳細></p> <table border="1" data-bbox="264 1039 1385 1329"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th>20-29歳</th> <th>30-39歳</th> <th>40-49歳</th> <th>50-59歳</th> <th>60-69歳</th> <th>70-79歳</th> <th>20-79歳計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">男性</td> <td>首都圏</td> <td>415</td> <td>515</td> <td>651</td> <td>508</td> <td>467</td> <td>388</td> <td>2,944</td> </tr> <tr> <td>阪神圏</td> <td>192</td> <td>222</td> <td>297</td> <td>236</td> <td>245</td> <td>210</td> <td>1,402</td> </tr> <tr> <td>その他地域</td> <td>729</td> <td>892</td> <td>1,106</td> <td>947</td> <td>1,109</td> <td>819</td> <td>5,602</td> </tr> <tr> <td colspan="2">男性計</td> <td>1,336</td> <td>1,629</td> <td>2,054</td> <td>1,691</td> <td>1,821</td> <td>1,417</td> <td>9,948</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">女性</td> <td>首都圏</td> <td>397</td> <td>482</td> <td>605</td> <td>469</td> <td>475</td> <td>449</td> <td>2,877</td> </tr> <tr> <td>阪神圏</td> <td>192</td> <td>225</td> <td>302</td> <td>243</td> <td>266</td> <td>252</td> <td>1,480</td> </tr> <tr> <td>その他地域</td> <td>685</td> <td>851</td> <td>1,069</td> <td>958</td> <td>1,159</td> <td>973</td> <td>5,695</td> </tr> <tr> <td colspan="2">女性計</td> <td>1,274</td> <td>1,558</td> <td>1,976</td> <td>1,670</td> <td>1,900</td> <td>1,674</td> <td>10,052</td> </tr> <tr> <td colspan="2">TOTAL</td> <td>2,610</td> <td>3,187</td> <td>4,030</td> <td>3,361</td> <td>3,721</td> <td>3,091</td> <td>20,000</td> </tr> </tbody> </table> <p>※ エリアの定義とエリア計での回収数は以下の通り。</p> <p>首都圏：東京、神奈川、埼玉、千葉／計5,821サンプル 阪神圏：大阪、京都、兵庫、奈良／計2,882サンプル その他地域：上記以外の都道府県／計11,297サンプル</p>			20-29歳	30-39歳	40-49歳	50-59歳	60-69歳	70-79歳	20-79歳計	男性	首都圏	415	515	651	508	467	388	2,944	阪神圏	192	222	297	236	245	210	1,402	その他地域	729	892	1,106	947	1,109	819	5,602	男性計		1,336	1,629	2,054	1,691	1,821	1,417	9,948	女性	首都圏	397	482	605	469	475	449	2,877	阪神圏	192	225	302	243	266	252	1,480	その他地域	685	851	1,069	958	1,159	973	5,695	女性計		1,274	1,558	1,976	1,670	1,900	1,674	10,052	TOTAL		2,610	3,187	4,030	3,361	3,721	3,091	20,000
		20-29歳	30-39歳	40-49歳	50-59歳	60-69歳	70-79歳	20-79歳計																																																																															
男性	首都圏	415	515	651	508	467	388	2,944																																																																															
	阪神圏	192	222	297	236	245	210	1,402																																																																															
	その他地域	729	892	1,106	947	1,109	819	5,602																																																																															
男性計		1,336	1,629	2,054	1,691	1,821	1,417	9,948																																																																															
女性	首都圏	397	482	605	469	475	449	2,877																																																																															
	阪神圏	192	225	302	243	266	252	1,480																																																																															
	その他地域	685	851	1,069	958	1,159	973	5,695																																																																															
女性計		1,274	1,558	1,976	1,670	1,900	1,674	10,052																																																																															
TOTAL		2,610	3,187	4,030	3,361	3,721	3,091	20,000																																																																															
調査時期	<p>2019年12月17日（火）～12月26日（木）</p>																																																																																						
調査主体	<p>一般社団法人 投資信託協会</p>																																																																																						
調査実施機関	<p>株式会社日本リサーチセンター</p>																																																																																						

<グラフ・表・コメントについて>

- ・ 本報告書の回答割合等の数値(%)は、小数点第2位を四捨五入して算出している。
- ・ グラフ、数表上の数値は特に断りがない限りは%値となる。また“n”は各属性の実数(サンプル数)を表しており、n数が少ない属性(30未満)のデータを見る際は、あくまで参考値として捉えるように注意する必要がある。

1. 調査計画の概要

<分析軸の内容>

分析軸		カテゴリー	備考
基本軸1	性別	1 男性	Q1の調査結果から作成
		2 女性	
	年代別	1 20代	Q2の調査結果から作成
		2 30代	
		3 40代	
		4 50代	
		5 60代	
		6 70代	
	世帯年収別	1 100万円未満	Q5①の調査結果から作成
		2 ~300万円	
		3 ~500万円	
		4 ~1000万円	
		5 ~1000万円以上	
	職業別	1 自営/自由・農林漁業	Q3で「5.自由業」「6.農林漁業」「7.自営業」回答者
		2 会社員、会社役員、派遣・契約社員など	Q3で「1.会社員・非営利団体職員」「2.会社役員・経営者」「3.派遣・契約社員」回答者
		3 公務員	Q3で「4.公務員」
4 専業主婦/主夫		Q3で「9.専業主婦/主夫」回答者	
基本軸2	投資信託保有状況別 (※1)(※2)	1 現在保有層	Q6②で「4.投資信託(除くETF、Jリート)」「5.ETF」「6.不動産投信(Jリート)」回答者
		2 保有経験層(現在非保有)	Q6①で「4」「5」「6」と回答し、Q6②で回答していない者
		3 保有未経験層(金融資産保有経験有)	Q6①で「4」「5」「6」と回答しておらず、またQ6①で「13.この中で保有したものは無い」と回答していない者
		4 保有未経験層(金融資産保有経験無)	Q6①で「13」と回答している者
ETF分析軸	ETF認知別	1 商品内容認知層	Q8①で「1.名前も商品の内容も知っている」回答者
	ETF保有状況別 (※1)	1 現在保有層	Q6②で「5.ETF」回答者
		2 保有経験層(現在非保有)	Q6①で「5」と回答し、Q6②で回答していない者
		3 保有未経験層(金融資産保有経験有)	Q8①で「1-2」かつQ6①で「5と13以外」の回答者
		4 保有未経験層(金融資産保有経験無)	Q8①で「1-2」かつQ6①で「13」回答者
		5 非認知層(金融資産保有経験有)	Q8①で「3.知らない」かつQ6①で「5と13以外」の回答者
6 非認知層(金融資産保有経験無)	Q8①で「3」かつQ6①で「13」回答者		
Jリート分析軸	Jリート認知別	1 商品内容認知層	Q8②で「1」回答者
	Jリート保有状況別 (※1)	1 現在保有層	Q6②で「6.不動産投信(Jリート)」回答者
		2 保有経験層(現在非保有)	Q6①で「6」と回答し、Q6②で回答していない者
		3 保有未経験層(金融資産保有経験有)	Q8②で「1-2」かつQ6①で「6と13以外」の回答者
		4 保有未経験層(金融資産保有経験無)	Q8②で「1-2」かつQ6①で「13」回答者
		5 非認知層(金融資産保有経験有)	Q8②で「3.知らない」かつQ6①で「6と13以外」の回答者
6 非認知層(金融資産保有経験無)	Q8②で「3」かつQ6①で「13」回答者		

※1 Q6①②のどちらかで「14.わからない・答えたくない」との回答者は、金融資産の保有状況が不明の為、分類に含めず。

※2 国内の投資信託商品の保有状況で分類を実施しており、「外国で作られた投資信託」は保有条件として加味していない。従って、「外国で作られた投資信託」の保有経験があっても、国内の投資信託(Q6=「4.投資信託」「5.ETF」「6.Jリート」)の保有経験がなければ「保有未経験層」に分類される。

1. 調査計画の概要

<分析軸の内容>

分析軸		カテゴリー		備考
NISA 分析軸	NISA実施状況別	1	現在口座開設層	Q16_1①で「1.口座開設して、現在も金融商品保有」 「2.口座開設し、金融商品購入したが、現在は売却し保有なし」 「3.口座開設したが、金融商品未購入」回答者
		2	口座開設経験層（現在非開設）	Q16_1①で「4.過去に口座開設し、金融商品保有、現在口座閉鎖」 「5.過去に口座開設したが、金融商品未購入で閉鎖」回答者
		3	認知・口座非開設層	Q15①で「1.名前も制度の内容も知っている」「2.名前は知っているが、制度の内容はよく分からない」かつ Q16_1①で「6.今までに口座開設なし」回答者
		4	非認知層	Q15①で「3.知らない」回答者
	今後NISA 利用意向有層	1	利用意向有層全体	Q22①で「1.利用したい、利用し続けたい」「2.やや利用したい、やや利用し続けたい」 回答者
つみたて NISA 分析軸	つみたてNISA実施状況別	1	現在口座開設層	Q16_1②で「1-3」回答者
		2	口座開設経験層（現在非開設）	Q16_1②で「4-5」回答者
		3	認知・口座非開設層	Q15②で「1-2」かつ Q16_1②で「6」回答者
		4	非認知層	Q15②で「3」回答者
	今後つみたてNISA 利用意向有層	1	利用意向有層全体	Q22②で「1-2」回答者
ジュニア NISA 分析軸（*）	ジュニアNISA実施状況別	1	現在口座開設層	Q16_1③で「1-3」回答者
		2	口座開設経験層（現在非開設）	Q16_1③で「4-5」回答者
		3	認知・口座非開設層	Q15③で「1-2」かつ Q16_1③で「6」回答者
		4	非認知層	Q15③で「3」回答者
	今後ジュニアNISA 利用意向有層	1	利用意向有層全体	Q22③で「1-2」回答者
企業型 確定 年金 分析軸（*）	企業型確定拠出年金 実施状況別	1	口座開設層	Q16_2①「1」回答者
		2	口座開設経験層（現在非開設）	Q16_2①で「2」回答者
		3	認知・口座非開設層	Q15④「1-2」かつ Q16_2①で「3」回答者
		4	非認知層	Q15④で「3」回答者
個人型 確定 拠出 年金 分析軸（*）	個人型確定拠出年金 認知別	1	商品内意用認知層	Q15⑤で「1」回答者
	個人型確定拠出年金 実施状況別	1	口座開設層	Q16_2②で「1」回答者
		2	口座開設経験層（現在非開設）	Q16_2②で「2」回答者
		3	認知・口座非開設層	Q15⑤「1-2」かつ Q16_2②で「3」回答者
		4	非認知層	Q15⑤で「3」回答者
今後 個人型確定拠出年金 利用意向有層	1	利用意向有層全体	Q28で「1.利用したい、利用し続けたい」「2.やや利用したい、やや利用し続けたい」 回答者	

* ジュニアNISA分析軸は「20歳未満の親族がいる者」に、企業型／個人型確定拠出年金分析軸は「60歳未満の者」に絞って作成。

○ NISA／ジュニアNISA／個人型確定拠出年金では、上記以外に「現在口座非開設・投資信託保有状況」「今後利用意向有・投資信託保有状況別」でも部分的に分析を実施。

2. 調査結果の要約

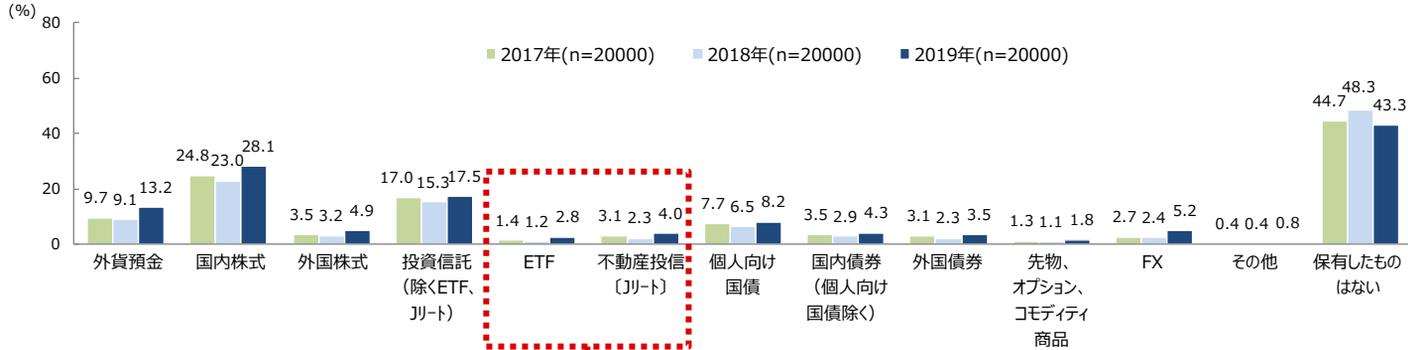


2. 調査結果の要約

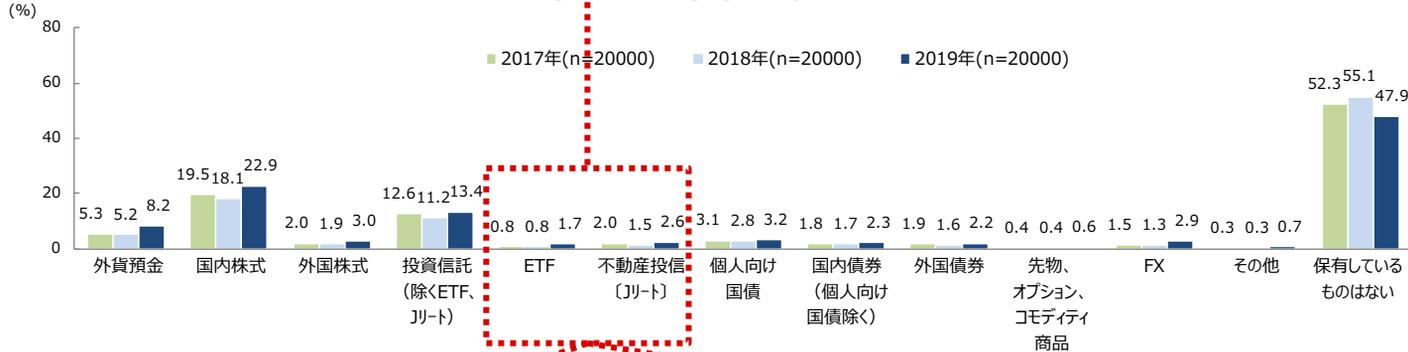
ETF、Jリート of 保有率

■ ETF、Jリート of 保有経験率は2.8%、4.0%、現在保有率は1.7%、2.6%と依然として低い水準。また、ETF of 保有率は年代間での差はないが、Jリートは高齢層ほど保有経験率が高くなる傾向。

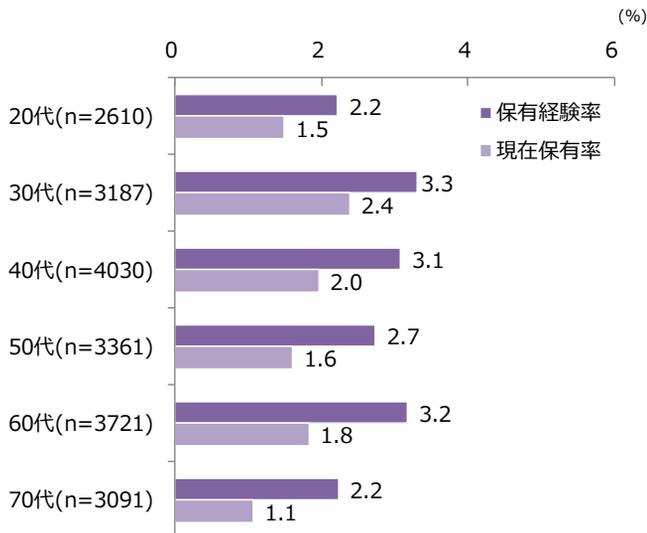
<保有経験のある金融資産>【ベース:TOTAL(n=20000)】(P.36)



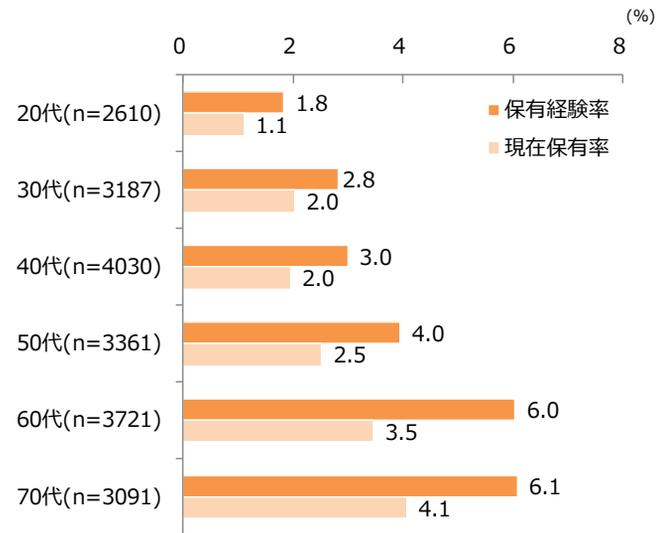
<現在保有している金融資産>【ベース:TOTAL(n=20000)】(P.37)



<ETF 年代別保有経験率> (P.36,P.37)



<Jリート 年代別現在保有率> (P.36,P.37)



2. 調査結果の要約

ETF、Jリートの特徴認知

■ ETF認知率(認知計)は25.0%、Jリート認知率は30.8%。

■ 商品特徴では、ETFは「元本保証がない」、Jリートは「少額から不動産投資できる」ことの認知率が最も高い。

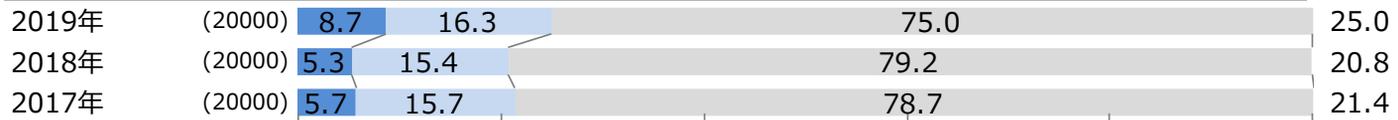
＜ETFの認知状況＞【ベース:TOTAL(n=20000)】(P.42)

■ 名前も商品の内容も知っている ■ 名前は知っているが、商品の内容はよく分からない ■ 知らない

認知計

n=

(%)



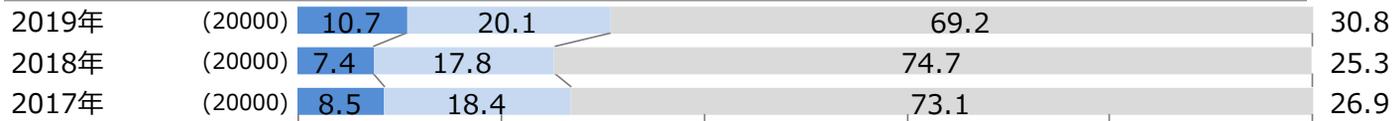
＜Jリートの認知状況＞【ベース:TOTAL(n=20000)】(P.52)

■ 名前も商品の内容も知っている ■ 名前は知っているが、商品の内容はよく分からない ■ 知らない

認知計

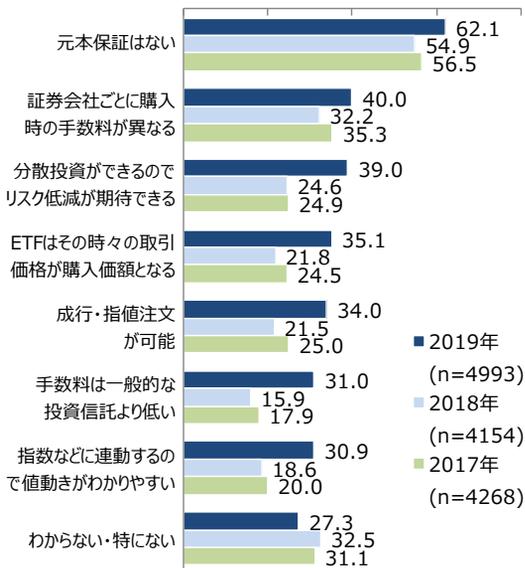
n=

(%)



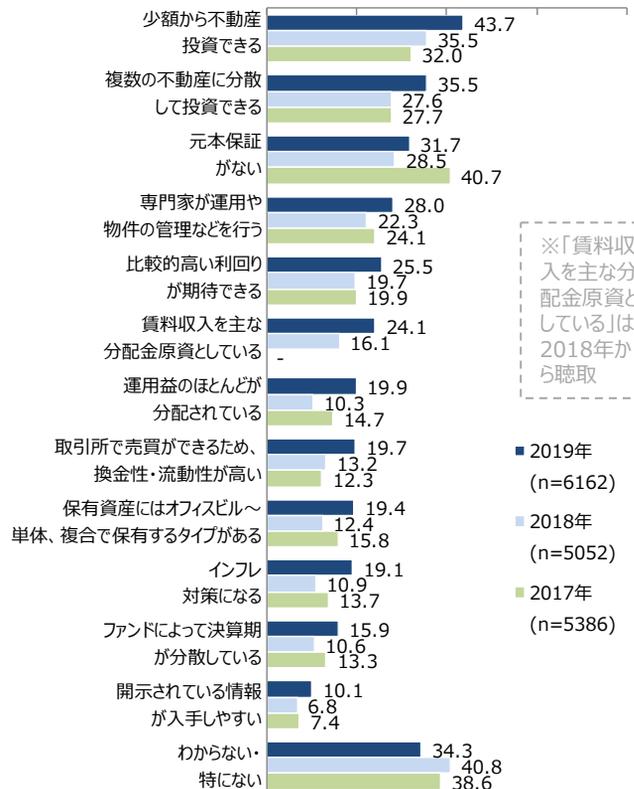
＜ETF特徴認知＞【ベース:ETF認知者】(P.43)

0 20 40 60 80 (%)



＜Jリート特徴認知＞【ベース:Jリート認知者】(P.53)

0 20 40 60 80 (%)



※「賃料収入を主な分配金原資としている」は2018年から聴取

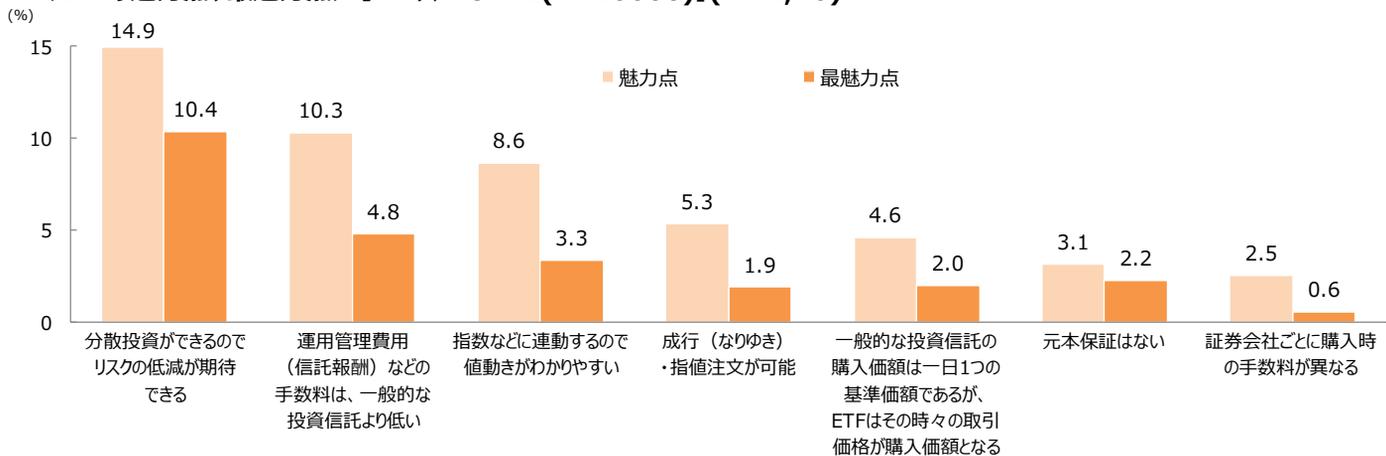
2. 調査結果の要約

ETFの魅力点、最魅力点／不満点、最不満点

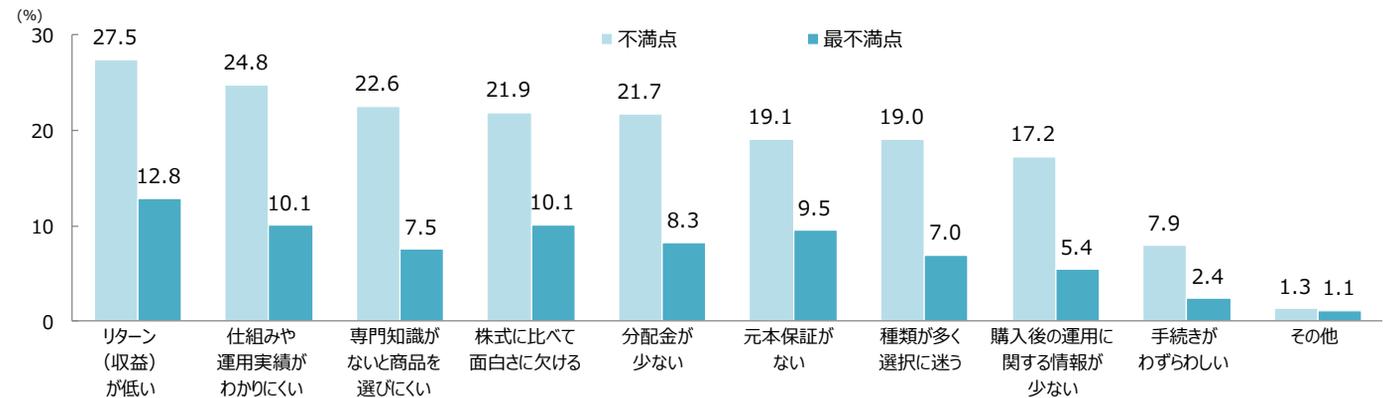
■ETFは、「分散投資できるのでリスク低減が期待できる」点が魅力である一方で、「リターン(収益)が低い」「仕組みや運用実績がわかりにくい」ことなどが不満点となっている。

・ETF現在保有層では、「分散投資できるのでリスク低減が期待できる」(53.9%)が最多。(P.45)

<ETFの魅力点、最魅力点>【ベース:TOTAL(n=20000)】(P.44,46)



<ETFの不満点、最不満点>【ベース:ETF内容認知者および保有経験者(n=1781)】(P.48,49)



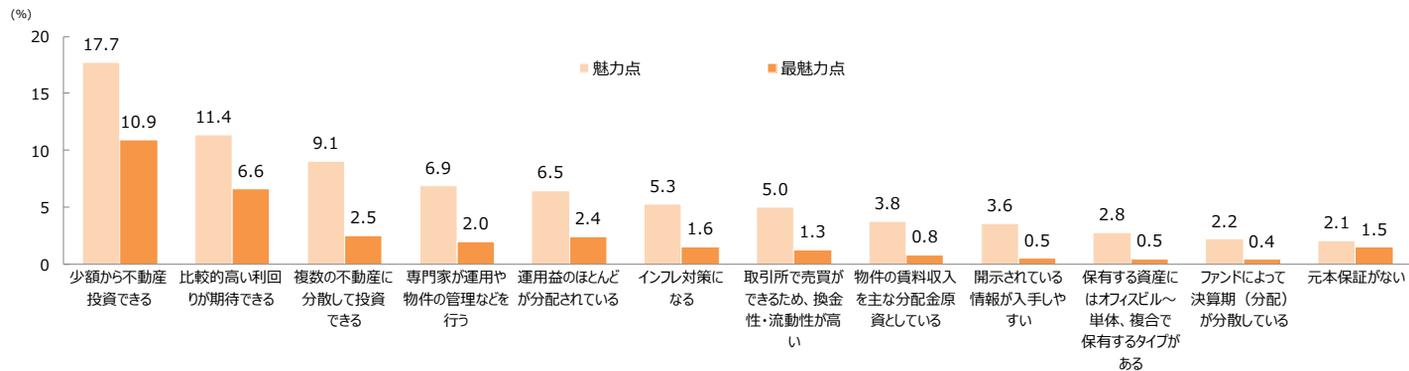
2. 調査結果の要約

Jリートの魅力点、最魅力点／不満点、最不満点

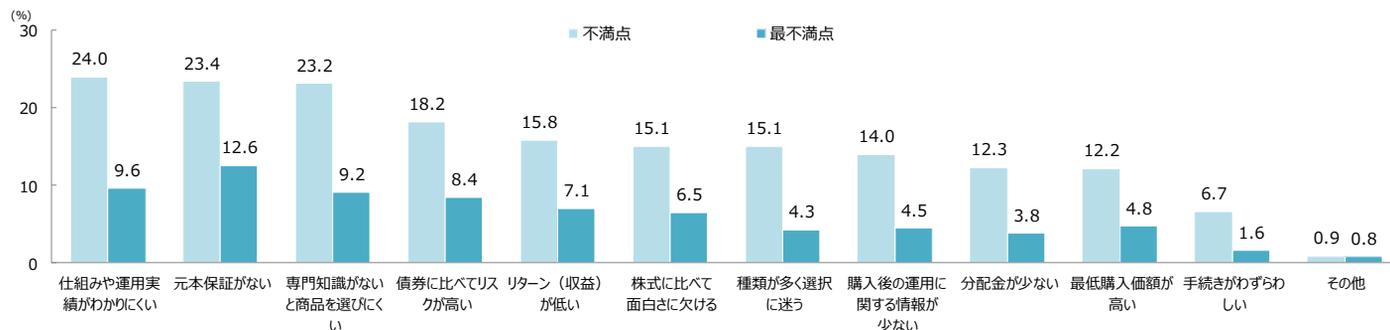
■ Jリートは、「少額から不動産投資できる」ことが魅力点である一方で、不満点は「仕組みや運用実績がわかりにくい」「元本保証がない」「専門知識がないと商品を選びにくい」が上位で、理解の難しさが中心。

・ Jリート現在保有層では、「比較的高い利回りが期待できる」(47.0%)が最多。「仕組みや運用がわかりにくい」は20代で他の年代に比べてやや高い。(P.55,59)

<Jリートの魅力点、最魅力点>【ベース:TOTAL(n=20000)】(P.54,56)



<Jリートの不満点、最不満点>【ベース:Jリート内容認知者および保有経験者(n=2292)】(P.58,59)



2. 調査結果の要約

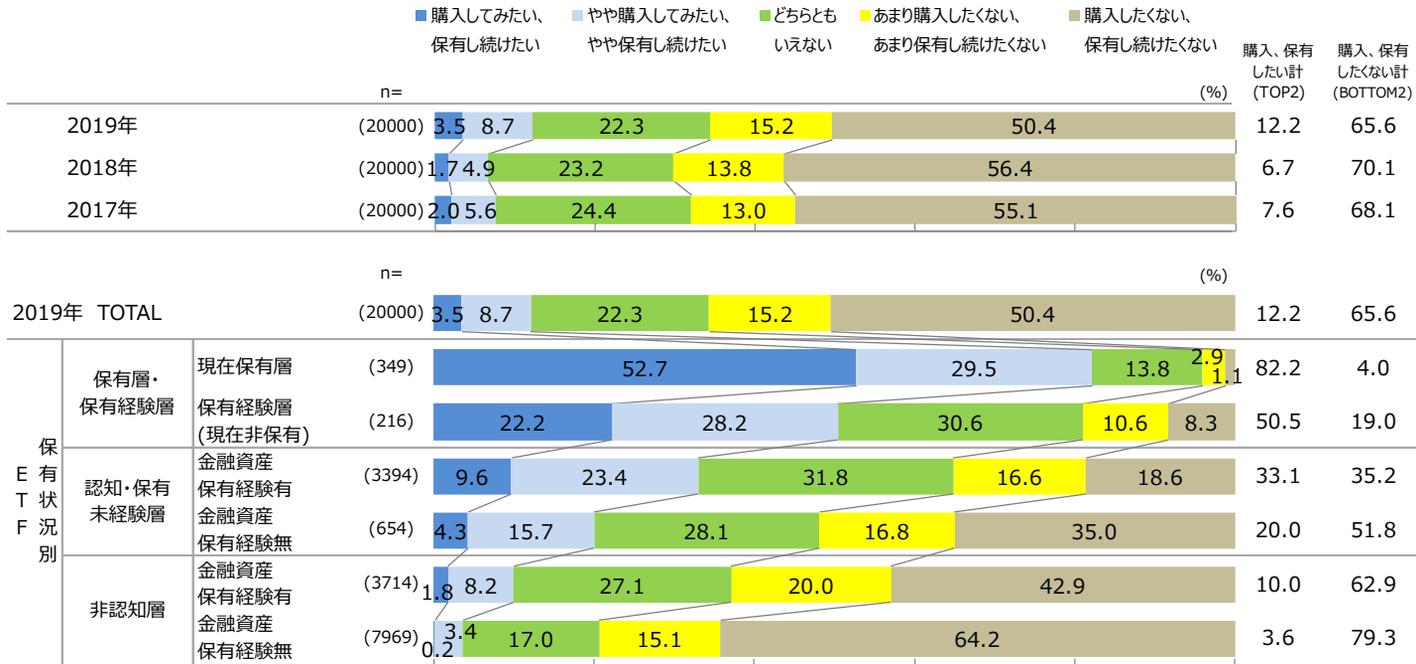
ETF、Jリート今後の購入・継続保有意向

■ETF、Jリートともに10%強の購入意向(TOP2 ※)がある。

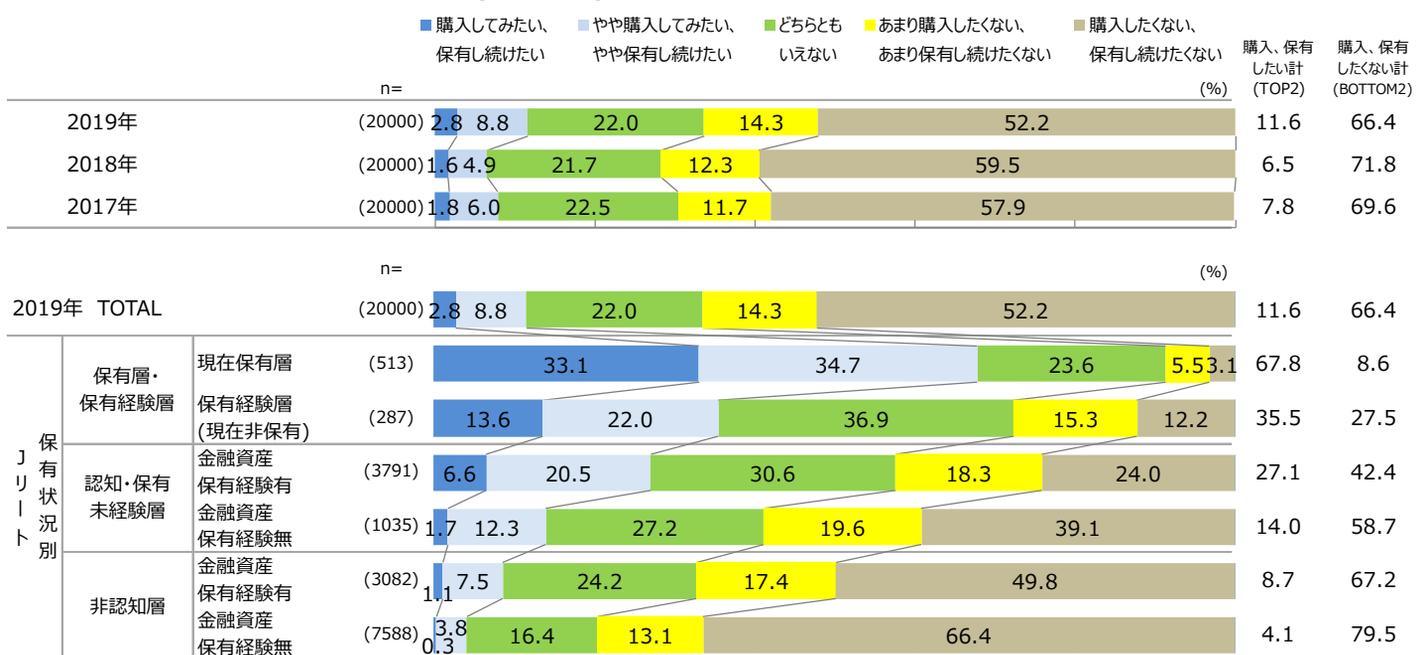
現在保有層で見ると、ETFは82%、Jリートは68%と70~80%ほどに継続保有意向がある。

※ TOP2=購入したい計（「購入してみたい、保有し続けたい」+「やや購入してみたい、やや保有し続けたい」）

<ETFの今後の購入・継続保有意向> (P.50,51)



<Jリートの今後の購入・継続保有意向> (P.60,61)



2. 調査結果の要約

NISA、つみたてNISA、ジュニアNISA、企業型確定拠出年金、個人型確定拠出年金 (iDeCo)の認知状況

■ 5制度の中ではNISAの認知率(76.4%)が最も高く、ジュニアNISAの認知率(45.9%)が最も低い。

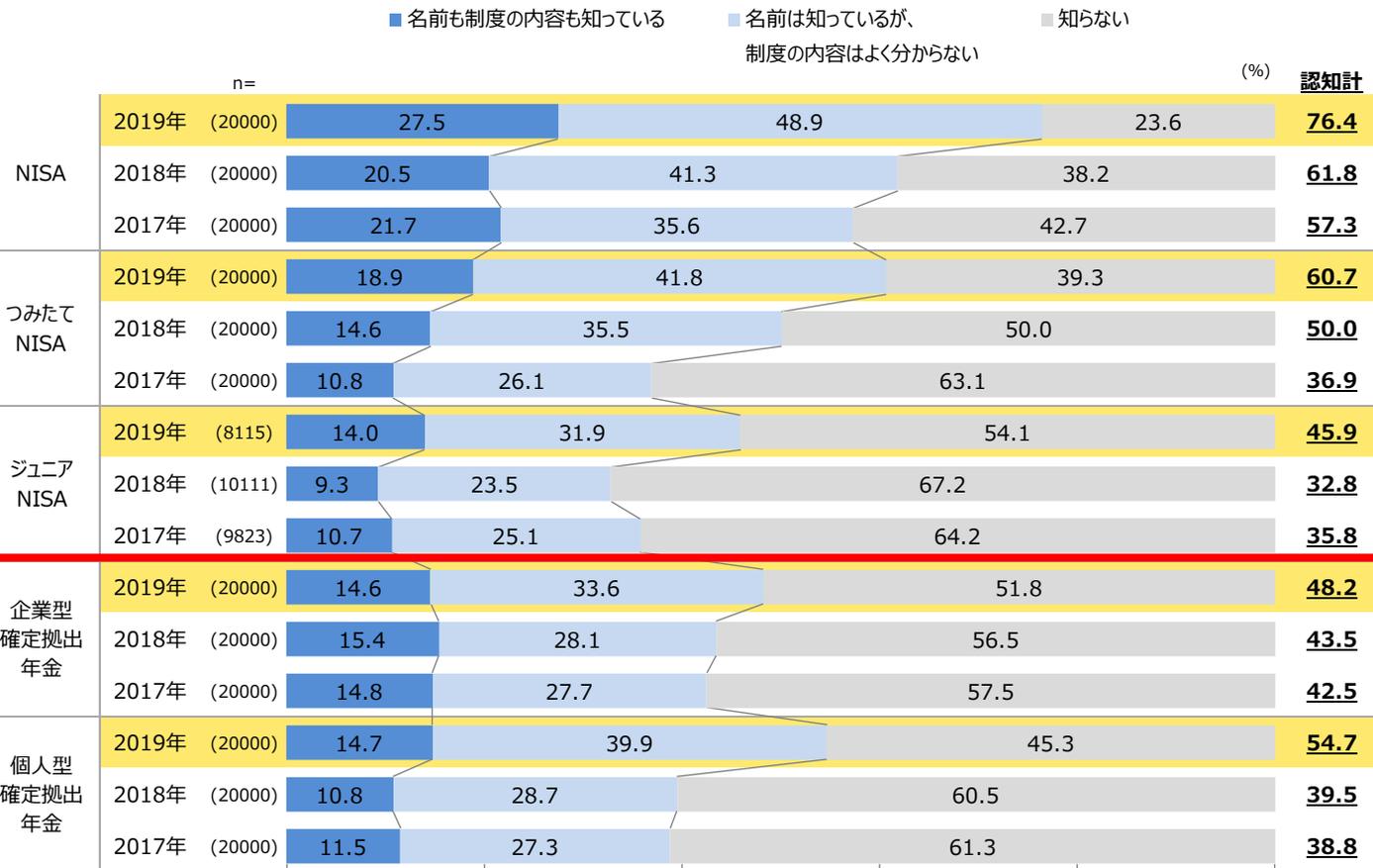
■ 時系列の変動をみると、認知率は各制度ともに前回から増加。制度内容認知率は、企業型確定拠出年金で横ばい。

・ どの制度も、世帯年収が上がるほど認知率は高くなる。(P.63,76,87,100,107)

※ 制度開始は、NISAは2014年、つみたてNISAは2018年(口座開設開始は2017年10月)、ジュニアNISAは2016年より。

<NISA、つみたてNISA、ジュニアNISA、企業型確定拠出年金、個人型確定拠出年金の認知状況> (P.63,76,87,100,106)

* ジュニアNISAは20歳未満の親族有の者ベース



<60歳未満における、企業型確定拠出年金、個人型確定拠出年金の認知状況> (P.100,106)



2. 調査結果の要約

NISA、つみたてNISA、ジュニアNISA、企業型確定拠出年金、個人型確定拠出年金の利用状況／企業型確定拠出年金でのマッチング拠出利用状況

■ 各制度の認知者で口座開設して現在金融商品を保有しているのは、**NISA(20.8%)、企業型確定拠出年金(14.9%)、個人型確定拠出年金(11.9%)。**

■ NISAでは口座開設者の15%が金融商品未購入。企業型確定拠出年金では、約半数がマッチング拠出を実施している。

・ジュニアNISA以外の各制度とも、世帯年収が上がるほど、口座開設して現在金融商品を保有している割合が高くなる傾向。(P.64,77,88,101,108)

<NISA、つみたてNISA、ジュニアNISA、企業型確定拠出年金、個人型確定拠出年金の利用状況>【ベース：各制度認知者】(P.64,77,88,101,108)

* ジュニアNISAは20歳未満の親族有の者、企業型／個人型確定拠出年金は60歳未満の者ベース

※「つみたてNISA」は2018年度から聴取。選択肢「口座開設し金融商品を購入したが、現在は売却し保有していない」は2018年度から聴取



<NISA口座開設者における、同制度での金融商品保有状況>【ベース：NISA口座現在開設者】(P.64)

■ 口座を開設して、現在も金融商品を保有している (blue) ■ 口座開設し金融商品を購入したが、現在は売却し保有していない (light blue) ■ 口座を開設したが、まだ金融商品を購入したことはない (green)



<企業型確定拠出年金でのマッチング拠出利用状況>【ベース：60歳未満で同制度での金融商品保有者】(P.104)

■ 現在導入しており、加入者拠出もしている (blue) ■ 現在導入しているが、加入者拠出はしていない (light blue) ■ 現在導入していない (green) ■ わからない／マッチング拠出制度を知らない (grey)



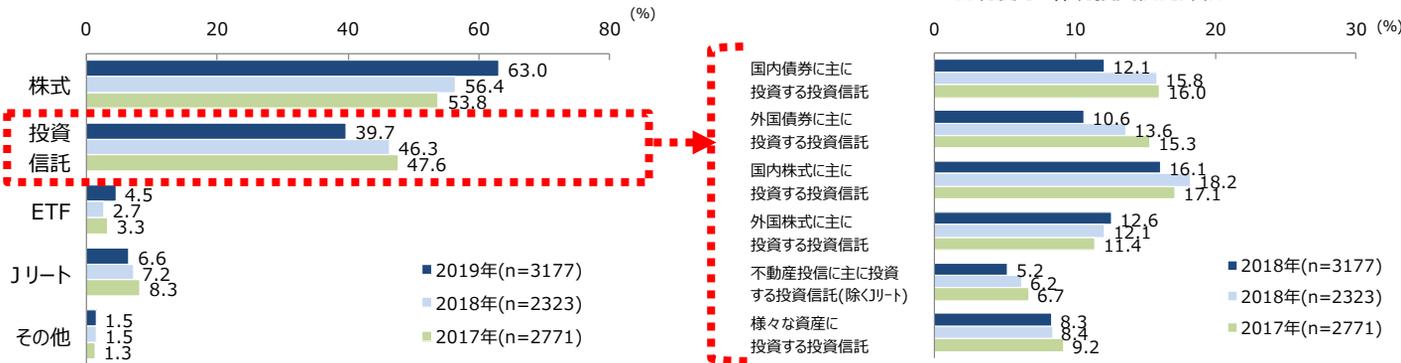
2. 調査結果の要約

NISA、つみたてNISA、ジュニアNISAでの保有金融商品

- NISAでの保有金融商品では、「株式」保有率が前回より増加。「投資信託」保有率 ※ は39.7%で減少。
- つみたてNISAでは「外国株式に主に投資する投資信託」保有率(33.8%)が最も高い。
- ジュニアNISAでは「投資信託」保有率は前回より減少し、「株式」が増加。
投資信託商品の中では、「国内債券に主に投資する投資信託」「様々な資産に投資する投資信託」の保有率が減少。

※ 「国内債券に主に投資～様々な資産に投資する投資信託」のいずれか保有者の割合

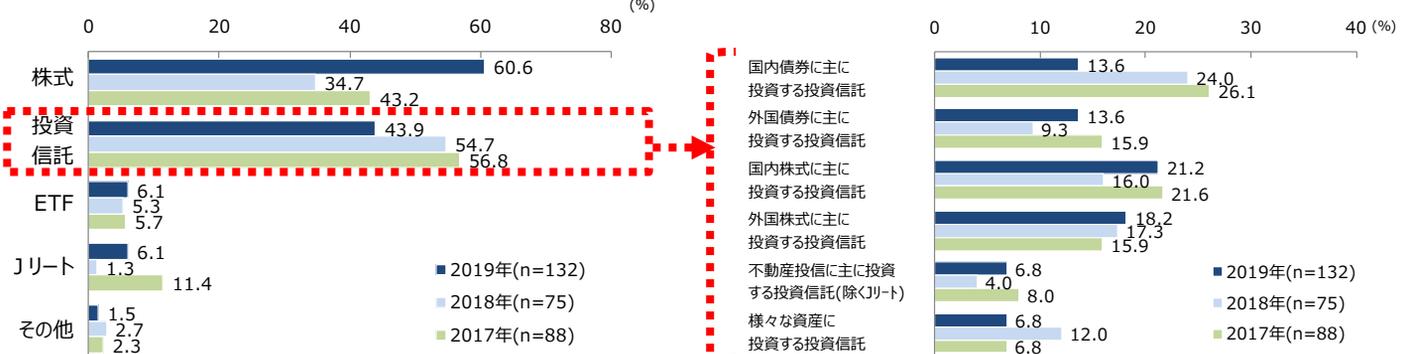
<NISAでの保有金融商品>【ベース:同制度での金融商品保有者】(P.65)



<つみたてNISAでの保有金融商品>【ベース:同制度での金融商品保有者】(P.78)



<ジュニアNISAでの保有金融商品>【ベース:20歳未満の親族がいる同制度での金融商品保有者】(P.89)

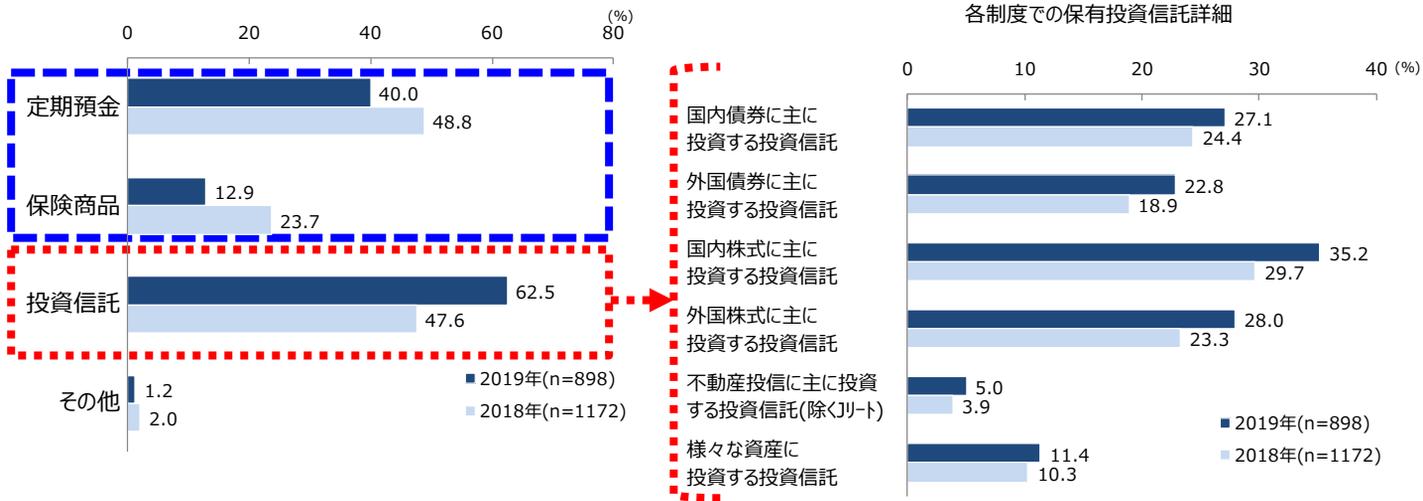


2. 調査結果の要約

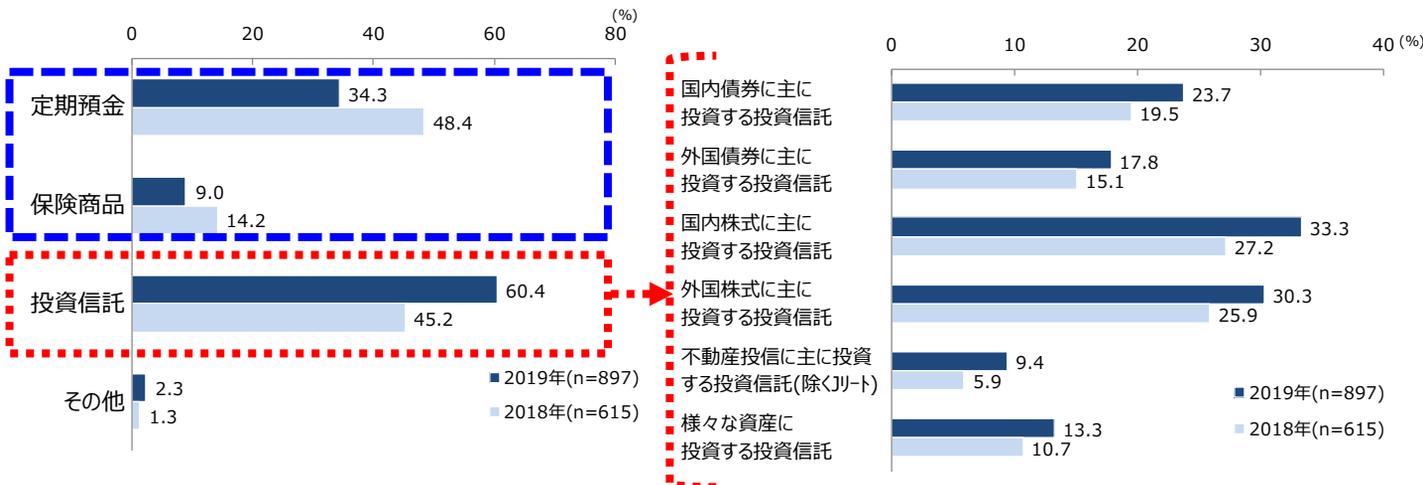
企業型確定拠出年金、個人型確定拠出年金制度での保有金融商品

- 企業型確定拠出年金での保有金融商品は、「投資信託」が62.5%と半数以上。保有商品の詳細では「国内株式に主に投資する投資信託」の保有率が最も高い。
- 個人型確定拠出年金での保有金融商品は、「投資信託」が60.4%で、保有商品の詳細では「国内株式／外国株式に主に投資する投資信託」の保有率が高い。

<企業型確定拠出年金での保有金融商品>【ベース:同制度での金融商品保有者】(P.102)



<個人型確定拠出年金での保有金融商品>【ベース:同制度での金融商品保有者】(P.110)



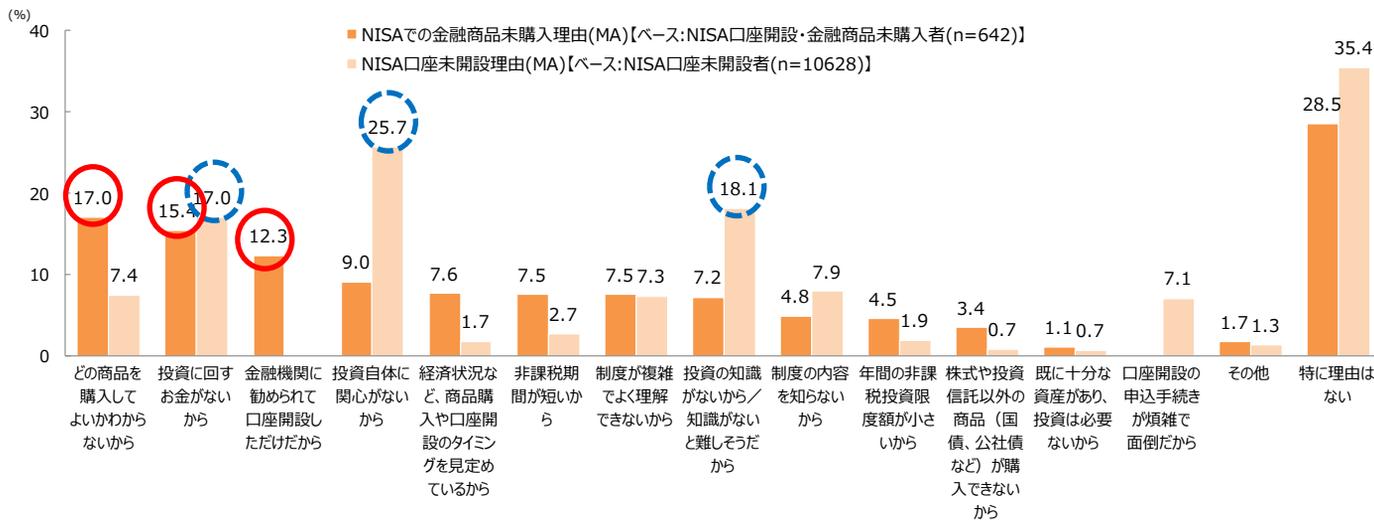
2. 調査結果の要約

NISAでの口座開設・金融商品未購入理由、口座未開設理由／
NISAでの金融商品購入、口座開設検討のきっかけ

■ NISAでの金融商品未購入理由は、「どの商品を購入してよいかわからない」「投資に回すお金がない」「金融機関の勧めで口座開設しただけ」が上位。
金融商品購入検討のきっかけは「貯蓄が一定額に達したら」「手取り収入が増えたら」との経済的理由が並んで上位。

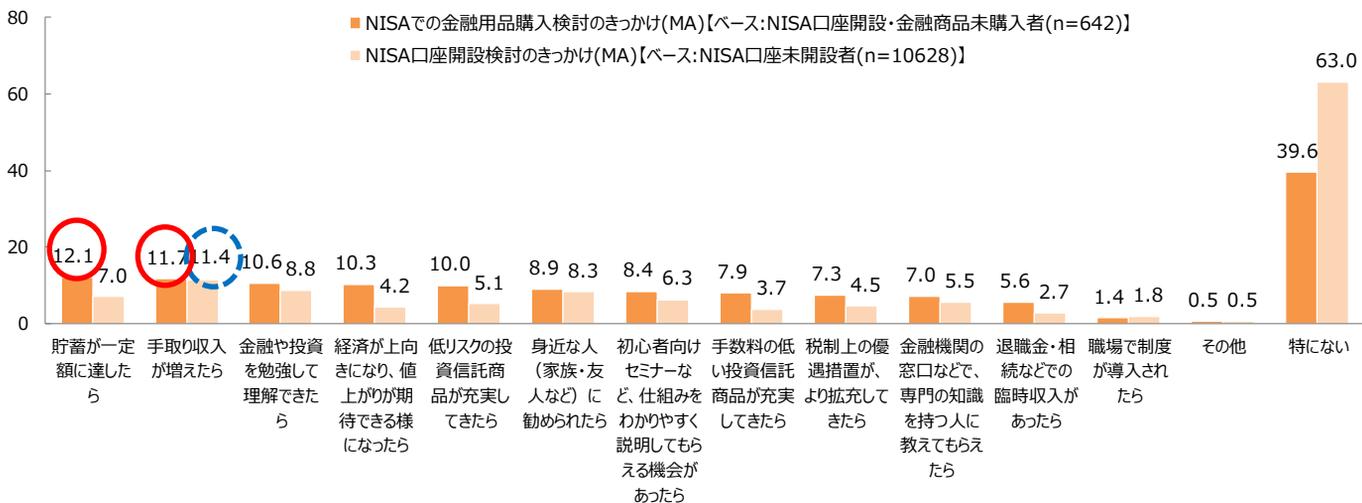
■ NISA口座未開設の理由では、「投資自体に関心がない」「投資の知識がない」「投資に回すお金がない」と、投資への関心・知識、経済的理由の項目が上位。
きっかけは「手取り収入が増えたら」が最も高い。

<NISAでの金融商品未購入理由、口座未開設理由> (P.68,69) ※ 金融商品未購入理由で降順にソート



* 「金融機関に勧められて口座開設しただけ」は金融資産未購入層／ 「口座開設の申し込み手続きが面倒で面倒」は口座未開設層にのみ聴取

<NISAで金融商品購入、口座開設検討のきっかけ> (P.70,71) ※ 金融商品購入のきっかけで降順にソート



○・・・金融商品未購入理由／金融商品購入検討のきっかけで高い項目 ○・・・口座未開設理由／口座開設検討のきっかけで高い項目

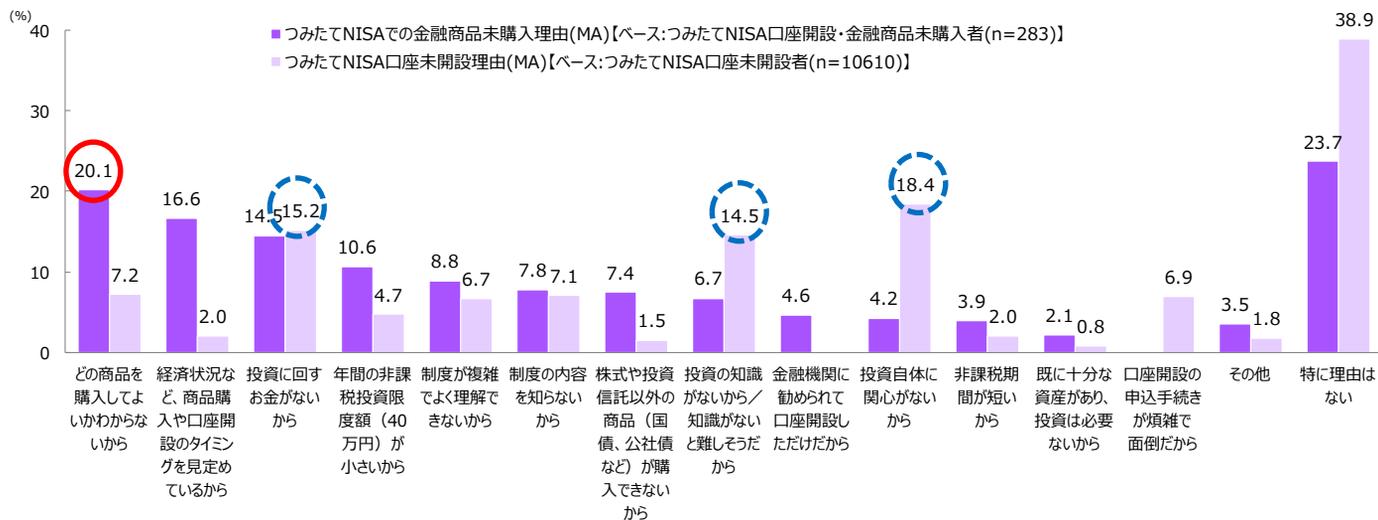
2. 調査結果の要約

つみたてNISAでの口座開設・金融商品未購入理由、口座未開設理由／
つみたてNISAでの金融商品購入、口座開設検討のきっかけ

■ つみたてNISAでの金融商品未購入理由は「どの商品を購入してよいかわからない」が最も高い。金融商品購入検討のきっかけでは「金融や投資を勉強して理解できた」「貯蓄が一定額に達したら」「手取り収入が増えたら」が上位。

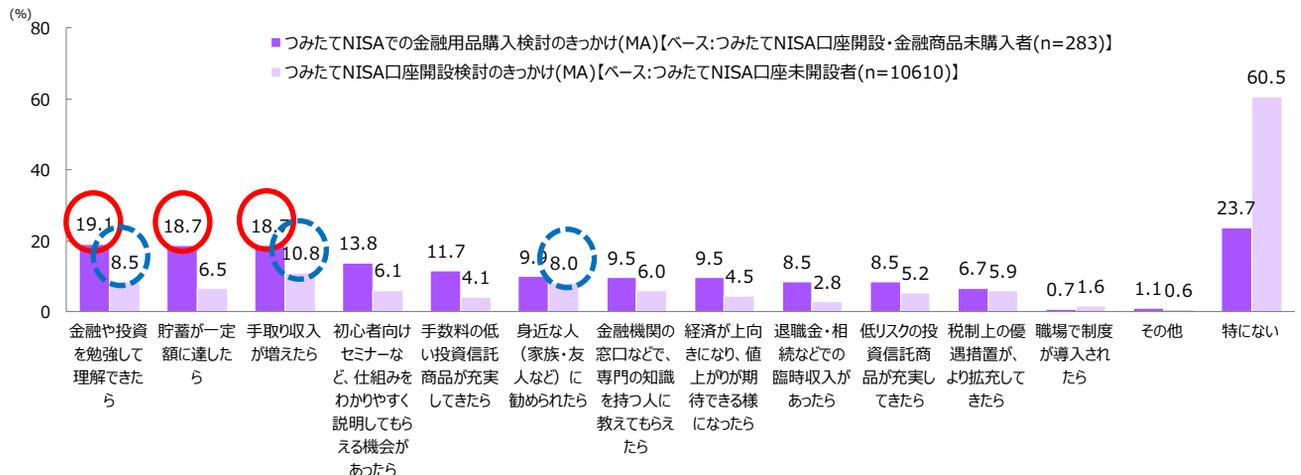
■ つみたてNISA口座未開設の理由は、「投資自体に関心がない」「投資に回すお金がない」「投資の知識がない」が上位。口座開設検討のきっかけでは、「手取り収入が増えたら」「金融や投資を勉強して理解できた」「身近な人の勧め」など、収入などの経済的環境の課題とともに、理解や推奨といった項目が並んで上位。

<つみたてNISAでの金融商品未購入理由、口座未開設理由> (P.80,81) ※ 金融商品未購入理由で降順にソート



* 「金融機関に勧められて口座開設しただけ」は金融資産未購入層 / 「口座開設の申し込み手続きが煩雑で面倒」は口座未開設層にのみ聴取

<つみたてNISAで金融商品購入、口座開設検討のきっかけ> (P.82,83) ※ 金融商品購入のきっかけで降順にソート



○・・・金融商品未購入理由/金融商品購入検討のきっかけで高い項目 ○・・・口座未開設理由/口座開設検討のきっかけで高い項目

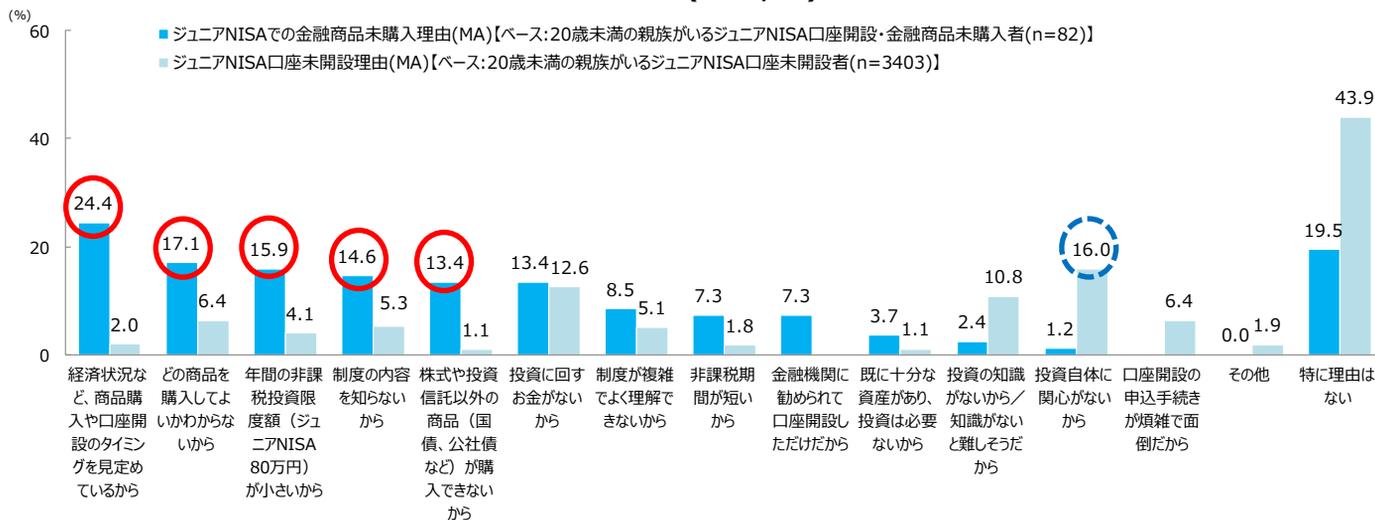
2. 調査結果の要約

ジュニアNISAでの口座開設・金融商品未購入理由、口座未開設理由／
ジュニアNISAでの金融商品購入、口座開設検討のきっかけ

■ジュニアNISAでの金融商品未購入理由は「タイミングを見定めている」が最も高い。また、「どの商品を購入してよいかわからない」「制度の内容を知らない」などの理解不足、「年間の非課税投資限度額が小さい」「株式や投資信託以外の商品が購入できない」などの制度面の項目も上位。金融商品購入検討のきっかけは「貯蓄が一定額に達したら」が最も高い。

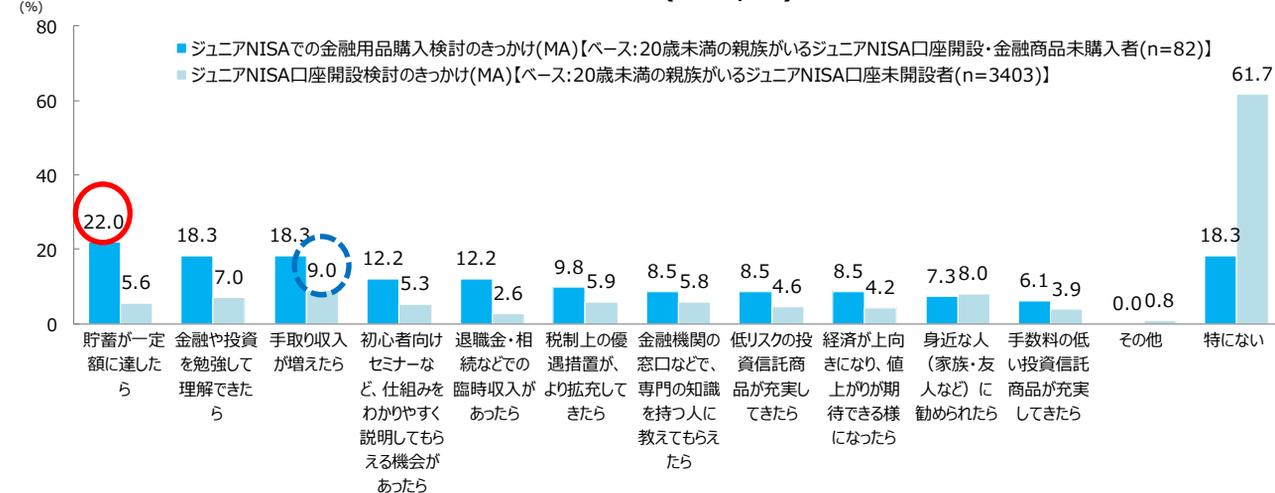
■ジュニアNISA口座未開設の理由では「投資自体に関心がない」が最も高い。口座開設検討のきっかけは、各項目とも低率で分散傾向にあり、「手取り収入が増えたら」が10%弱で最多。

<ジュニアNISAでの金融商品未購入理由、口座未開設理由> (P.92,93) ※ 金融商品未購入理由で降順にソート



* 「金融機関に勧められて口座開設しただけ」は金融資産未購入層／ 「口座開設の申し込み手続きが煩雑で面倒」は口座未開設層にのみ聴取

<ジュニアNISAで金融商品購入、口座開設検討のきっかけ> (P.94,95) ※ 金融商品購入のきっかけで降順にソート



○・・・金融商品未購入理由／金融商品購入検討のきっかけで高い項目 ○・・・口座未開設理由／口座開設検討のきっかけで高い項目

2. 調査結果の要約

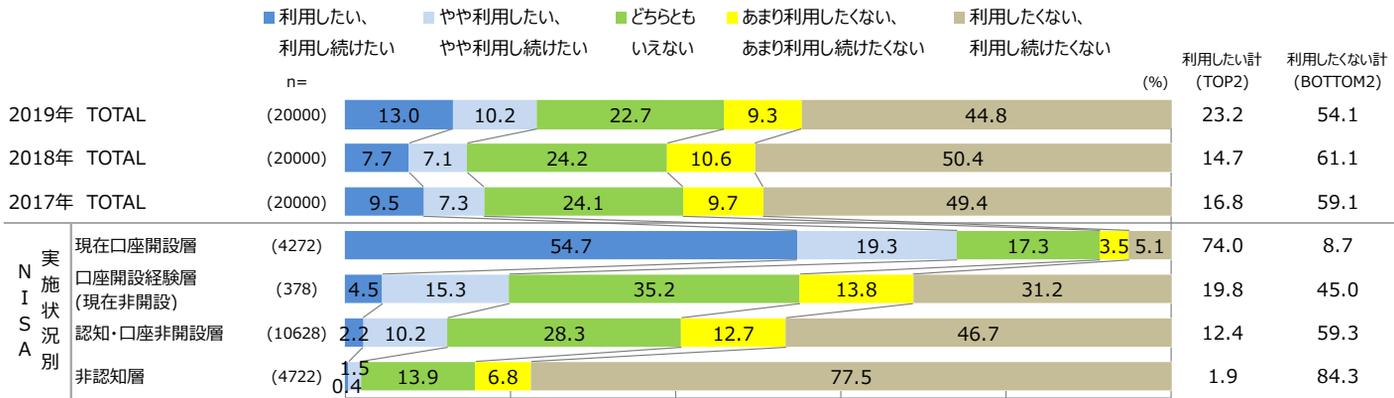
NISA、つみたてNISA、ジュニアNISAの今後の利用・継続利用意向

■ 全体では、「NISA」の利用意向(TOP2 ※)は23.2%と前回より増加。
「つみたてNISA」(14.1%)、「ジュニアNISA」(9.0%)もやや増加。

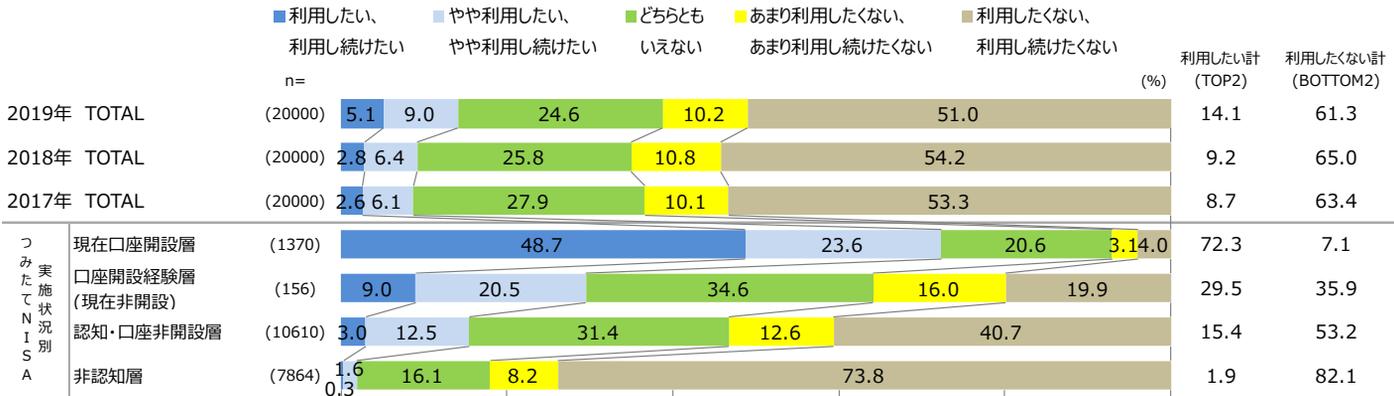
※ TOP2=利用したい計（「利用したい、利用し続けたい」+「やや利用したい、やや利用し続けたい」）

- ・ 年代別では、若年層ほど「つみたてNISA」「ジュニアNISA」の利用意向率が高くなる傾向。(P.84,96)
- ・ 世帯年収別では、高年収層ほど「NISA」「つみたてNISA」「ジュニアNISA」ともに利用意向が高くなる。(P.72,84,96)

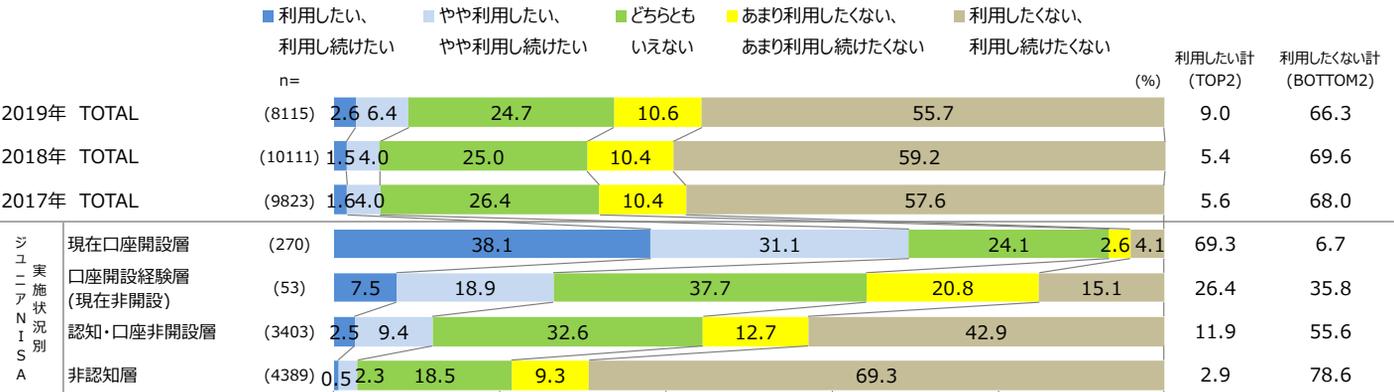
<NISAの今後の利用・継続利用意向> (P.72)



<つみたてNISAの今後の利用意向> (P.84)



<ジュニアNISAの今後の利用・継続利用意向> (P.96)



2. 調査結果の要約

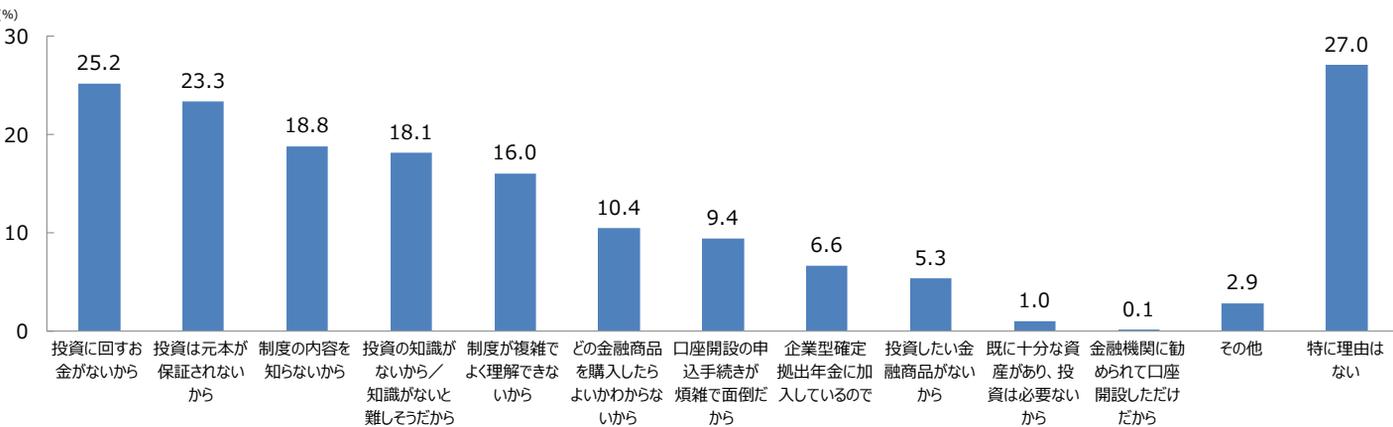
個人型確定拠出年金での口座開設・金融商品未購入および口座未開設理由／
個人型確定拠出年金での金融商品購入および口座開設のきっかけ

- **金融商品※未購入および口座未開設の理由は、「投資に回すお金がない」が最も高く、「投資は元本が保証されない」が続く。**
- **金融商品※の購入および口座開設のきっかけは、「投資に回すお金ができたなら」「手取り収入が増えたら」「金融や投資を勉強して理解できたなら」が高く、資金と理解が前提となっている様子。**

※ 定期預金・保険商品を除く投資性商品

<個人型確定拠出年金での金融商品未購入および口座未開設理由>

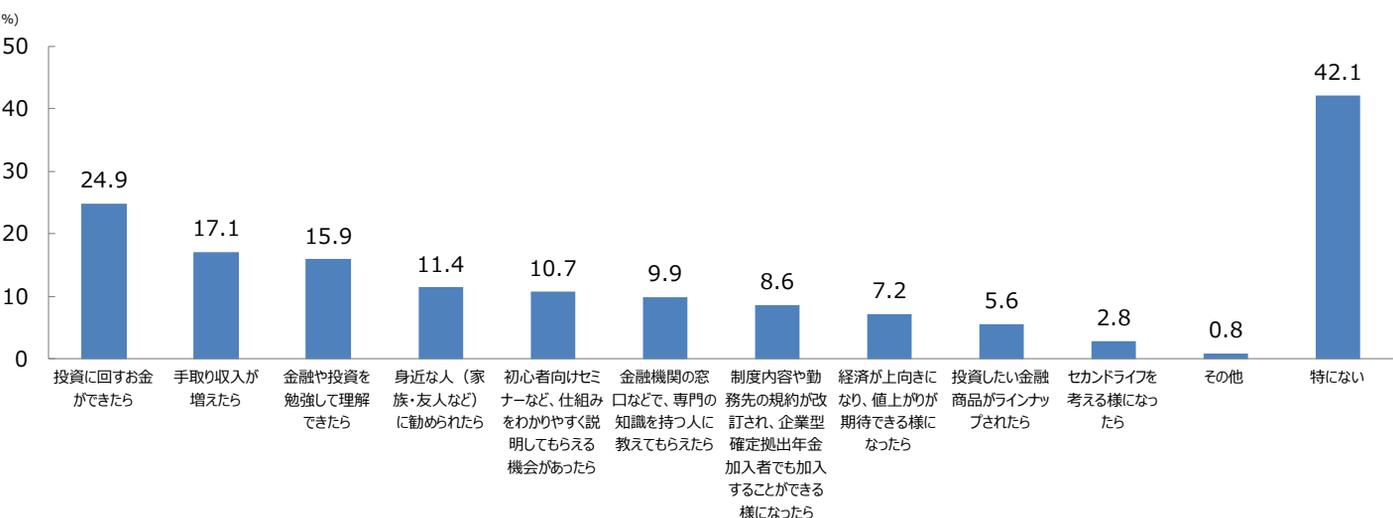
【ベース：60歳未満の個人型確定拠出年金での金融商品未購入および口座未開設層(n=6661)】(P.117)



* 「口座開設の申込手続きが煩雑で面倒」は口座未開設層(n=6438)／「金融機関に勤められて口座開設しただけ」は口座開設・経験層(n=438)にのみ聴取

<個人型確定拠出年金での金融商品購入および口座開設のきっかけ>

【ベース：60歳未満の個人型確定拠出年金での金融商品未購入および口座未開設層(n=6661)】(P.119)



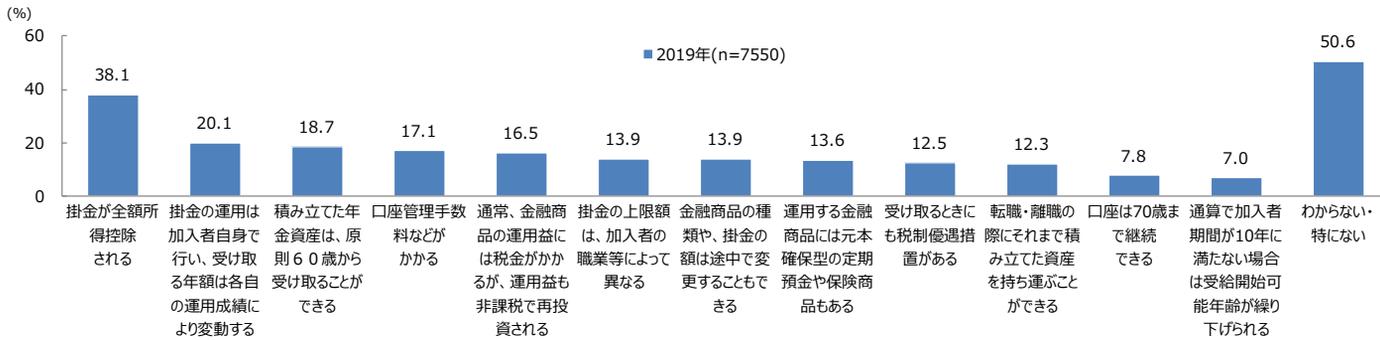
2. 調査結果の要約

個人型確定拠出年金の特徴認知／個人型確定拠出年金の魅力点・最魅力点

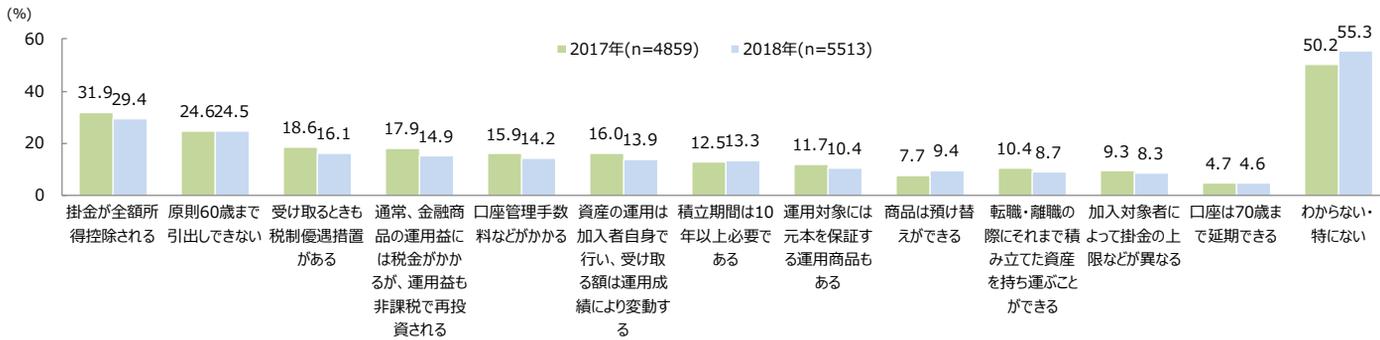
■ 特徴認知は、前回と同様に「掛金が全額所得控除される」が最も高い。他の項目は認知率が分散傾向。

■ 「掛金が全額所得控除される」との税制措置は、魅力点においても最も高い。

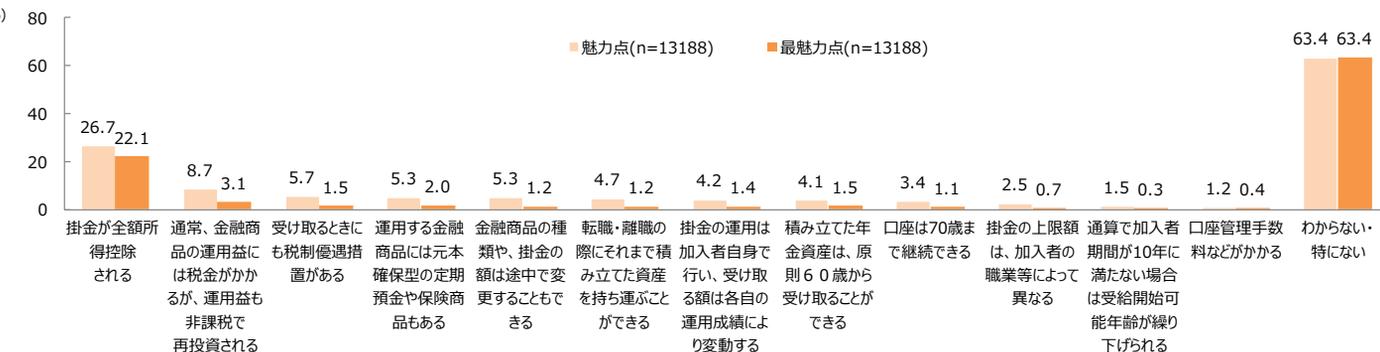
<個人型確定拠出年金の特徴認知>【ベース：60歳未満の個人型確定拠出年金認知者】(P.112)



(参考)2017年・2018年



<個人型確定拠出年金の魅力点・最魅力点>【ベース：60歳未満の者】(P.113,115)

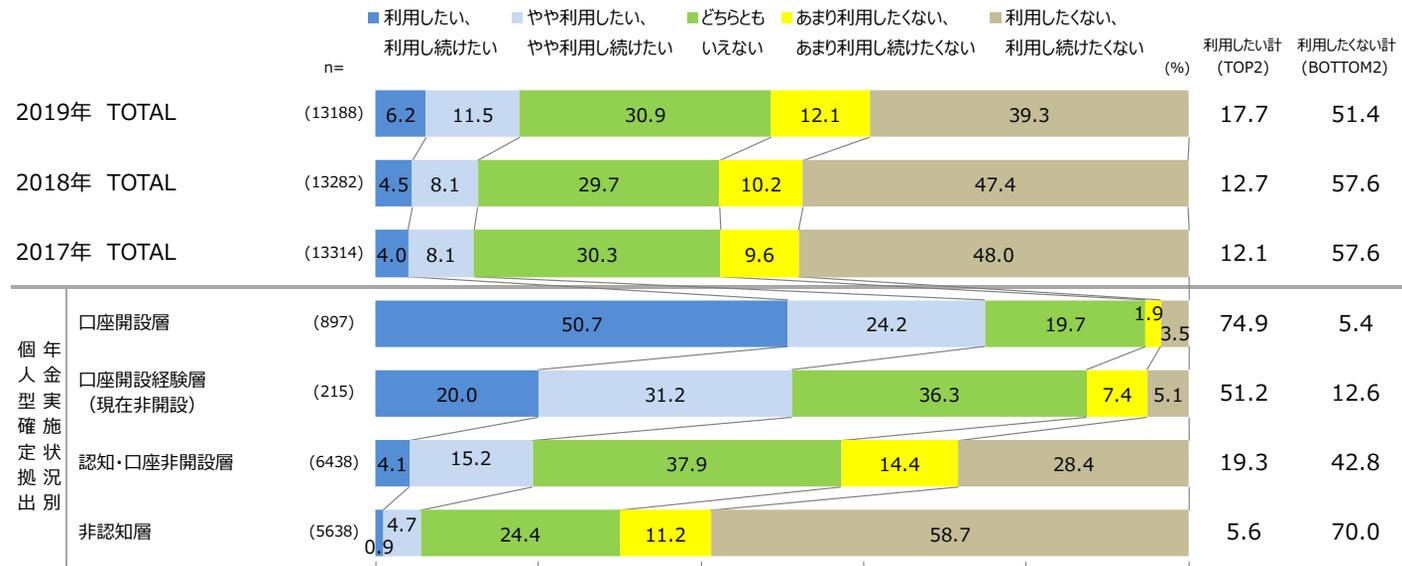


2. 調査結果の要約

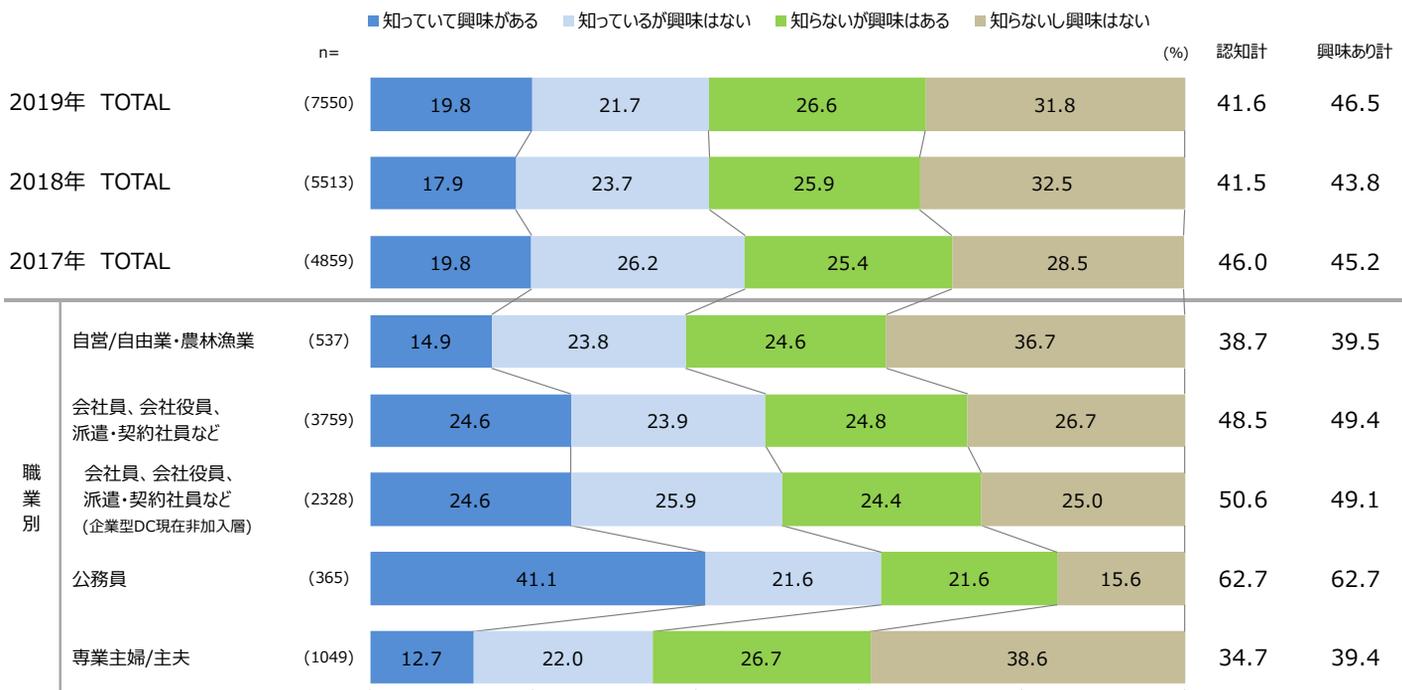
個人型確定拠出年金の今後の利用・継続利用意向／個人型確定拠出年金の対象者拡大認知・興味度

- 全体では、利用意向(TOP2:利用したい計)が17.7%と前回より増加。
- 制度対象者の拡大については、認知率(認知計41.6%)は前回と同水準。
職業別では、特に公務員で、認知率・興味度がいずれも高い。

<個人型確定拠出年金の今後の利用・継続利用意向>【ベース:60歳未満の者】(P.121)



<個人型確定拠出年金の対象者拡大認知・興味度>【ベース:60歳未満の個人型確定拠出年金認知者】(P.123)



2. 調査結果の要約

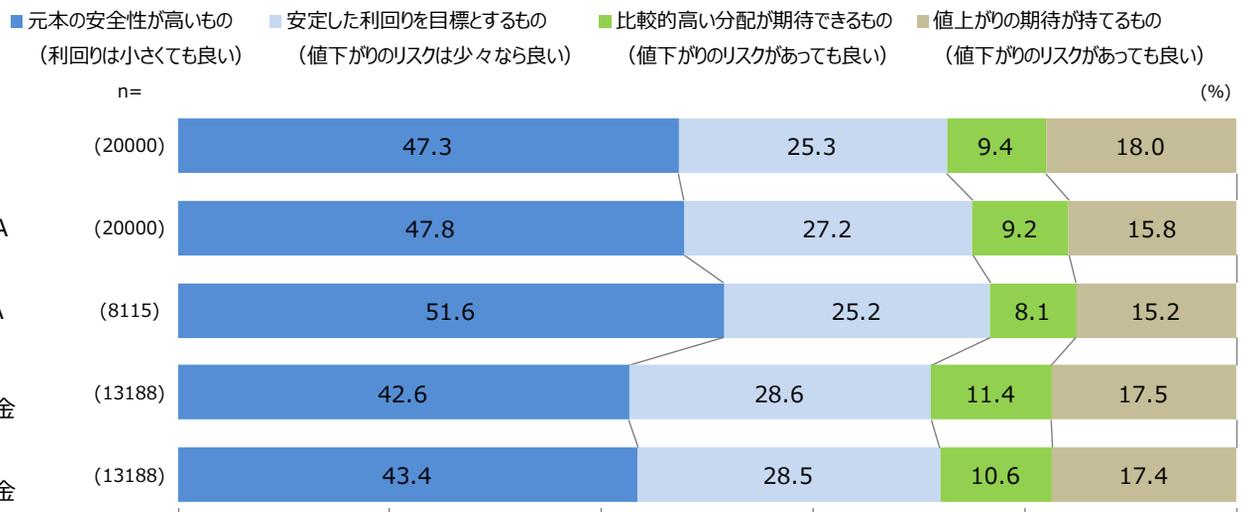
NISA、つみたてNISA、ジュニアNISA、企業型確定拠出年金、個人型確定拠出年金で投資する場合に、選択したい金融商品

■ いずれの制度も、全体では「元本の安全性が高いもの(利回りは小さくてもよい)」への投資意向が強いが、各制度利用意向者では「安定した利回りを目標とするもの(値下がりのリスクは少々なら良い)」が高く、より利回り重視の投資姿勢が強まる。また、NISAでは、他制度の利用意向者に比べてよりリスクの高い商品の選択意向が見てとれる。

- ・ いずれの制度でも、高齢層ほど「元本安全」商品への投資意向が高くなる。(P.126,128,130,132,133)
- ・ また高年収層ほど「安定利回りを目標」とする商品や、「比較的高い分配が期待できる」商品への投資意向が高くなる。(P.126,128,130,132,133)

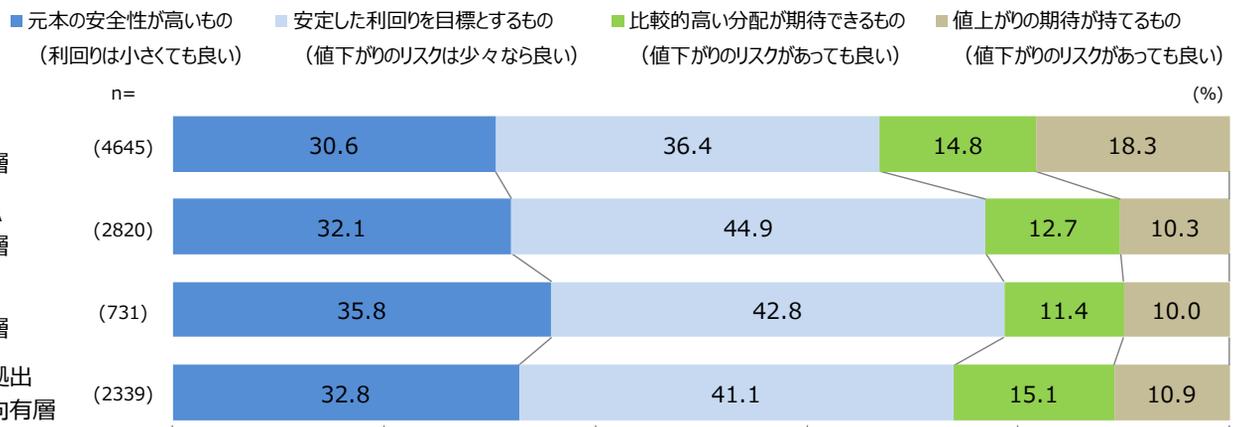
<各制度で投資する場合に、選択したい金融商品> (P.126,128,130,132,133)

* ジュニアNISAは20歳未満の親族有の者、企業型/個人型確定拠出年金は60歳未満の者ベース



<各制度で投資する場合に、選択したい金融商品>【ベース:各制度利用意向者】(P.127,129,131,134)

* ジュニアNISAは20歳未満の親族有の者、個人型確定拠出年金は60歳未満の者ベース



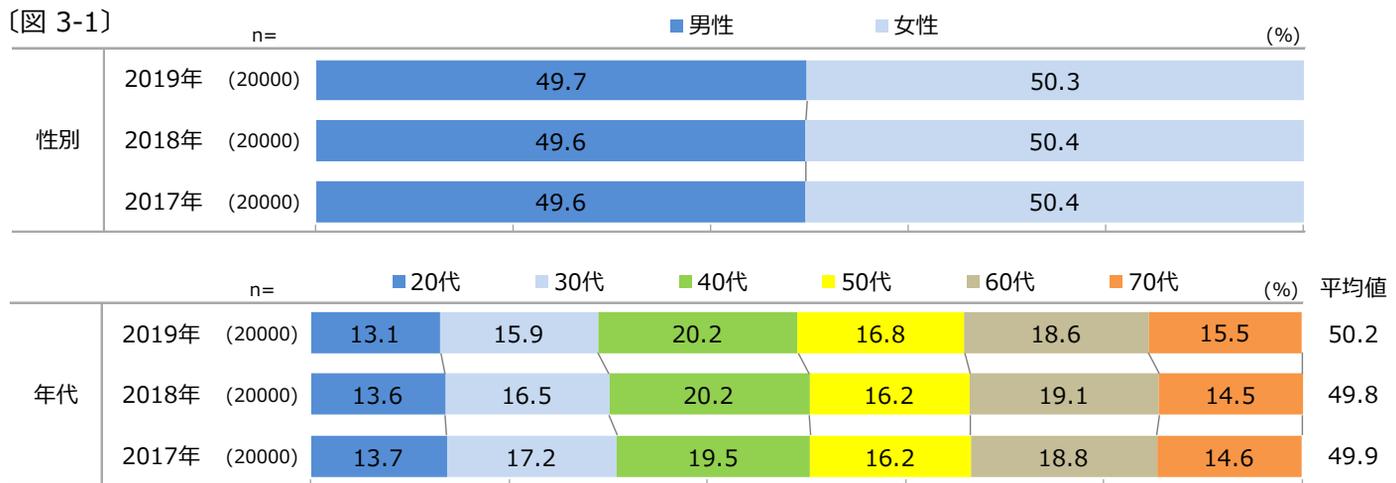
3. 回答者のプロフィール



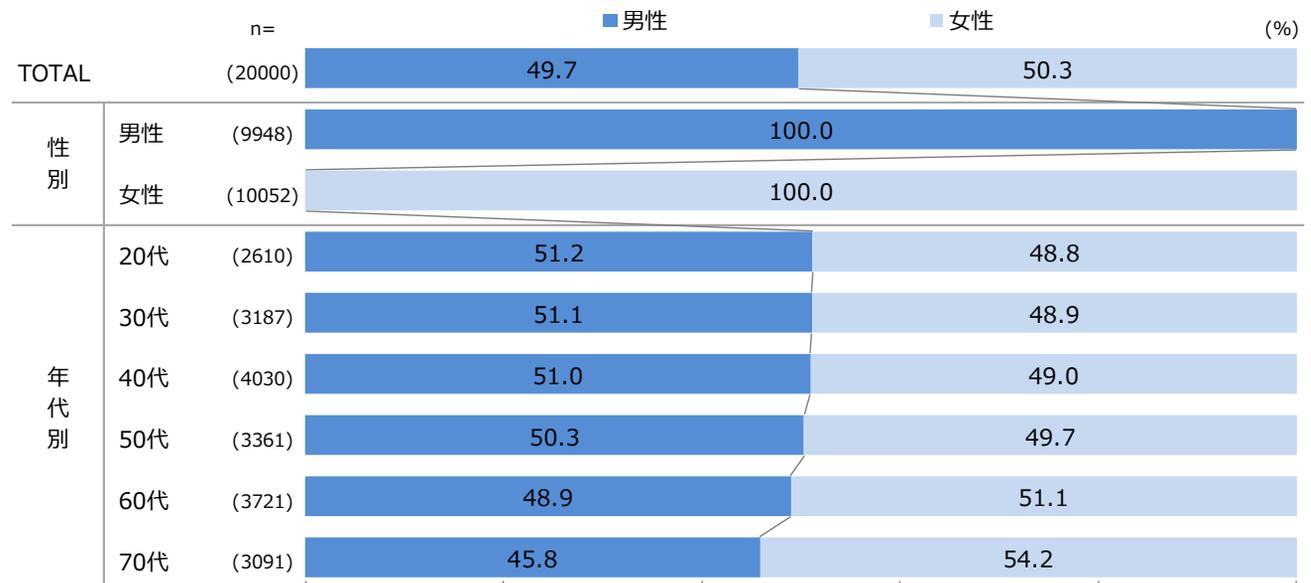
3. 回答者のプロフィール

(1) 性別・年代〔Q1:単数回答・Q2:自由記述回答〕

- 回答者の性別は「男性」が49.7%、「女性」が50.3%。平均年齢は50.2歳となっている。〔図3-1〕
- 投資信託保有状況別では、現在保有層および保有経験層、保有未経験層(金融資産保有経験有)で「男性」の方が多い。〔図3-3〕
- 投資信託の「現在保有層」は60代が最も高く、「保有経験層」は年代が上がるにつれて増加する傾向。〔図3-5〕



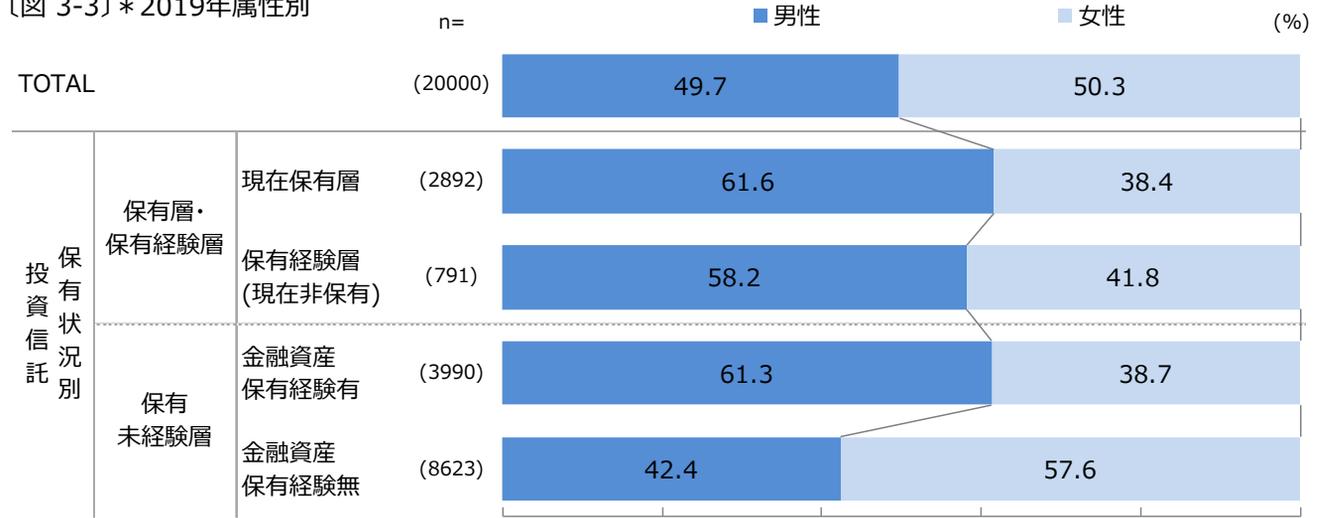
〔図 3-2〕* 2019年属性別



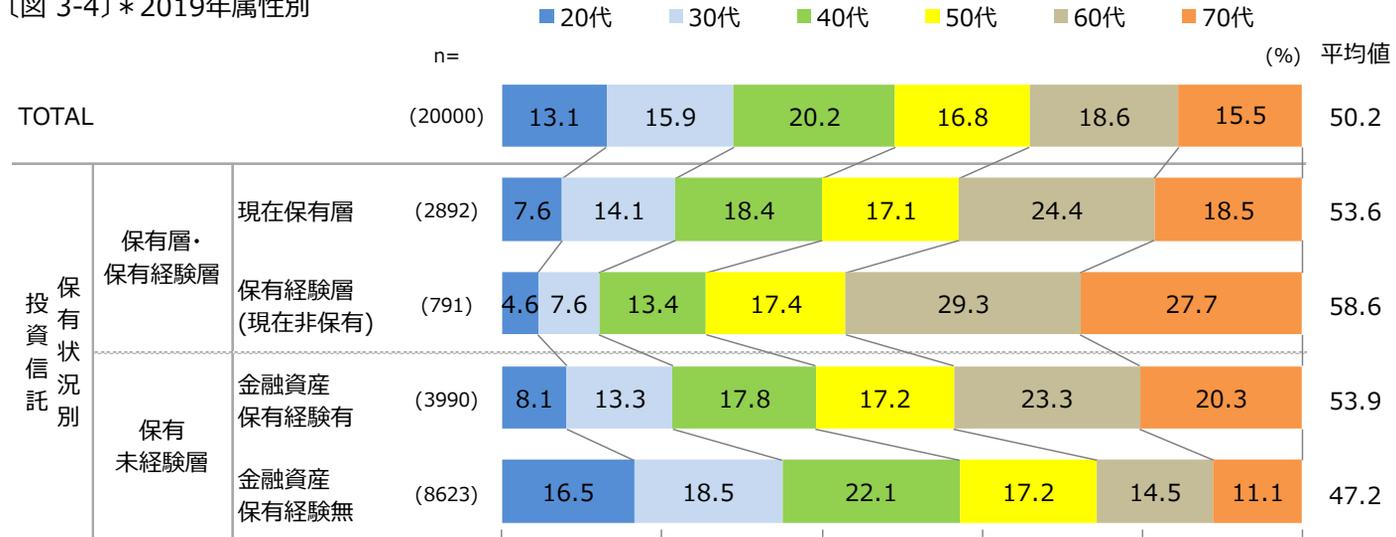
3. 回答者のプロフィール

(1) 性別・年代〔Q1:単数回答・Q2:自由記述回答〕

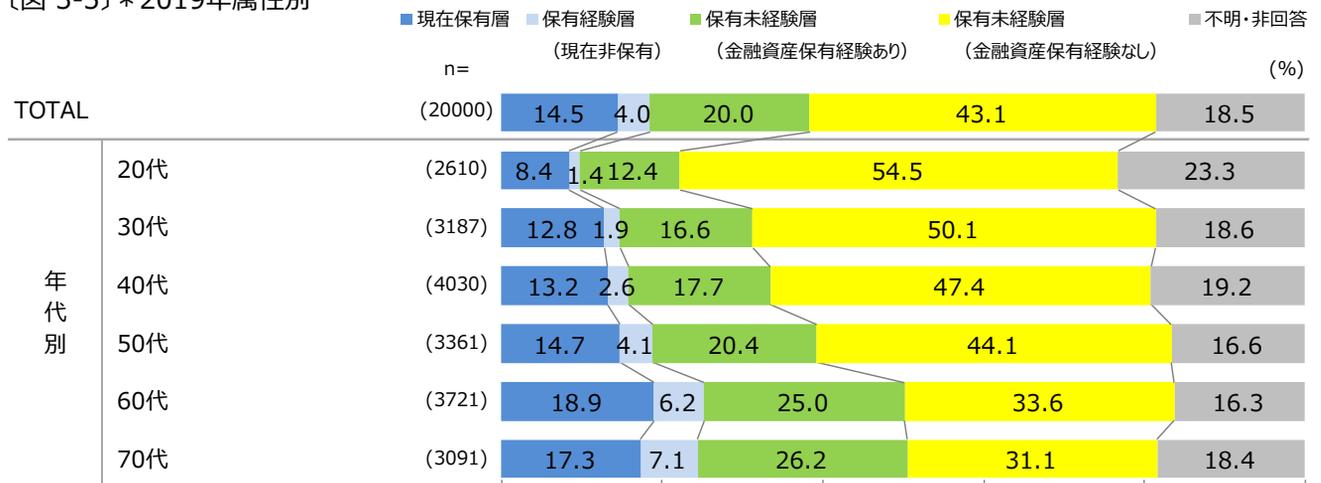
〔図 3-3〕* 2019年属性性別



〔図 3-4〕* 2019年属性性別



〔図 3-5〕* 2019年属性性別

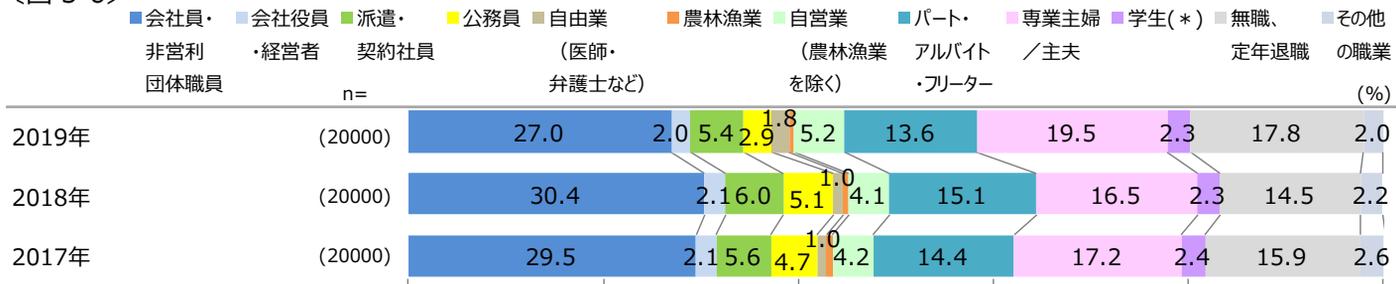


3. 回答者のプロフィール

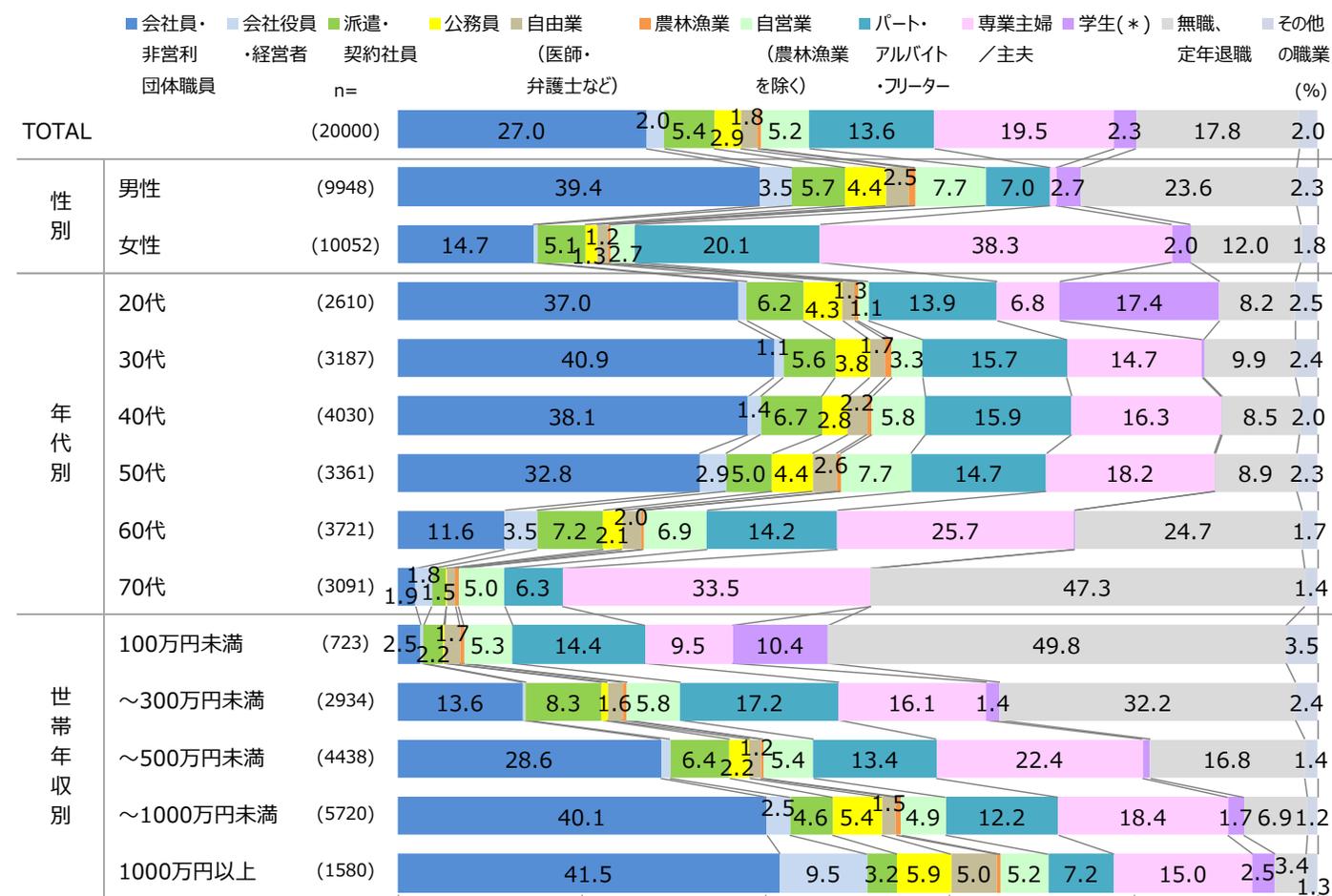
(2) 職業〔Q3:単数回答〕

- 回答者の職業は「会社員・非営利団体職員」(27.0%)が最も多く、世帯年収が上がるにつれて増加する傾向。また年収1,000万円以上の世帯では、「会社役員・経営者」(9.5%)がやや多い。〔図3-6〕〔図3-7〕
- 投資信託現在保有層では、他層に比べて「会社員・非営利団体職員」が、保有経験層では「無職、定年退職」が多い。〔図3-8〕

〔図 3-6〕



〔図 3-7〕* 2019年属性別



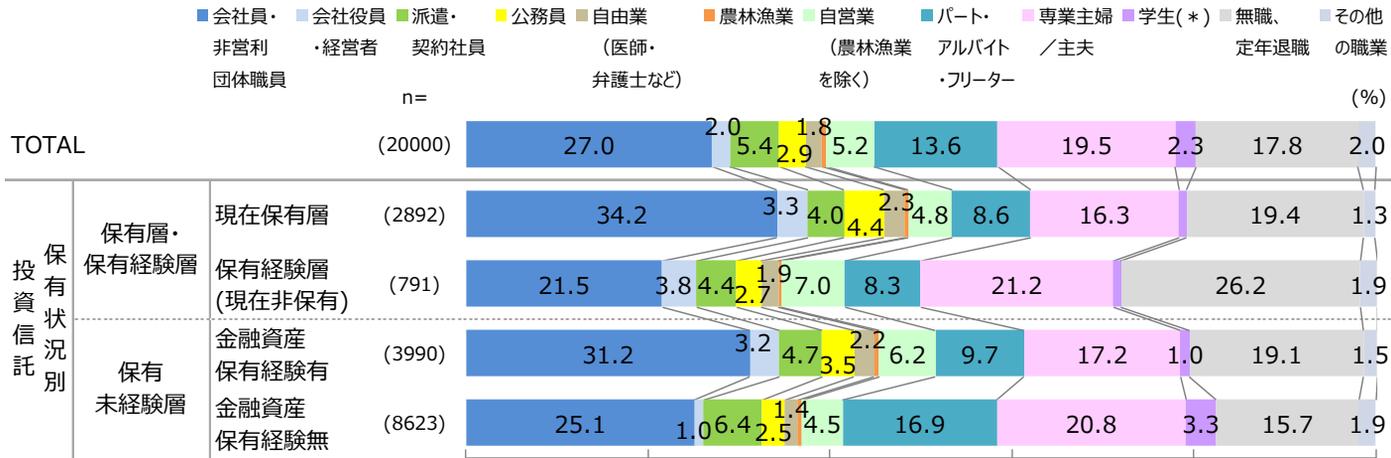
※1%未満の反応率は非表示

* 学生=大学生、大学院生、専門学校生、短大生、予備校生

3. 回答者のプロフィール

(2) 職業〔Q3:単数回答〕

〔図 3-8〕* 2019年属性別



※1%未満の反応率は非表示

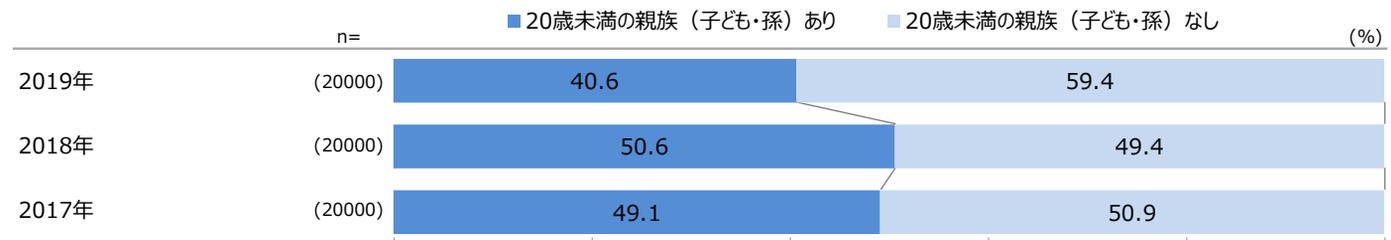
* 学生=大学生、大学院生、専門学校生、短大生、予備校生

3. 回答者のプロフィール

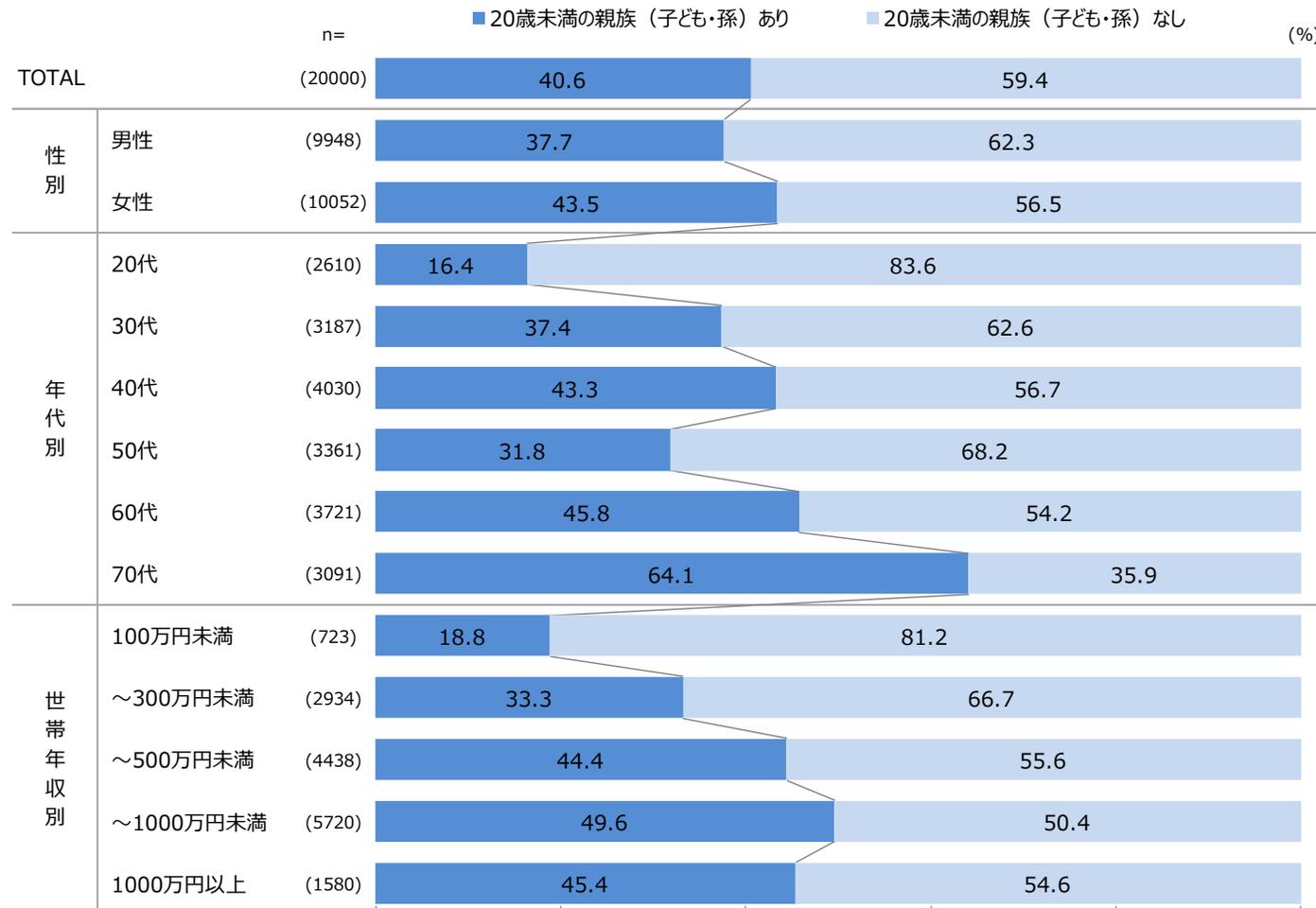
(3) 20歳未満の親族の有無〔Q4①②:単数回答〕

- 20歳未満の親族(子ども・孫)がいる人は40.6%で、前回からは10ポイント減少。50代で比率が低くなるものの、年代が上がるほど高くなる傾向。〔図3-9〕〔図3-10〕
* 今回の変動は調査パネル変更の影響も考えられる
- 20歳未満の子どもの数は、いずれの人数でも30代・40代で、20歳未満の孫の数は60代・70代で高い。〔図3-11〕〔図3-12〕

〔図 3-9〕【20歳未満の親族（子ども・孫）の有無】 ※ Q4①②の結果を加工して作成



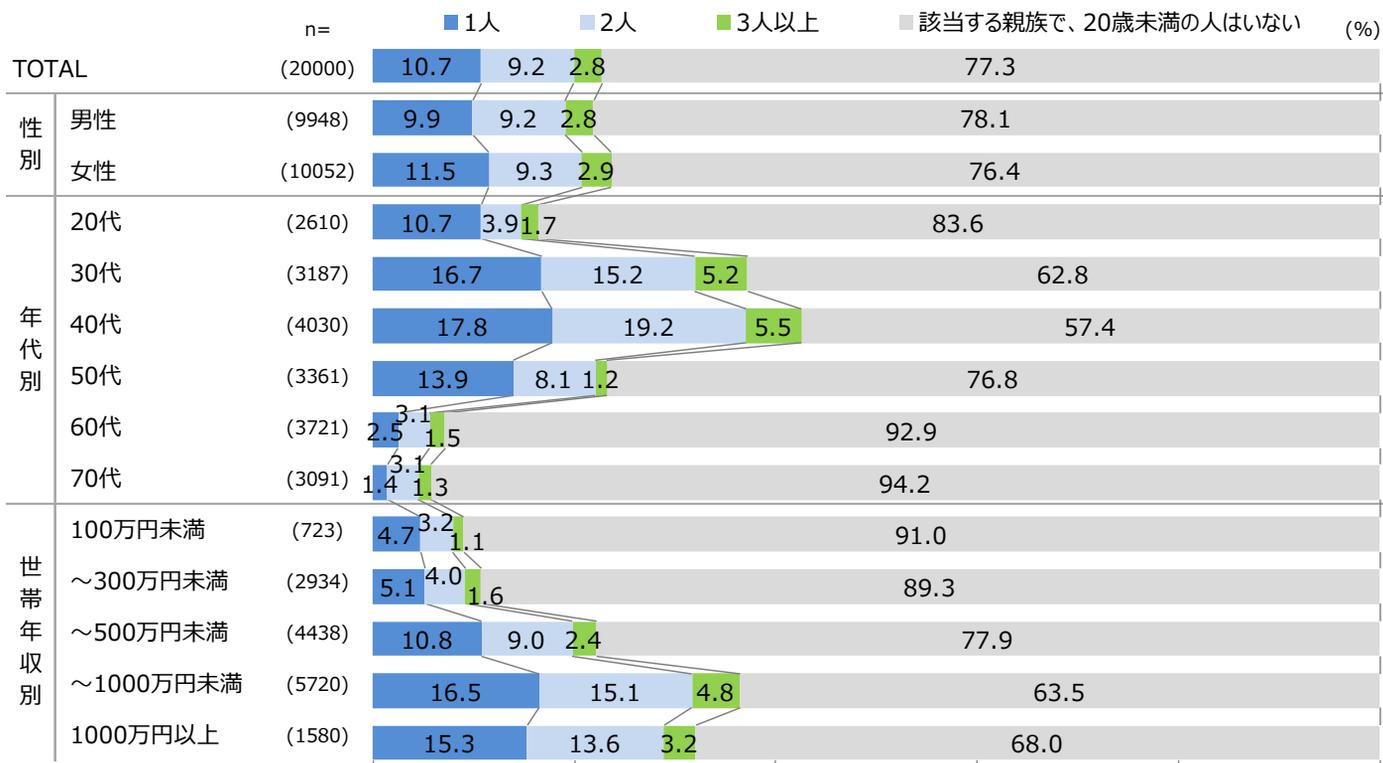
〔図 3-10〕【20歳未満の親族（子ども・孫）の有無】 ※ Q4①②の結果を加工して作成 * 2019年属性別



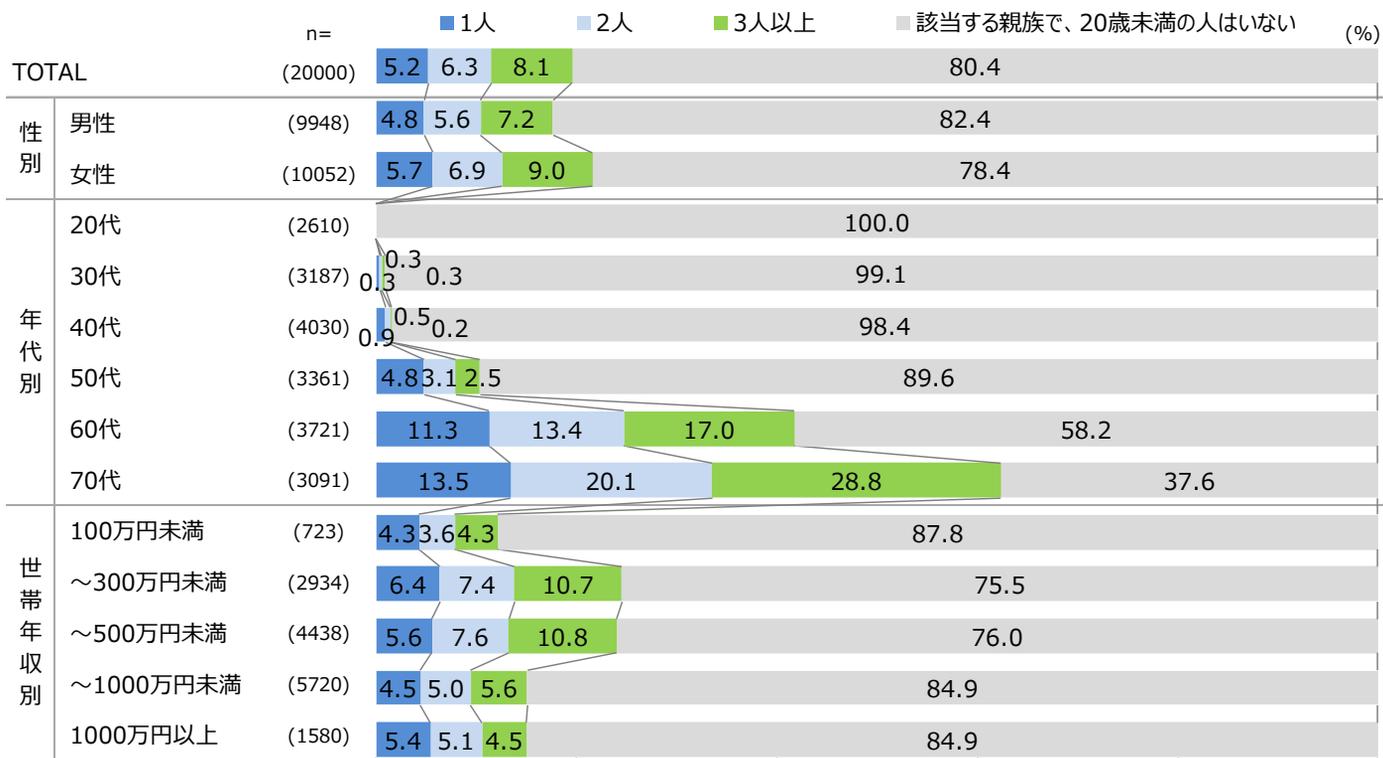
3. 回答者のプロフィール

(3) 20歳未満の親族の有無〔Q4①②:単数回答〕

〔図 3-11〕【Q4① 20歳未満の子どもの有無】 * 2019年属性別



〔図 3-12〕【Q4② 20歳未満の孫の有無】 * 2019年属性別



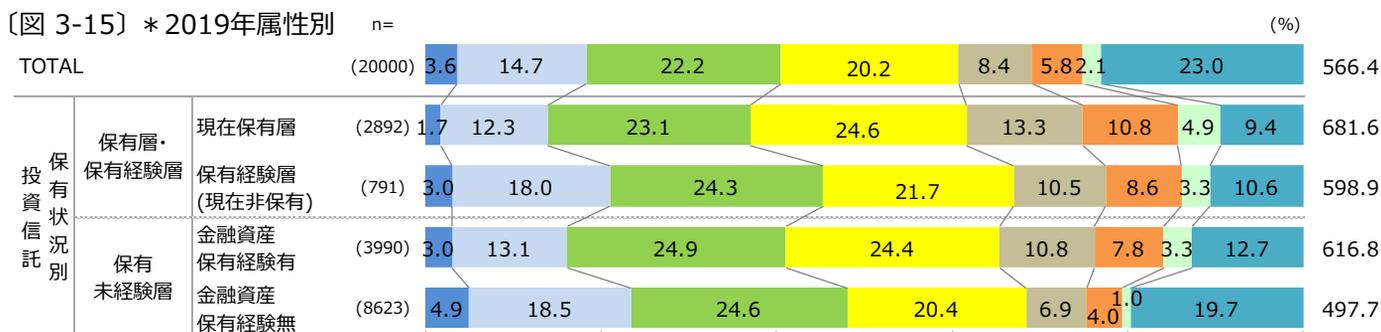
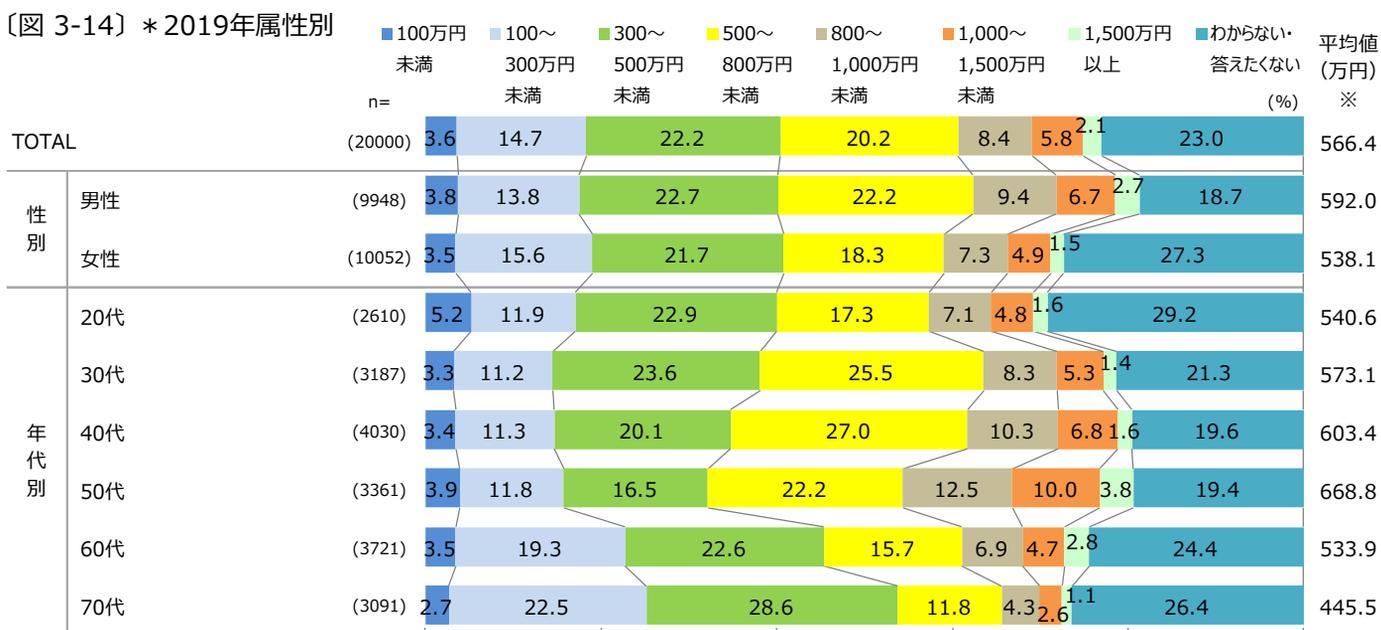
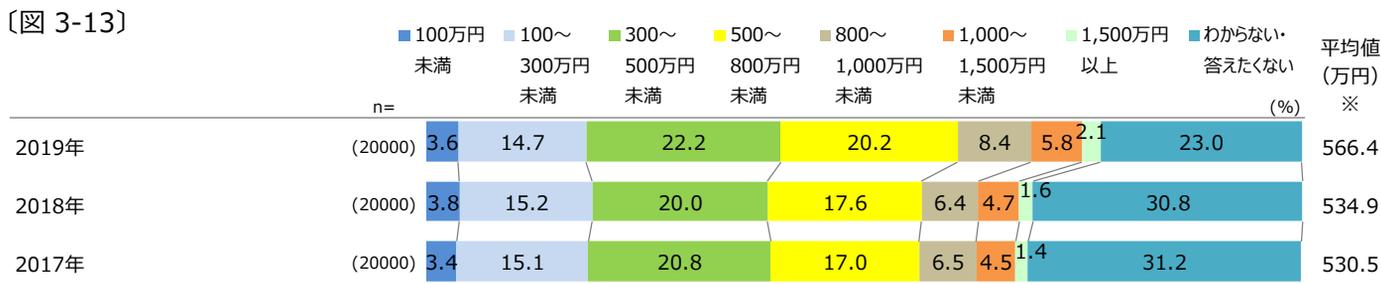
3. 回答者のプロフィール

(4) 世帯年収〔Q5①:単数回答〕

- 世帯年収は「300～500万円未満」(22.2%)、「500万円～800万円」(20.2%)がやや多く、平均値は「566.4万円」で前回は32万円ほど上回る。〔図3-13〕

* 今回の変動は調査パネル変更の影響も考えられる

- 投資信託現在保有層は平均値が「681.6万円」と他層に比べて高い。〔図3-15〕



※ 平均値は「わからない・答えたくない」を除いて算出。算出にあたってのウエイト値は以下の通り
 100万円未満：50万円 / 100～300万円未満：200万円 / 300～500万円未満：400万円 / 500～800万円未満：650万円
 800～1000万円未満：900万円 / 1000～1500万円未満：1250万円 / 1500万円以上：1750万円

3. 回答者のプロフィール

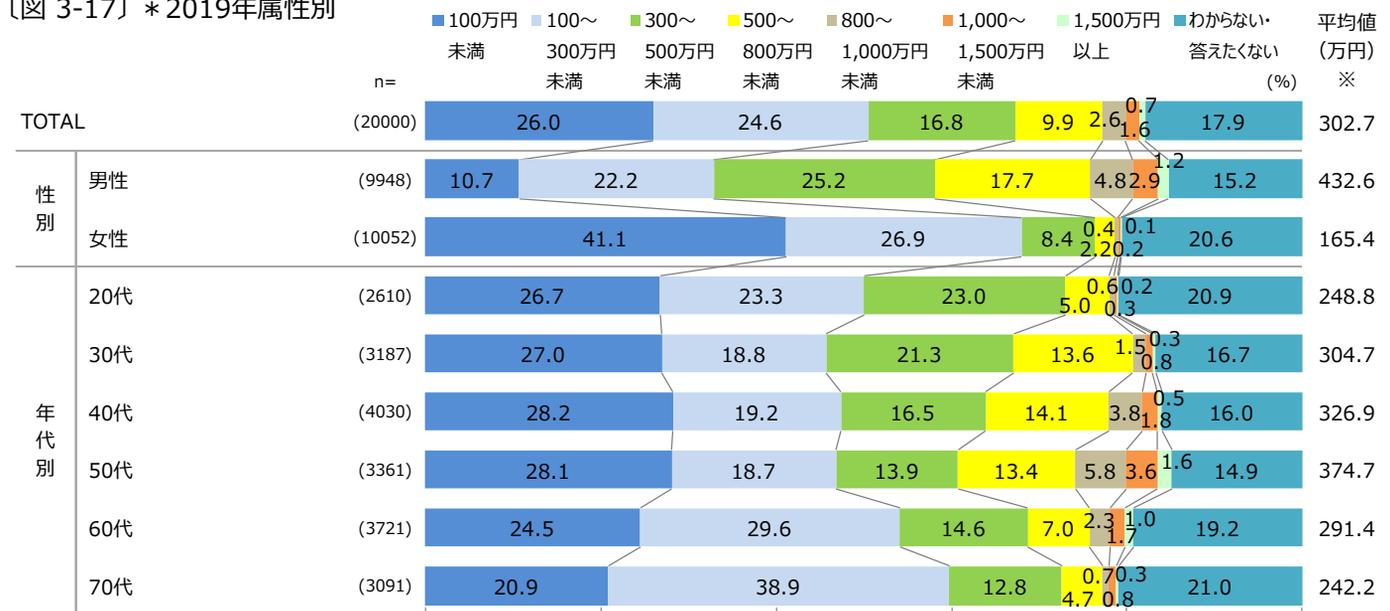
(4) 個人年収〔Q5②:単数回答〕

- 個人年収は「100万円未満」(26.0%)がやや多く、前回は8.5ポイント上回り、平均値は「302.7万円」と前回は30万円ほど下回る。〔図3-16〕 * 今回の変動は調査パネル変更の影響も考えられる
- 世帯年収と同様に、投資信託現在保有層では平均値が「423.3万円」と他層に比べて高い。〔図3-18〕

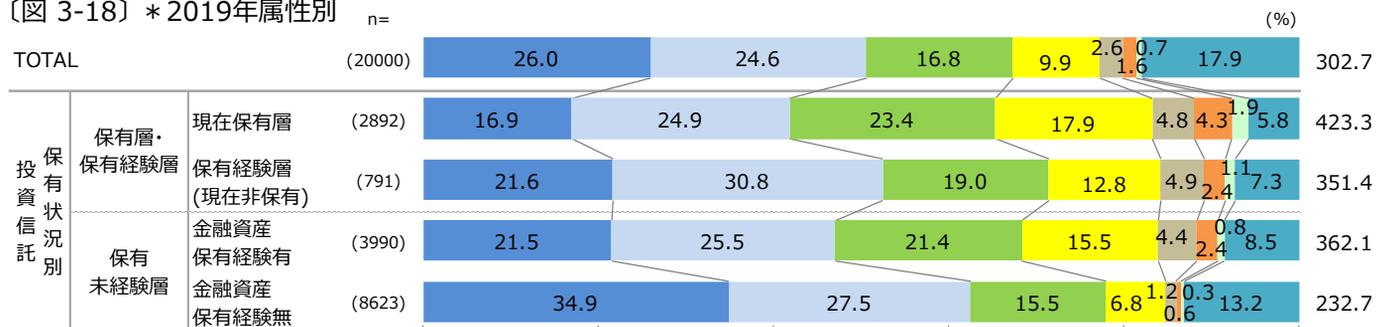
〔図 3-16〕



〔図 3-17〕 * 2019年属性別



〔図 3-18〕 * 2019年属性別



※ 平均値は「わからない・答えたくない」を除いて算出。算出にあたってのウエイト値は以下の通り

100万円未満：50万円 / 100~300万円未満：200万円 / 300~500万円未満：400万円 / 500~800万円未満：650万円
 800~1000万円未満：900万円 / 1000~1500万円未満：1250万円 / 1500万円以上：1750万円

3. 回答者のプロフィール

(5) 保有経験のある金融資産〔Q6①:重複回答〕

- 「投資信託」の保有経験率は17.5%と「国内株式」(28.1%)に次いで多く、「リート」は4.0%、「ETF」は2.8%にとどまる。「国内株式」の保有率は、前回に比べて5.1ポイント増加。〔図3-19〕

* 今回の変動は調査パネル変更の影響も考えられる

- 年代が上がるにつれて「投資信託」「リート」の保有経験率は増加するが、「ETF」は年代間での差はみられない。また、世帯年収別では、「投資信託」「ETF」「リート」いずれも高年収層ほど保有経験率が高くなる。〔図3-20〕

〔図 3-19〕

	n=	外貨 預金	国内 株式	外国 株式	投資 信託 (除く ETF、 リート)	ETF	不動産 投信 〔リート〕	個人 向け 国債	国内 債券 (個人向 け国債 除く)	外国 債券	先物、 オプション 、コモディ ティ商品 (金など)	FX	その他	この中 で保有 したもの はない	わから ない 答えた くない	(%)
2019年	(20000)	13.2	28.1	4.9	17.5	2.8	4.0	8.2	4.3	3.5	1.8	5.2	0.8	43.1	17.6	
2018年	(20000)	9.1	23.0	3.2	15.3	1.2	2.3	6.5	2.9	2.3	1.1	2.4	0.4	48.3	17.3	
2017年	(20000)	9.7	24.8	3.5	17.0	1.4	3.1	7.7	3.5	3.1	1.3	2.7	0.4	44.7	18.9	

〔図 3-20〕 * 2019年属性別

	n=	外貨 預金	国内 株式	外国 株式	投資 信託 (除く ETF、 リート)	ETF	不動産 投信 〔リート〕	個人 向け 国債	国内 債券 (個人向 け国債 除く)	外国 債券	先物、 オプション 、コモディ ティ商品 (金など)	FX	その他	この中 で保有 したもの はない	わから ない 答えた くない	(%)
TOTAL	(20000)	13.2	28.1	4.9	17.5	2.8	4.0	8.2	4.3	3.5	1.8	5.2	0.8	43.1	17.6	
性別																
男性	(9948)	15.7	37.0	6.4	21.1	4.6	5.3	8.0	5.2	4.0	2.9	8.7	1.0	36.8	15.1	
女性	(10052)	10.8	19.2	3.3	14.0	1.1	2.8	8.4	3.4	3.0	0.6	1.7	0.6	49.4	20.0	
年代別																
20代	(2610)	6.4	13.0	2.8	8.4	2.2	1.8	1.7	1.8	1.0	1.6	3.3	0.8	54.5	23.0	
30代	(3187)	10.0	20.8	4.3	14.0	3.3	2.8	2.9	2.2	1.8	1.4	8.3	0.8	50.1	18.2	
40代	(4030)	12.5	23.2	3.5	15.0	3.1	3.0	5.2	2.7	2.0	1.6	6.6	0.5	47.4	18.2	
50代	(3361)	15.5	27.4	5.2	18.3	2.7	4.0	9.0	4.3	3.2	2.0	5.9	0.7	44.1	15.7	
60代	(3721)	17.7	38.2	6.2	24.3	3.2	6.0	14.4	7.0	6.2	2.4	4.1	1.0	33.6	14.9	
70代	(3091)	15.4	43.2	6.9	23.0	2.2	6.1	15.0	7.4	6.3	1.6	2.2	0.9	31.1	16.6	
世帯 年収 別																
100万円未満	(723)	8.9	17.0	3.2	9.4	1.2	1.7	5.4	2.2	2.1	1.1	4.7	0.7	58.9	13.3	
~300万円未満	(2934)	11.7	25.0	4.2	16.1	2.3	3.8	9.0	3.5	3.4	1.7	4.6	0.8	54.3	9.7	
~500万円未満	(4438)	12.6	30.2	3.8	18.6	2.7	3.7	8.0	4.3	3.4	1.6	5.3	1.0	47.9	9.5	
~1000万円未満	(5720)	16.8	35.4	6.4	22.2	3.8	5.0	9.4	5.8	4.3	2.0	6.6	0.9	41.1	10.0	
1000万円以上	(1580)	27.8	48.3	12.5	32.4	6.5	9.9	14.4	8.2	6.7	4.8	10.4	1.6	27.3	9.1	

3. 回答者のプロフィール

(6) 現在保有している金融資産〔Q6②:重複回答〕

- 「投資信託」の現在保有率は13.4%と「国内株式」(22.9%)に次いで高い。「リート」は2.6%、「ETF」は1.7%にとどまる。「国内株式」の保有率は前回より4.8ポイント増加。〔図3-21〕

* 今回の変動は調査パネル変更の影響も考えられる

- 保有経験率と同様、年代が上がるにつれて「投資信託」「リート」の現在保有率は増加傾向だが、「ETF」は年代間での差はみられない。また、世帯年収別では、高年収層ほど「投資信託」「ETF」「リート」いずれも現在保有率が高くなる。〔図3-22〕

〔図 3-21〕

	n=	外貨 預金	国内 株式	外国 株式	投資 信託 (除く ETF、 リート)	ETF	不動産 投信 (リート)	個人 向け 国債	国内 債券 (個人向 け国債 除く)	外国 債券	先物、 オプション 、コモディ ティ商品 (金など)	FX	その他	この中 で保有 しているも のではない	わから ない・ 答えた くない	(%)
2019年	(20000)	8.2	22.9	3.0	13.4	1.7	2.6	3.2	2.3	2.2	0.6	2.9	0.7	47.9	18.5	
2018年	(20000)	5.2	18.1	1.9	11.2	0.8	1.5	2.8	1.7	1.6	0.4	1.3	0.3	55.1	17.4	
2017年	(20000)	5.3	19.5	2.0	12.6	0.8	2.0	3.1	1.8	1.9	0.4	1.5	0.3	52.3	18.4	

〔図 3-22〕 * 2019年属性別

	n=	外貨 預金	国内 株式	外国 株式	投資 信託 (除く ETF、 リート)	ETF	不動産 投信 (リート)	個人 向け 国債	国内 債券 (個人向 け国債 除く)	外国 債券	先物、 オプション 、コモディ ティ商品 (金など)	FX	その他	この中 で保有 しているも のではない	わから ない・ 答えた くない	(%)
TOTAL	(20000)	8.2	22.9	3.0	13.4	1.7	2.6	3.2	2.3	2.2	0.6	2.9	0.7	47.9	18.5	
性別																
男性	(9948)	9.9	30.4	4.0	16.3	2.9	3.2	3.4	2.9	2.5	1.0	5.1	1.0	41.9	16.1	
女性	(10052)	6.5	15.5	1.9	10.6	0.6	1.9	3.1	1.8	1.8	0.3	0.8	0.5	53.8	20.9	
年代別																
20代	(2610)	4.7	11.1	2.1	7.0	1.5	1.1	1.0	1.0	0.7	0.9	2.2	0.7	55.6	23.3	
30代	(3187)	7.5	17.7	3.5	11.9	2.4	2.0	1.7	1.5	1.3	0.8	4.8	0.8	52.4	18.6	
40代	(4030)	8.5	19.4	2.2	12.2	2.0	2.0	2.3	1.5	1.0	0.6	3.8	0.5	51.0	19.2	
50代	(3361)	9.7	22.5	3.2	13.8	1.6	2.5	3.5	2.8	1.9	0.7	3.6	0.7	49.8	16.6	
60代	(3721)	9.9	30.8	3.4	18.2	1.8	3.5	5.0	3.4	3.9	0.6	1.9	0.9	41.3	16.3	
70代	(3091)	7.8	33.7	3.1	15.8	1.1	4.1	5.5	3.6	3.9	0.3	1.0	0.9	38.6	18.4	
世帯 年収 別																
100万円未満	(723)	5.1	13.1	1.1	5.8	0.4	1.0	2.1	1.4	1.5	0.1	3.0	0.7	63.2	14.5	
~300万円未満	(2934)	6.5	19.2	2.0	11.0	1.3	2.2	3.3	1.7	1.9	0.5	2.4	0.7	60.0	10.9	
~500万円未満	(4438)	7.4	24.2	2.1	14.1	1.8	2.3	3.1	2.0	2.1	0.5	2.9	0.9	53.9	10.4	
~1000万円未満	(5720)	11.0	29.4	4.0	17.8	2.4	3.4	3.8	3.3	2.8	0.5	3.7	0.8	46.0	10.8	
1000万円以上	(1580)	18.7	42.9	9.2	26.1	4.5	6.6	6.6	5.3	4.4	2.5	6.6	1.6	31.8	10.0	

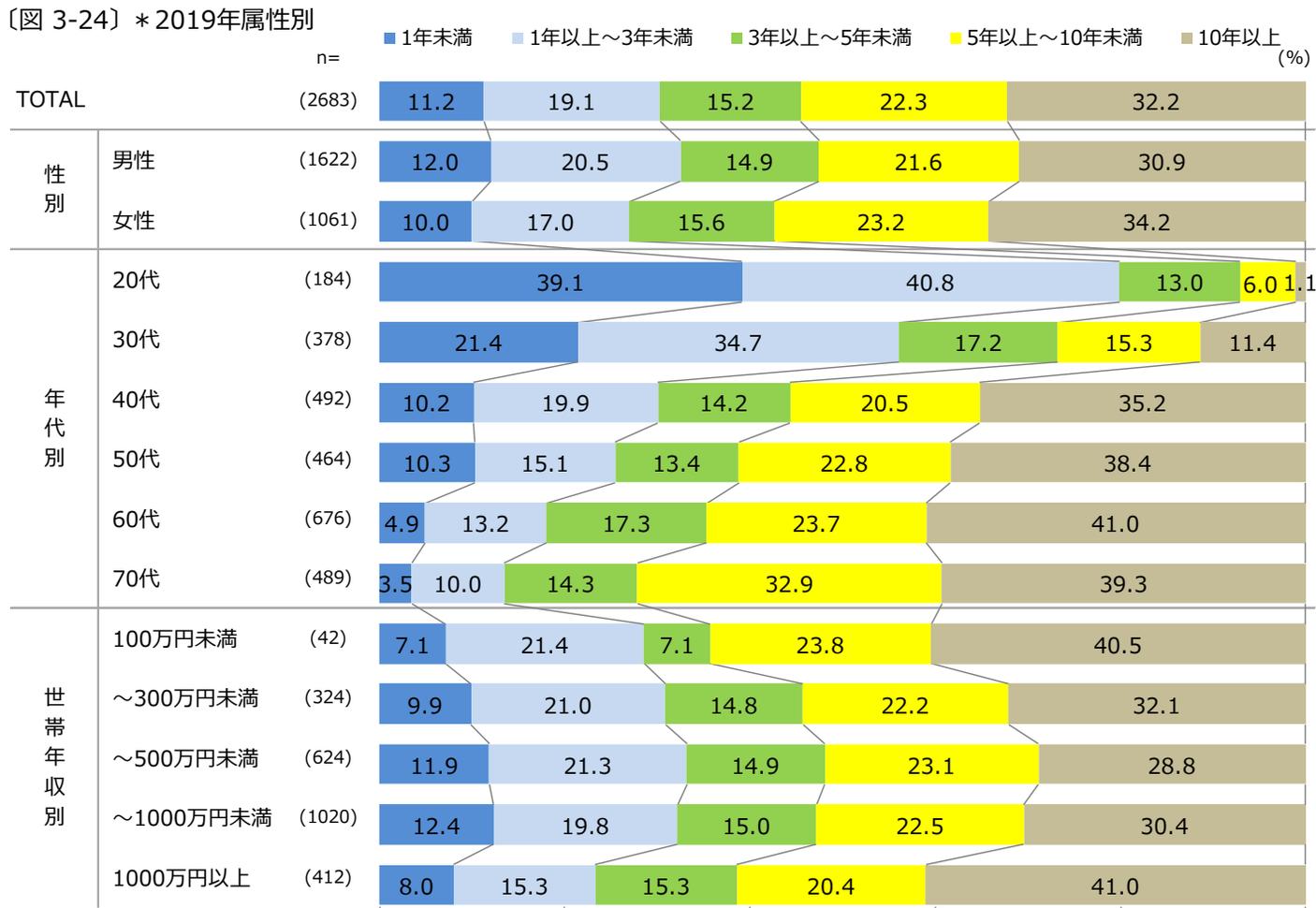
3. 回答者のプロフィール

(7) 投資信託の保有期間（投資信託現在保有者）〔Q7①:単数回答〕

- 投資信託(ETF、リートを除く)の保有期間は、前回から「10年以上」(32.2%)がやや増加し、『5年以上計』(54.5%)が半数以上を占める。〔図3-23〕 * 今回の変動は調査パネル変更の影響も考えられる
- 60代をピークに、年代が上がるほど長期保有率が高くなる傾向。〔図3-24〕



【5年以上計】 2019年 54.5% / 2018年 50.9% / 2017年 54.1%



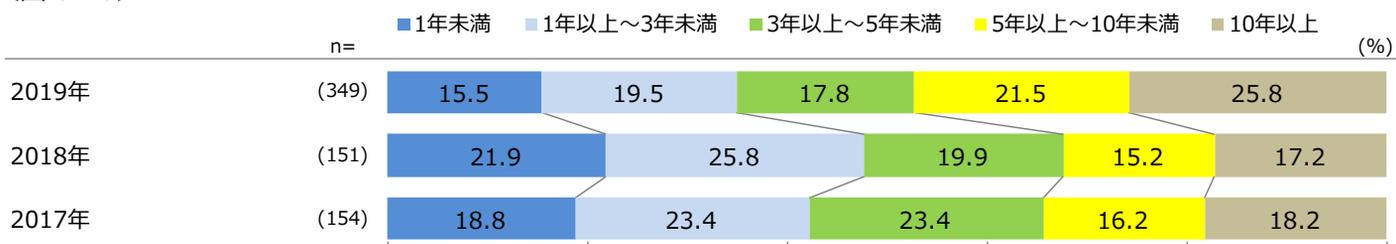
3. 回答者のプロフィール

(7) ETFの保有期間（ETF現在保有者）〔Q7②:単数回答〕

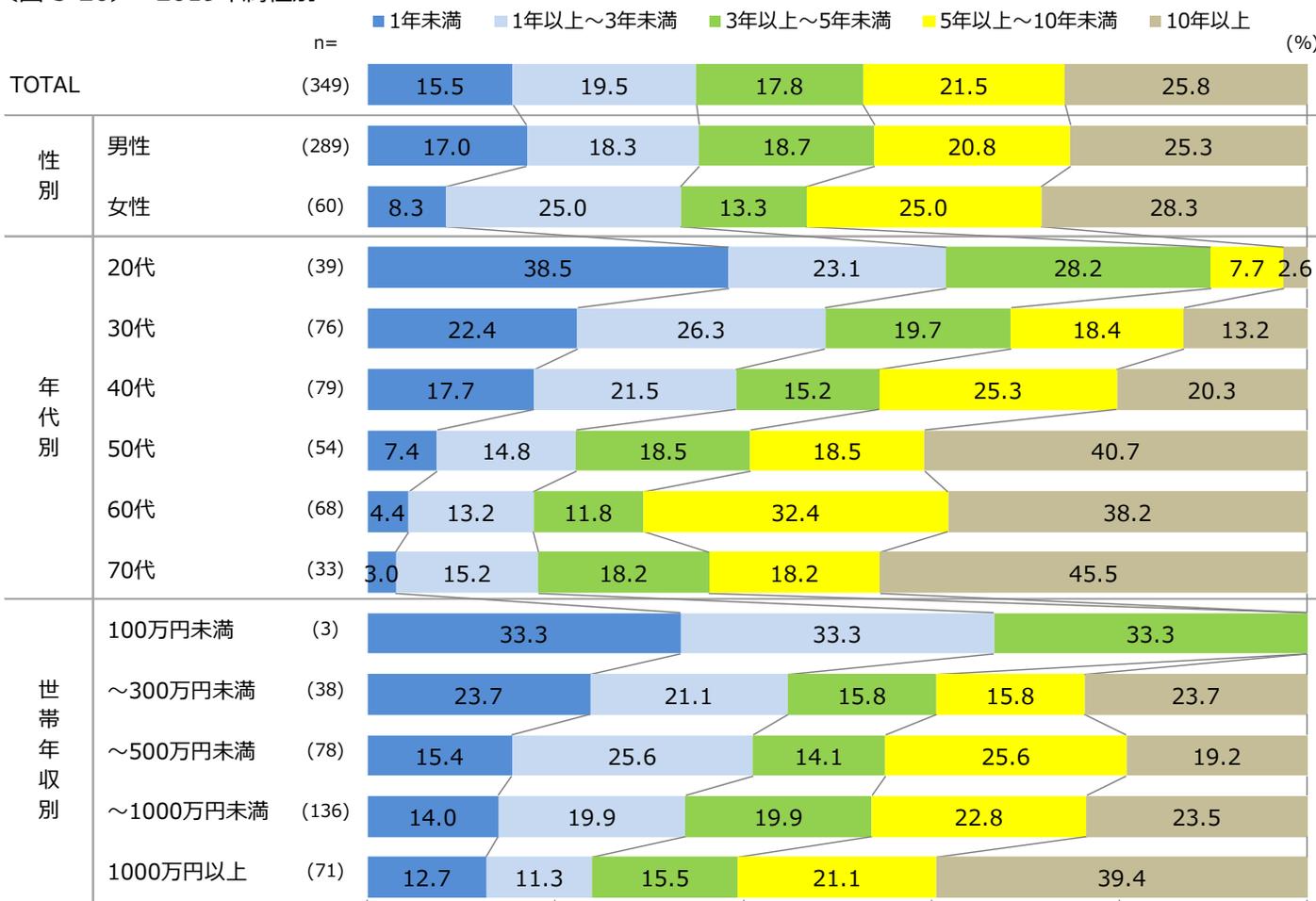
- ETFの保有期間は、「1年未満」(15.5%)が前回より6.4ポイント減少した一方、「10年以上」(25.8%)が8.6ポイント増加した。〔図3-25〕

* 今回の変動は調査パネル変更の影響も考えられる

〔図 3-25〕



〔図 3-26〕 * 2019年属性別



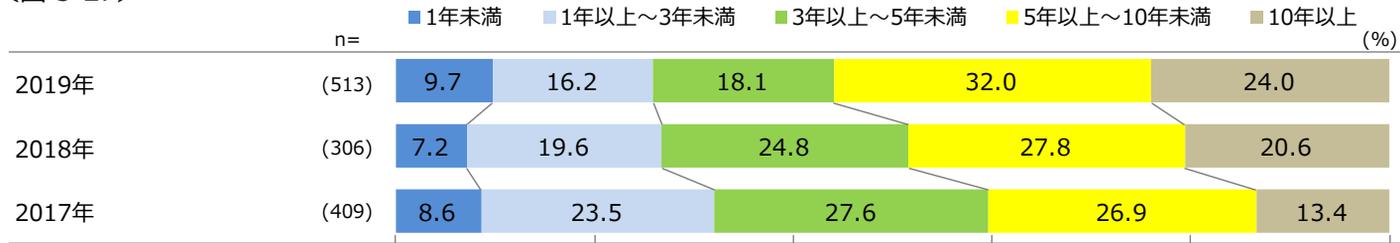
3. 回答者のプロフィール

(7) Jリート保有期間（Jリート現在保有者）〔Q7③:単数回答〕

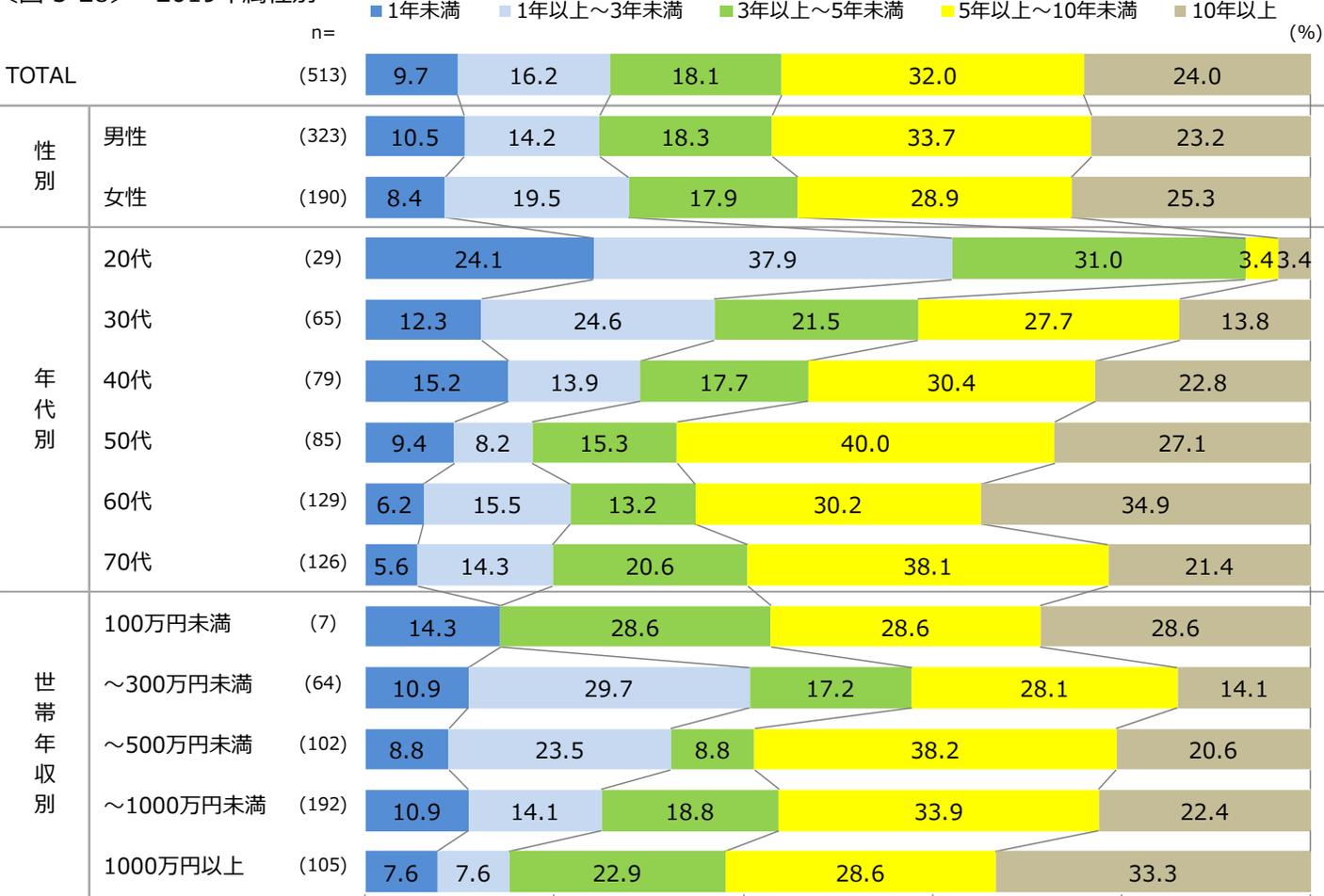
- Jリートの保有期間は、「5年以上～10年未満」「10年以上」が2017年から増加傾向が続く。〔図3-27〕 * 今回の変動は調査パネル変更の影響も考えられる

- 年代別では60代をピークに年代が上がるほど、世帯年収別では「～300万円未満」以上の層で年収が上がるほど、「10年以上」の長期保有率が高くなる傾向。〔図3-28〕

〔図 3-27〕



〔図 3-28〕 * 2019年属性別



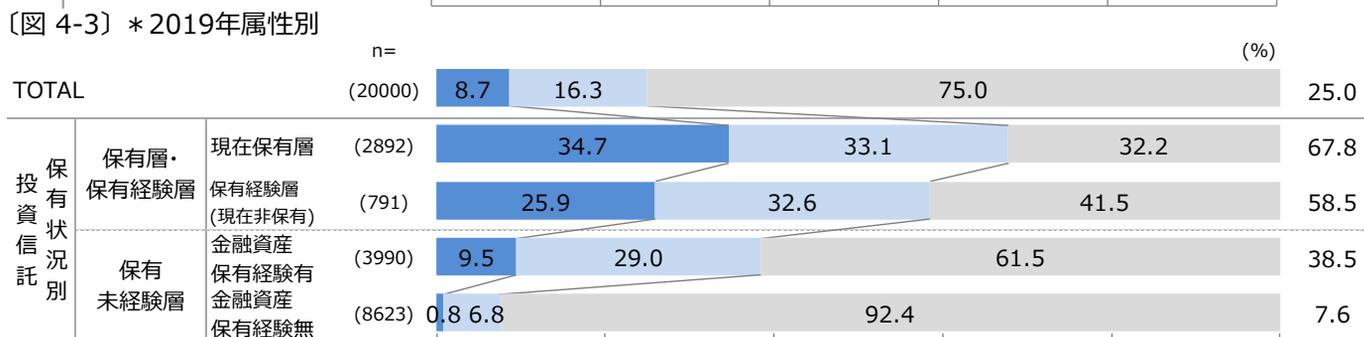
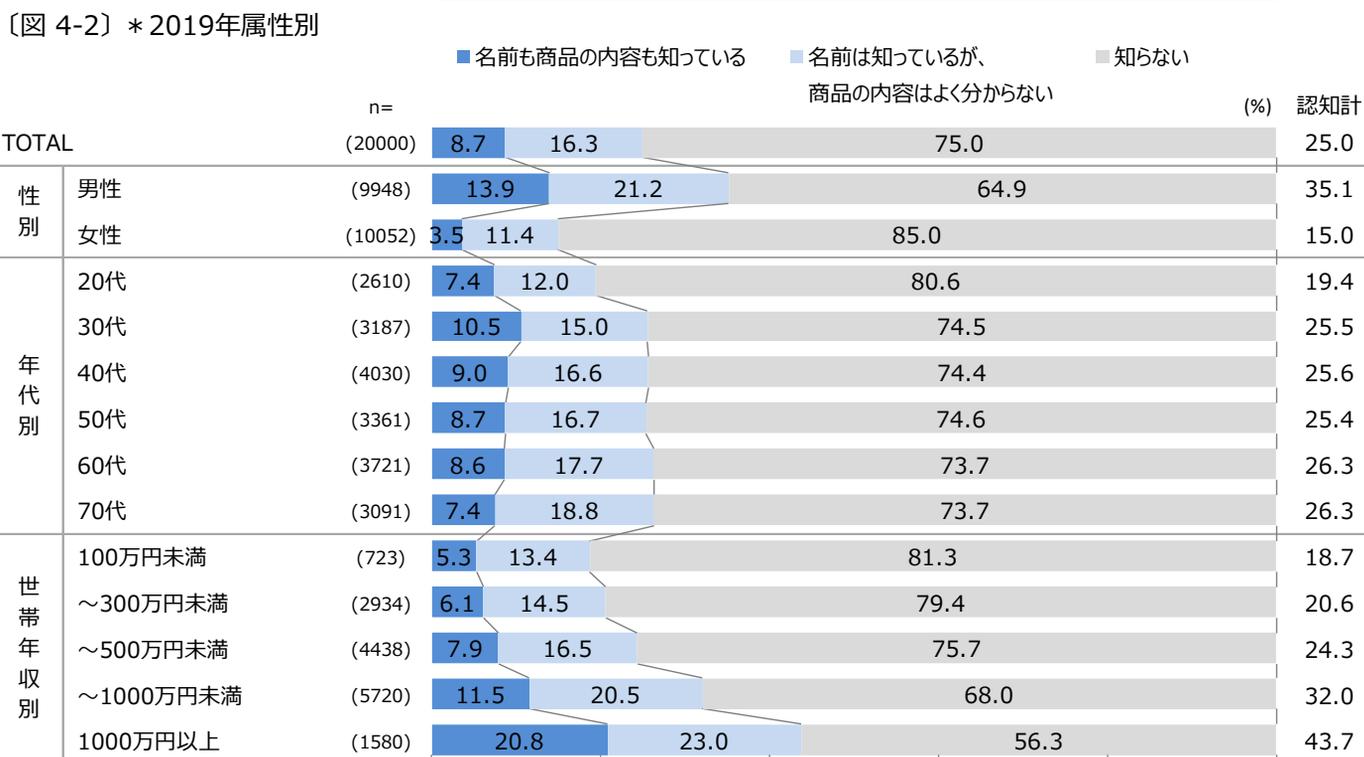
4. ETF、Jリートへの浸透状況、今後の購入意向



4. ETF、Jリートへの浸透状況、今後の購入意向

(1) ETFの認知状況〔Q8①:単数回答〕

- ETFの認知率(認知計：25.0%)、商品内容認知率(8.7%)ともに前回より増加傾向。
〔図4-1〕 * 今回の変動は調査パネル変更の影響も考えられる
- 年代別では、20代で認知率がやや低い。世帯年収別では年収が上がるほど認知率が高くなる。〔図4-2〕
- 投資信託現在保有層の認知率は67.8%と、他層に比べて高い。〔図4-3〕



4. ETF、Jリートへの浸透状況、今後の購入意向

(2) ETFの特徴認知(ETF認知者)(Q9①:複数回答)

- ETFの特徴の認知は、前回同様に「元本保証はない」(62.1%)が特に高いが、前回に比べていずれの項目でも認知率が増加している。〔図4-4〕 * 今回の変動は調査パネル変更の影響も考えられる
- いずれの項目も「100万円未満」で認知率が低く、年収が上がるほど認知率が高くなる項目が多い。〔図4-5〕
- ETF現在保有層では、いずれの項目もほぼ70%以上の認知率となっている。〔図4-6〕

〔図 4-4〕

	n=	元本保証 はない	証券会社 ごとに購入時 の手数料が 異なる	分散投資が できるのでリス ク低減が期待 できる	ETFはその時々 の取引 価格が購入 価額となる	成行・ 指値注文 が可能	手数料は 一般的な 投資信託 より低い	指数などに 連動するの で値動きが わかりやすい	わからない ・特にな い	(%)
2019年	(4993)	62.1	40.0	39.0	35.1	34.0	31.0	30.9	27.3	
2018年	(4154)	54.9	32.2	24.6	21.8	21.5	15.9	18.6	32.5	
2017年	(4268)	56.5	35.3	24.9	24.5	25.0	17.9	20.0	31.1	

〔図 4-5〕 * 2019年属性別

	n=	元本保証 はない	証券会社 ごとに購入時 の手数料が 異なる	分散投資が できるのでリス ク低減が期待 できる	ETFはその時々 の取引 価格が購入 価額となる	成行・ 指値注文 が可能	手数料は 一般的な 投資信託 より低い	指数などに 連動するの で値動きが わかりやすい	わからない ・特にな い	(%)
TOTAL	(4993)	62.1	40.0	39.0	35.1	34.0	31.0	30.9	27.3	
性別										
男性	(3490)	63.1	40.1	40.4	38.1	37.0	32.7	33.2	26.2	
女性	(1503)	59.8	39.7	35.9	28.1	27.0	27.1	25.7	29.9	
年代別										
20代	(506)	54.3	35.4	36.4	35.8	33.0	31.6	24.5	22.9	
30代	(813)	60.4	39.6	43.1	37.5	36.2	36.2	33.1	23.0	
40代	(1031)	59.0	38.2	38.4	32.7	31.2	29.5	29.4	29.6	
50代	(853)	64.2	38.1	37.3	32.5	31.2	29.0	32.4	29.3	
60代	(978)	67.1	43.4	39.4	37.8	36.5	31.9	33.5	26.3	
70代	(812)	64.3	43.5	38.8	34.7	36.1	28.4	30.2	30.8	
世帯 年収別										
100万円未満	(135)	54.1	17.0	28.1	24.4	20.0	21.5	25.9	35.6	
~300万円未満	(604)	62.9	40.1	38.6	35.1	38.2	29.8	32.5	28.6	
~500万円未満	(1080)	63.4	40.1	39.3	34.4	34.3	30.2	31.5	26.6	
~1000万円未満	(1830)	64.0	42.0	41.1	37.3	35.4	32.6	30.6	23.1	
1000万円以上	(691)	69.0	45.2	45.7	41.1	37.8	39.7	37.2	20.0	

〔図 4-6〕 * 2019年属性別

	n=	元本保証 はない	証券会社 ごとに購入時 の手数料が 異なる	分散投資が できるのでリス ク低減が期待 できる	ETFはその時々 の取引 価格が購入 価額となる	成行・ 指値注文 が可能	手数料は 一般的な 投資信託 より低い	指数などに 連動するの で値動きが わかりやすい	わからない ・特にな い	(%)
TOTAL	(4993)	62.1	40.0	39.0	35.1	34.0	31.0	30.9	27.3	
ETF 認知別										
商品内容認知層	(1733)	82.7	63.5	63.9	66.0	61.9	59.1	59.1	6.4	
保有 状況 別										
保有層・ 保有 経験層										
現在保有層	(349)	89.4	74.2	75.6	78.8	75.4	69.9	71.9	1.7	
保有経験層 (現在非保有)	(216)	89.8	75.9	69.0	75.9	75.0	68.5	65.3	3.7	
認知・ 保有 未経験層										
金融資産 保有経験有 金融資産 保有経験無	(3394)	66.0	41.1	39.5	34.3	33.6	30.4	29.7	22.8	
金融資産 保有経験無	(654)	36.5	17.9	19.9	15.0	13.5	12.1	13.5	51.7	

4. ETF、Jリートへの浸透状況、今後の購入意向

(3) ETFの魅力点〔Q9②:重複回答〕

- ETFの魅力点は、前回に比べて「分散投資ができるのでリスク低減が期待できる」(14.9%)、「手数料は一般的な投資信託より低い」(10.3%)がやや増加している。〔図4-7〕

* 今回の変動は調査パネル変更の影響も考えられる

- 年収が上がるほど、多くの項目も高くなる傾向。〔図4-8〕
- ETF現在保有層では「分散投資ができるのでリスク低減が期待できる」(53.9%)が最も高い。〔図4-9〕

〔図 4-7〕

	n=	分散投資ができるので リスク低減が期待できる	手数料は一般的な 投資信託より低い	指数などに 連動するので 値動きがわかりやすい	成行・ 指値注文 が可能	ETFはその 時々の取引 価格が購入 価額となる	元本保証 はない	証券会社ごと に購入時の 手数料が異なる	わからない ・特にな	(%)
2019年	(20000)	14.9	10.3	8.6	5.3	4.6	3.1	2.5	74.9	
2018年	(20000)	11.5	6.7	6.1	4.4	2.9	2.5	2.4	80.0	
2017年	(20000)	12.1	7.6	6.3	4.9	3.6	2.5	2.9	78.3	

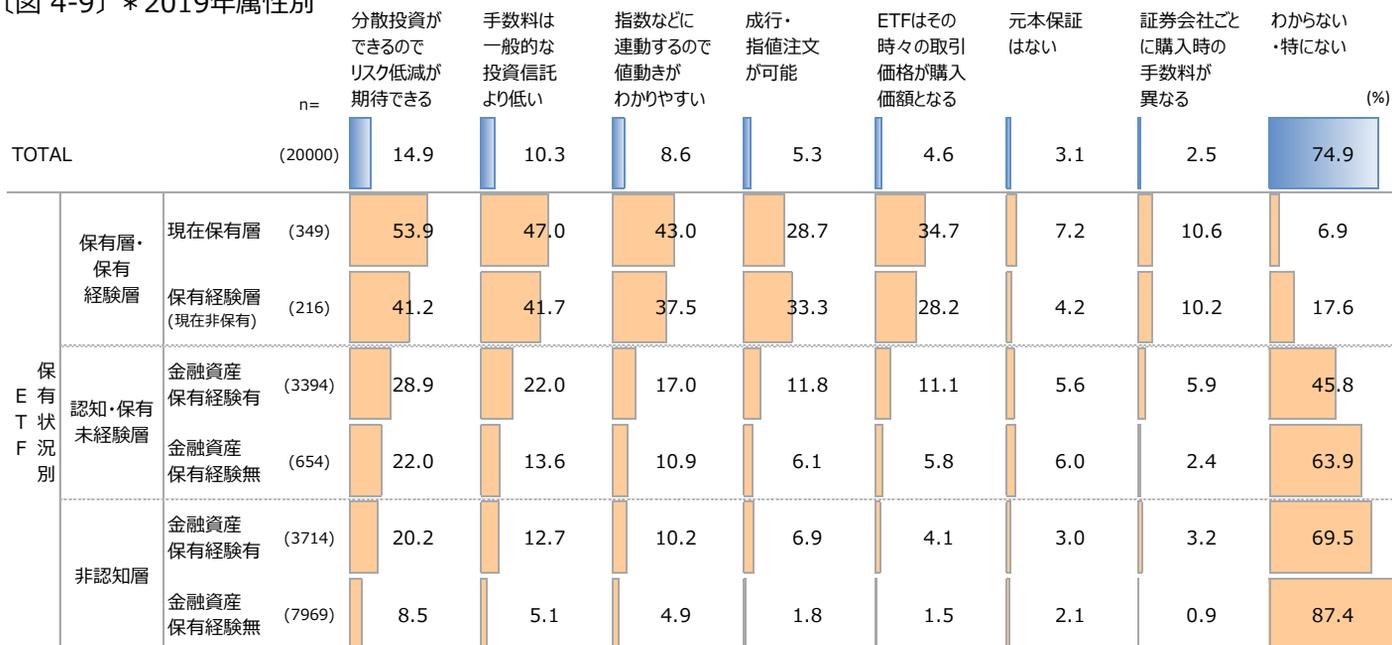
〔図 4-8〕 * 2019年属性別

	n=	分散投資ができるので リスク低減が期待できる	手数料は一般的な 投資信託より低い	指数などに 連動するので 値動きがわかりやすい	成行・ 指値注文 が可能	ETFはその 時々の取引 価格が購入 価額となる	元本保証 はない	証券会社ごと に購入時の 手数料が異なる	わからない ・特にな	(%)
TOTAL	(20000)	14.9	10.3	8.6	5.3	4.6	3.1	2.5	74.9	
性別										
男性	(9948)	16.7	11.7	10.3	7.1	6.4	4.0	3.2	69.9	
女性	(10052)	13.2	8.9	7.0	3.6	2.8	2.3	1.8	79.9	
年代別										
20代	(2610)	16.6	11.3	9.5	7.0	6.5	6.9	2.7	68.3	
30代	(3187)	19.9	13.6	11.0	6.3	6.0	5.6	3.1	66.9	
40代	(4030)	14.7	10.1	8.4	4.1	4.6	3.2	2.5	75.2	
50代	(3361)	13.4	9.8	8.4	4.1	3.1	1.9	2.0	78.2	
60代	(3721)	13.2	9.1	7.6	5.3	4.0	1.2	2.3	79.0	
70代	(3091)	12.3	8.3	7.3	6.0	3.8	0.9	2.5	79.9	
世帯年収別										
100万円未満	(723)	10.8	6.1	6.9	3.0	2.9	3.9	1.5	80.2	
～300万円未満	(2934)	13.4	8.8	8.0	5.0	3.6	2.8	2.4	77.9	
～500万円未満	(4438)	16.3	11.2	9.5	6.1	4.8	3.2	2.7	73.1	
～1000万円未満	(5720)	20.0	14.1	11.3	7.3	6.7	4.1	3.3	66.2	
1000万円以上	(1580)	22.8	16.3	13.7	7.5	8.0	4.1	4.1	61.6	

4. ETF、Jリートへの浸透状況、今後の購入意向

(3) ETFの魅力点〔Q9②:重複回答〕

〔図 4-9〕 * 2019年属性別



4. ETF、Jリートへの浸透状況、今後の購入意向

(3) ETFの最魅力点〔Q9③:単数回答〕

- ETFの最魅力点は、前回から大きな変動はみられない。最も高い項目は、「分散投資ができるのでリスク低減が期待できる」(10.4%)。〔図4-10〕
- ETF現在保有層では、「分散投資ができるのでリスク低減が期待できる」(30.7%)が最も高く、「手数料は一般的な投資信託より低い」(24.6%)がこれに続き、この2項目が主な魅力点となっている模様。〔図4-12〕

〔図 4-10〕

	n=	分散投資ができるのでリスク低減が期待できる	手数料は一般的な投資信託より低い	指数などに連動するので値動きがわかりやすい	元本保証はない	ETFはその時々での取引価格が購入価額となる	成行・指値注文が可能	証券会社ごとに購入時の手数料が異なる	わからない・特にない	(%)
2019年	(20000)	10.4	4.8	3.3	2.2	2.0	1.9	0.6	74.9	
2018年	(20000)	8.7	2.9	2.7	1.7	1.3	1.8	0.9	80.0	
2017年	(20000)	9.1	3.3	3.1	1.6	1.5	2.2	1.0	78.3	

〔図 4-11〕 * 2019年属性別

	n=	分散投資ができるのでリスク低減が期待できる	手数料は一般的な投資信託より低い	指数などに連動するので値動きがわかりやすい	元本保証はない	ETFはその時々での取引価格が購入価額となる	成行・指値注文が可能	証券会社ごとに購入時の手数料が異なる	わからない・特にない	(%)
TOTAL	(20000)	10.4	4.8	3.3	2.2	2.0	1.9	0.6	74.9	
性別										
男性	(9948)	11.3	5.6	4.2	2.8	2.9	2.5	0.7	69.9	
女性	(10052)	9.4	3.9	2.4	1.7	1.0	1.2	0.4	79.9	
年代別										
20代	(2610)	11.6	5.1	3.5	5.1	3.1	2.6	0.7	68.3	
30代	(3187)	13.5	6.4	3.6	4.4	2.8	1.9	0.6	66.9	
40代	(4030)	10.0	5.1	3.6	2.1	2.0	1.4	0.6	75.2	
50代	(3361)	9.8	4.5	3.3	1.4	1.3	1.2	0.2	78.2	
60代	(3721)	9.2	3.8	3.5	0.7	1.5	1.8	0.6	79.0	
70代	(3091)	8.5	3.6	2.5	0.5	1.4	2.7	0.7	79.9	
世帯年収別										
100万円未満	(723)	6.5	3.2	3.6	3.7	1.0	1.1	0.7	80.2	
~300万円未満	(2934)	9.1	3.9	3.2	2.1	1.4	1.7	0.6	77.9	
~500万円未満	(4438)	11.5	5.0	3.4	2.3	1.9	2.2	0.5	73.1	
~1000万円未満	(5720)	13.7	6.5	4.3	2.8	3.0	2.7	0.7	66.2	
1000万円以上	(1580)	16.2	8.0	5.6	2.5	3.5	1.7	0.8	61.6	

4. ETF、Jリートへの浸透状況、今後の購入意向

(3) ETFの最魅力点〔Q9③:単数回答〕

〔図 4-12〕 * 2019年属性別



4. ETF、Jリートへの浸透状況、今後の購入意向

(4) ETFの不満点 (ETF内容認知者、保有経験者) [Q10①:重複回答]

- ETFの不満点は「リターン(収益)が低い」(27.5%)が最も高い。
また、前回から「仕組みや運用実績がわかりにくい」(24.8%)が5ポイント増加。〔図4-13〕

* 今回の変動は調査パネル変更の影響も考えられる

- ETF保有経験層では「株式に比べて面白さに欠ける」(27.3%)が、他層に比べて高い。
ETF保有層・保有経験層では、「分配金が少ない」「種類が多く選択に迷う」、
ETF認知・保有未経験層では「元本保証がない」がそれぞれ他層に比べてやや高い。〔図4-15〕

〔図 4-13〕

	n=	リターン (収益) が低い	仕組み や運用 実績が わかり にくい	専門知識 がないと 商品を選 びにくい	株式に 比べて 面白さに 欠ける	分配金 が少ない	元本 保証 がない	種類 が多く 選択に 迷う	購入後の 運用に関 する情報 が少ない	手続き がわずら わしい	その他	わから ない・ 特にな い
2019年	(1781)	27.5	24.8	22.6	21.9	21.7	19.1	19.0	17.2	7.9	1.3	25.9
2018年	(1104)	23.3	19.8	18.4	19.7	15.4	19.3	14.5	11.9	9.1	1.3	22.3
2017年	(1168)	21.7	13.4	18.7	19.9	15.8	30.6	15.2	12.5	7.7	1.5	21.3

〔図 4-14〕
* 2019年属性別

	n=	リターン (収益) が低い	仕組み や運用 実績が わかり にくい	専門知識 がないと 商品を選 びにくい	株式に 比べて 面白さに 欠ける	分配金 が少ない	元本 保証 がない	種類 が多く 選択に 迷う	購入後の 運用に関 する情報 が少ない	手続き がわずら わしい	その他	わから ない・ 特にな い
TOTAL	(1781)	27.5	24.8	22.6	21.9	21.7	19.1	19.0	17.2	7.9	1.3	25.9
性別												
男性	(1410)	27.7	23.7	20.7	21.8	21.8	16.4	17.5	16.5	7.6	1.3	27.7
女性	(371)	26.7	28.8	29.6	22.4	21.3	29.4	24.8	19.9	9.2	1.3	19.1
年代別												
20代	(201)	28.9	35.3	27.4	22.9	22.4	15.4	17.4	17.4	11.4	0.5	14.9
30代	(340)	29.7	26.2	21.2	21.8	18.5	16.2	17.4	16.8	8.8	2.4	20.9
40代	(374)	28.1	23.3	18.4	18.4	21.9	14.2	16.0	9.4	8.3	1.3	30.7
50代	(302)	23.8	18.5	20.5	16.6	16.9	19.2	16.9	13.6	8.6	1.0	33.4
60代	(322)	27.0	24.2	21.1	25.5	24.2	22.0	24.5	22.7	5.9	0.9	26.4
70代	(242)	27.3	24.8	31.4	28.5	28.1	29.8	22.7	27.3	5.0	1.2	24.8
世帯年収別												
100万円未満	(40)	20.0	27.5	15.0	15.0	22.5	22.5	22.5	10.0	5.0	5.0	27.5
~300万円未満	(185)	26.5	27.0	27.0	23.8	21.6	27.0	25.9	22.2	5.4	1.6	26.5
~500万円未満	(358)	31.0	24.0	22.9	23.2	25.1	18.4	17.9	18.7	7.0	0.6	23.7
~1000万円未満	(676)	27.5	28.8	23.1	22.5	21.3	19.2	20.0	18.2	9.0	1.5	22.5
1000万円以上	(335)	29.3	19.7	23.0	20.9	23.0	15.8	18.2	13.1	9.3	0.3	25.4

〔図 4-15〕 * 2019年属性別

	n=	リターン (収益) が低い	仕組み や運用 実績が わかり にくい	専門知識 がないと 商品を選 びにくい	株式に 比べて 面白さに 欠ける	分配金 が少ない	元本 保証 がない	種類 が多く 選択に 迷う	購入後の 運用に関 する情報 が少ない	手続き がわずら わしい	その他	わから ない・ 特にな い		
TOTAL	(1781)	27.5	24.8	22.6	21.9	21.7	19.1	19.0	17.2	7.9	1.3	25.9		
ETF状況別	保有層・保有経験層	現在保有層	(349)	26.9	21.8	16.3	20.9	26.1	15.5	22.9	17.2	6.0	1.4	28.1
		保有経験層 (現在非保有)	(216)	31.5	25.9	20.4	27.3	27.8	16.7	23.1	18.1	7.9	4.2	26.9
	認知・保有未経験層	金融資産 保有経験有	(1070)	27.9	26.5	25.6	22.3	20.2	20.6	17.5	17.6	8.1	0.6	23.0
		金融資産 保有経験無	(70)	18.6	20.0	21.4	15.7	11.4	24.3	15.7	12.9	14.3	0.0	31.4

4. ETF、Jリートへの浸透状況、今後の購入意向

(4) ETFの最不満点(ETF内容認知者、保有経験者)[Q10②:単数回答]

- ETFの最不満点は、「リターン(収益)が低い」(12.8%)、「株式に比べて面白さに欠ける」「仕組みや運用実績がわかりにくい」(各10.1%)が上位3項目。〔図4-16〕
- ETF保有層・保有経験層で「分配金が少ない」がそれぞれ他層に比べて高い。また、ETF認知・保有未経験層では「元本保証がない」が他層に比べて高い。〔図4-18〕

〔図 4-16〕

	n=	リターン(収益)が低い	株式に比べて面白さに欠ける	仕組みや運用実績がわかりにくい	元本保証がない	分配金が少ない	専門知識がないと商品を選びにくい	種類が多く選択に迷う	購入後の運用に関する情報が少ない	手続きがわずらわしい	その他	わからない・特にな
2019年	(1781)	12.8	10.1	10.1	9.5	8.3	7.5	7.0	5.4	2.4	1.1	25.9
2018年	(1104)	12.8	11.1	8.0	11.1	4.8	8.3	5.7	4.3	3.9	1.1	22.3
2017年	(1168)	10.1	10.3	3.9	18.4	5.3	7.5	6.7	4.2	2.8	1.5	21.3

〔図 4-17〕

* 2019年属性別

	n=	リターン(収益)が低い	株式に比べて面白さに欠ける	仕組みや運用実績がわかりにくい	元本保証がない	分配金が少ない	専門知識がないと商品を選びにくい	種類が多く選択に迷う	購入後の運用に関する情報が少ない	手続きがわずらわしい	その他	わからない・特にな
TOTAL	(1781)	12.8	10.1	10.1	9.5	8.3	7.5	7.0	5.4	2.4	1.1	25.9
性別												
男性	(1410)	13.3	10.4	10.0	7.7	8.8	6.8	6.3	5.5	2.3	1.1	27.7
女性	(371)	10.8	8.9	10.2	16.2	6.2	10.2	9.4	4.9	2.7	1.3	19.1
年代別												
20代	(201)	14.4	10.4	22.4	4.5	9.5	10.9	5.5	5.5	1.5	0.5	14.9
30代	(340)	17.6	11.2	11.5	7.9	7.4	7.1	5.9	6.5	2.1	2.1	20.9
40代	(374)	11.0	9.6	8.8	5.9	10.7	8.0	6.7	3.2	4.0	1.3	30.7
50代	(302)	11.6	7.0	8.3	11.6	5.0	7.6	7.0	3.6	4.3	0.7	33.4
60代	(322)	12.1	11.5	7.1	12.7	7.1	4.7	9.6	6.8	0.9	0.9	26.4
70代	(242)	9.9	11.2	5.8	14.5	10.3	8.3	6.6	7.4	0.4	0.8	24.8
世帯年収別												
100万円未満	(40)	12.5	7.5	20.0	10.0	5.0	0.0	10.0	0.0	2.5	5.0	27.5
~300万円未満	(185)	11.4	8.1	5.9	14.1	5.9	9.2	13.5	4.9	0.0	0.5	26.5
~500万円未満	(358)	14.2	11.2	8.9	8.9	10.9	7.8	5.3	6.4	2.0	0.6	23.7
~1000万円未満	(676)	13.3	10.5	12.0	9.5	7.2	8.0	6.5	5.9	3.1	1.5	22.5
1000万円以上	(335)	14.3	10.1	9.9	7.5	9.6	7.5	7.2	4.8	3.6	0.3	25.4

〔図 4-18〕 * 2019年属性別

	n=	リターン(収益)が低い	株式に比べて面白さに欠ける	仕組みや運用実績がわかりにくい	元本保証がない	分配金が少ない	専門知識がないと商品を選びにくい	種類が多く選択に迷う	購入後の運用に関する情報が少ない	手続きがわずらわしい	その他	わからない・特にな		
TOTAL	(1781)	12.8	10.1	10.1	9.5	8.3	7.5	7.0	5.4	2.4	1.1	25.9		
ETF状況別	保有層・保有経験層	現在保有層	(349)	13.8	9.5	9.2	6.3	12.0	4.6	8.9	5.4	1.1	1.1	28.1
		保有経験層(現在非保有)	(216)	13.4	9.3	9.7	6.0	12.0	3.7	10.6	3.2	0.9	4.2	26.9
	認知・保有未経験層	金融資産保有経験有	(1070)	13.2	11.2	10.6	10.7	6.7	9.7	5.8	6.1	2.7	0.4	23.0
		金融資産保有経験無	(70)	7.1	8.6	10.0	15.7	4.3	7.1	5.7	2.9	7.1	0.0	31.4

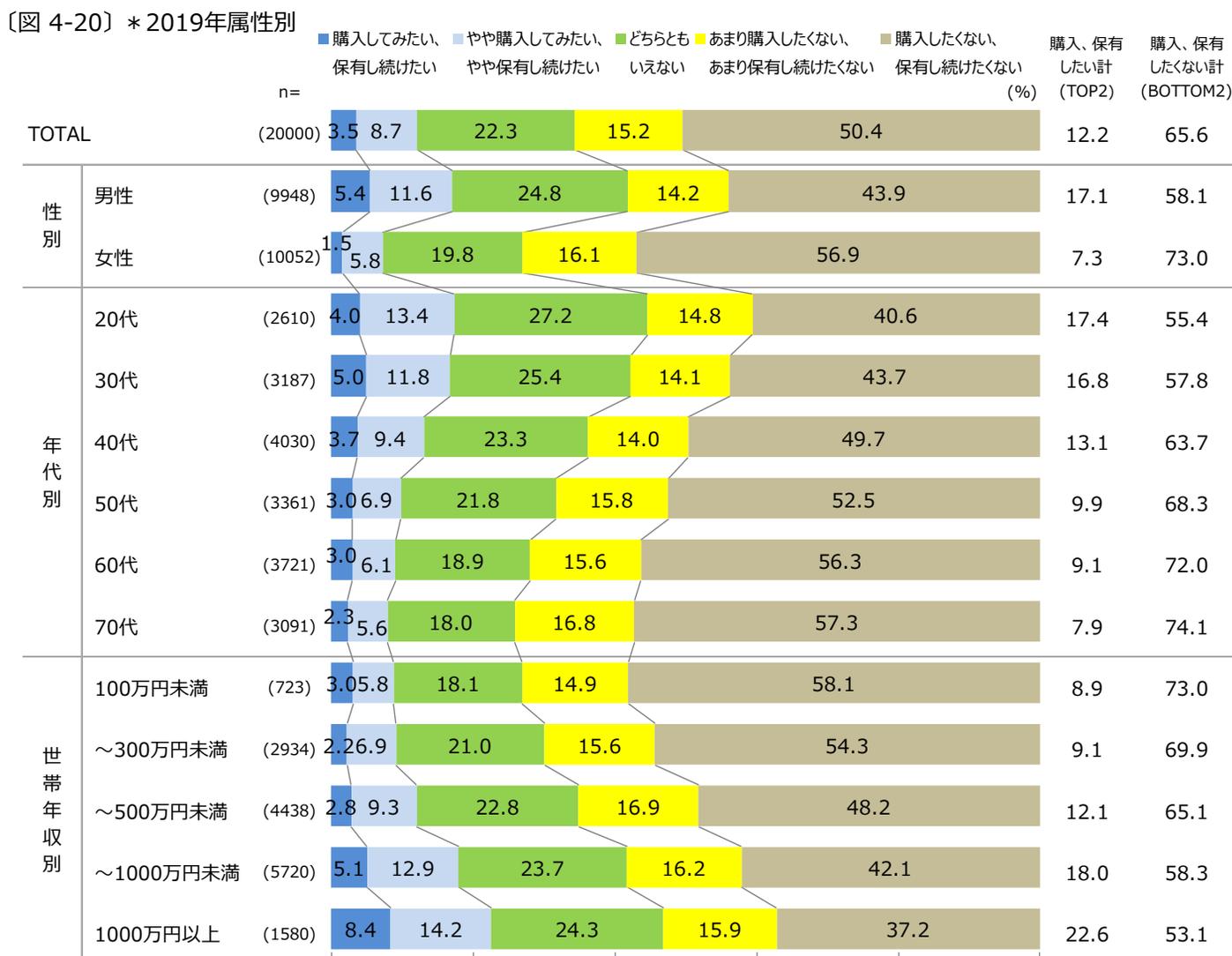
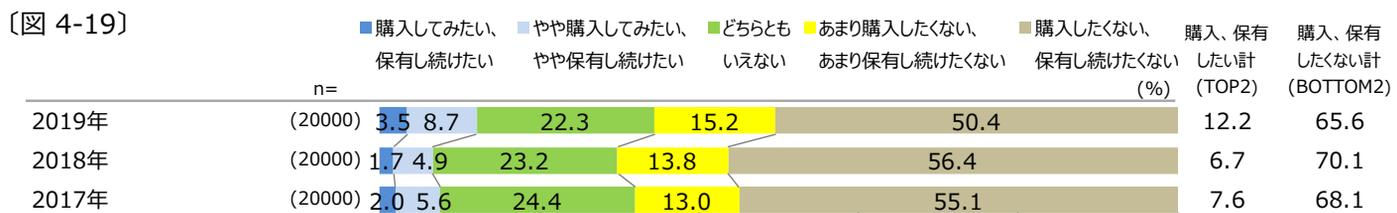
4. ETF、Jリートへの浸透状況、今後の購入意向

(5) ETF今後の購入・継続保有意向〔Q11:単数回答〕

- ETF今後の購入・継続保有意向は、「購入、保有したい計」(TOP2)が12.2%、「購入、保有したくない計」(BOTTOM2)が65.6%と前回より意向率はやや増加。〔図4-19〕

* 今回の変動は調査パネル変更の影響も考えられる

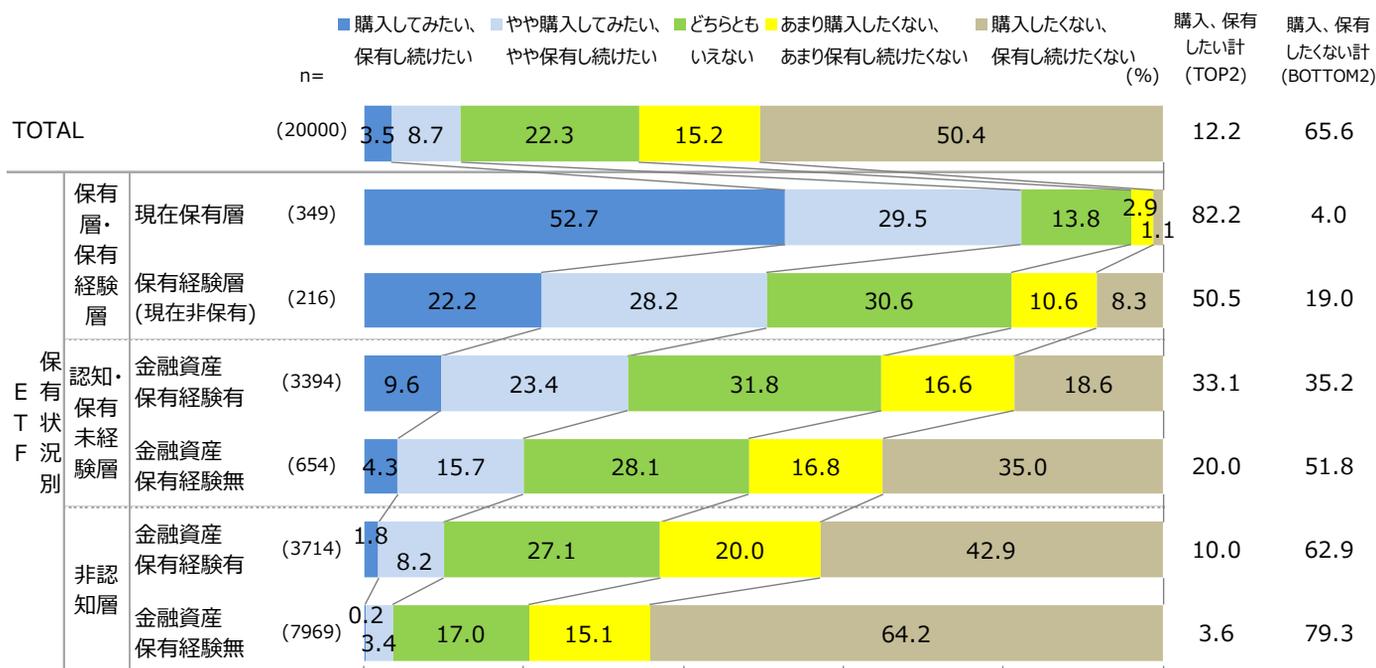
- 「購入、保有したい計」は若年層、高年収層ほど高くなる。〔図4-20〕
- ETF現在保有層では「購入、保有したい計」が82.2%と継続保有意向が高い。また、ETF保有経験層では「購入、保有したい計」が50.5%で、半数に再購入意向がある。〔図4-21〕



4. ETF、Jリートへの浸透状況、今後の購入意向

(5) ETF今後の購入・継続保有意向〔Q11:単数回答〕

〔図 4-21〕 * 2019年属性別



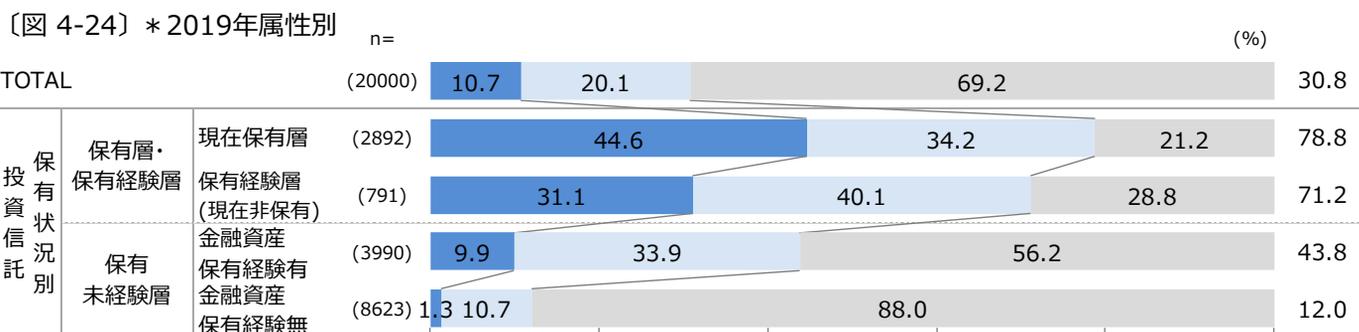
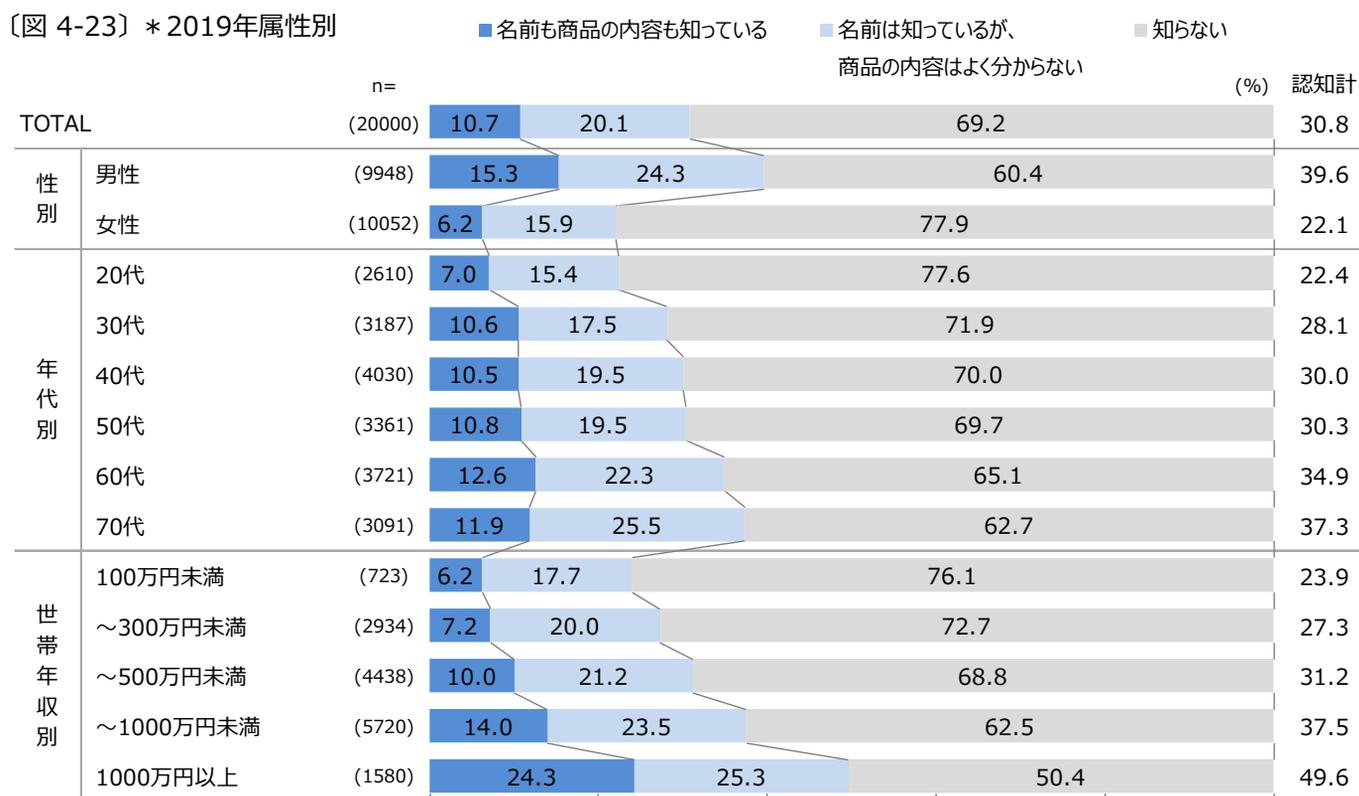
4. ETF、Jリート of 浸透状況、今後の購入意向

(6) Jリート of 認知状況〔Q8②:単数回答〕

- Jリート of 認知率(認知計: 30.8%)、商品内容認知率(10.7%)は前回よりやや増加。
〔図4-22〕 * 今回の変動は調査パネル変更の影響も考えられる

- 年代や世帯年収が上がるにつれ認知率は高まる傾向。〔図4-23〕

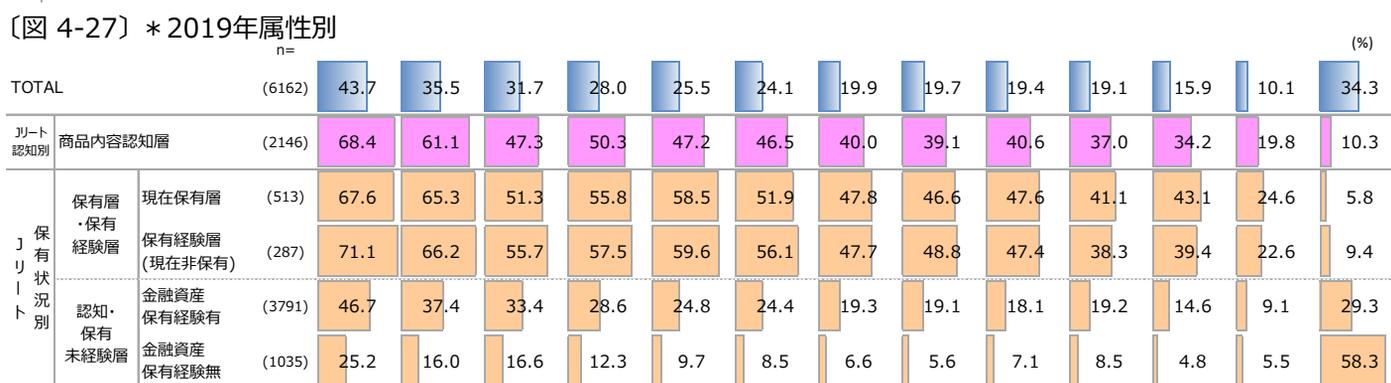
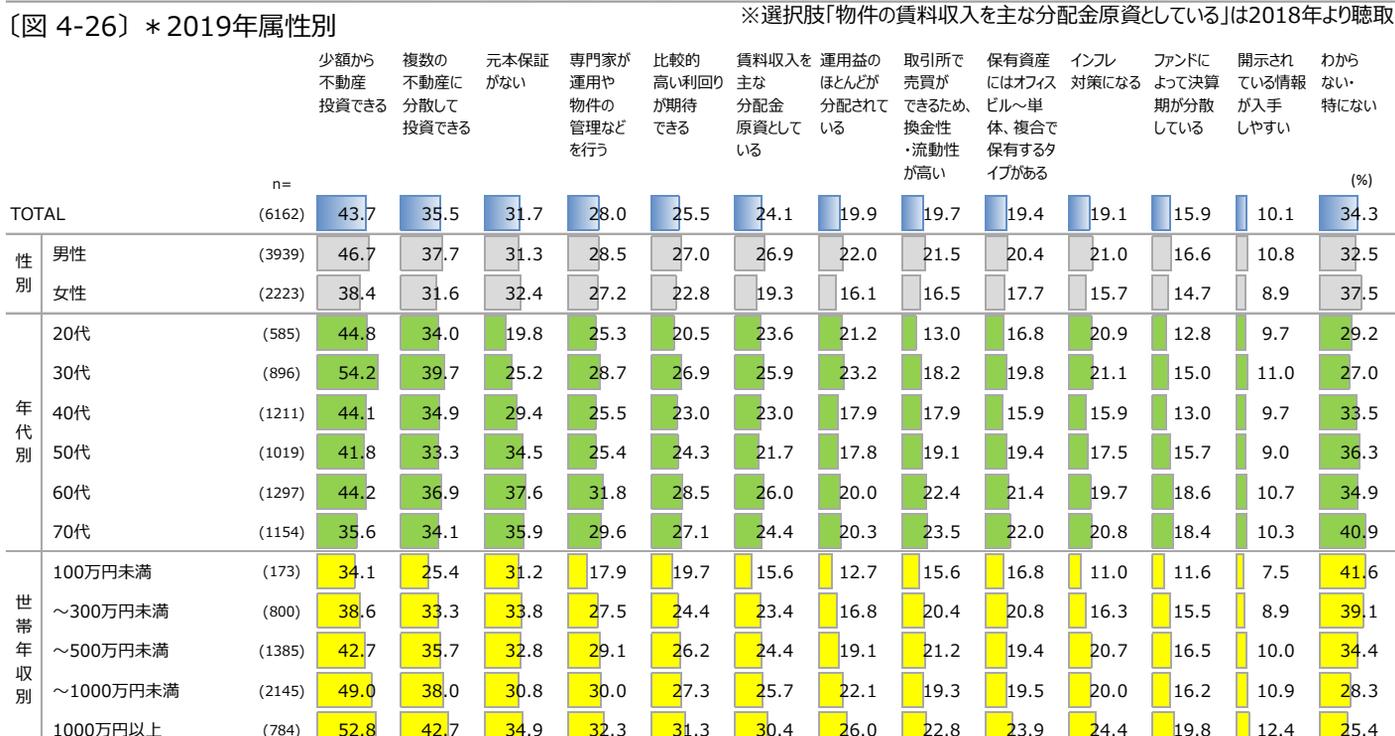
- 投資信託現在保有層での認知率は78.8%にのぼり、投資への関与が強いほどJリート of 認知率は高くなる。〔図4-24〕



4. ETF、Jリートの特徴の浸透状況、今後の購入意向

(7) Jリートの特徴認知 (Jリート認知者)〔Q12①:複数回答〕

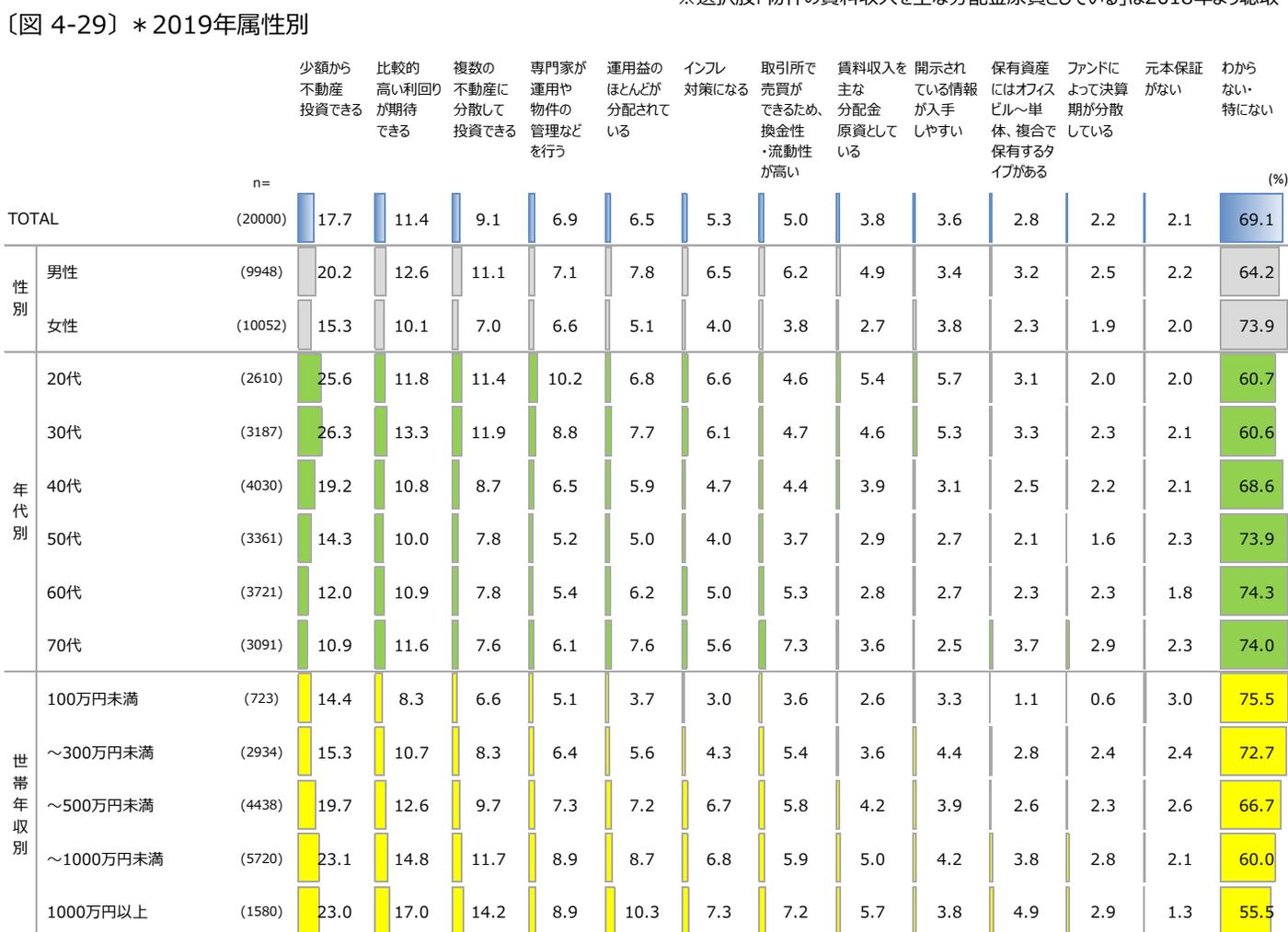
- Jリートの特徴の認知は、「少額から不動産投資できる」(43.7%)が最も高く、これに「複数の不動産に分散して投資できる」(35.5%)、「元本保証がない」(31.7%)が続く。すべての項目で、前回より認知率が増加傾向。〔図4-25〕 * 今回の変動は調査パネル変更の影響も考えられる
- Jリートの商品内容認知層やJリート現在保有層などの関与の高い層でも「開示されている情報が入手しやすい」の認知は10~20%台と低い水準。〔図4-27〕



4. ETF、Jリートへの浸透状況、今後の購入意向

(8) Jリートの魅力点〔Q12②:重複回答〕

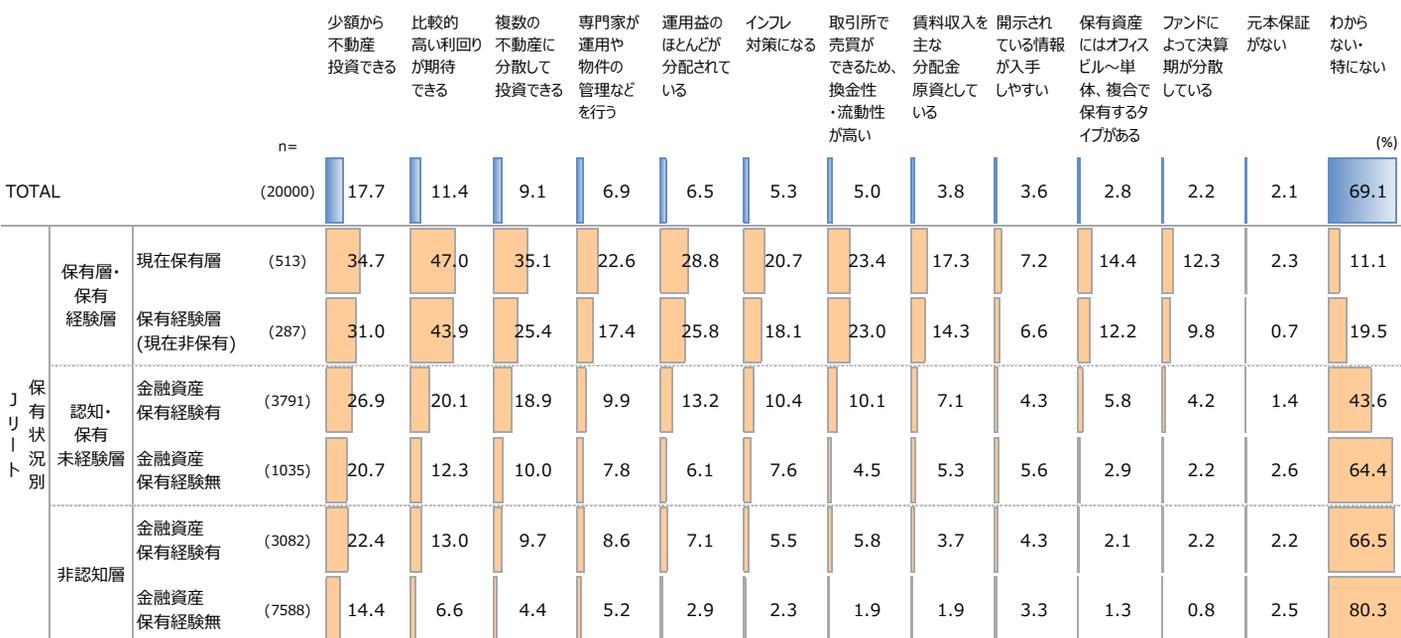
- Jリートの魅力点は「少額から不動産投資できる」(17.7%)が最も高く、2017年以降増加傾向。それ以外の項目では時系列で大きな変動はみられない。〔図4-28〕
- Jリート現在保有層では「比較的高い利回りが期待できる」が47.0%と最も高い。〔図4-30〕



4. ETF、Jリートへの浸透状況、今後の購入意向

(8) Jリートの魅力点〔Q12②:重複回答〕

〔図 4-30〕 * 2019年属性別



4. ETF、Jリートへの浸透状況、今後の購入意向

(8) Jリートへの最魅力点〔Q12③:単数回答〕

- Jリートへの最魅力点は魅力点と同様に「少額から不動産投資できる」(10.9%)が最も高く、2017年から増加傾向が続く。その他の項目では時系列で大きな変動はみられない。〔図4-31〕

* 今回の変動は調査パネル変更の影響も考えられる

- Jリート現在保有層では「比較的高い利回りが期待できる」が31.6%と最も高い。〔図4-33〕

〔図 4-31〕

	n=	少額から 不動産 投資できる	比較的高い利回り が期待 できる	複数の 不動産に 分散して 投資できる	運用益の ほとんどが 分配されて いる	専門家が 運用や 物件の 管理など を行う	インフレ 対策になる	元本保証 がない	取引所で 売買が できるため、 換金性 ・流動性 が高い	賃料収入を 主な 分配金 原資として いる	開示され ている情報 が入手 しやすい	保有資産 にはオフィス ビル～単 体、複合で 保有するタ イプがある	ファンドに よって決算 期が分散 している	わから ない・ 特にな い	(%)
2019年	(20000)	10.9	6.6	2.5	2.4	2.0	1.6	1.5	1.3	0.8	0.5	0.5	0.4	69.1	
2018年	(20000)	9.0	6.3	1.7	1.1	2.2	1.3	2.3	0.7	0.5	0.6	0.3	0.4	73.6	
2017年	(20000)	6.6	6.2	1.8	2.6	2.3	1.5	1.4	1.3	-	1.4	0.6	0.5	73.9	

※ 選択肢「賃料収入を主な分配金原資としている」は2018年より聴取

〔図 4-32〕

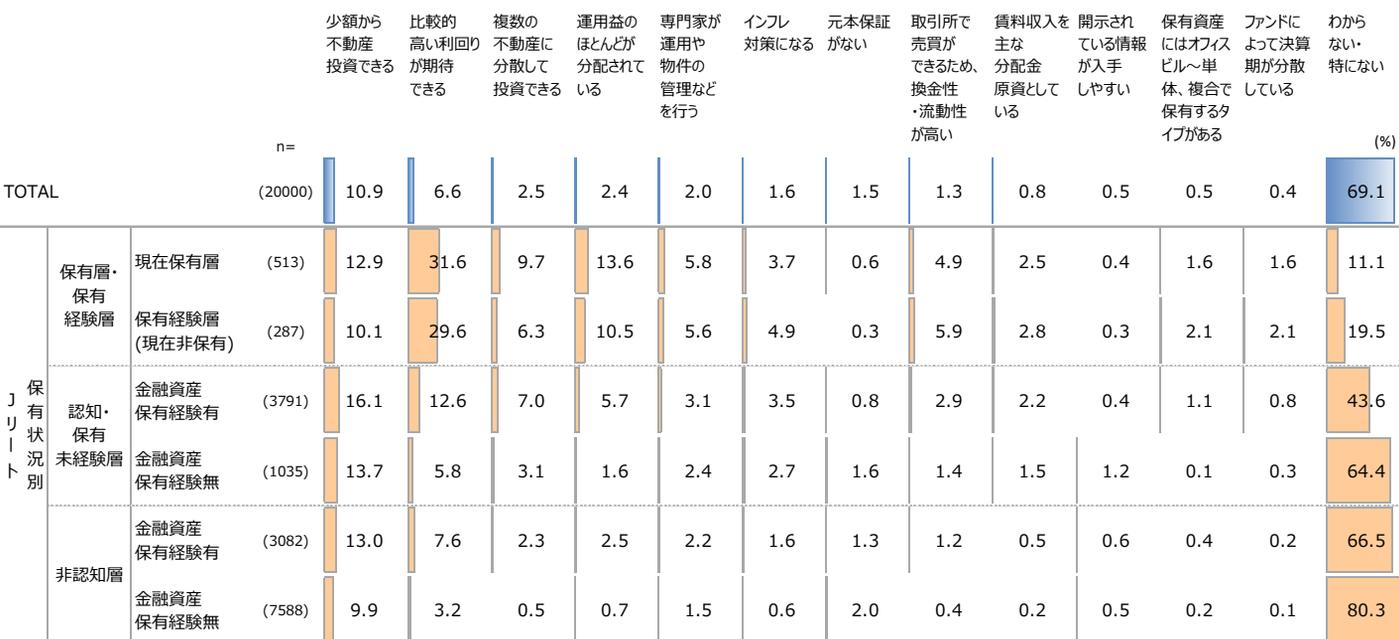
* 2019年属性別

	n=	少額から 不動産 投資できる	比較的高い利回り が期待 できる	複数の 不動産に 分散して 投資できる	運用益の ほとんどが 分配されて いる	専門家が 運用や 物件の 管理など を行う	インフレ 対策になる	元本保証 がない	取引所で 売買が できるため、 換金性 ・流動性 が高い	賃料収入を 主な 分配金 原資として いる	開示され ている情報 が入手 しやすい	保有資産 にはオフィス ビル～単 体、複合で 保有するタ イプがある	ファンドに よって決算 期が分散 している	わから ない・ 特にな い	(%)
TOTAL	(20000)	10.9	6.6	2.5	2.4	2.0	1.6	1.5	1.3	0.8	0.5	0.5	0.4	69.1	
性別															
男性	(9948)	12.7	7.3	3.4	3.2	1.7	1.9	1.5	1.6	1.1	0.4	0.5	0.5	64.2	
女性	(10052)	9.2	5.8	1.7	1.7	2.3	1.2	1.5	0.9	0.6	0.6	0.4	0.3	73.9	
年代別															
20代	(2610)	17.9	5.4	3.0	2.0	3.1	1.9	1.2	1.0	1.5	1.2	0.7	0.5	60.7	
30代	(3187)	17.4	7.1	3.4	2.5	2.4	1.8	1.4	0.8	0.9	0.8	0.4	0.5	60.6	
40代	(4030)	13.0	6.1	2.4	2.4	1.9	1.1	1.3	1.1	1.0	0.4	0.2	0.4	68.6	
50代	(3361)	7.9	6.4	2.4	1.9	1.5	1.5	1.8	1.1	0.5	0.4	0.4	0.3	73.9	
60代	(3721)	5.6	6.9	2.3	2.8	1.8	1.4	1.3	1.6	0.7	0.4	0.5	0.5	74.3	
70代	(3091)	5.1	7.5	1.7	2.8	1.5	1.9	1.8	2.0	0.6	0.1	0.6	0.4	74.0	
世帯年収別															
100万円未満	(723)	10.2	4.1	1.7	1.5	1.1	0.7	2.2	0.7	0.7	1.0	0.1	0.4	75.5	
～300万円未満	(2934)	9.3	5.8	1.9	1.6	1.7	1.1	1.9	1.7	0.6	0.7	0.4	0.5	72.7	
～500万円未満	(4438)	12.0	7.2	2.3	2.6	1.8	2.1	1.8	1.4	0.8	0.4	0.4	0.5	66.7	
～1000万円未満	(5720)	14.2	8.7	3.7	3.3	2.8	1.9	1.4	1.3	1.2	0.6	0.5	0.4	60.0	
1000万円以上	(1580)	12.8	10.4	4.7	4.5	2.9	2.5	0.8	2.3	1.3	0.4	1.1	0.6	55.5	

4. ETF、Jリートへの浸透状況、今後の購入意向

(8) Jリートへの最魅力点〔Q12③:単数回答〕

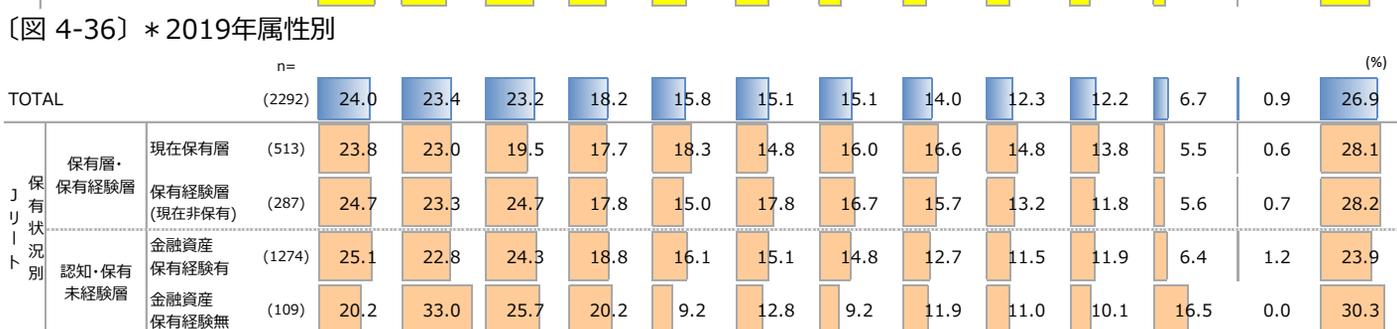
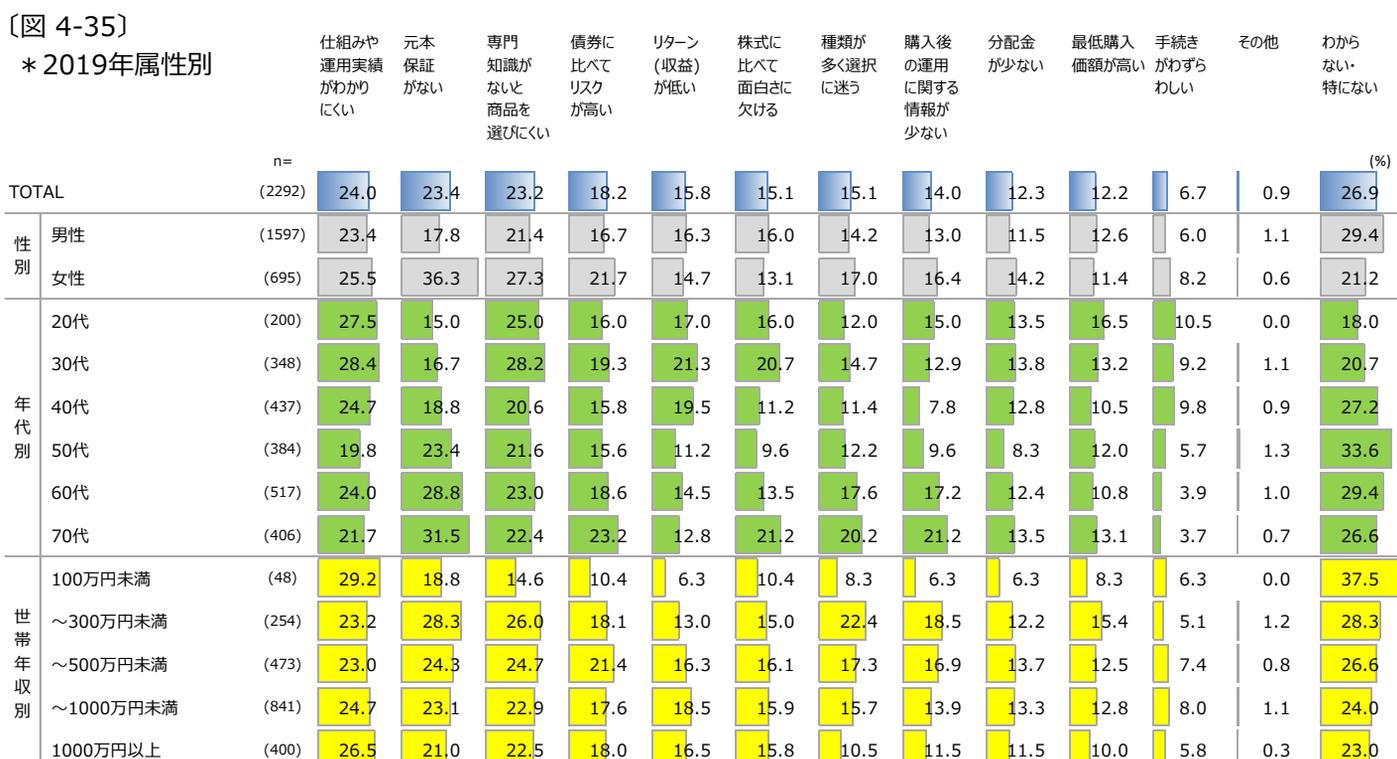
〔図 4-33〕 * 2019年属性別



4. ETF、Jリート of 浸透状況、今後の購入意向

(9) Jリートの不満点 (Jリート内容認知者、保有経験者) [Q13①:重複回答]

- Jリートの不満点は「仕組みや運用実績がわかりにくい」(24.0%)が最も高く、2017年より増加傾向。これに「元本保証がない」(23.4%)、「専門知識がないと商品を選びにくい」(23.2%)が続く。〔図4-34〕 * 今回の変動は調査パネル変更の影響も考えられる
- Jリート現在保有層では、「専門知識がないと商品を選びにくい」(19.5%)が他層に比べてやや低い。〔図4-36〕



4. ETF、Jリート of 浸透状況、今後の購入意向

(9) Jリーートの最不満点 (Jリート内容認知者、保有経験者) [Q13②:単数回答]

- Jリーートの最不満点は、「元本保証がない」(12.6%)が最も高いが、2017年より減少傾向が続く。これに「仕組みや運用実績がわかりにくい」(9.6%)、「専門知識がないと商品を選びにくい」(9.2%)が続く。〔図4-37〕 * 今回の変動は調査パネル変更の影響も考えられる

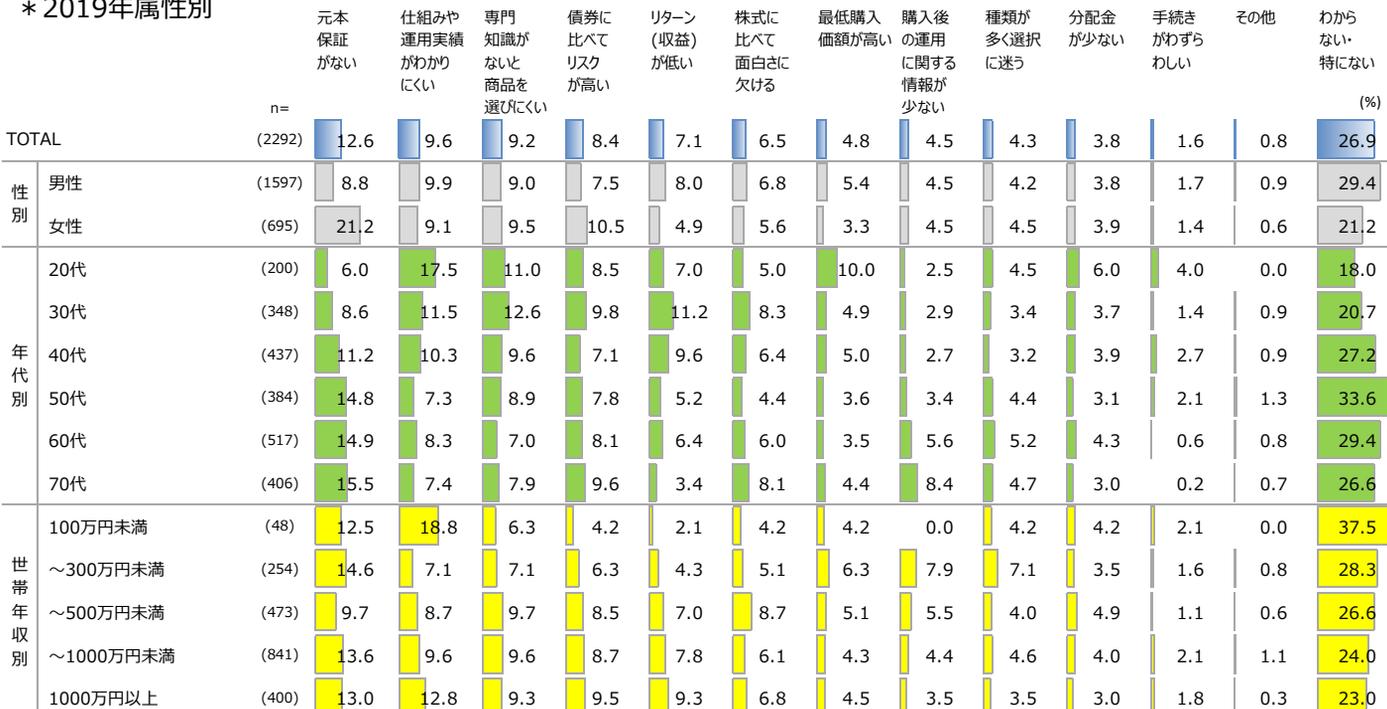
- 年代別では、20代で「仕組みや運用実績がわかりにくい」「最低購入価額が高い」が他の年代に比べてやや高い。〔図4-38〕

〔図 4-37〕

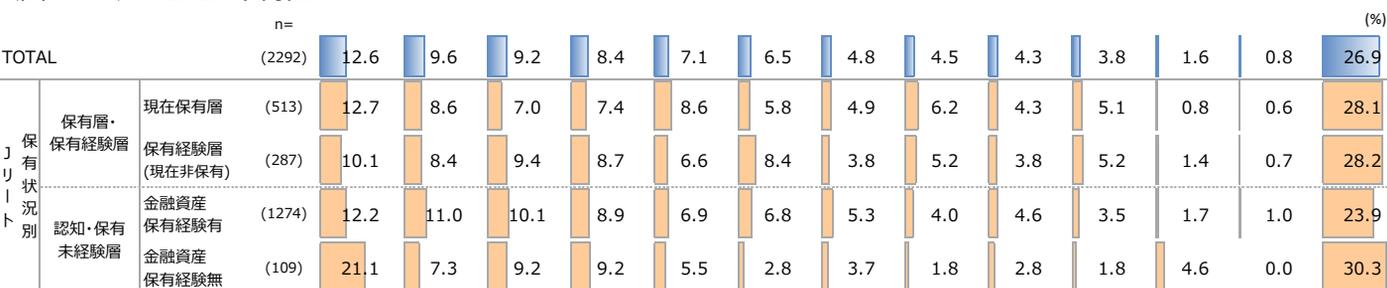


〔図 4-38〕

* 2019年属性別



〔図 4-39〕 * 2019年属性別



4. ETF、Jリートへの浸透状況、今後の購入意向

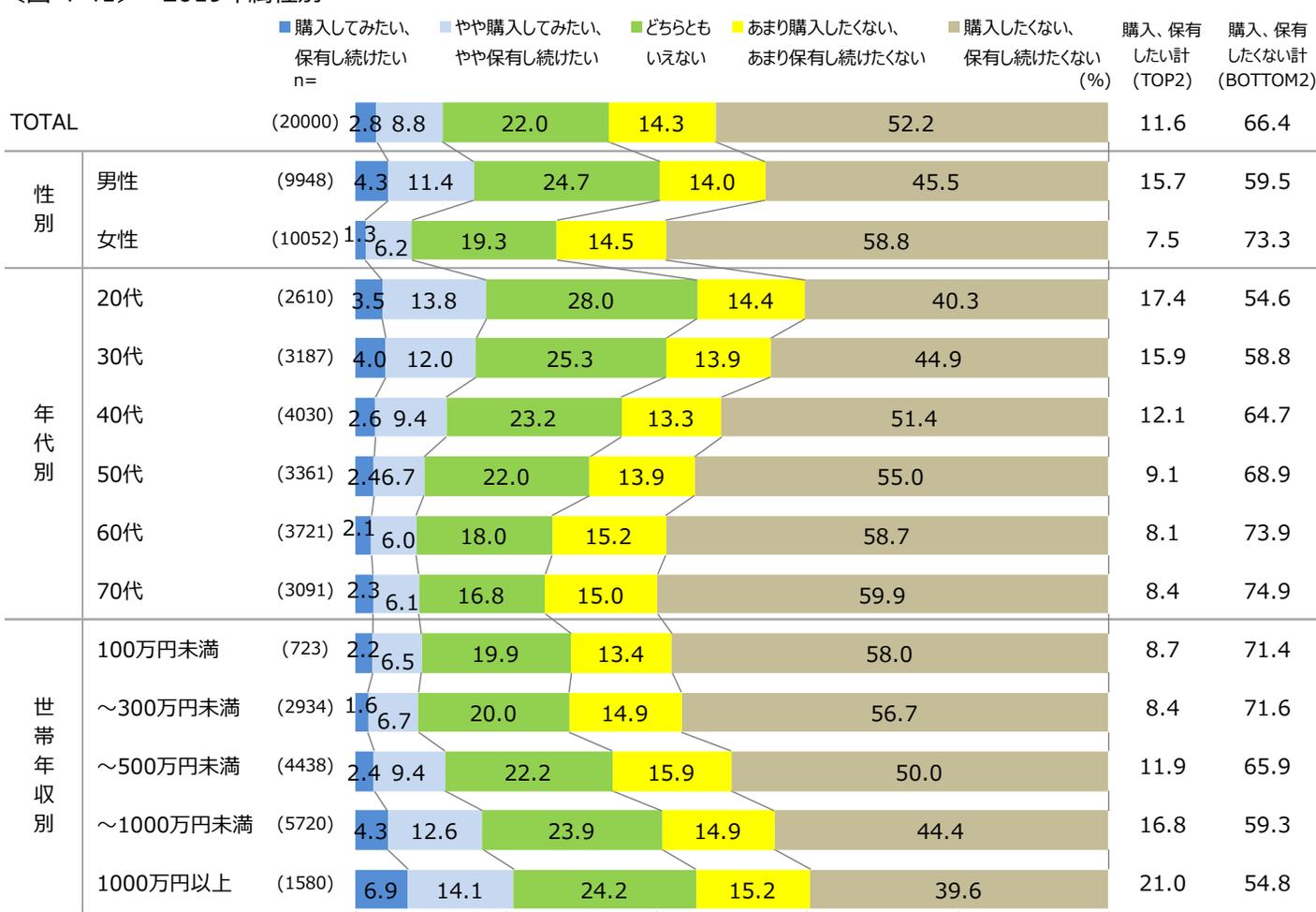
(10) Jリート今後の購入・継続保有意向〔Q14:単数回答〕

- Jリート今後の購入・継続保有意向は、「購入、保有したい計」(TOP2)が11.6%、「購入、保有したくない計」(BOTTOM2)が66.4%と前回より購入・継続保有意向が高まっている。〔図4-40〕 * 今回の変動は調査パネル変更の影響も考えられる
- 「購入、保有したい計」は、若年層ほど、また世帯年収が上がるにつれて増加。〔図4-41〕
- Jリート現在保有層では「購入、保有したい計」が67.8%にのぼる。〔図4-42〕

〔図 4-40〕



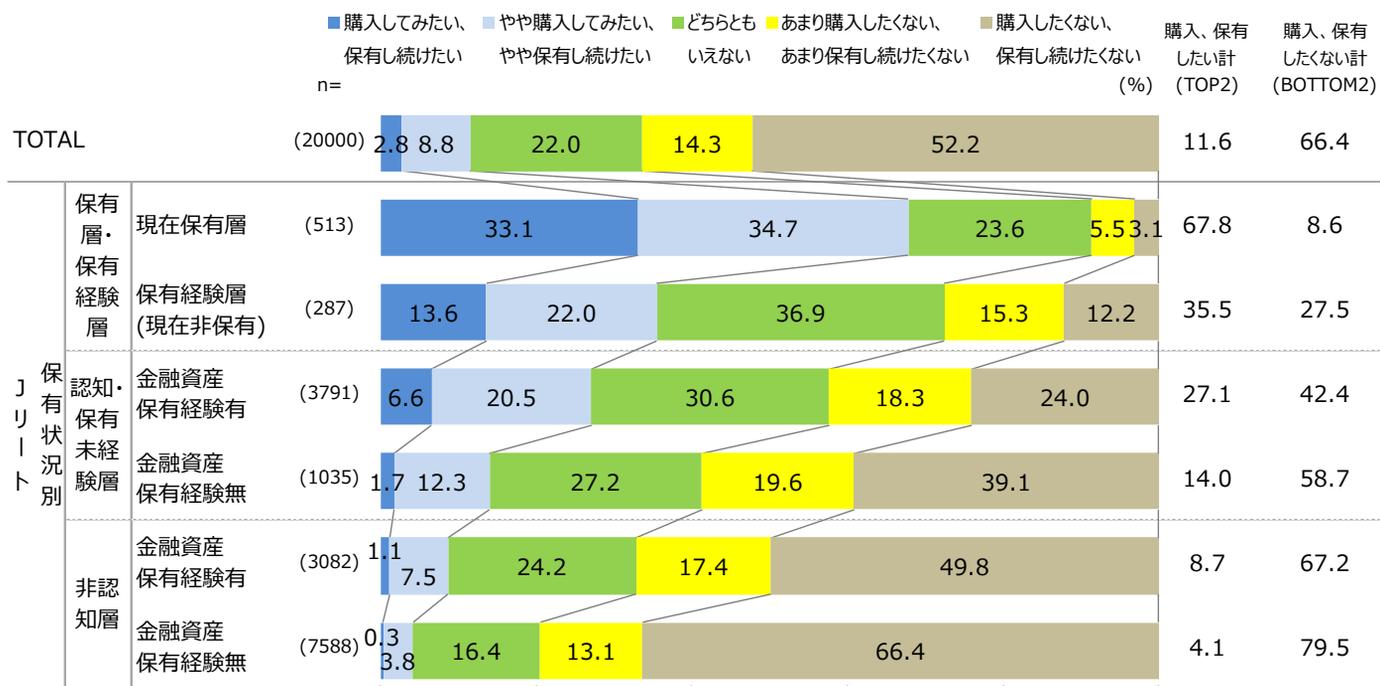
〔図 4-41〕 * 2019年属性別



4. ETF、Jリートへの浸透状況、今後の購入意向

(10) Jリート今後の購入・継続保有意向〔Q14:単数回答〕

〔図 4-42〕 * 2019年属性別



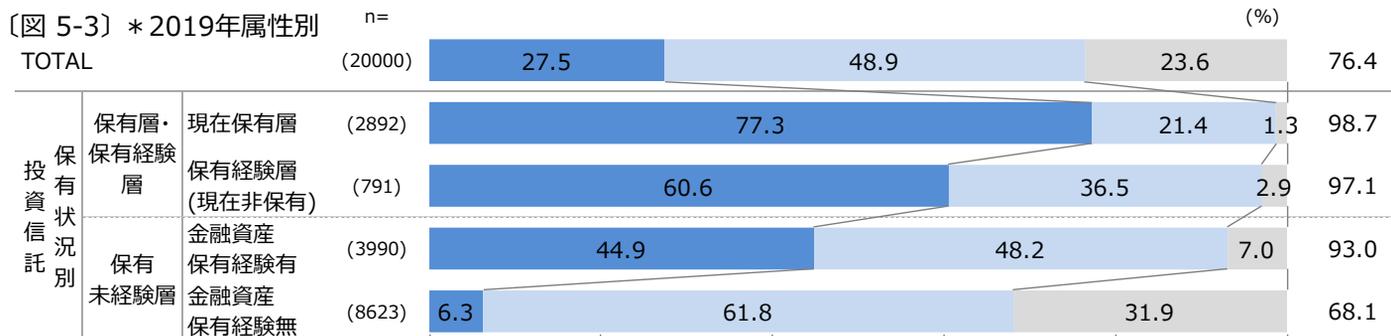
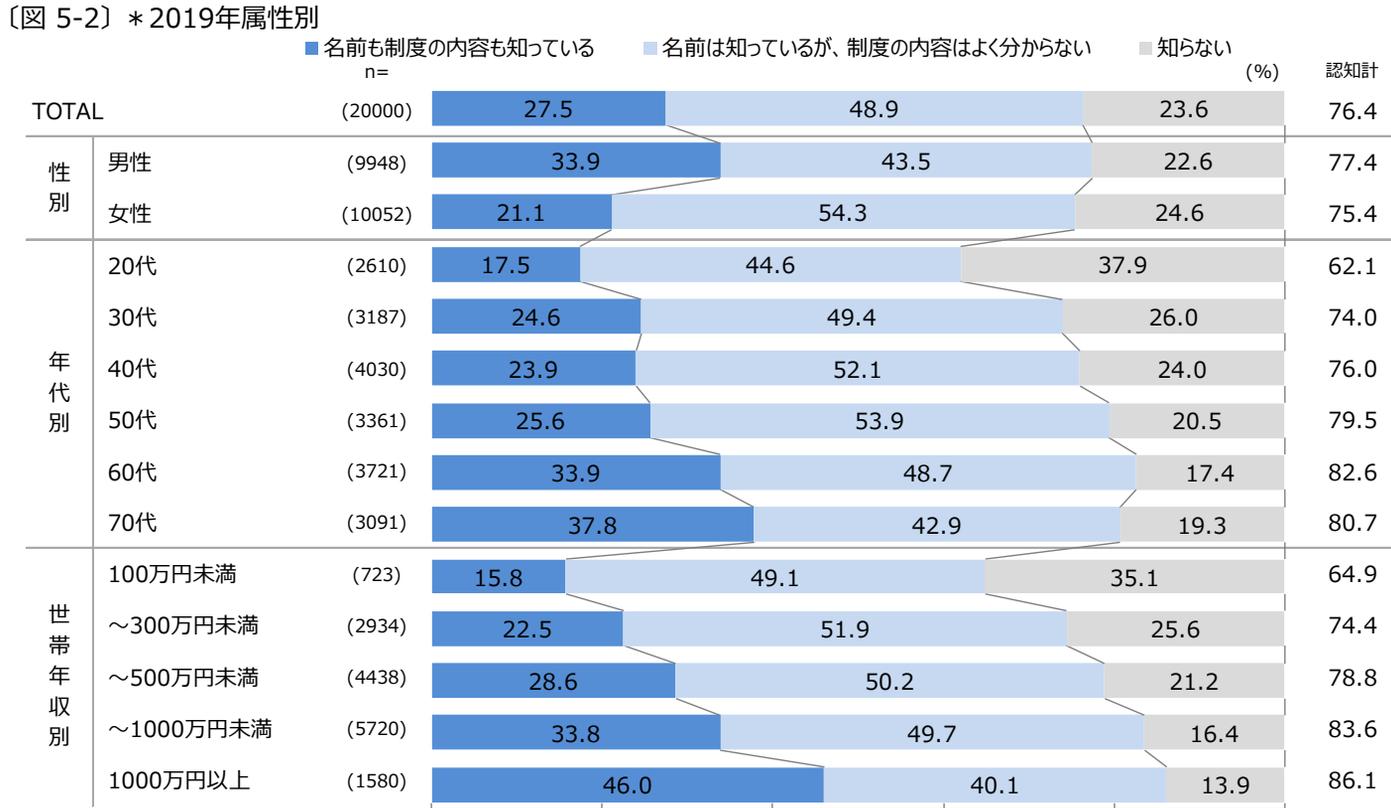
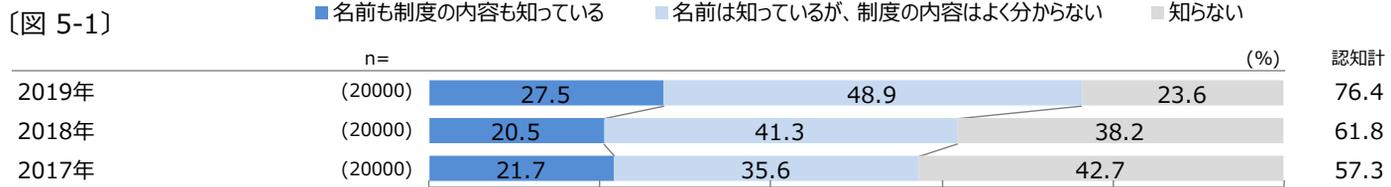
5. NISAの浸透状況、 今後の利用意向



5. NISAの浸透状況、今後の利用意向

(1) NISAの認知〔Q15①:単数回答〕

- NISAの認知率(認知計)は76.4%、制度内容認知率は27.5%で、いずれも前回より増加。
〔図5-1〕 * 今回の変動は調査パネル変更の影響も考えられる
- 20～60代では年代が上がるにつれて、また世帯年収が高いほど、認知率は高まる傾向。〔図5-2〕
- 投資信託現在保有層では、認知率は98.7%と全員に近く、投資への関与が強い層ほど認知率が高い。一方で多数を占める保有未経験層（金融資産保有経験無）の認知率は68.1%、制度内容認知率は6.3%にとどまる。〔図5-3〕



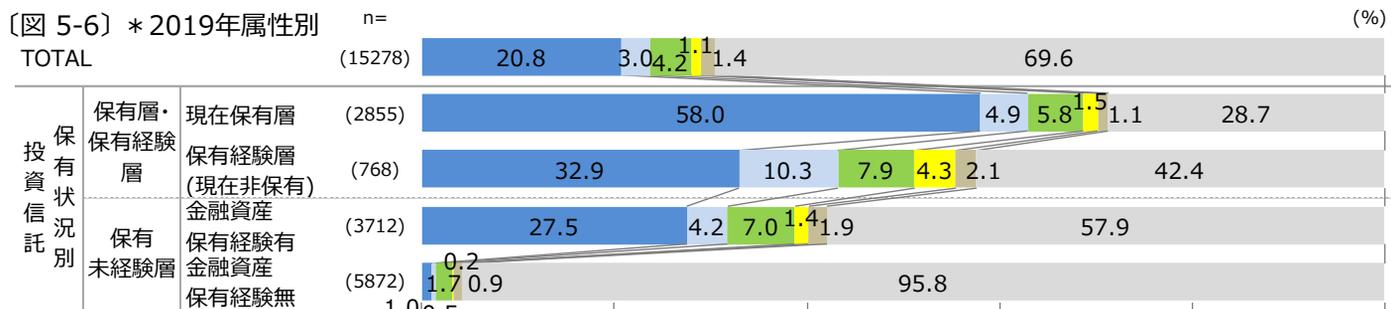
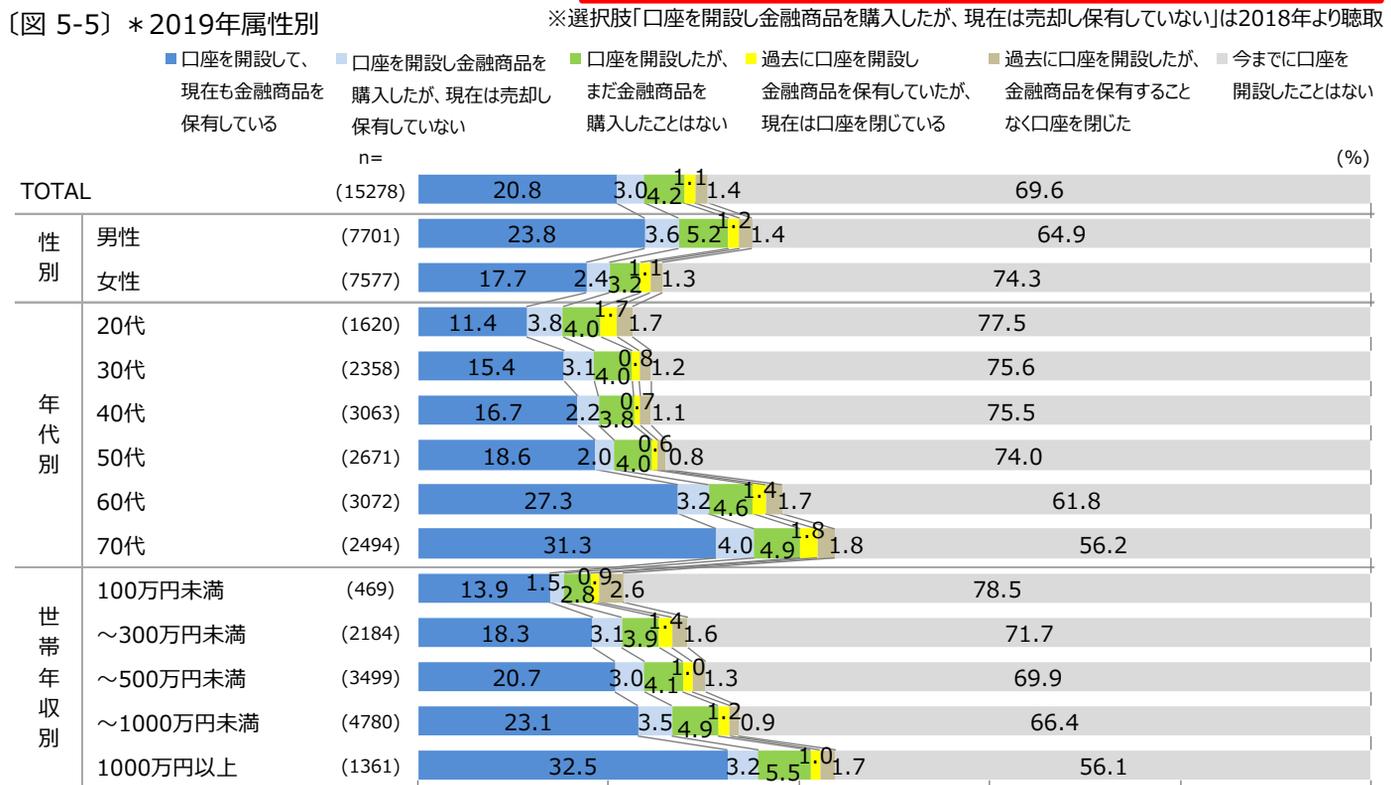
5. NISAの浸透状況、今後の利用意向

(2) NISAの利用状況(制度認知者)[Q16_1①:単数回答]

- NISA認知者のうち、NISAでの現在金融商品保有率は20.8%。「口座開設したが金融商品を購入していない人」(4.2%)は2017年以降減少傾向。〔図5-4〕 * 今回の変動は調査パネル変更の影響も考えられる
- 年代や世帯年収が上がるにつれて、NISAでの現在金融商品保有率は高くなる。〔図5-5〕
- 投資信託現在保有層では、NISAでの現在金融商品保有者が58.0%にのぼる。〔図5-6〕



口座開設者における金融商品保有率：2019年(n=4272)74.4% (参考値) 2018年(n=3335)69.7% / 2017年(n=3649)75.9%

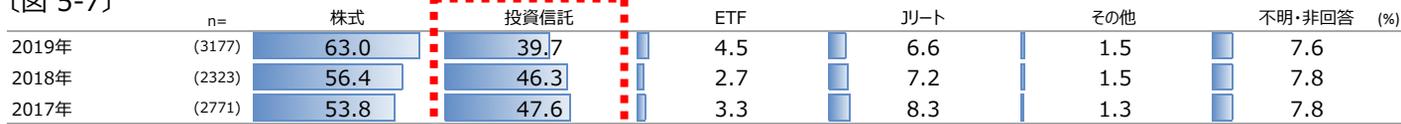


5. NISAの浸透状況、今後の利用意向

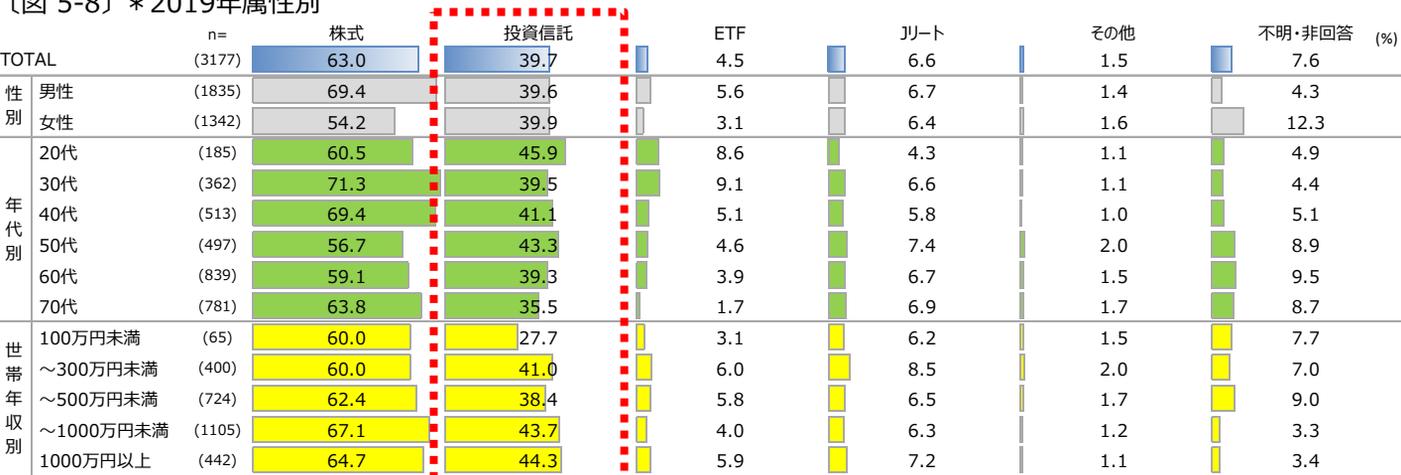
(3) NISAでの保有金融商品(NISAでの現在金融商品保有者) 〔Q17_1①:重複回答〕

- NISAでの保有金融商品は、「株式」(63.0%)が6.6ポイント増加、「投資信託」(39.7%)は前回より6.6ポイント減少。〔図5-7〕 * 今回の変動は調査パネル変更の影響も考えられる
- 「外国株式に主に投資する投資信託」では若年層ほど保有率が高い。〔図5-8〕

〔図 5-7〕



〔図 5-8〕 * 2019年属性別



5. NISAの浸透状況、今後の利用意向

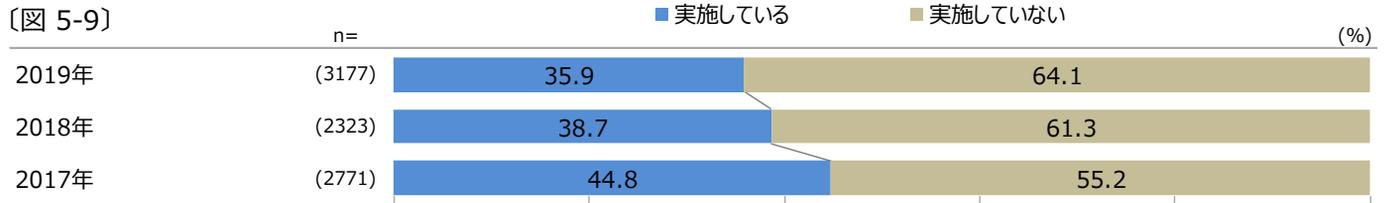
(4) NISAでの積立投資実施状況

(NISAでの現在金融商品保有者)〔Q18①:単数回答〕

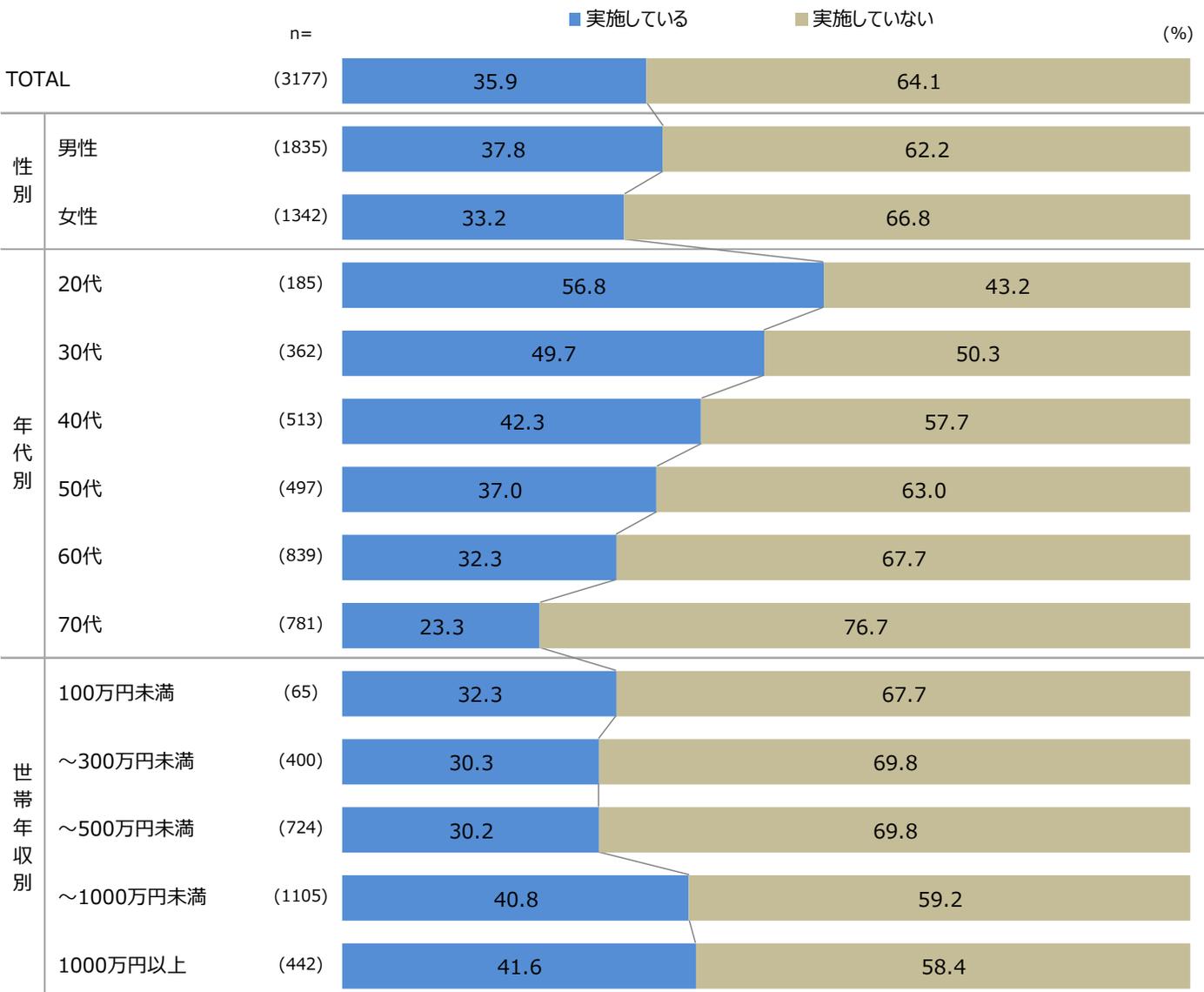
- NISAでの積立投資実施率は、35.9%で、2017年から減少傾向が続く。〔図5-9〕

* 今回の変動は調査パネル変更の影響も考えられる

- 年代別では若年層ほど積立投資実施率は高くなる。また世帯年収別では「500万円以上」で実施率が高い。〔図5-10〕



〔図 5-10〕 * 2019年属性別

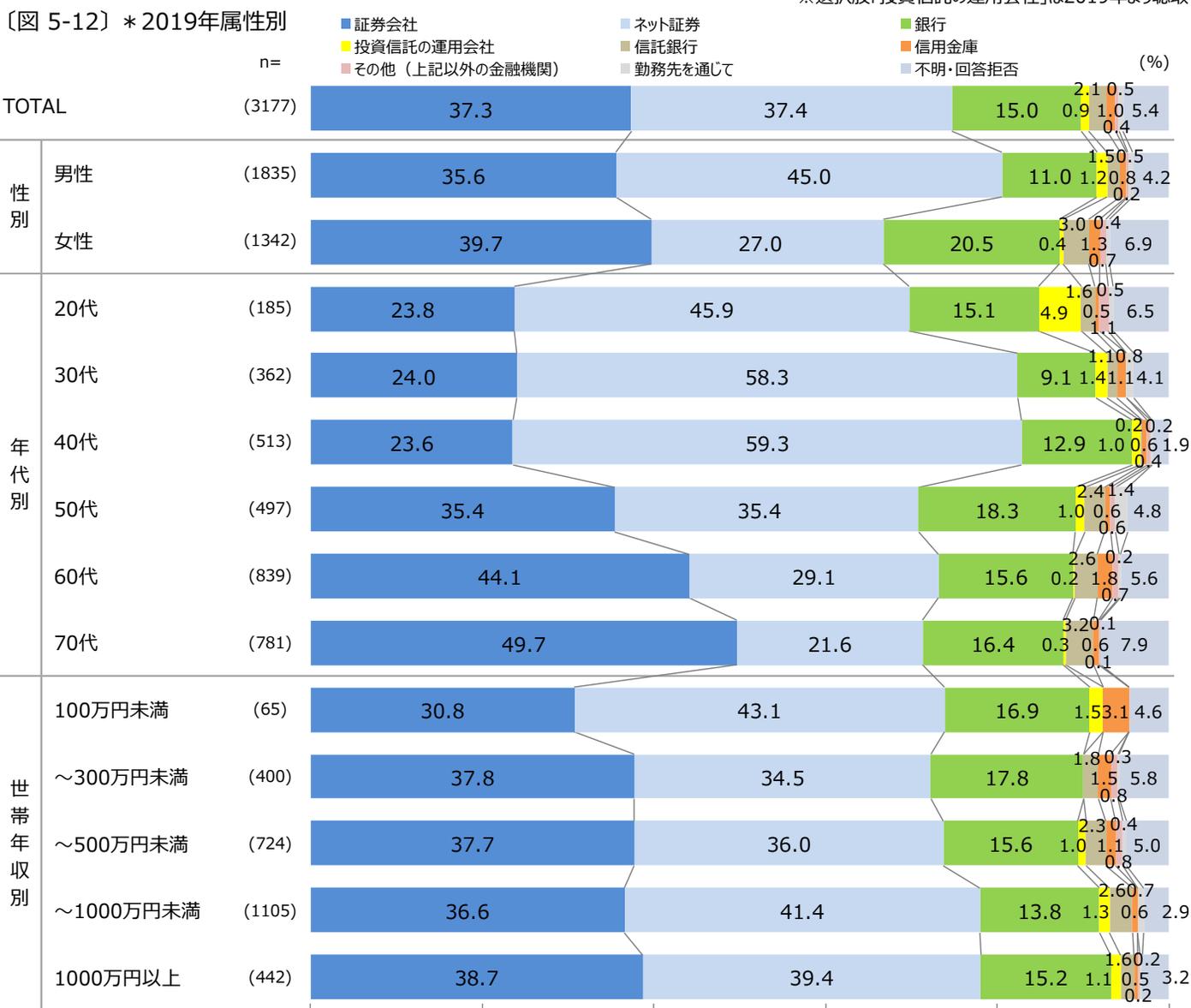
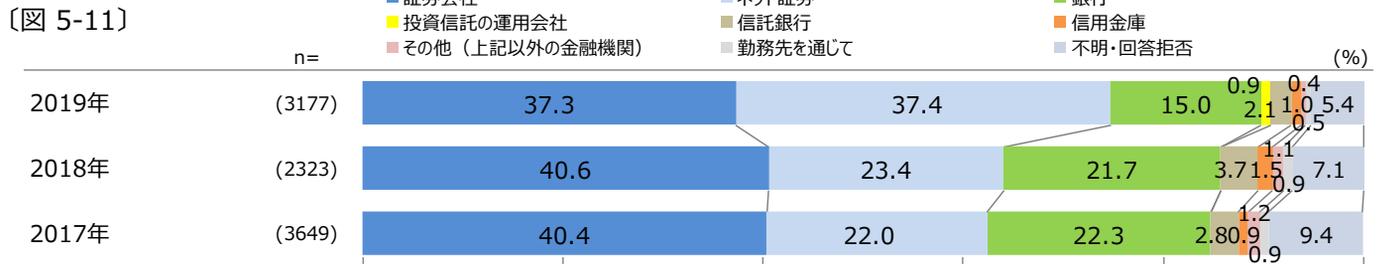


5. NISAの浸透状況、今後の利用意向

(5) NISAの口座開設金融機関

(NISAでの現在金融商品保有者)〔Q19①:単数回答〕

- NISAの口座開設の金融機関は「ネット証券」(37.4%)、「証券会社」(37.3%)でほぼ同率で並ぶ。前回より「ネット証券」が14.0ポイント増加。〔図5-11〕 * 今回の変動は調査パネル変更の影響も考えられる
- 年代別で見ると、「証券会社」は50代以上で年代が上がるほど高く、「ネット証券」は30代・40代で高い。〔図5-12〕



5. NISAの浸透状況、今後の利用意向

(6) NISA口座開設・金融商品未購入理由

(NISA口座開設・金融商品未購入層)〔Q20①:重複回答〕

- NISAでの金融商品未購入理由は、「どの商品を購入してよいかわからない」(17.0%)、「投資に回すお金がない」(15.4%)、「金融機関に勧められて口座開設しただけ」(12.3%)が上位で、これらは前回よりやや減少。〔図5-13〕 * 今回の変動は調査パネル変更の影響も考えられる
- 年代別で見ると、20代で「どの商品を購入してよいかわからない」「制度が複雑でよく理解できない」などが高く、制度の理解不足傾向がみられる一方、「タイミングを見定めている」との理由も高い。〔図5-14〕
- 投信信託の保有層・保有経験層では、「投資に回すお金がない」「金融機関に勧められて口座開設しただけ」が他層に比べてやや高い。〔図5-15〕

〔図 5-13〕

	n=	どの商品を購入してよいかわからないから	投資に回すお金がないから	金融機関に勧められて口座開設しただけだから	投資自体に関心がないから	経済状況など、商品購入や口座開設のタイミングを見定めているから	非課税期間が短いから	制度が複雑でよく理解できないから	投資の知識がないから／知識がないと難しそうだから	制度の内容を知らないから	年間の非課税投資限度額(120万円)が小さいから	株式や投資信託以外の商品(国債など)が購入できないから	既に十分な資産があり、投資は必要ないから	その他	特に理由はない	(%)
2019年	(642)	17.0	15.4	12.3	9.0	7.6	7.5	7.5	7.2	4.8	4.5	3.4	1.1	1.7	28.5	
2018年	(660)	21.2	22.6	18.6	7.7	8.8	4.1	7.4	10.6	6.8	5.2	2.7	0.8	1.8	20.2	
2017年	(878)	19.5	20.6	14.0	8.2	9.0	7.2	6.8	9.0	6.9	6.4	5.9	1.4	1.6	23.0	

〔図 5-14〕 * 2019年属性別

	n=	どの商品を購入してよいかわからないから	投資に回すお金がないから	金融機関に勧められて口座開設しただけだから	投資自体に関心がないから	経済状況など、商品購入や口座開設のタイミングを見定めているから	非課税期間が短いから	制度が複雑でよく理解できないから	投資の知識がないから／知識がないと難しそうだから	制度の内容を知らないから	年間の非課税投資限度額(120万円)が小さいから	株式や投資信託以外の商品(国債など)が購入できないから	既に十分な資産があり、投資は必要ないから	その他	特に理由はない	(%)
TOTAL	(642)	17.0	15.4	12.3	9.0	7.6	7.5	7.5	7.2	4.8	4.5	3.4	1.1	1.7	28.5	
性別																
男性	(398)	16.8	17.3	9.5	7.0	8.0	7.8	5.8	5.8	4.8	5.5	4.0	1.0	2.3	29.9	
女性	(244)	17.2	12.3	16.8	12.3	7.0	7.0	10.2	9.4	4.9	2.9	2.5	1.2	0.8	26.2	
年代別																
20代	(65)	29.2	15.4	1.5	1.5	20.0	12.3	18.5	6.2	10.8	12.3	6.2	0.0	1.5	13.8	
30代	(94)	25.5	16.0	12.8	7.4	6.4	8.5	8.5	11.7	3.2	3.2	3.2	1.1	1.1	28.7	
40代	(115)	18.3	13.9	8.7	6.1	7.8	6.1	7.8	10.4	5.2	1.7	1.7	0.9	2.6	27.0	
50代	(106)	14.2	13.2	10.4	10.4	4.7	4.7	4.7	4.7	7.5	4.7	1.9	0.9	1.9	35.8	
60代	(141)	12.1	15.6	14.2	11.3	7.8	6.4	7.1	7.8	2.8	3.5	5.0	1.4	2.1	29.8	
70代	(121)	10.7	18.2	20.7	13.2	4.1	9.1	3.3	2.5	2.5	5.0	3.3	1.7	0.8	29.8	
世帯年収別																
100万円未満	(13)	7.7	7.7	7.7	7.7	23.1	15.4	7.7	15.4	7.7	0.0	15.4	0.0	0.0	30.8	
～300万円未満	(85)	9.4	27.1	10.6	10.6	4.7	4.7	8.2	10.6	9.4	3.5	3.5	0.0	3.5	22.4	
～500万円未満	(143)	14.0	16.8	14.7	11.9	3.5	7.7	4.9	4.2	5.6	2.8	2.8	1.4	1.4	27.3	
～1000万円未満	(233)	19.3	14.2	11.6	6.0	7.7	9.4	8.2	5.6	4.3	6.4	3.4	1.7	1.3	28.3	
1000万円以上	(75)	20.0	10.7	10.7	9.3	12.0	4.0	10.7	10.7	2.7	6.7	1.3	0.0	1.3	29.3	

〔図 5-15〕 * 2019年属性別

	n=	どの商品を購入してよいかわからないから	投資に回すお金がないから	金融機関に勧められて口座開設しただけだから	投資自体に関心がないから	経済状況など、商品購入や口座開設のタイミングを見定めているから	非課税期間が短いから	制度が複雑でよく理解できないから	投資の知識がないから／知識がないと難しそうだから	制度の内容を知らないから	年間の非課税投資限度額(120万円)が小さいから	株式や投資信託以外の商品(国債など)が購入できないから	既に十分な資産があり、投資は必要ないから	その他	特に理由はない	(%)
TOTAL	(642)	17.0	15.4	12.3	9.0	7.6	7.5	7.5	7.2	4.8	4.5	3.4	1.1	1.7	28.5	
投資信託保有状況別																
保有層・保有経験層																
現在保有層	(165)	17.0	18.2	14.5	4.2	7.3	9.1	8.5	4.8	4.8	6.7	3.6	1.2	3.6	25.5	
保有経験層(現在非保有)	(61)	9.8	21.3	14.8	9.8	11.5	11.5	3.3	6.6	1.6	6.6	6.6	0.0	4.9	26.2	
金融資産保有経験層																
認知・保有層	(261)	17.6	14.9	11.9	11.1	6.1	6.1	4.6	5.7	3.4	5.0	3.1	1.9	0.8	27.6	
未経験層	(97)	16.5	13.4	8.2	12.4	6.2	8.2	13.4	15.5	8.2	1.0	3.1	0.0	0.0	27.8	

5. NISAの浸透状況、今後の利用意向

(7) NISA口座未開設理由

(NISA認知・口座未開設層)〔Q20①:重複回答〕

- NISA口座未開設理由は、「投資自体に関心がない」(25.7%)、「投資の知識がない／知識がないと難しそう」(18.1%)、「投資に回すお金がない」(17.0%)が上位。前回より「制度の内容を知らない」(7.9%)は6.4ポイント減少。〔図5-16〕 * 今回の変動は調査パネル変更の影響も考えられる
- 若年層ほど「投資自体に関心がない」は低いが、「投資に回すお金がない」という経済的理由や、「投資の知識がない／知識がないと難しそう」「制度内容を知らない」「どの商品を購入してよいかわからない」「制度が複雑でよく理解できない」などの知識不足の項目が高い。〔図5-17〕
- 投資信託現在保有層で「非課税期間が短い」「非課税投資限度額が小さい」との制度上の不満がやや高い。〔図5-18〕

〔図 5-16〕

	n=	投資自体に関心がないから	投資の知識がないから	投資に回すお金がないから	制度の内容を知らないから	どの商品を購入してよいかわからないから	制度が複雑でよく理解できないから	口座開設の申し込みが煩雑で面倒だから	非課税期間が短いから	年間の非課税投資限度額(120万円)が小さいから	経済状況など、商品購入や口座開設のタイミングを見定めているから	株式や投資信託以外の商品(国債など)が購入できないから	既に十分な資産があり、投資は必要ないから	その他	特に理由はない	(%)
2019年	(10628)	25.7	18.1	17.0	7.9	7.4	7.3	7.1	2.7	1.9	1.7	0.7	0.7	1.3	35.4	
2018年	(8697)	26.4	17.0	20.3	14.3	11.9	10.3	7.2	2.8	1.9	2.1	1.0	0.6	1.0	32.6	
2017年	(7369)	22.8	17.6	20.9	15.9	12.4	10.8	7.7	3.7	2.5	2.1	1.3	0.5	0.8	34.1	

〔図 5-17〕 * 2019年属性別

	n=	投資自体に関心がないから	投資の知識がないから	投資に回すお金がないから	制度の内容を知らないから	どの商品を購入してよいかわからないから	制度が複雑でよく理解できないから	口座開設の申し込みが煩雑で面倒だから	非課税期間が短いから	年間の非課税投資限度額(120万円)が小さいから	経済状況など、商品購入や口座開設のタイミングを見定めているから	株式や投資信託以外の商品(国債など)が購入できないから	既に十分な資産があり、投資は必要ないから	その他	特に理由はない	(%)
TOTAL	(10628)	25.7	18.1	17.0	7.9	7.4	7.3	7.1	2.7	1.9	1.7	0.7	0.7	1.3	35.4	
性別																
男性	(4998)	20.9	13.3	16.5	6.2	6.1	5.4	7.2	3.7	2.8	2.1	1.0	0.9	1.4	40.1	
女性	(5630)	29.9	22.3	17.5	9.4	8.6	9.0	6.9	1.8	1.1	1.4	0.5	0.5	1.1	31.2	
年代別																
20代	(1255)	18.6	27.6	20.1	12.3	8.9	9.6	8.1	3.3	1.7	2.9	1.1	0.6	1.4	31.5	
30代	(1782)	18.4	24.1	19.7	11.9	10.8	11.4	9.7	3.3	1.8	3.4	1.0	0.7	1.1	31.3	
40代	(2314)	22.7	18.9	18.2	7.6	9.2	8.5	8.3	2.7	2.1	1.8	0.7	0.5	1.2	34.7	
50代	(1976)	27.2	15.0	15.9	6.1	6.1	5.2	6.6	2.9	2.2	1.3	0.7	1.0	1.1	37.4	
60代	(1899)	33.1	12.7	14.3	5.1	4.2	4.6	4.9	2.3	1.5	0.8	0.7	0.7	1.7	37.6	
70代	(1402)	34.2	12.1	14.3	5.6	5.2	4.8	4.3	1.6	2.1	0.4	0.4	0.6	1.1	39.6	
世帯年収別																
100万円未満	(368)	28.8	15.5	21.7	5.7	3.8	7.6	9.8	1.9	1.1	1.1	0.5	1.1	1.1	32.3	
~300万円未満	(1566)	29.2	17.9	23.8	7.8	6.3	6.8	6.1	2.6	1.4	1.3	0.6	0.9	1.5	30.5	
~500万円未満	(2445)	26.3	19.9	19.4	9.0	9.0	8.4	7.6	3.3	1.7	1.6	0.5	0.6	1.6	31.6	
~1000万円未満	(3172)	22.9	18.0	16.0	8.2	8.8	7.7	7.7	3.1	2.5	2.5	1.2	0.5	1.2	34.4	
1000万円以上	(764)	21.1	14.8	7.3	7.1	8.2	6.8	9.4	3.5	4.3	3.0	1.3	1.4	1.0	36.6	

〔図 5-18〕 * 2019年属性別

	n=	投資自体に関心がないから	投資の知識がないから	投資に回すお金がないから	制度の内容を知らないから	どの商品を購入してよいかわからないから	制度が複雑でよく理解できないから	口座開設の申し込みが煩雑で面倒だから	非課税期間が短いから	年間の非課税投資限度額(120万円)が小さいから	経済状況など、商品購入や口座開設のタイミングを見定めているから	株式や投資信託以外の商品(国債など)が購入できないから	既に十分な資産があり、投資は必要ないから	その他	特に理由はない	(%)
TOTAL	(10628)	25.7	18.1	17.0	7.9	7.4	7.3	7.1	2.7	1.9	1.7	0.7	0.7	1.3	35.4	
投資信託保有状況別	保有層・現在保有層	(819)	7.1	9.3	12.5	5.4	8.2	5.3	10.7	10.4	7.7	4.2	2.4	1.1	4.9	34.3
	保有経験層(現在非保有)	(326)	20.2	9.2	17.5	8.9	6.4	8.3	9.2	5.2	4.0	2.8	0.9	2.1	4.6	34.4
	金融資産保有経験有	(2149)	18.9	15.2	16.4	7.4	8.1	7.2	9.4	4.6	3.8	2.1	1.1	1.2	1.3	34.1
	金融資産保有経験無	(5624)	32.3	23.1	20.1	9.7	8.3	8.6	6.4	1.2	0.6	1.5	0.5	0.4	0.8	30.5

5. NISAの浸透状況、今後の利用意向

(8) NISA口座での金融商品購入検討のきっかけ (NISA口座開設・金融商品未購入層)〔Q21①:重複回答〕

- NISA口座での金融商品購入検討のきっかけは、「貯蓄が一定額に達したら」(12.1%)、「手取り収入が増えたら」(11.7%)という経済的理由がほぼ並んで上位。「金融機関窓口などで専門知識を持つ人に教えてもらえたら」(7.0%)は前回より10.3ポイント減少。〔図5-19〕

* 今回の変動は調査パネル変更の影響も考えられる

- 20代で「身近な人に勧められたら」「初心者向けセミナーなど、仕組みをわかりやすく説明してもらえる機会があったら」が高い。〔図5-20〕
- 投資信託保有経験層では「経済が上向きになり、値上がりが見込めるようになったら」「税制上の優遇措置がより拡充してきたら」が他層よりやや高い。〔図5-21〕

〔図 5-19〕

	n=	貯蓄が一定額に達したら	手取り収入が増えたら	金融や投資を勉強して理解できた	経済が上向きになり、値上がりが見込めるようになったら	低リスクの投資信託商品が充実してきた	身近な人に勧められたら	初心者向けセミナーなど、仕組みをわかりやすく説明してもらえる機会があったら	手数料の低い投資信託商品が充実してきた	税制上の優遇措置がより拡充してきた	金融機関窓口などで、専門知識を持つ人に教えてもらえたら	退職金・相続などで収入が増えたら	職場で制度が導入されたら	その他	特にな	(%)
2019年	(642)	12.1	11.7	10.6	10.3	10.0	8.9	8.4	7.9	7.3	7.0	5.6	1.4	0.5	39.6	
2018年	(660)	10.9	11.4	13.6	11.8	7.0	13.8	8.0	6.5	10.3	17.3	5.3	-	1.1	35.2	
2017年	(878)	9.7	11.7	12.9	8.2	8.0	12.9	7.2	7.4	11.4	18.8	3.6	-	1.0	35.5	

〔図 5-20〕 * 2019年属性別

※選択肢「職場で制度が導入されたら」は2019年より聴取

	n=	貯蓄が一定額に達したら	手取り収入が増えたら	金融や投資を勉強して理解できた	経済が上向きになり、値上がりが見込めるようになったら	低リスクの投資信託商品が充実してきた	身近な人に勧められたら	初心者向けセミナーなど、仕組みをわかりやすく説明してもらえる機会があったら	手数料の低い投資信託商品が充実してきた	税制上の優遇措置がより拡充してきた	金融機関窓口などで、専門知識を持つ人に教えてもらえたら	退職金・相続などで収入が増えたら	職場で制度が導入されたら	その他	特にな	(%)
TOTAL	(642)	12.1	11.7	10.6	10.3	10.0	8.9	8.4	7.9	7.3	7.0	5.6	1.4	0.5	39.6	
性別																
男性	(398)	13.1	12.6	9.3	9.3	7.8	7.5	8.0	7.8	8.8	5.3	7.3	1.3	0.5	40.7	
女性	(244)	10.7	10.2	12.7	11.9	13.5	11.1	9.0	8.2	4.9	9.8	2.9	1.6	0.4	37.7	
年代別																
20代	(65)	21.5	20.0	15.4	1.5	12.3	20.0	18.5	6.2	4.6	4.6	9.2	1.5	0.0	16.9	
30代	(94)	19.1	24.5	11.7	6.4	10.6	10.6	11.7	7.4	5.3	14.9	6.4	5.3	1.1	22.3	
40代	(115)	16.5	21.7	13.9	7.8	11.3	8.7	13.9	5.2	7.8	5.2	12.2	0.9	0.0	35.7	
50代	(106)	11.3	5.7	9.4	10.4	7.5	13.2	2.8	8.5	6.6	3.8	6.6	0.9	0.9	42.5	
60代	(141)	5.0	1.4	9.9	14.9	12.8	4.3	5.0	12.8	7.8	7.8	1.4	0.7	0.7	48.2	
70代	(121)	6.6	5.0	5.8	14.9	5.8	3.3	4.1	5.8	9.9	5.8	0.8	0.0	0.0	56.2	
世帯年収別																
100万円未満	(13)	7.7	15.4	7.7	15.4	7.7	7.7	0.0	7.7	0.0	7.7	0.0	0.0	0.0	61.5	
~300万円未満	(85)	10.6	15.3	9.4	14.1	12.9	4.7	3.5	9.4	8.2	9.4	7.1	2.4	1.2	41.2	
~500万円未満	(143)	11.9	13.3	9.1	8.4	8.4	9.8	10.5	8.4	9.1	6.3	4.9	0.7	0.0	37.1	
~1000万円未満	(233)	14.2	12.4	10.3	8.6	10.3	9.9	9.4	6.9	5.6	6.9	8.6	0.9	0.0	36.5	
1000万円以上	(75)	20.0	9.3	16.0	10.7	6.7	12.0	8.0	2.7	6.7	8.0	2.7	4.0	0.0	37.3	

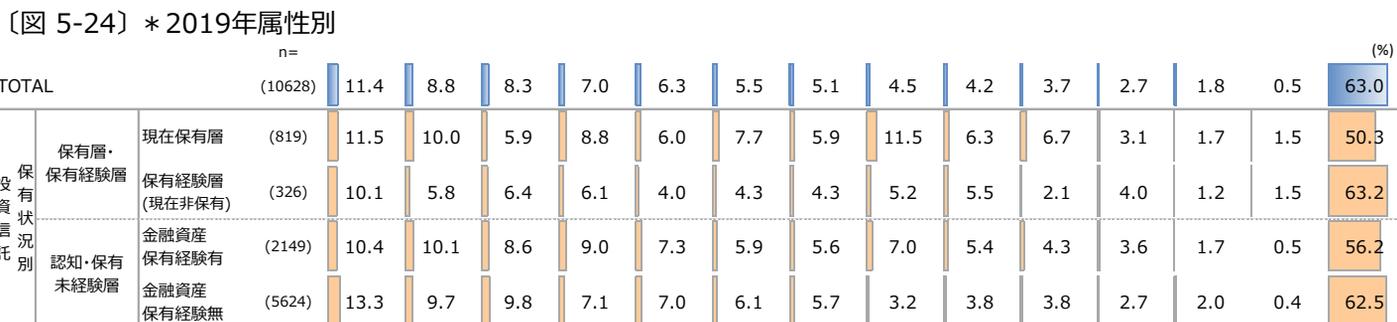
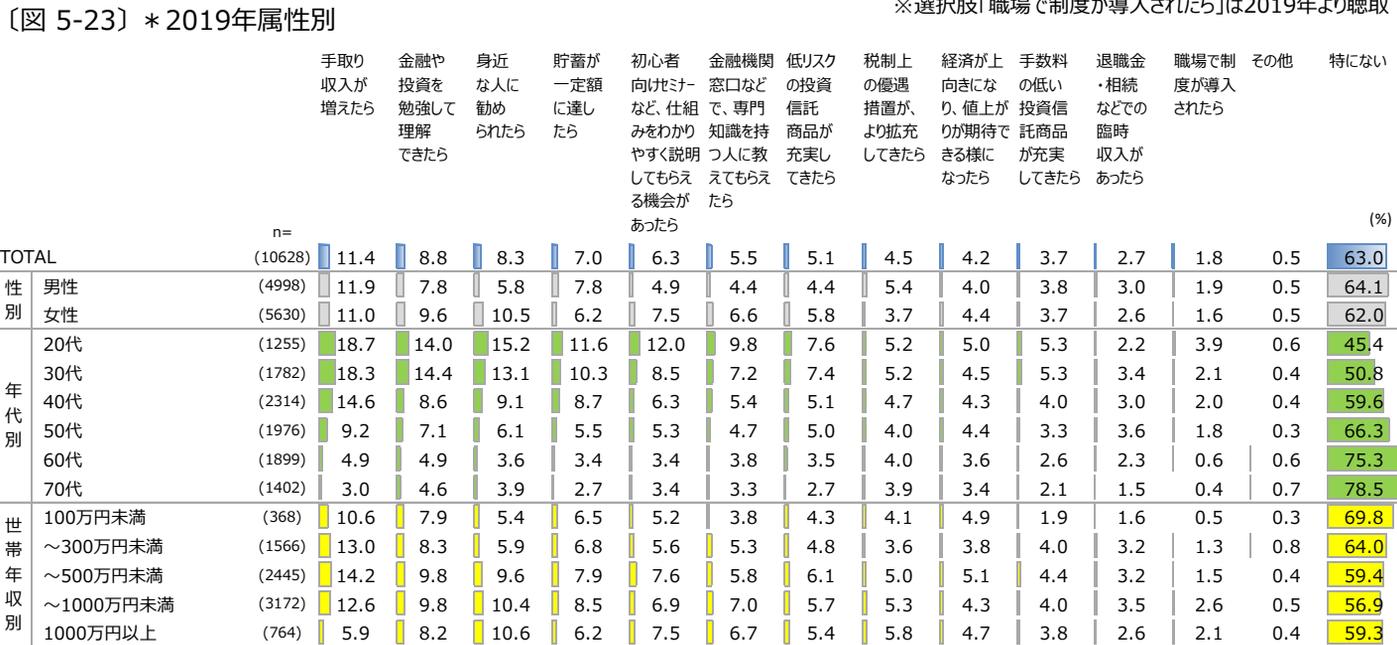
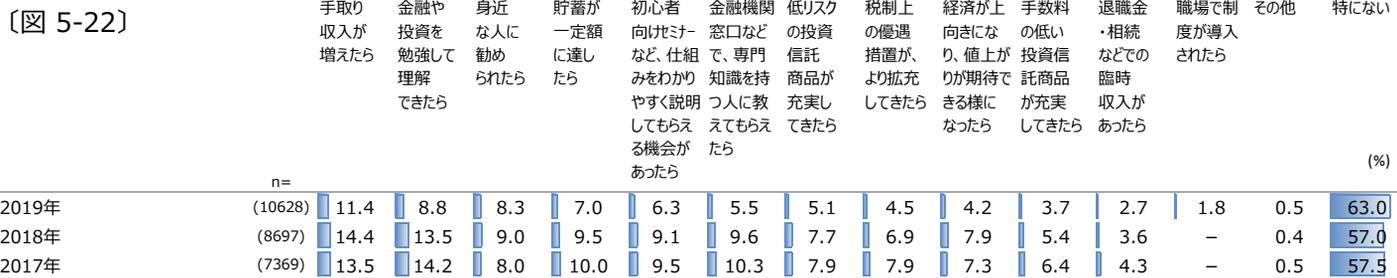
〔図 5-21〕 * 2019年属性別

	n=	貯蓄が一定額に達したら	手取り収入が増えたら	金融や投資を勉強して理解できた	経済が上向きになり、値上がりが見込めるようになったら	低リスクの投資信託商品が充実してきた	身近な人に勧められたら	初心者向けセミナーなど、仕組みをわかりやすく説明してもらえる機会があったら	手数料の低い投資信託商品が充実してきた	税制上の優遇措置がより拡充してきた	金融機関窓口などで、専門知識を持つ人に教えてもらえたら	退職金・相続などで収入が増えたら	職場で制度が導入されたら	その他	特にな	(%)
TOTAL	(642)	12.1	11.7	10.6	10.3	10.0	8.9	8.4	7.9	7.3	7.0	5.6	1.4	0.5	39.6	
投資信託保有状況別	保有層・現在保有層	(165)	10.3	11.5	8.5	12.1	15.8	6.1	8.5	12.1	8.5	5.5	7.3	1.2	0.6	42.4
	保有層・保有経験層(現在非保有)	(61)	4.9	11.5	11.5	18.0	6.6	6.6	8.2	14.8	16.4	6.6	6.6	0.0	1.6	29.5
	未保有層・金融資産保有経験層	(261)	13.8	11.1	10.3	8.8	6.9	11.5	8.8	4.2	6.9	6.5	5.4	1.9	0.4	40.2
	未保有層・金融資産未保有経験層	(97)	17.5	14.4	16.5	6.2	11.3	11.3	7.2	8.2	2.1	12.4	4.1	1.0	0.0	30.9

5. NISAの浸透状況、今後の利用意向

(9) NISA口座開設検討のきっかけ (NISA認知・口座未開設層)[Q21①:重複回答]

- NISA口座開設検討のきっかけは、「手取り収入が増えたら」(11.4%)が最も高い。「金融や投資を勉強して理解できたら」(8.8%)、「初心者向けセミナーなど、仕組みをわかりやすく説明してもらえる機会があったら」(6.3%)、「金融機関窓口などで専門知識を持つ人に教えてもらえたら」(5.5%)など受動的理由は前回より減少傾向。〔図5-22〕 * 今回の変動は調査パネル変更の影響も考えられる
- 若年層ほど経済的状況の変化や知識不足の解消、「身近な人の勧め」が検討のきっかけとなる模様。〔図5-23〕
- 投資信託現在保有層では、「税制上の優遇措置がより拡充してきたら」が他層に比べてやや高い。〔図5-24〕



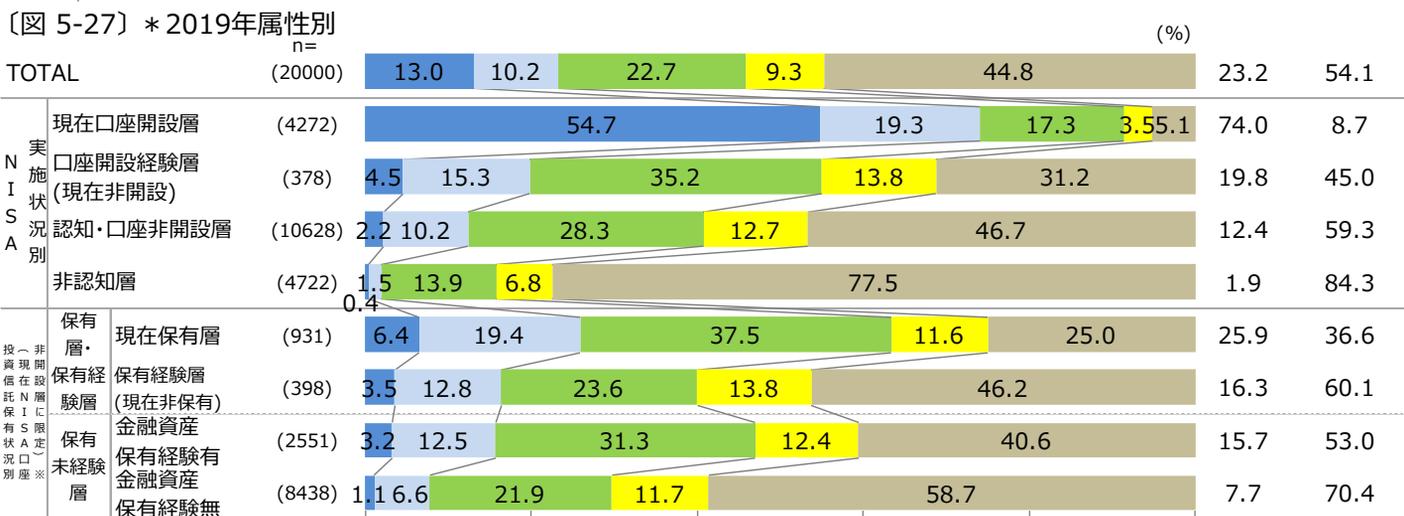
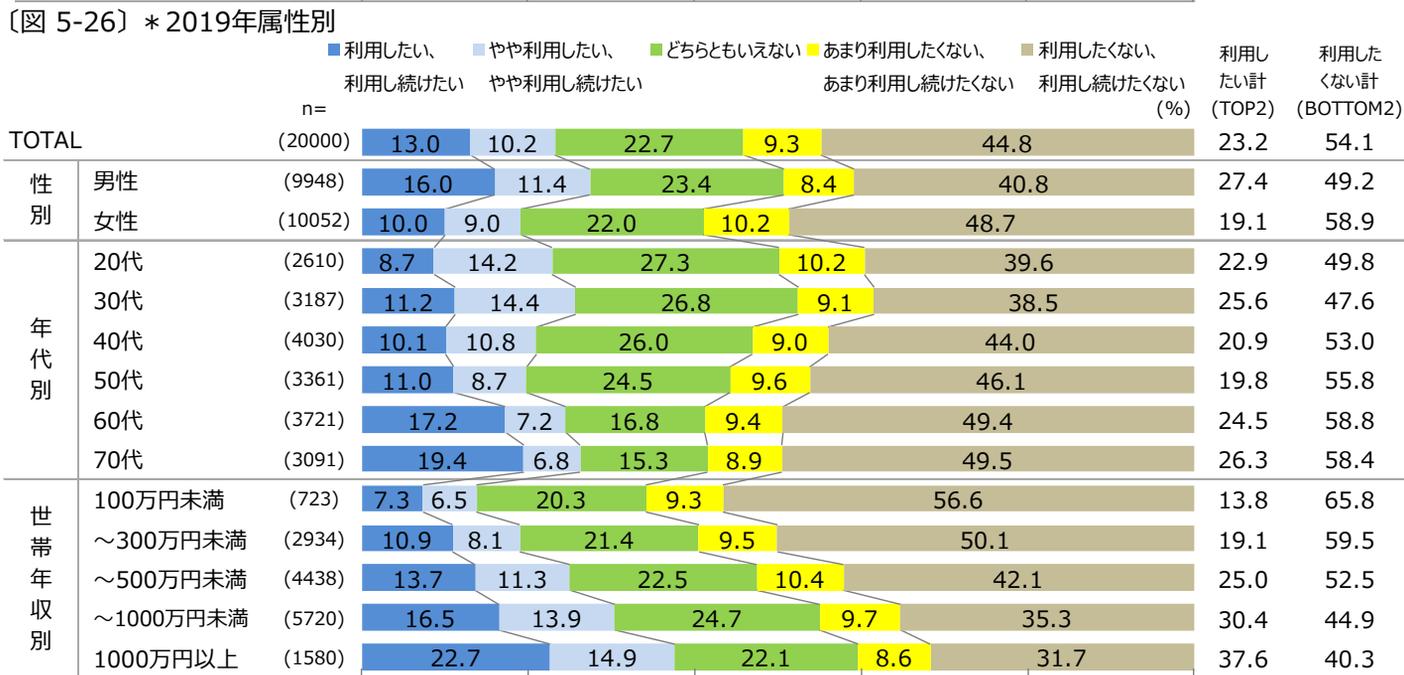
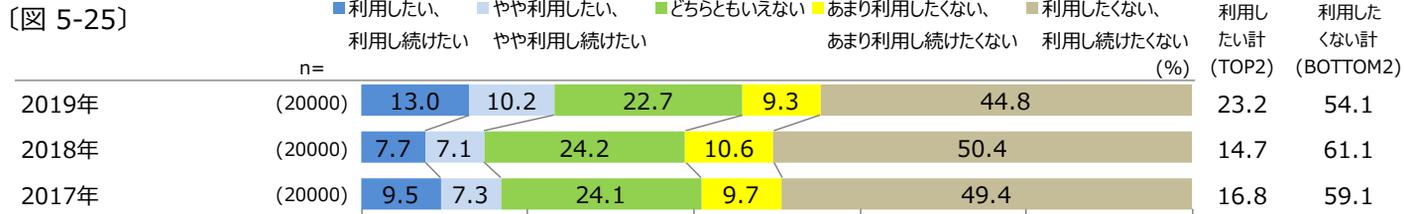
5. NISAの浸透状況、今後の利用意向

(10) NISAの今後の利用意向〔Q22①:単数回答〕

- NISAの利用・継続利用意向は、「利用したい計」(TOP2)が23.2%で前回より8.5ポイント増加し、「利用したくない計」(BOTTOM2)が54.1%で7.0ポイント減少。〔図5-25〕

* 今回の変動は調査パネル変更の影響も考えられる

- 「利用したい、利用し続けたい」との強い意向は60代・70代で高く、高年収層ほど高い。〔図5-26〕
- 現在NISA口座開設層は「利用したい計」が74.0%で、継続意向率が高い。〔図5-27〕

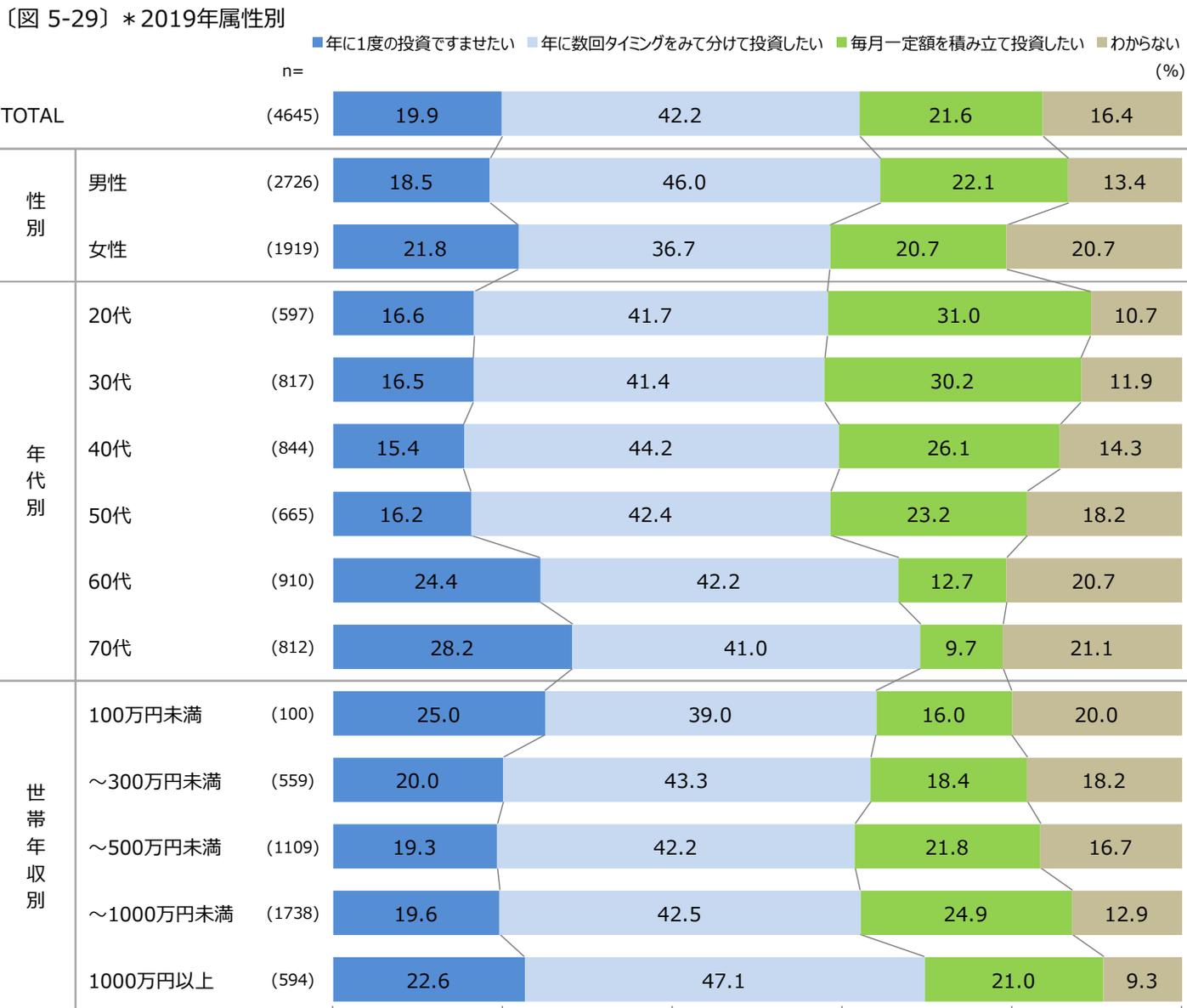
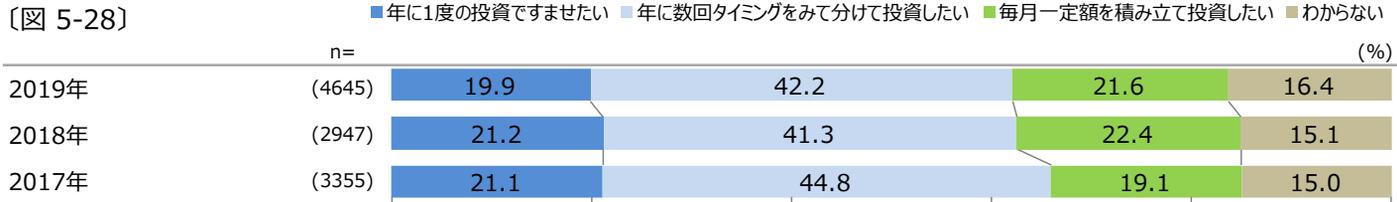


※NISA非認知層含む

5. NISAの浸透状況、今後の利用意向

(11) NISAでの投資方法意向(NISA今後利用意向者)[Q23①:単数回答]

- NISAで実施したい投資方法は、前回同様、「年に数回タイミングをみて分けて」(42.2%)が最も高く、「毎月一定額積立投資」(21.6%)も前回と同程度。〔図5-28〕
- 若年層ほど「毎月一定額積立投資意向」が高くなる。また、世帯収入が上がるほど、「年に数回タイミングをみて分けて投資したい」が高くなる傾向。〔図5-29〕



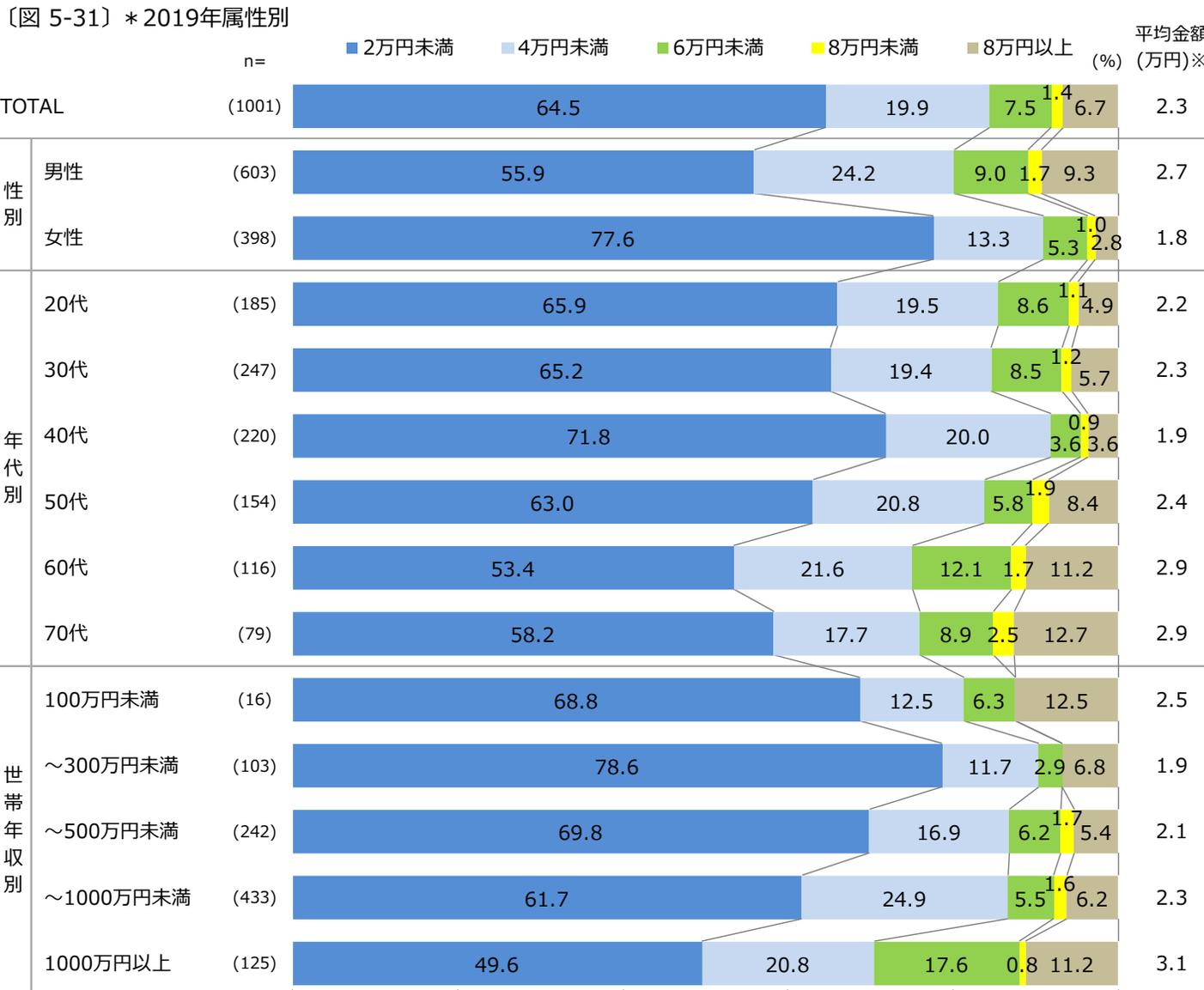
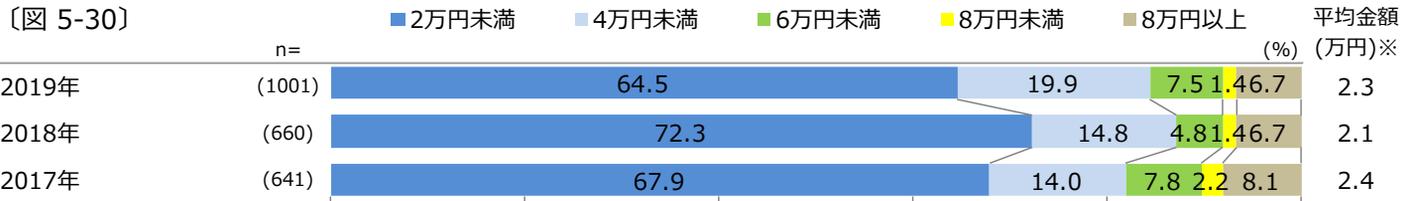
5. NISAの浸透状況、今後の利用意向

(12) NISAでの月次積立投資希望額(NISA毎月一定額積立投資意向層) 〔Q24_1:単数回答〕

- NISAでの月次積立投資希望額は、前回より「2万円未満」(64.5%)が7.8ポイント減少、「4万円未満」が5.1ポイント増加。平均金額(2.3万円)はやや増加。〔図5-30〕

* 今回の変動は調査パネル変更の影響も考えられる

- 平均金額は40代で2万円を切り、それ以外は2万円台。世帯年収「～300万円未満」以上の層では、高年収層ほど平均金額が高くなる。〔図5-31〕



※平均値算出にあたってのウエイト値 2万円未満：1万円／4万円未満：3万円／6万円未満：5万円／8万円未満：7万円／8万円以上：9万円

6. つみたてNISAの浸透状況、 今後の利用意向



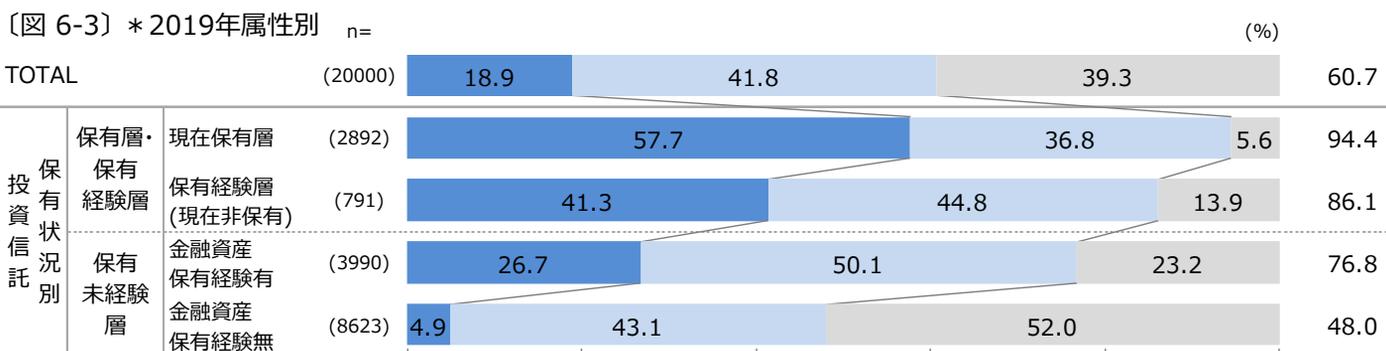
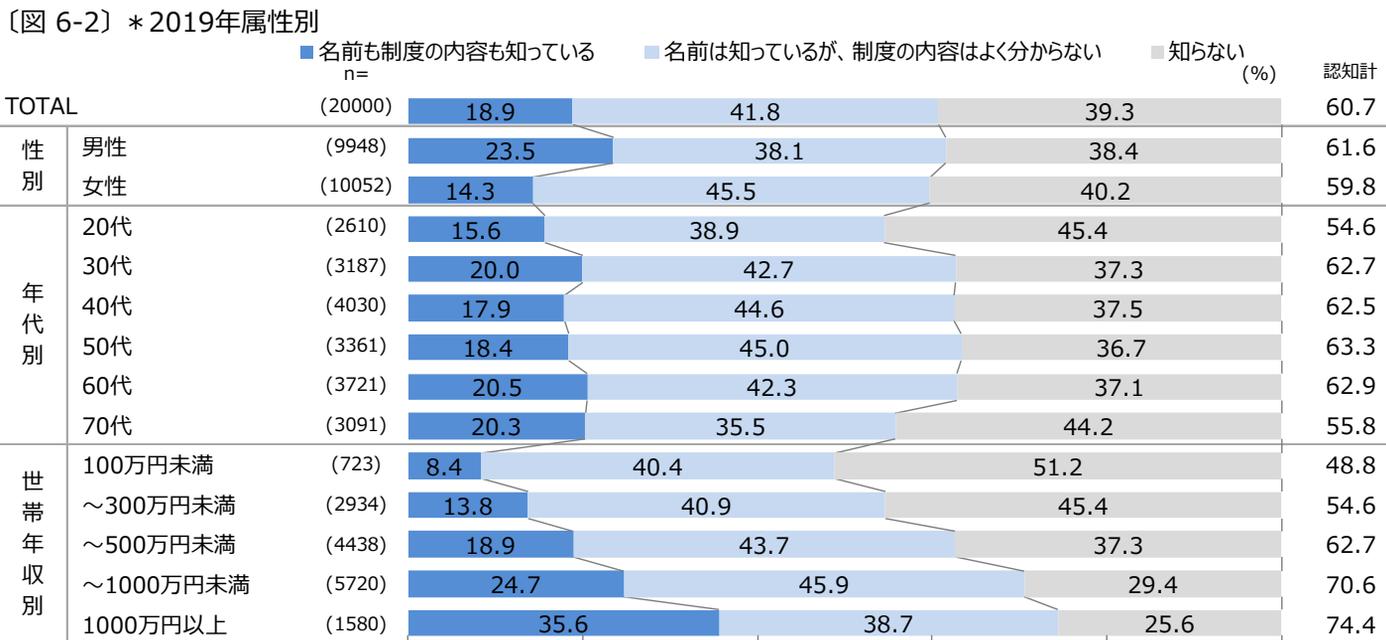
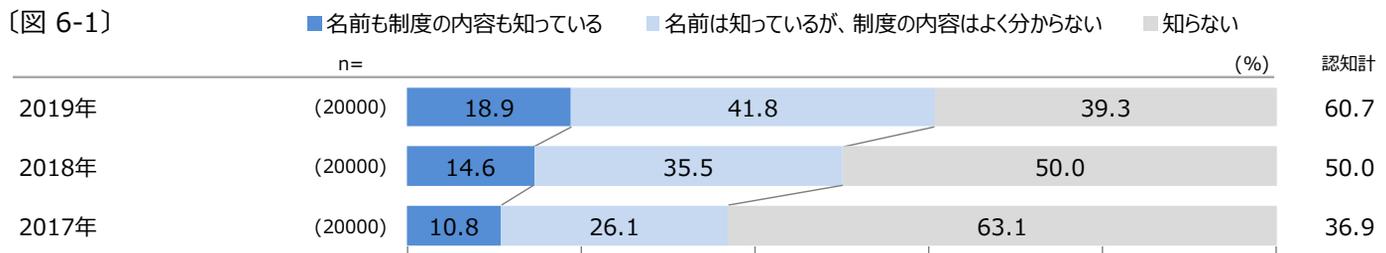
6. つみたてNISAの浸透状況、今後の利用意向

(1) つみたてNISAの認知〔Q15②:単数回答〕

- つみたてNISAの認知率(認知計)は60.7%と前回より10.7ポイント増加。2017年より増加傾向が続く。制度内容認知率(18.9%)も同様に増加傾向。〔図6-1〕

* 今回の変動は調査パネル変更の影響も考えられる

- 20代と70代で認知率がやや低い。また、世帯年収が上がるにつれて認知率は高くなる。〔図6-2〕
- 投資信託現在保有層では94.4%、保有経験層では86.1%と、投資へ高関与であるほど認知率は高い。一方で、多数を占める保有未経験層(金融資産保有経験無)での認知率は48.0%、制度内容認知率は4.9%と低い。〔図6-3〕



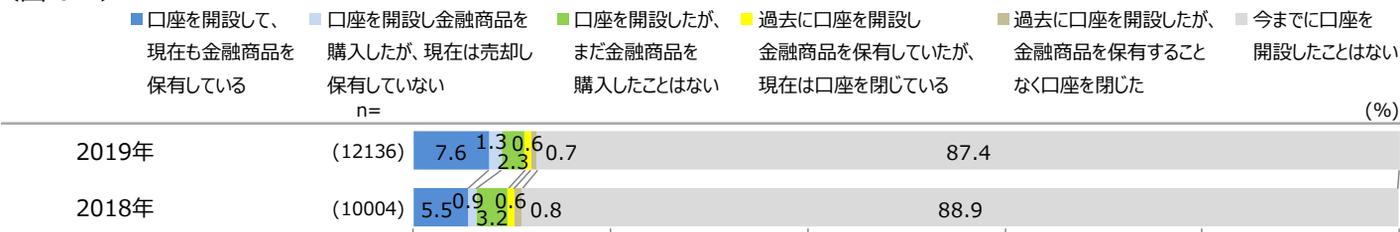
6. つみたてNISAの浸透状況、今後の利用意向

(2) つみたてNISAの利用状況（制度認知者）〔Q16_1②:単数回答〕

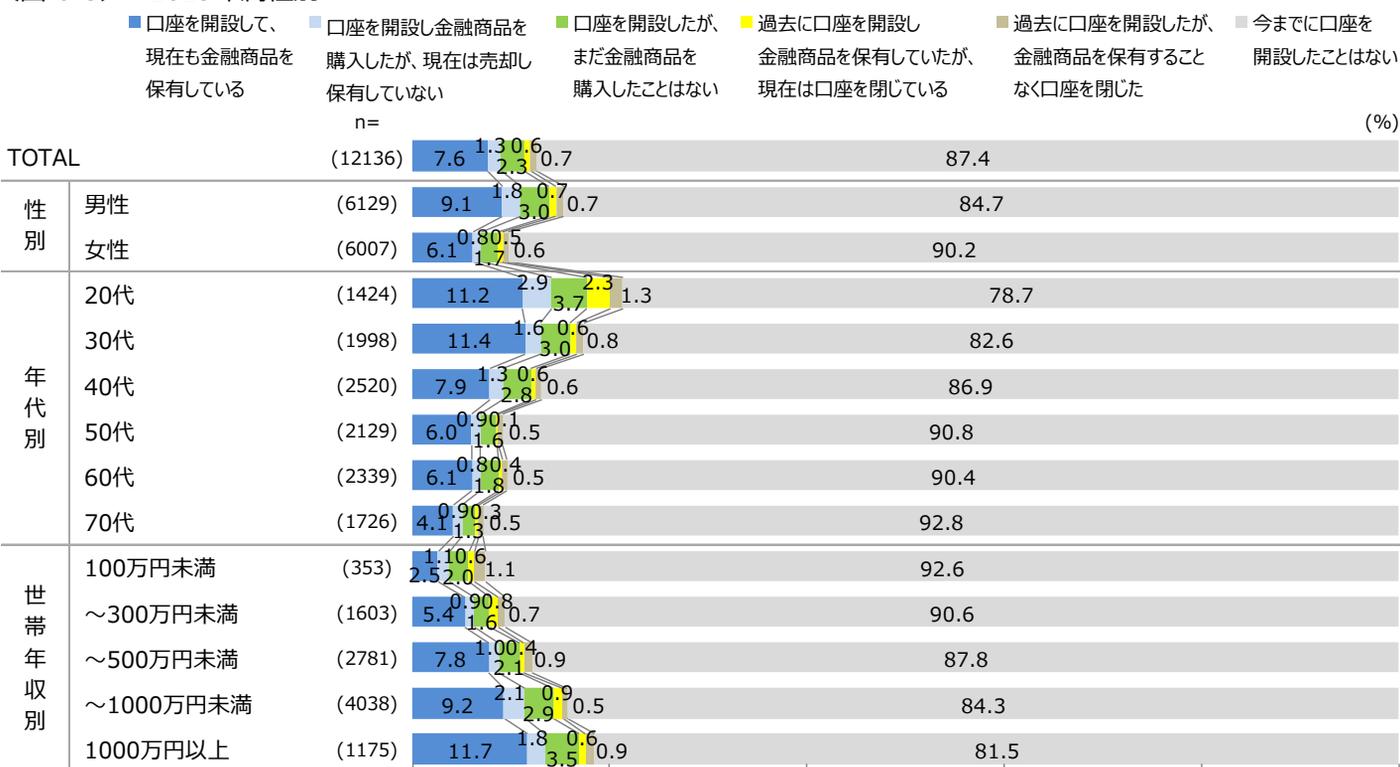
● つみたてNISA認知者のうち、つみたてNISAでの現在金融商品保有者は7.6%にとどまる。〔図6-4〕

● 投資信託現在保有層では、つみたてNISAでの現在金融商品保有者が20.4%で他層より高い。〔図6-6〕

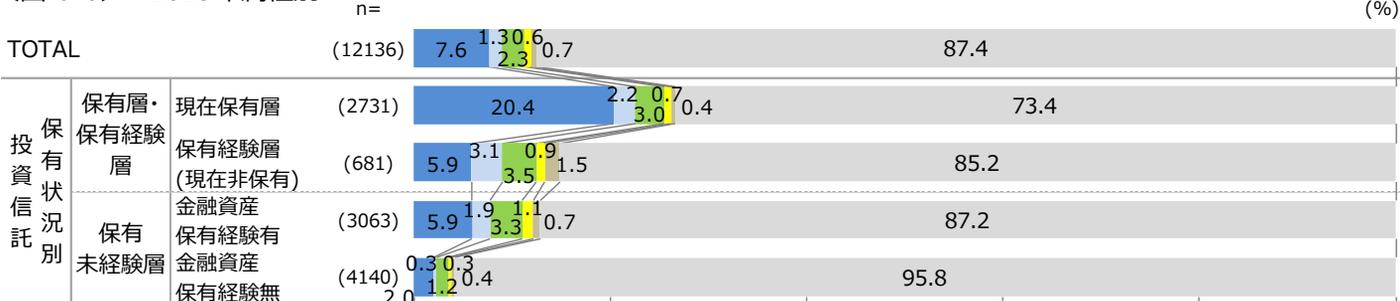
〔図 6-4〕



〔図 6-5〕 * 2019年属性別



〔図 6-6〕 * 2019年属性別



6. つみたてNISAの浸透状況、今後の利用意向

(3) つみたてNISAでの保有金融商品

(つみたてNISAでの現在金融商品保有者)〔Q17_2:重複回答〕

- つみたてNISAでの保有金融商品は、「投資信託」が82.1%を占める。また、「投信信託」の詳細内訳は、「外国株式に主に投資する投資信託」(33.8%)、「国内株式に主に投資する投資信託」(30.5%)の保有率が高い。〔図6-7〕
- 「国内株式／外国株式に主に投資する投資信託」では50代以下での保有率が高い。〔図6-8〕

〔図 6-7〕

	n=	投資信託	ETF	その他	不明・非回答 (%)
2019年	(926)	82.1	4.5	2.7	14.4
2018年	(553)	77.4	3.1	3.1	20.3

	n=	国内債券に主に投資する投資信託	外国債券に主に投資する投資信託	国内株式に主に投資する投資信託	外国株式に主に投資する投資信託	不動産投信に主に投資する投資信託 (除くJリート)	様々な資産に投資する投資信託 (%)
2019年	(926)	25.9	13.7	30.5	33.8	6.0	19.1
2018年	(553)	26.9	15.4	30.6	24.6	4.9	15.4

〔図 6-8〕 * 2019年属性別

	n=	投資信託	ETF	その他	不明・非回答 (%)
TOTAL	(926)	82.1	4.5	2.7	14.4
性別					
男性	(557)	85.8	5.2	2.7	10.6
女性	(369)	76.4	3.5	2.7	20.1
年代別					
20代	(159)	86.2	5.0	1.3	11.3
30代	(228)	85.5	4.8	1.3	12.7
40代	(198)	82.8	5.1	2.5	14.6
50代	(128)	81.3	3.9	3.9	13.3
60代	(142)	71.8	5.6	6.3	19.7
70代	(71)	81.7	0.0	1.4	16.9
世帯年収別					
100万円未満	(9)	77.8	0.0	11.1	11.1
～300万円未満	(86)	76.7	7.0	4.7	17.4
～500万円未満	(216)	83.8	3.2	1.9	13.9
～1000万円未満	(372)	86.8	5.4	2.4	9.4
1000万円以上	(137)	90.5	5.8	2.9	5.8

	n=	国内債券に主に投資する投資信託	外国債券に主に投資する投資信託	国内株式に主に投資する投資信託	外国株式に主に投資する投資信託	不動産投信に主に投資する投資信託 (除くJリート)	様々な資産に投資する投資信託 (%)
TOTAL	(926)	25.9	13.7	30.5	33.8	6.0	19.1
性別							
男性	(557)	25.3	14.7	34.3	41.3	6.6	18.5
女性	(369)	26.8	12.2	24.7	22.5	5.1	20.1
年代別							
20代	(159)	30.2	17.6	33.3	39.0	6.9	18.2
30代	(228)	24.1	14.5	30.3	45.2	8.8	20.6
40代	(198)	28.8	11.1	30.8	35.9	4.0	22.2
50代	(128)	28.1	12.5	31.3	35.2	3.1	18.8
60代	(142)	17.6	14.8	27.5	16.2	5.6	15.5
70代	(71)	26.8	9.9	28.2	12.7	7.0	15.5
世帯年収別							
100万円未満	(9)	66.7	11.1	22.2	44.4	0.0	11.1
～300万円未満	(86)	26.7	12.8	26.7	20.9	9.3	16.3
～500万円未満	(216)	23.6	15.7	35.2	36.1	6.9	19.9
～1000万円未満	(372)	25.3	12.1	33.1	38.7	5.6	19.6
1000万円以上	(137)	39.4	19.0	24.1	29.2	6.6	21.9

6. つみたてNISAの浸透状況、今後の利用意向

(4) つみたてNISAの口座開設検討機関

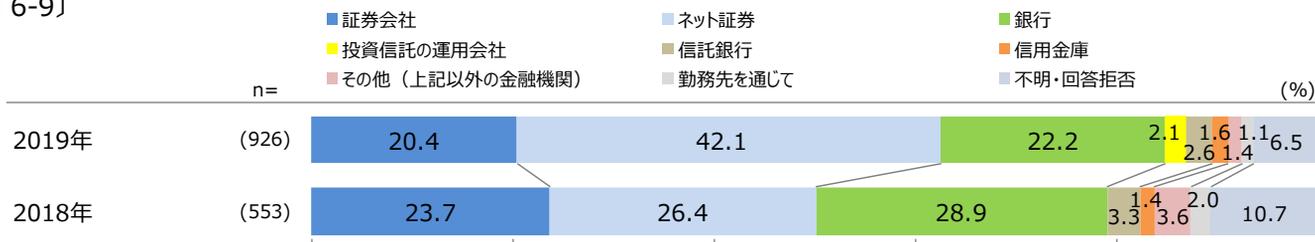
(つみたてNISAでの現在金融商品保有者)〔Q19②:単数回答〕

- つみたてNISAの口座開設金融機関は「ネット証券」が42.1%で最も高く、次いで「銀行」(22.2%)、「証券会社」(20.4%)が続く。前回に比べて、「ネット証券」が15.7ポイント増加。〔図6-9〕

* 今回の変動は調査パネル変更の影響も考えられる

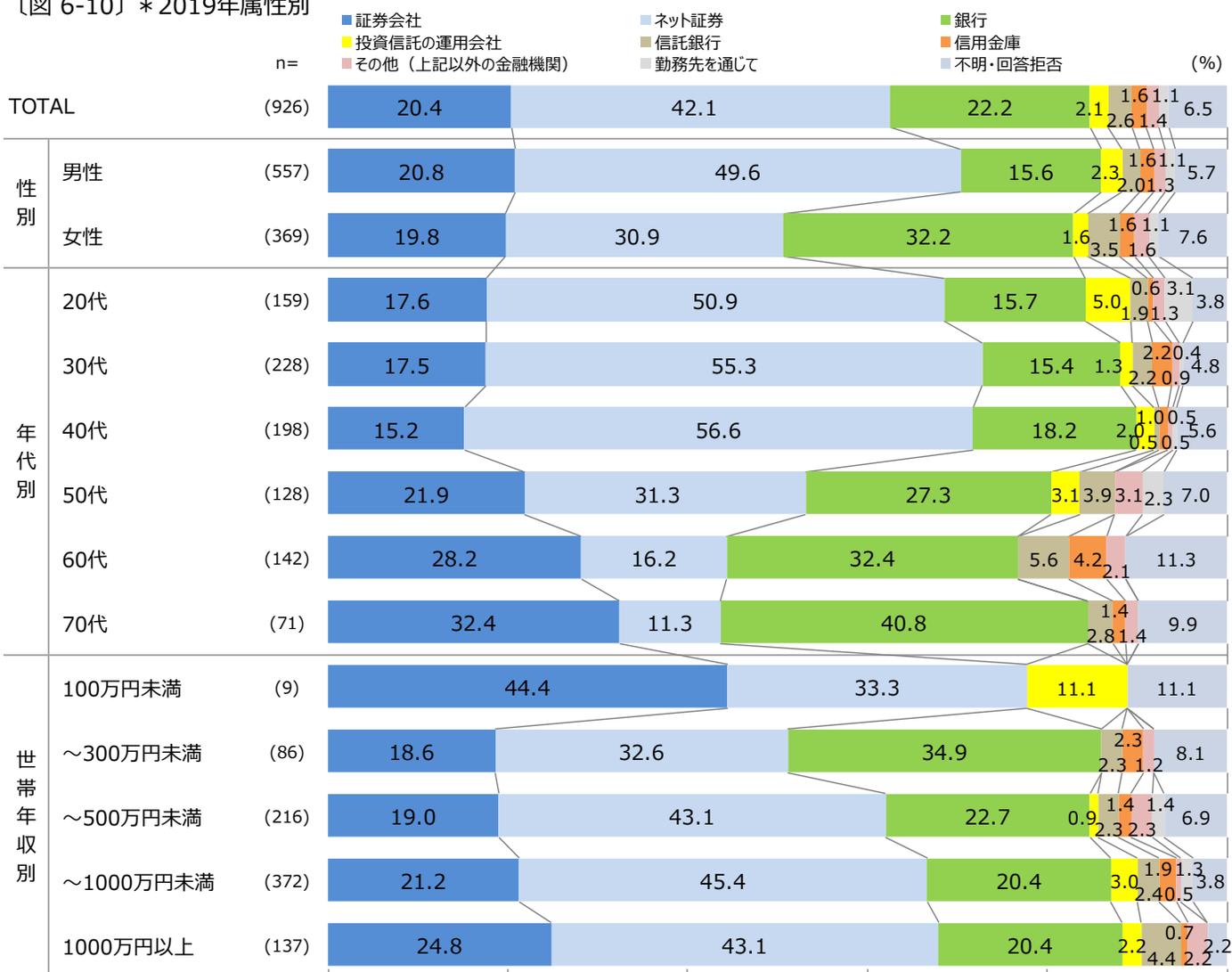
- 「証券会社」は高齢層ほど高く、「ネット証券」は20～40代が特に高い。〔図6-10〕

〔図 6-9〕



※選択肢「投資信託の運用会社」は2019年より聴取

〔図 6-10〕 * 2019年属性別



6. つみたてNISAの浸透状況、今後の利用意向

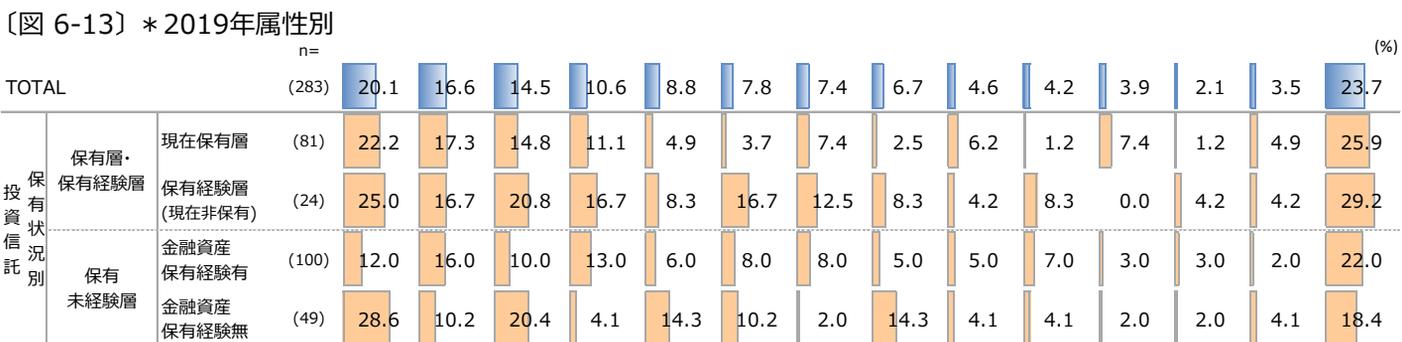
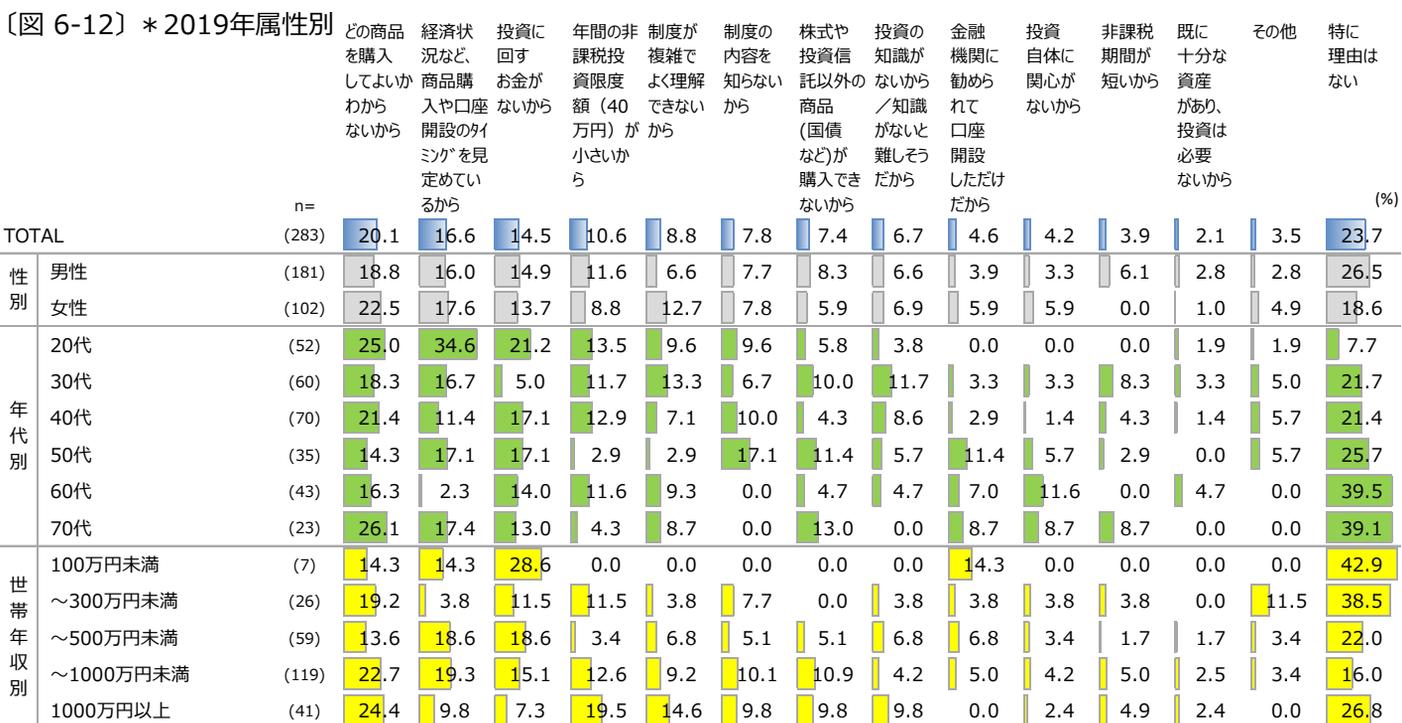
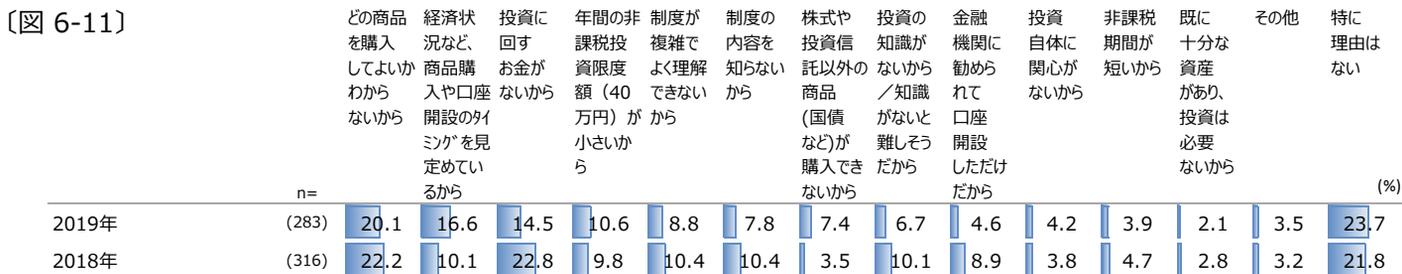
(5) つみたてNISA口座開設・金融商品未購入理由

(つみたてNISA口座開設・金融商品未購入層)[Q20②:重複回答]

- つみたてNISAでの金融商品未購入理由は「どの商品を購入してよいかわからない」(20.1%)が最も高い。前回に比べて「タイミングを見定めている」(16.6%)が6.5ポイント増加。〔図6-11〕

* 今回の変動は調査パネル変更の影響も考えられる

- 20代では「タイミングを見定めている」が他の年代に比べて高い。〔図6-12〕
- 投資信託現在保有層では「非課税期間が短いから」が他層よりやや高い。〔図6-13〕

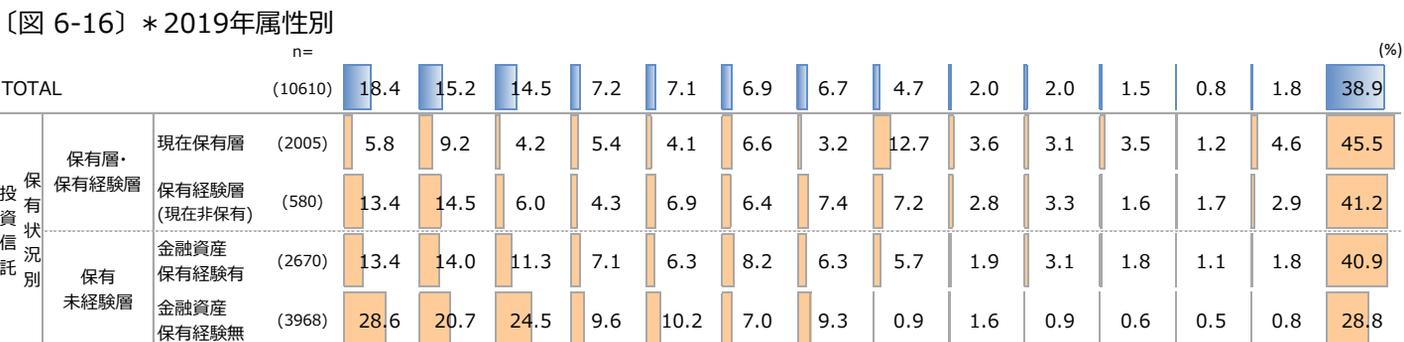
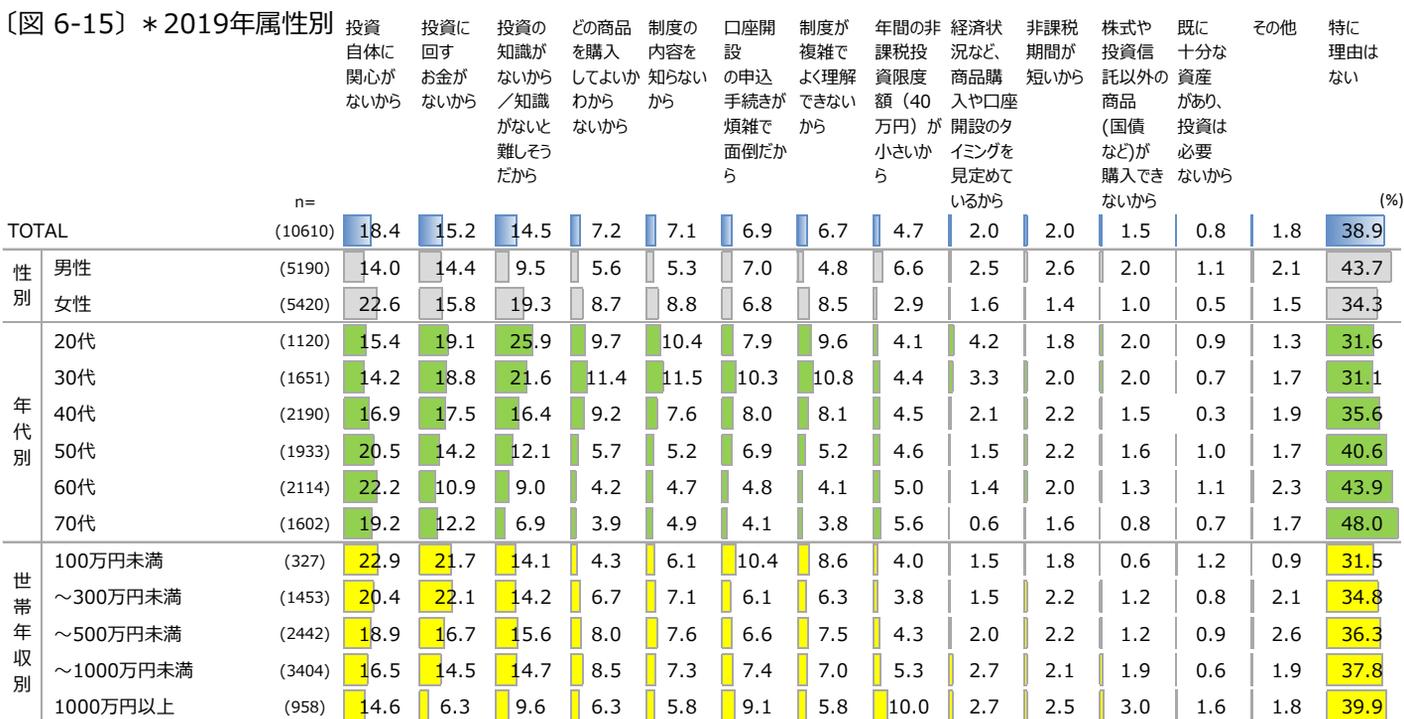
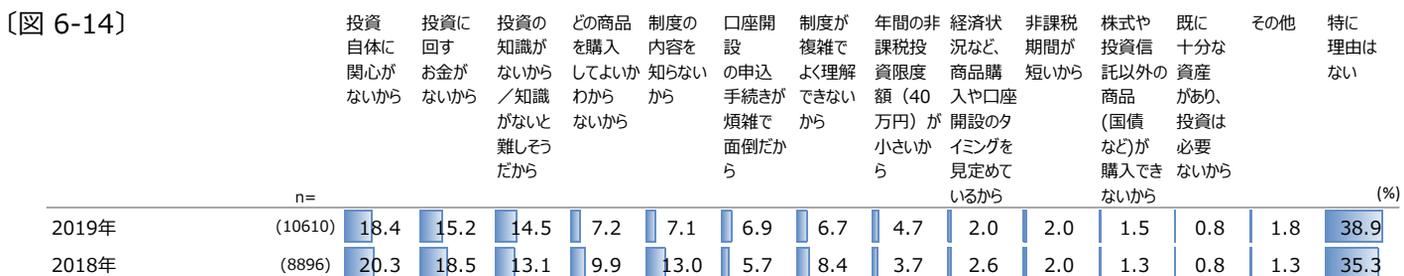


6. つみたてNISAの浸透状況、今後の利用意向

(6) つみたてNISA口座未開設理由

(つみたてNISA認知・口座未開設層)[Q20②:重複回答]

- つみたてNISA口座未開設理由は「投資自体に関心がない」(18.4%)、「投資に回すお金がない」(15.2%)、「投資の知識がない／知識がないと難しそう」(14.5%)が上位。前回より「制度の内容を知らない」(7.1%)が5.9ポイント減少。〔図6-14〕 * 今回の変動は調査パネル変更の影響も考えられる
- 若年層ほど「投資の知識がない／知識がないと難しそう」「どの商品を購入してよいかわからない」「制度の内容を知らない」「制度が複雑で理解できない」など知識・理解不足項目が高い傾向。〔図6-15〕
- 投資信託現在保有層で「年間の非課税投資限度額が小さい」がやや高い。〔図6-16〕

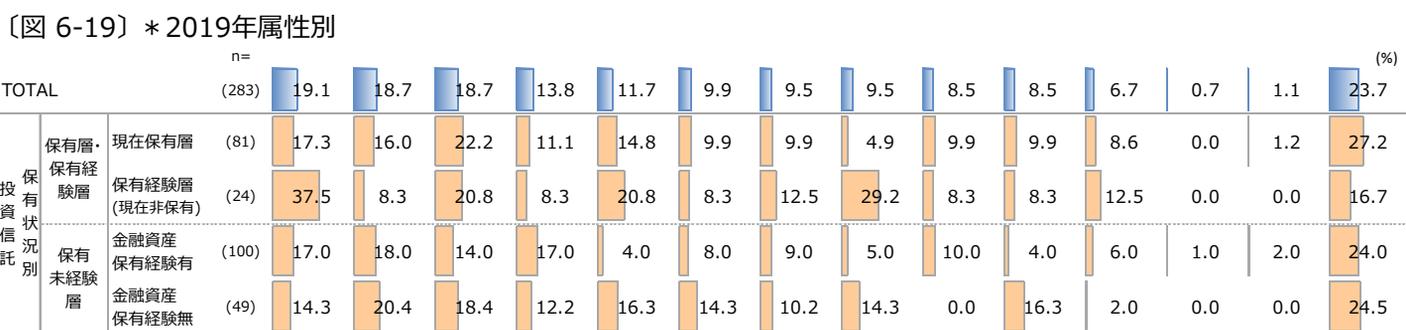
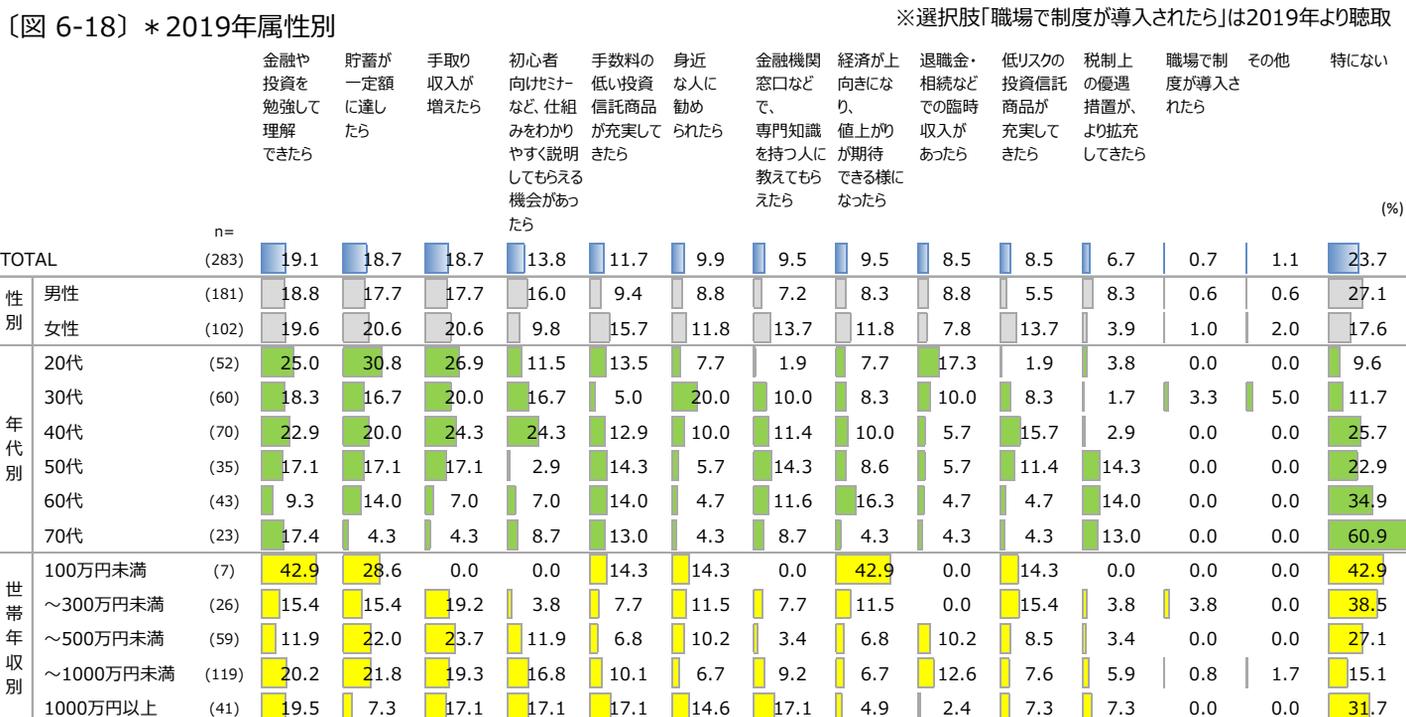
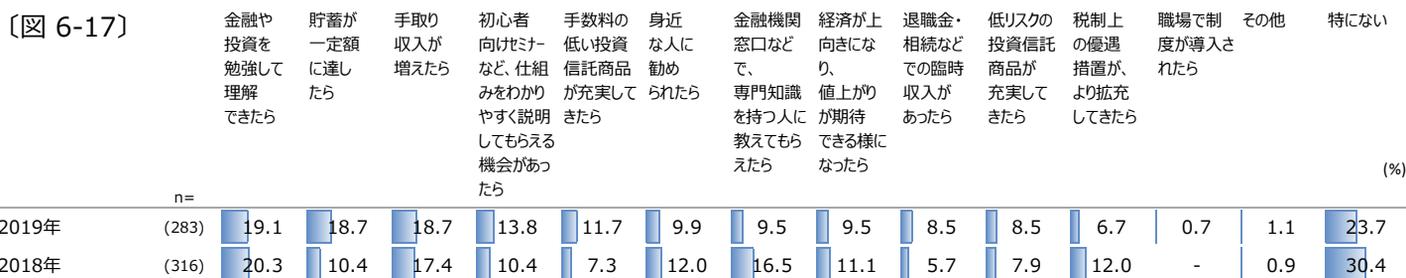


6. つみたてNISAの浸透状況、今後の利用意向

(7) つみたてNISAでの金融商品購入検討のきっかけ

(つみたてNISA口座開設・金融商品未購入層)[Q21②:重複回答]

- つみたてNISA口座での金融商品購入検討のきっかけは、「金融や投資を勉強して理解できたら」(19.1%)、「貯蓄が一定額に達したら」「手取り収入が増えたら」(各18.7%)が上位。前回より「貯蓄が一定額に達したら」が8.3ポイント増加した一方、「金融機関の窓口などで、専門の知識を持つ人に教えてもらえたら」(9.5%)が7.0ポイント、「税制上の優遇措置がより拡充してきたら」(6.7%)が5.3ポイント減少。〔図6-17〕 * 今回の変動は調査パネル変更の影響も考えられる
- 年代別で見ると、20代~40代で「手取り収入が増えたら」が他の年代より高い。また30代で「身近な人の勧め」がやや高い。〔図6-18〕



6. つみたてNISAの浸透状況、今後の利用意向

(8) つみたてNISAでの口座開設検討のきっかけ (つみたてNISA認知・口座未開設層)〔Q21②:重複回答〕

- つみたてNISA口座開設検討のきっかけは、「手取り収入が増えたら」(10.8%)、「金融や投資を勉強して理解できたら」(8.5%)、「身近な人の勧め」(8.0%)が上位。〔図6-20〕
- 若年層ほど経済的理由や知識不足の解消に関する項目、「身近な人の勧め」が高い傾向。〔図6-21〕
- 投信保有状況別でみると、投資への関与が高い層ほど、「税制上の優遇措置がより拡充してきたら」が高くなる。〔図6-22〕

〔図 6-20〕

	n=	手取り収入が増えたら	金融や投資を勉強して理解できたら	身近な人に勧められたら	貯蓄が一定額に達したら	初心者セミナーなど、仕組みをわかりやすく説明してもらえる機会があったら	金融機関窓口などで、専門知識を持つ人に教えてもらえたら	税制上の優遇措置がより拡充してきたら	低リスクの投資信託商品が充実してきたら	経済が上向きになり、値上がり期待できる様になったら	手数料の低い投資信託商品が充実してきたら	退職金・相続などの臨時収入があったら	職場で制度が導入されたら	その他	特にない
2019年	(10610)	10.8	8.5	8.0	6.5	6.1	6.0	5.9	5.2	4.5	4.1	2.8	1.6	0.6	60.5
2018年	(8896)	13.4	11.3	7.9	8.6	8.1	9.8	7.9	6.4	7.6	5.2	2.7	-	0.6	56.1

※選択肢「職場で制度が導入されたら」は2019年より聴取

〔図 6-21〕 * 2019年属性別

	n=	手取り収入が増えたら	金融や投資を勉強して理解できたら	身近な人に勧められたら	貯蓄が一定額に達したら	初心者セミナーなど、仕組みをわかりやすく説明してもらえる機会があったら	金融機関窓口などで、専門知識を持つ人に教えてもらえたら	税制上の優遇措置がより拡充してきたら	低リスクの投資信託商品が充実してきたら	経済が上向きになり、値上がり期待できる様になったら	手数料の低い投資信託商品が充実してきたら	退職金・相続などの臨時収入があったら	職場で制度が導入されたら	その他	特にない
TOTAL	(10610)	10.8	8.5	8.0	6.5	6.1	6.0	5.9	5.2	4.5	4.1	2.8	1.6	0.6	60.5
性別															
男性	(5190)	10.7	7.5	5.4	7.1	4.4	4.6	7.1	4.1	4.2	4.1	3.1	1.7	0.6	62.5
女性	(5420)	11.0	9.5	10.5	5.9	7.7	7.4	4.7	6.2	4.8	4.2	2.6	1.5	0.5	58.7
年代別															
20代	(1120)	19.2	14.6	15.6	12.1	12.0	10.3	5.6	7.3	4.6	5.4	2.5	3.9	0.6	43.3
30代	(1651)	18.5	13.6	13.3	10.4	8.7	7.8	6.7	6.8	5.2	4.5	3.9	2.2	0.5	47.3
40代	(2190)	14.4	9.4	9.5	8.8	7.0	5.9	6.7	5.6	4.6	4.9	3.5	1.6	0.5	55.1
50代	(1933)	9.2	6.9	5.9	4.9	5.1	5.7	5.6	4.8	4.5	3.9	3.6	1.7	0.5	63.6
60代	(2114)	4.0	4.6	3.9	2.8	3.0	4.4	5.5	4.2	4.1	3.5	1.8	0.8	0.6	72.2
70代	(1602)	3.2	4.9	2.9	2.4	3.2	3.8	5.1	3.1	4.2	3.0	1.4	0.2	0.7	74.7
世帯年収別															
100万円未満	(327)	12.5	8.6	7.0	8.6	6.1	5.2	3.4	5.2	4.9	1.8	1.2	0.9	0.6	64.2
~300万円未満	(1453)	13.2	8.3	6.6	6.5	5.5	5.6	4.7	5.0	4.5	4.7	4.0	1.3	0.7	61.3
~500万円未満	(2442)	13.1	9.3	8.6	7.3	6.6	6.0	6.4	6.0	4.9	5.2	2.7	1.5	0.6	58.0
~1000万円未満	(3404)	11.8	9.0	9.8	7.3	7.1	7.2	6.7	5.5	4.5	3.9	3.5	2.1	0.7	55.4
1000万円以上	(958)	5.8	7.8	9.6	5.8	6.1	7.0	9.1	4.8	5.5	4.4	2.5	1.8	0.4	55.7

〔図 6-22〕 * 2019年属性別

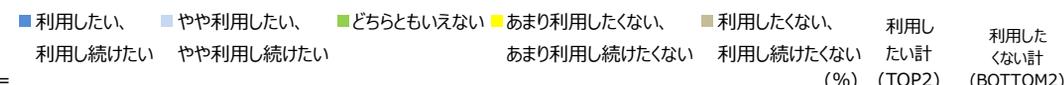
	n=	手取り収入が増えたら	金融や投資を勉強して理解できたら	身近な人に勧められたら	貯蓄が一定額に達したら	初心者セミナーなど、仕組みをわかりやすく説明してもらえる機会があったら	金融機関窓口などで、専門知識を持つ人に教えてもらえたら	税制上の優遇措置がより拡充してきたら	低リスクの投資信託商品が充実してきたら	経済が上向きになり、値上がり期待できる様になったら	手数料の低い投資信託商品が充実してきたら	退職金・相続などの臨時収入があったら	職場で制度が導入されたら	その他	特にない
TOTAL	(10610)	10.8	8.5	8.0	6.5	6.1	6.0	5.9	5.2	4.5	4.1	2.8	1.6	0.6	60.5
投資信託保有状況別															
保有層・保有経験層															
現在保有層	(2005)	7.5	6.2	4.5	4.8	3.9	6.5	11.5	4.6	5.6	5.9	2.0	1.0	1.3	58.5
保有経験層(現在非保有)	(580)	7.9	5.2	5.2	5.7	3.8	3.6	7.1	4.1	5.9	4.7	4.5	1.4	0.3	63.4
保有未経験層															
金融資産保有経験有	(2670)	9.5	9.0	8.7	7.2	6.2	5.5	6.4	4.9	4.9	3.5	3.1	1.5	0.6	58.2
金融資産保有経験無	(3968)	15.2	11.2	10.9	8.2	8.3	7.5	3.6	6.5	4.1	4.4	3.1	2.0	0.4	57.3

6. つみたてNISAの浸透状況、今後の利用意向

(9) つみたてNISAの今後の利用意向〔Q22②:単数回答〕

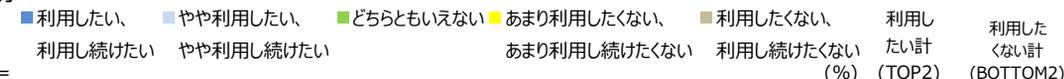
- つみたてNISAの利用意向は「利用したい計」(TOP2)が14.1%、「利用したくない計」(BOTTOM2)が61.3%で、前回より利用意向がやや高まった。「利用したい計」は若年層、高年収層ほど増加する傾向。〔図6-23〕〔図6-24〕 * 今回の変動は調査パネル変更の影響も考えられる
- 投資信託現在保有層では「利用したい計」(19.1%)と他層よりやや高いが、「利用したくない計」(47.3%)も半数近くにのぼる。〔図6-25〕

〔図 6-23〕



年	n	利用したい、 利用し続けたい (%)	やや利用したい、 やや利用し続けたい (%)	どちらともいえない (%)	あまり利用したくない、 あまり利用し続けたくない (%)	利用したくない、 利用し続けたくない (%)	利用したい計 (TOP2) (%)	利用したくない計 (BOTTOM2) (%)
2019年	(20000)	5.1	9.0	24.6	10.2	51.0	14.1	61.3
2018年	(20000)	2.8	6.4	25.8	10.8	54.2	9.2	65.0
2017年	(20000)	2.6	6.1	27.9	10.1	53.3	8.7	63.4

〔図 6-24〕 * 2019年属性別



属性	n	利用したい、 利用し続けたい (%)	やや利用したい、 やや利用し続けたい (%)	どちらともいえない (%)	あまり利用したくない、 あまり利用し続けたくない (%)	利用したくない、 利用し続けたくない (%)	利用したい計 (TOP2) (%)	利用したくない計 (BOTTOM2) (%)
TOTAL	(20000)	5.1	9.0	24.6	10.2	51.0	14.1	61.3
性別								
男性	(9948)	6.1	9.5	26.4	9.8	48.3	15.6	58.1
女性	(10052)	4.1	8.5	22.9	10.7	53.7	12.6	64.4
年代別								
20代	(2610)	7.7	14.7	26.9	10.3	40.5	22.3	50.8
30代	(3187)	8.2	13.8	28.1	9.3	40.6	22.0	49.9
40代	(4030)	5.9	10.1	28.2	9.4	46.4	16.1	55.8
50代	(3361)	4.0	7.6	27.2	10.2	51.0	11.7	61.2
60代	(3721)	3.1	4.7	19.4	11.7	61.0	7.8	72.7
70代	(3091)	2.3	4.3	18.1	10.5	64.8	6.6	75.3
世帯年収別								
100万円未満	(723)	2.2	5.0	19.6	9.8	63.3	7.2	73.2
~300万円未満	(2934)	3.6	6.9	22.3	9.7	57.5	10.5	67.2
~500万円未満	(4438)	5.1	9.6	24.9	11.2	49.2	14.7	60.4
~1000万円未満	(5720)	7.3	12.9	27.7	10.9	41.1	20.2	52.0
1000万円以上	(1580)	9.1	13.9	27.5	10.6	38.9	23.0	49.6

〔図 6-25〕 * 2019年属性別



属性	n	利用したい、 利用し続けたい (%)	やや利用したい、 やや利用し続けたい (%)	どちらともいえない (%)	あまり利用したくない、 あまり利用し続けたくない (%)	利用したくない、 利用し続けたくない (%)	利用したい計 (TOP2) (%)	利用したくない計 (BOTTOM2) (%)
TOTAL	(20000)	5.1	9.0	24.6	10.2	51.0	14.1	61.3
つみたてNISA実施状況別								
現在口座開設層	(1370)	48.7	23.6	20.6	3.1	14.0	72.3	7.1
口座開設経験層 (現在非開設)	(156)	9.0	20.5	34.6	16.0	19.9	29.5	35.9
認知・口座非開設層	(10610)	3.0	12.5	31.4	12.6	40.7	15.4	53.2
非認知層	(7864)	1.6	0.3	16.1	8.2	73.8	1.9	82.1
(投資信託現在保有層) 口座開設状況別								
現在保有層	(2196)	4.6	14.5	33.7	14.3	33.0	19.1	47.3
保有経験層 (現在非保有)	(706)	2.4	10.5	27.6	12.6	46.9	12.9	59.5
保有経験層 (現在非保有)	(3652)	2.9	10.6	32.0	11.8	42.7	13.5	54.5
保有経験層 (現在非保有)	(8479)	1.2	2.6	21.2	10.8	59.9	8.1	70.7

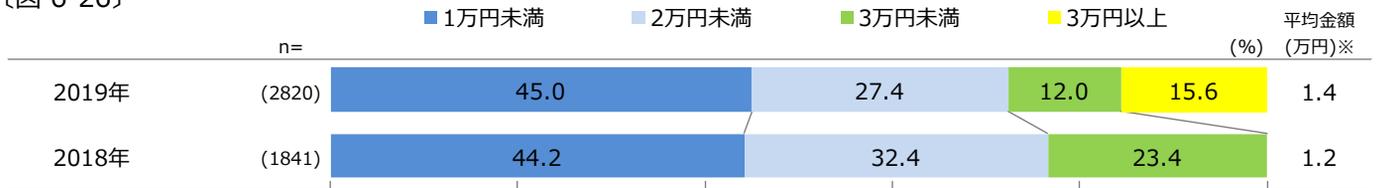
※つみたてNISA非認知層含む

6. つみたてNISAの浸透状況、今後の利用意向

(10) つみたてNISAでの月次積立投資希望額 (つみたてNISA今後利用意向者)[Q24_2:単数回答]

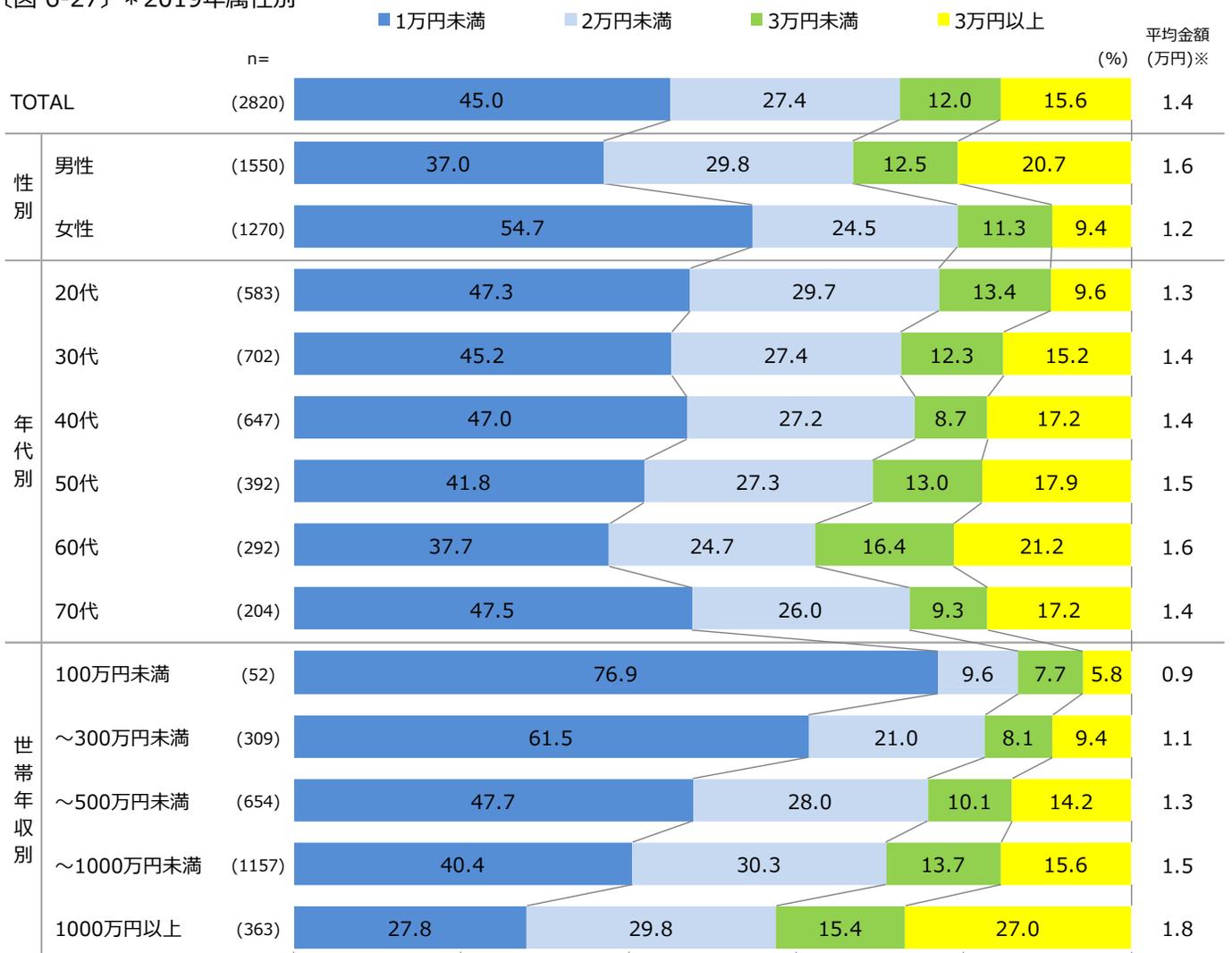
- つみたてNISAでの毎月積立額は、「1万円未満」が45.0%と多く、平均金額は「1.4万円」。
〔図6-26〕
- 年代別では平均金額に大きな差はみられないが、世帯年収は高年収層ほど平均金額が上がる。〔図6-27〕

〔図 6-26〕



※選択肢「3万未満」「3万円以上」は2019年より聴取、2018年は「2万円以上」で聴取

〔図 6-27〕 * 2019年属性別



※平均値算出にあたってのウエイト値 : 2019年 1万円未満: 0.5万円/2万円未満: 1.5万円/3万円未満: 2.5万円/3万円以上: 3万円
: 2018年 1万円未満: 0.5万円/2万円未満: 1万円/2万円以上: 3万円

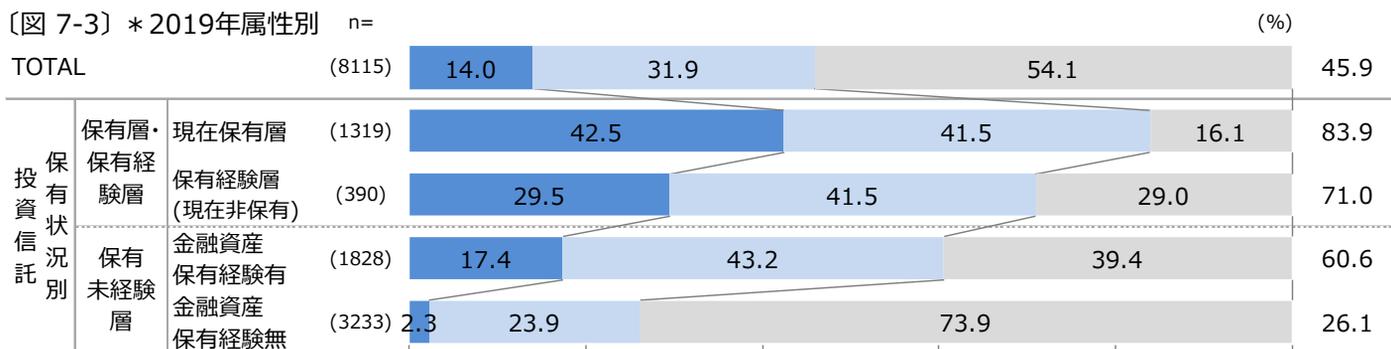
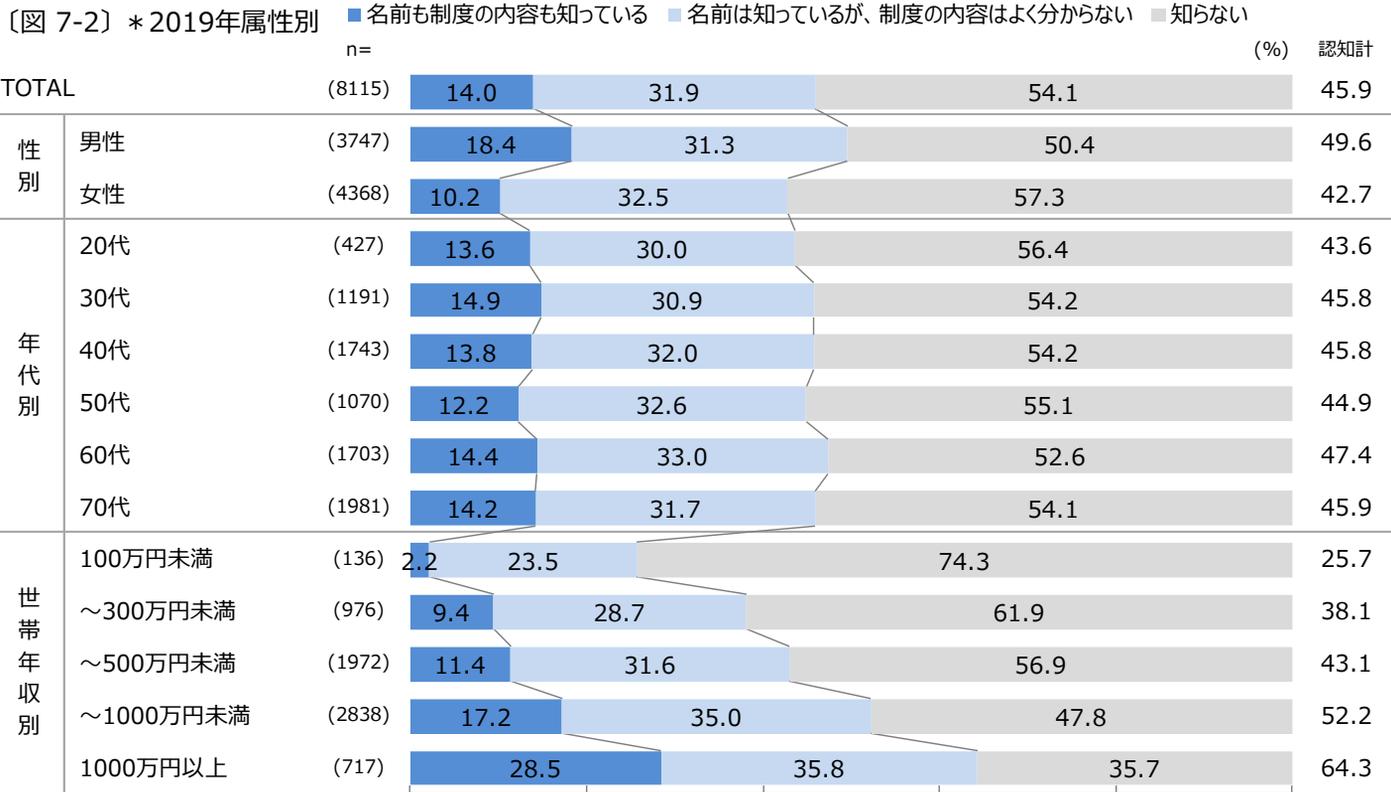
7. ジュニアNISAの浸透状況、 今後の利用意向



7. ジュニアNISAの浸透状況、今後の利用意向

(1) ジュニアNISAの認知(20歳未満の親族がいる者)〔Q15③:単数回答〕

- ジュニアNISAの認知率(認知計：45.9%)、制度内容認知率(14.0%)は前回より増加。
〔図7-1〕 * 今回の変動は調査パネル変更の影響も考えられる
- 世帯年収が上がるにつれて、認知率は高くなる。〔図7-2〕
- 投資信託保有状況別でみると、投資への関与が強い層ほど認知率は高い。また、保有未経験層(金融資産保有経験無)での認知率は26.1%、制度内容認知率は2.3%と他層に比べて低い。
〔図7-3〕



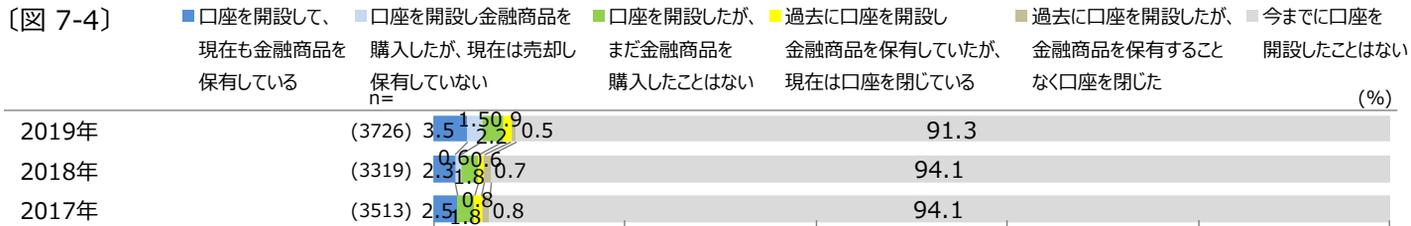
7. ジュニアNISAの浸透状況、今後の利用意向

(2) ジュニアNISAの利用状況(20歳未満の親族がいる制度認知者) 〔Q16_1③:単数回答〕

- ジュニアNISAで現在金融商品を保有している者は3.5%と前回と大きくは変わらない。口座開設未経験率は91.3%と、前回より若干減少したものの大多数を占める。〔図7-4〕

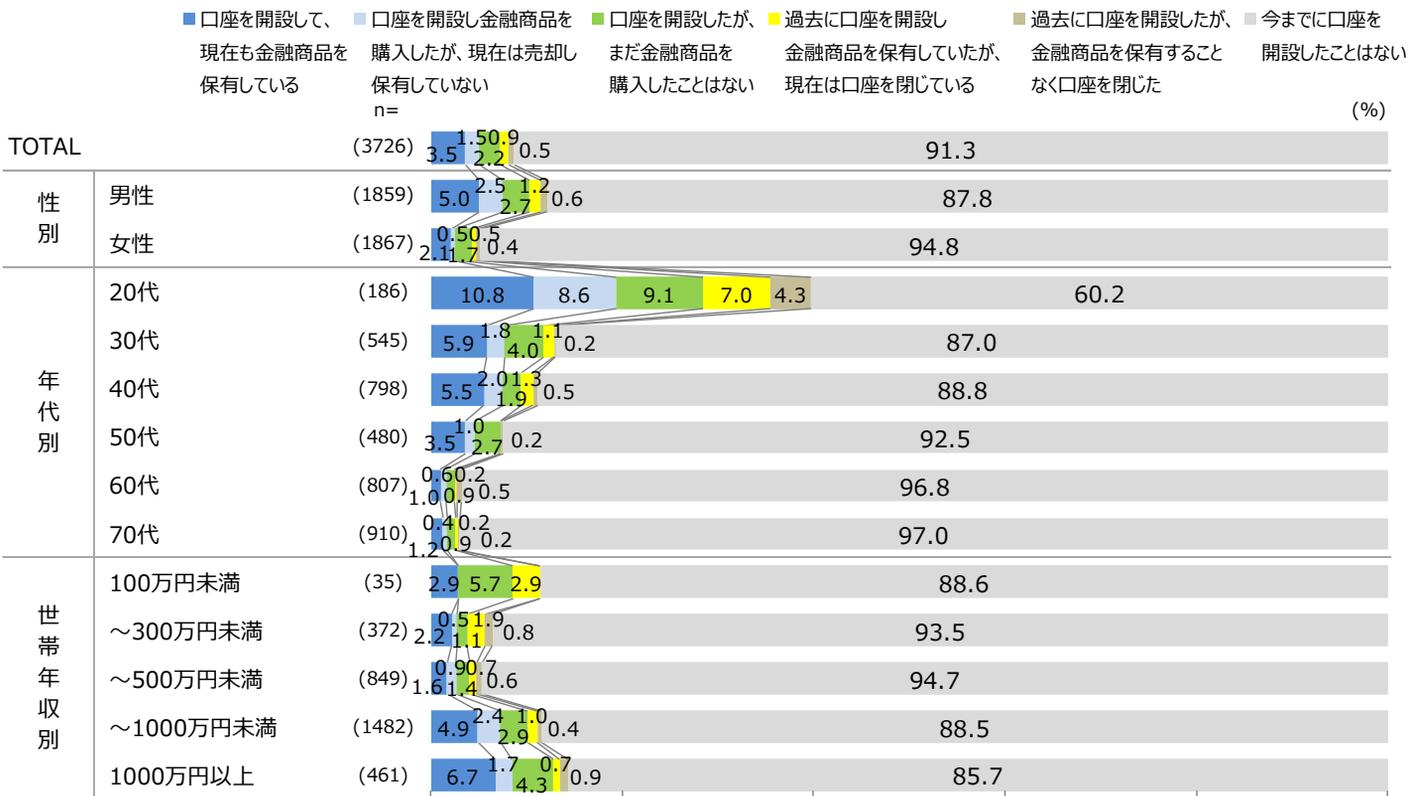
* 今回の変動は調査パネル変更の影響も考えられる

- ジュニアNISAでの現在金融商品保有率は20代でやや高い。〔図7-5〕

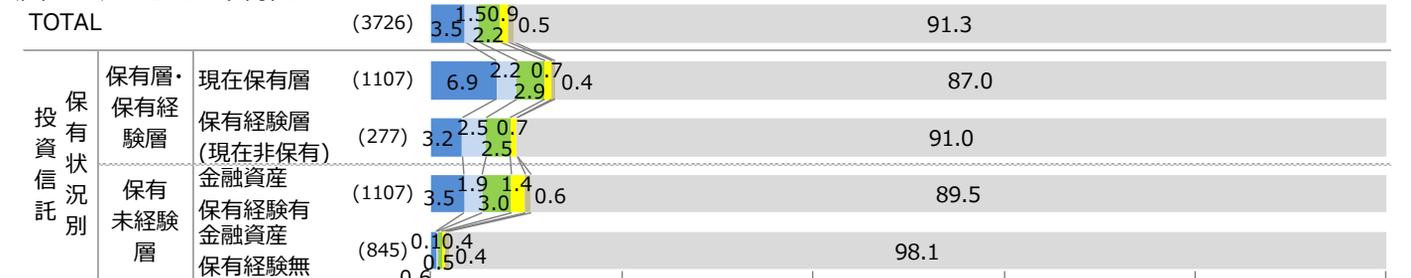


※選択肢「口座を開設し金融商品を購入したが、現在は売却し保有していない」は2018年より聴取

〔図 7-5〕 * 2019年属性別



〔図 7-6〕 * 2019年属性別

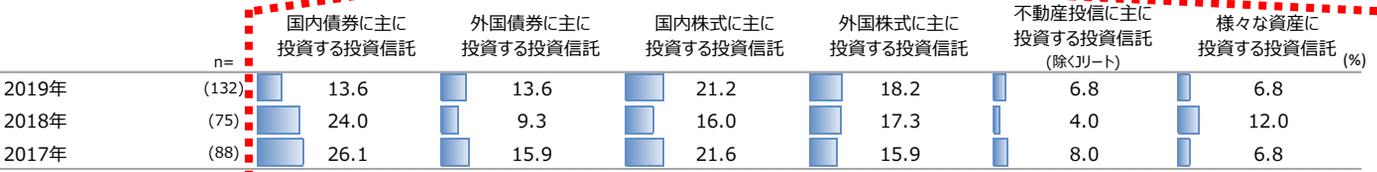
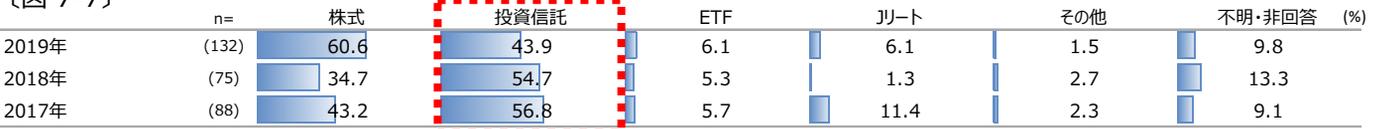


7. ジュニアNISAの浸透状況、今後の利用意向

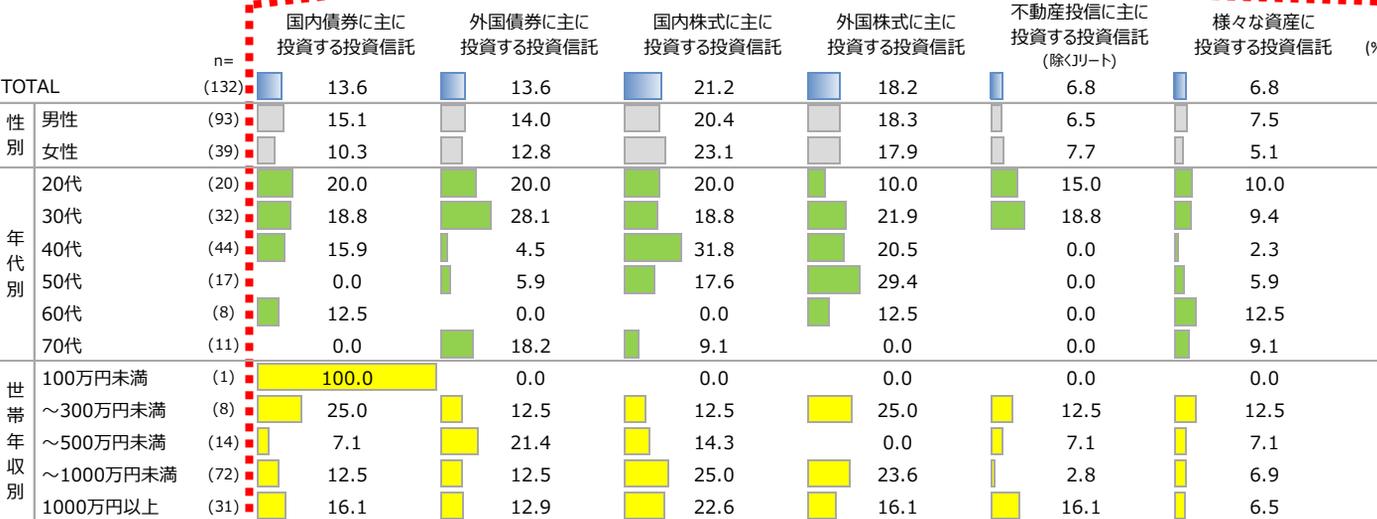
(3) ジュニアNISAでの保有金融商品(20歳未満の親族がいる ジュニアNISAでの現在金融商品保有者)[Q17_1②:重複回答]

- ジュニアNISAでの保有金融商品については、「投資信託」の保有率は43.9%と前回より10.8ポイント減少し、「株式」(60.6%)が25.9ポイントと大幅に増加。
また、投資信託の内訳をみると、「国内債券に主に投資する投資信託」「様々な資産に投資する投資信託」の保有率が減少。〔図7-7〕 * 今回の変動は調査パネル変更の影響も考えられる

〔図 7-7〕



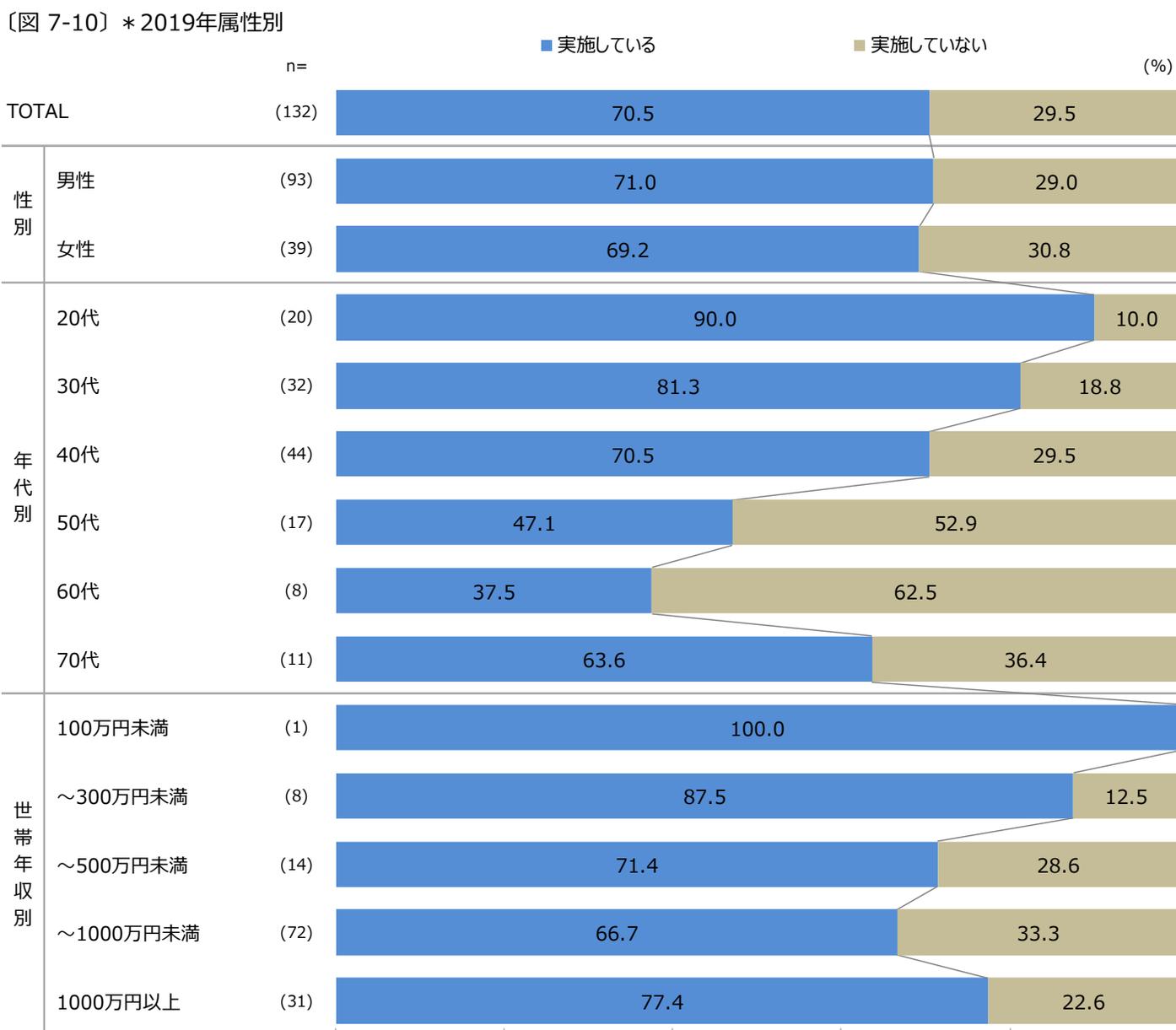
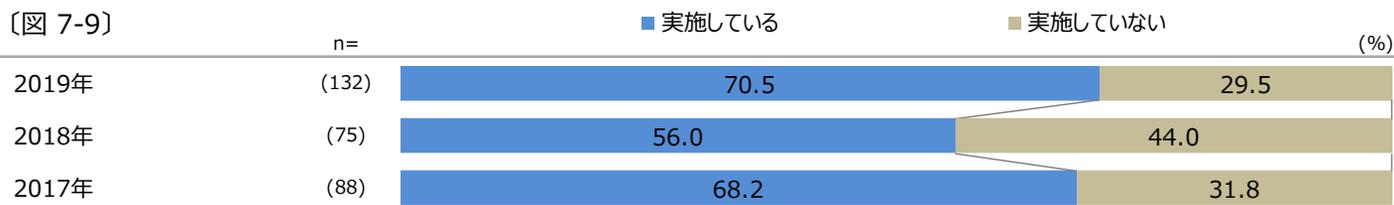
〔図 7-8〕 * 2019年属性別



7. ジュニアNISAの浸透状況、今後の利用意向

(4) ジュニアNISAでの積立投資実施状況 (20歳未満の親族がいるジュニアNISAでの現在金融商品保有者)〔Q18②:単数回答〕

● ジュニアNISAでの積立投資実施率は70.5%と、前回より14.5ポイント増加。〔図7-9〕

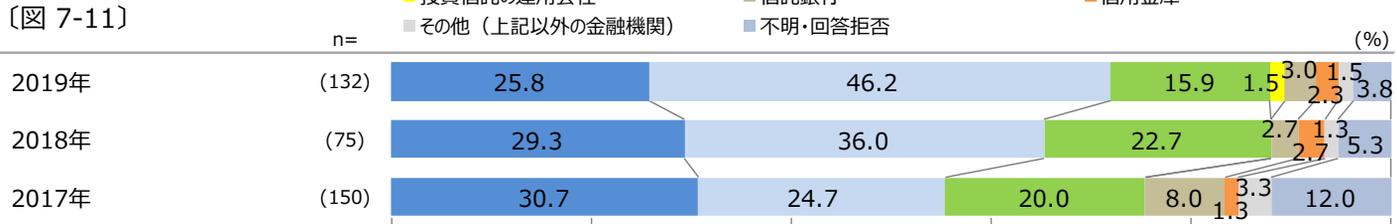


7. ジュニアNISAの浸透状況、今後の利用意向

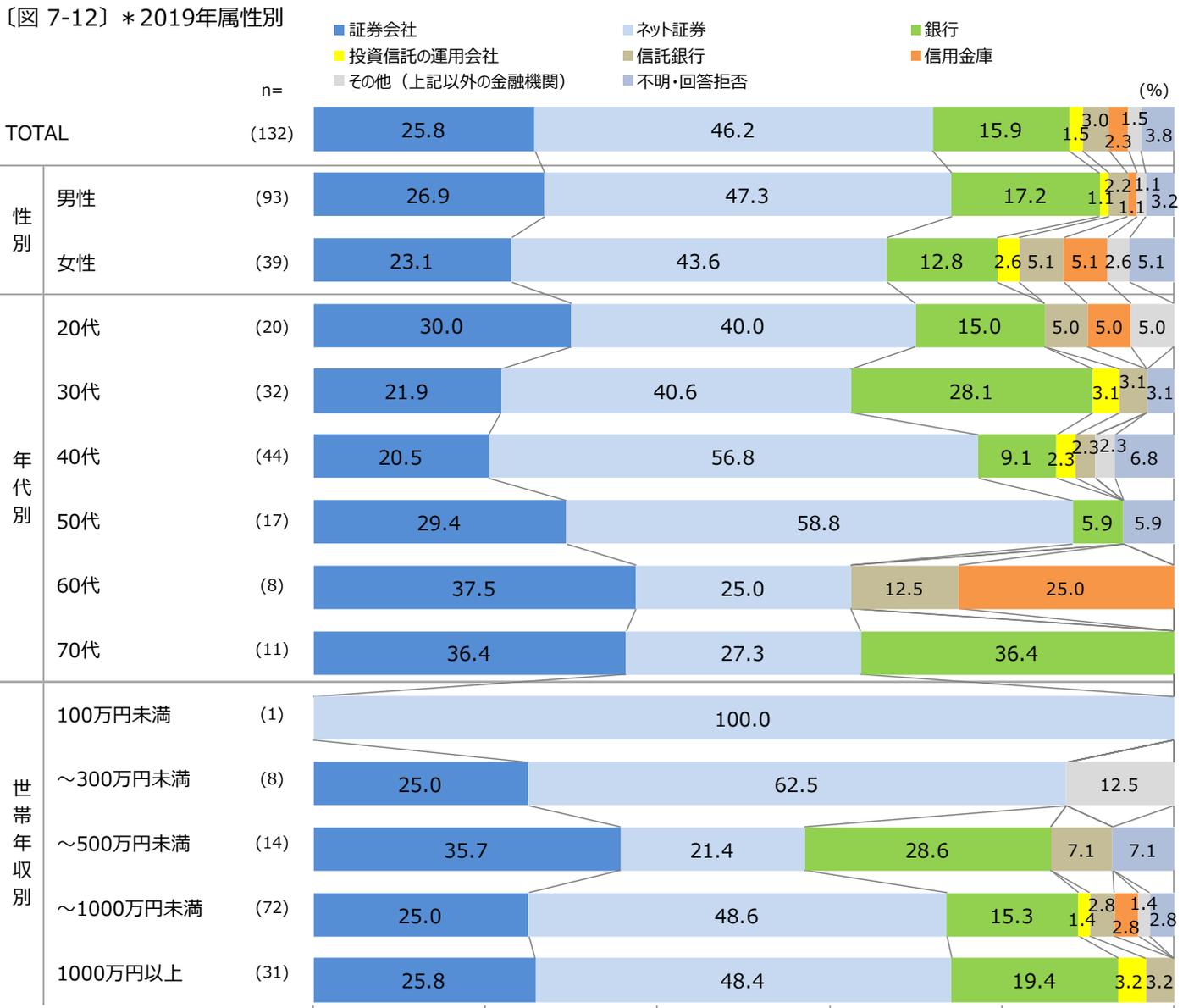
(5) ジュニアNISAの口座開設金融機関(20歳未満の親族がいるジュニアNISAでの現在金融商品保有者)[Q19③:単数回答]

- ジュニアNISAの口座開設金融機関は、「ネット証券」が46.2%で最も高く、前回から10.2ポイント増加。次いで「証券会社」(25.8%)、「銀行」(15.9%)となっている。〔図7-11〕

* 今回の変動は調査パネル変更の影響も考えられる



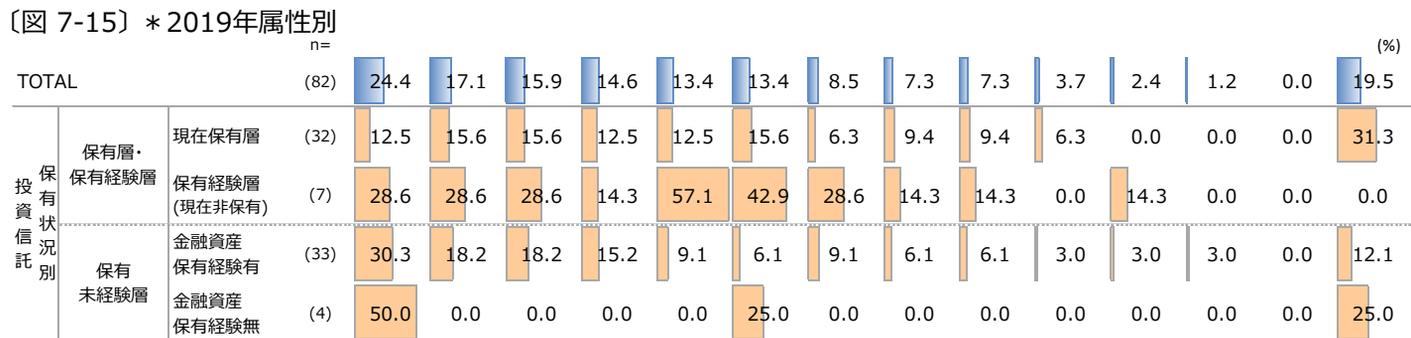
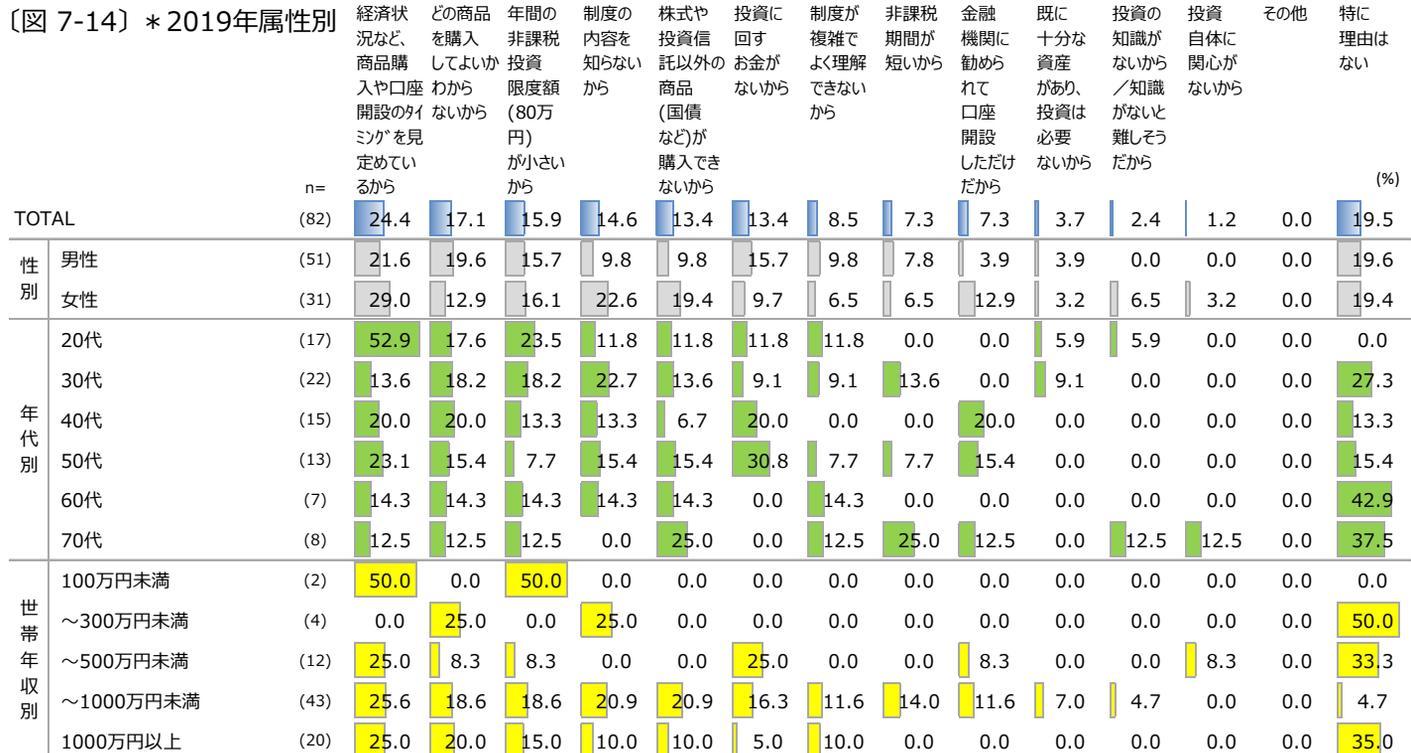
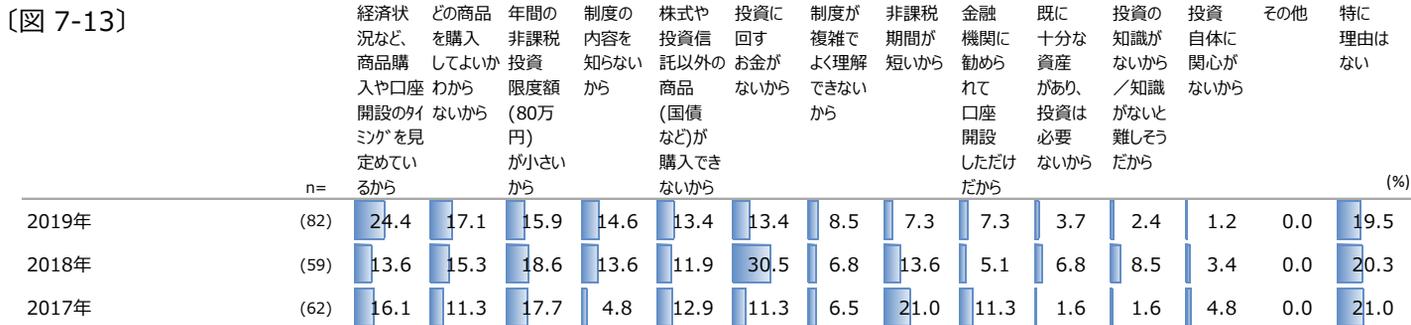
※選択肢「投資信託の運用会社」は2019年より聴取



7. ジュニアNISAの浸透状況、今後の利用意向

(6) ジュニアNISA口座開設・金融商品未購入理由(20歳未満の親族がいるジュニアNISA口座開設・金融商品未購入層)〔Q20③:重複回答〕

- ジュニアNISAでの金融商品未購入理由は、「タイミングを見定めている」(24.4%)が最も高く、前回より10.8ポイント増加。「投資に回すお金がない」(13.4%)は前回より17.1ポイント減少。また、「どの商品を購入してよいかわからない」「制度の内容を知らない」などの理解不足、「年間の非課税投資限度額が小さい」「株式や投資信託以外の商品が購入できない」などの制度面の不満が理由の上位にあがる。〔図7-13〕 * 今回の変動は調査パネル変更の影響も考えられる



7. ジュニアNISAの浸透状況、今後の利用意向

(7) ジュニアNISA口座未開設理由(20歳未満の親族がいるジュニアNISA認知・口座未開設層)〔Q20③:重複回答〕

- ジュニアNISA口座未開設理由は、「投資自体に関心がない」(16.0%)が、前回に引き続き最も高い。〔図7-16〕
- 若年層ほど「制度の内容を知らない」「投資の知識がない／知識がないと難しそう」「どの商品を購入してよいかわからない」「制度が複雑でよく理解できない」といった制度への理解不足、知識不足が理由として高くなる傾向。〔図7-17〕

〔図 7-16〕

	n=	投資自体に関心がないから	投資に回すお金がないから	投資の知識がないと難しそうだから	口座開設の手続きが煩雑で面倒だから	どの商品を購入してよいかわからないから	制度の内容を知らないから	制度が複雑でよく理解できないから	年間の非課税投資限度額(80万円)が小さいから	経済状況など、商品購入や口座開設のタイミングを見定めているから	非課税期間が短いから	既に十分な資産があり、投資は必要ないから	株式や投資信託以外の商品(国債など)が購入できないから	その他	特に理由は	(%)
2019年	(3403)	16.0	12.6	10.8	6.4	6.4	5.3	5.1	4.1	2.0	1.8	1.1	1.1	1.9	43.9	
2018年	(3123)	18.6	17.6	9.6	5.1	7.6	11.5	6.8	3.2	2.0	2.0	0.6	0.5	1.2	39.5	
2017年	(3307)	15.6	16.8	8.2	6.0	6.9	9.2	5.7	2.9	2.4	2.4	0.8	1.1	1.5	45.1	

〔図 7-17〕 * 2019年属性別

	n=	投資自体に関心がないから	投資に回すお金がないから	投資の知識がないと難しそうだから	口座開設の手続きが煩雑で面倒だから	どの商品を購入してよいかわからないから	制度の内容を知らないから	制度が複雑でよく理解できないから	年間の非課税投資限度額(80万円)が小さいから	経済状況など、商品購入や口座開設のタイミングを見定めているから	非課税期間が短いから	既に十分な資産があり、投資は必要ないから	株式や投資信託以外の商品(国債など)が購入できないから	その他	特に理由は	(%)
TOTAL	(3403)	16.0	12.6	10.8	6.4	6.4	5.3	5.1	4.1	2.0	1.8	1.1	1.1	1.9	43.9	
性別																
男性	(1633)	12.5	11.3	5.8	6.3	4.3	4.4	2.7	4.8	2.2	2.3	1.7	1.7	2.2	49.1	
女性	(1770)	19.2	13.8	15.4	6.4	8.3	6.0	7.3	3.4	1.8	1.4	0.6	0.6	1.6	39.2	
年代別																
20代	(112)	10.7	18.8	25.0	9.8	11.6	10.7	11.6	0.9	3.6	2.7	2.7	0.9	1.8	30.4	
30代	(474)	11.4	14.3	19.2	11.4	11.4	8.0	10.1	4.2	5.1	2.1	1.5	1.9	1.9	32.9	
40代	(709)	11.1	16.2	13.7	7.9	9.0	5.8	5.2	4.2	3.0	3.2	1.0	1.6	2.1	39.2	
50代	(444)	17.6	13.7	11.0	8.3	7.0	3.8	5.2	3.8	1.6	2.3	2.0	1.4	1.4	40.3	
60代	(781)	20.1	9.5	7.0	3.6	2.9	4.2	3.7	4.1	0.6	1.3	1.0	0.9	2.0	49.9	
70代	(883)	18.5	10.2	5.4	3.5	3.6	4.3	2.7	4.3	0.8	0.6	0.6	0.3	1.9	51.9	
世帯年収別																
100万円未満	(31)	19.4	3.2	9.7	6.5	3.2	0.0	6.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	61.3	
~300万円未満	(348)	23.3	14.9	10.3	2.9	4.0	4.0	3.7	2.0	0.6	0.6	0.3	0.6	2.3	42.2	
~500万円未満	(804)	16.7	15.2	11.4	4.5	5.2	5.5	5.3	3.1	1.4	1.4	0.9	0.9	2.1	43.3	
~1000万円未満	(1311)	12.2	14.3	11.2	8.6	8.3	5.9	6.1	5.2	3.0	2.4	1.4	1.4	2.1	41.0	
1000万円以上	(395)	13.4	6.6	6.8	9.1	6.8	3.5	4.3	7.8	2.8	3.5	2.3	2.3	2.0	42.0	

〔図 7-18〕 * 2019年属性別

	n=	投資自体に関心がないから	投資に回すお金がないから	投資の知識がないと難しそうだから	口座開設の手続きが煩雑で面倒だから	どの商品を購入してよいかわからないから	制度の内容を知らないから	制度が複雑でよく理解できないから	年間の非課税投資限度額(80万円)が小さいから	経済状況など、商品購入や口座開設のタイミングを見定めているから	非課税期間が短いから	既に十分な資産があり、投資は必要ないから	株式や投資信託以外の商品(国債など)が購入できないから	その他	特に理由は	(%)
TOTAL	(3403)	16.0	12.6	10.8	6.4	6.4	5.3	5.1	4.1	2.0	1.8	1.1	1.1	1.9	43.9	
保有状況別	保有層・保有経験層															
	現在保有層	(963)	7.5	9.8	3.3	5.7	4.9	3.5	3.3	7.0	2.6	2.4	1.7	1.3	3.8	51.9
	保有経験層(現在非保有)	(252)	14.7	10.7	3.2	4.8	3.6	4.8	6.7	4.8	0.8	2.4	1.2	2.4	2.4	46.4
	保有層・保有経験層	(991)	14.1	14.0	9.7	7.9	6.0	5.5	4.3	4.9	1.6	2.2	1.3	1.3	1.2	43.2
保有層・未経験層	金融資産保有経験有	(829)	26.9	16.9	23.5	6.9	11.0	7.7	7.8	1.0	2.2	0.7	0.4	1.0	30.0	
	金融資産保有経験無															

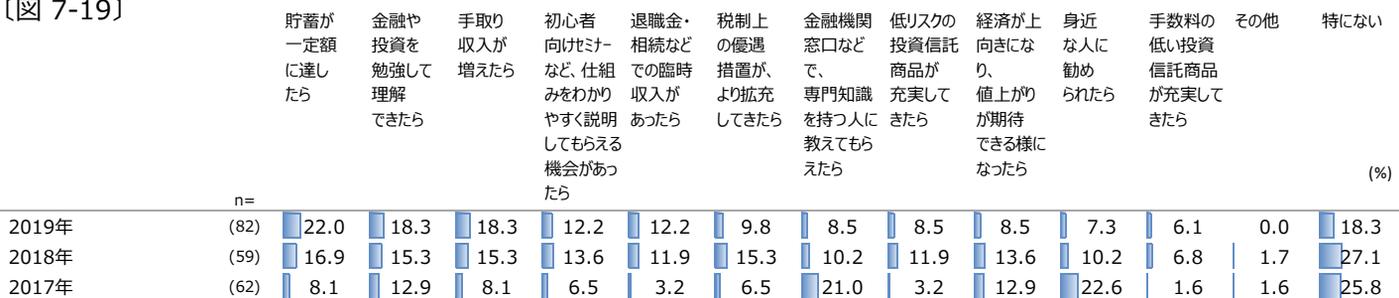
7. ジュニアNISAの浸透状況、今後の利用意向

(8) ジュニアNISA口座での金融商品購入検討のきっかけ(20歳未満の親族がいるジュニアNISA口座開設・金融商品未購入層)[Q21③:重複回答]

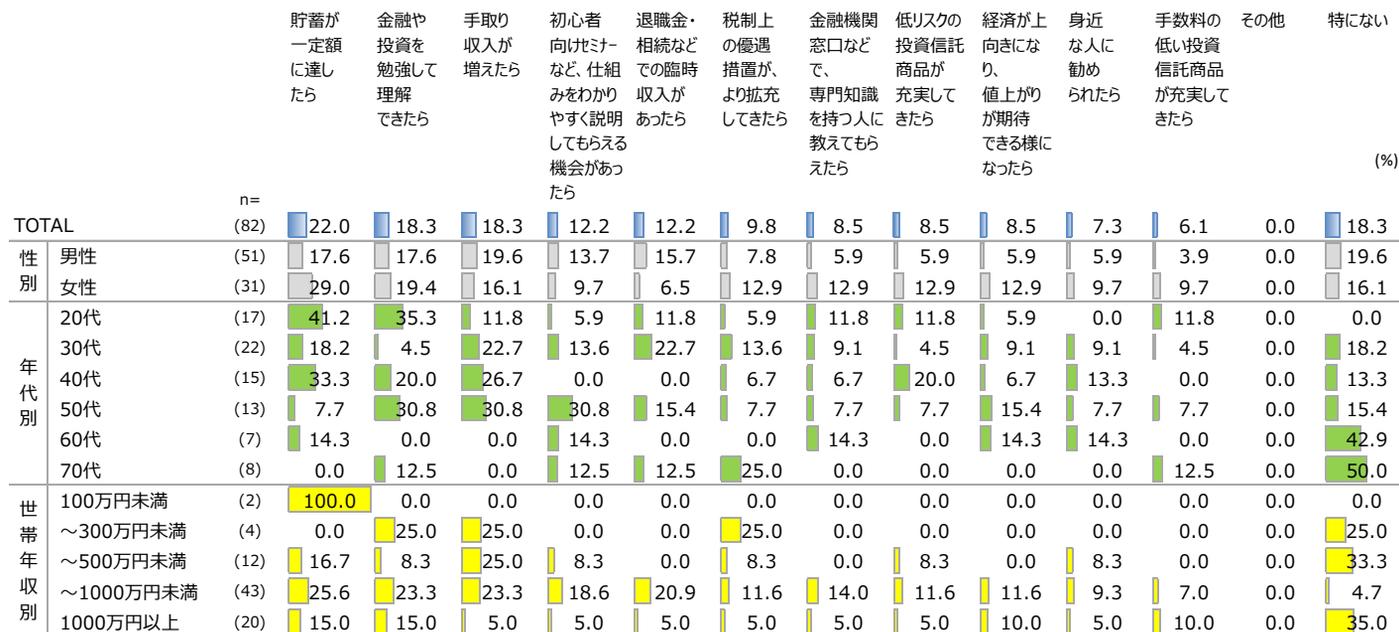
- ジュニアNISA口座での金融商品購入検討のきっかけは、「貯蓄が一定額に達したら」(22.0%)が最も高く、前回より5.1ポイント増加。「税制上の優遇措置がより拡充してきたら」「経済が上向きになり、値上がりが期待できる様になったら」などでは前回よりやや減少。〔図7-19〕

* 今回の変動は調査パネル変更の影響も考えられる

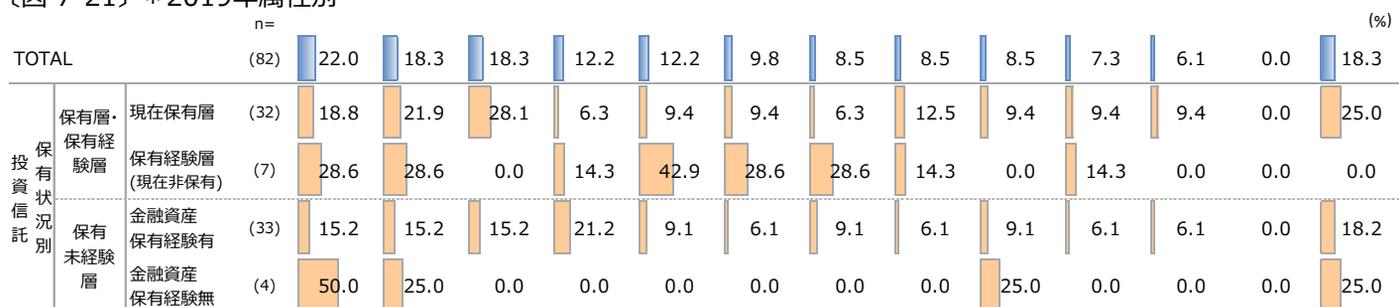
〔図 7-19〕



〔図 7-20〕 * 2019年属性別



〔図 7-21〕 * 2019年属性別



7. ジュニアNISAの浸透状況、今後の利用意向

(9) ジュニアNISA口座開設検討のきっかけ(20歳未満の親族がいるジュニアNISA認知・口座未開設層)[Q21③:重複回答]

- ジュニアNISA口座開設検討のきっかけでは前回と大きな変動はみられず、「手取り収入が増えたら」(9.0%)が最も高い。〔図7-22〕 * 今回の変動は調査パネル変更の影響も考えられる
- 年代別で見ると、「金融や投資を勉強して理解できたら」「初心者向けセミナーなど、仕組みをわかりやすく説明してもらえらる機会があったら」「身近な人に勧められたら」が20代・30代で他の年代に比べて高くなる傾向。〔図7-23〕

〔図 7-22〕

	手取り収入が増えたら	身近な人に勧められたら	金融や投資を勉強して理解できたら	税制上の優遇措置が、より拡充してきたら	金融機関窓口などで、専門知識を持つ人に教えてもらえたら	貯蓄が一定額に達したら	初心者向けセミナーなど、仕組みをわかりやすく説明してもらえらる機会があったら	低リスクの投資信託商品が充実してきたら	経済が上向きになり、値上がり期待できる様になったら	手数料の低い投資信託商品が充実してきたら	退職金・相続などの臨時収入があったら	その他	特にない	
n=	(3403)	9.0	8.0	7.0	5.9	5.8	5.6	5.3	4.6	4.2	3.9	2.6	0.8	61.7
2019年	(3123)	10.6	6.3	9.5	7.3	8.4	6.9	6.7	5.8	6.2	4.4	2.0	0.5	61.0
2017年	(3307)	9.3	5.0	8.0	8.9	7.1	7.7	5.6	5.3	5.7	4.2	3.4	0.5	62.0

〔図 7-23〕 * 2019年属性別

	手取り収入が増えたら	身近な人に勧められたら	金融や投資を勉強して理解できたら	税制上の優遇措置が、より拡充してきたら	金融機関窓口などで、専門知識を持つ人に教えてもらえたら	貯蓄が一定額に達したら	初心者向けセミナーなど、仕組みをわかりやすく説明してもらえらる機会があったら	低リスクの投資信託商品が充実してきたら	経済が上向きになり、値上がり期待できる様になったら	手数料の低い投資信託商品が充実してきたら	退職金・相続などの臨時収入があったら	その他	特にない	
TOTAL	(3403)	9.0	8.0	7.0	5.9	5.8	5.6	5.3	4.6	4.2	3.9	2.6	0.8	61.7
性別														
男性	(1633)	8.6	5.0	5.6	7.6	3.8	5.9	3.7	3.1	3.9	3.9	2.8	0.9	64.4
女性	(1770)	9.4	10.7	8.2	4.3	7.7	5.4	6.8	6.0	4.6	3.9	2.4	0.6	59.2
年代別														
20代	(112)	15.2	19.6	12.5	6.3	10.7	11.6	12.5	6.3	5.4	4.5	0.0	0.9	34.8
30代	(474)	18.8	16.5	11.8	6.3	10.5	11.4	10.1	7.2	4.0	4.9	3.4	0.6	41.1
40代	(709)	16.2	10.6	9.0	8.2	7.2	9.2	6.8	5.8	4.9	4.4	3.8	0.6	48.5
50代	(444)	8.1	8.3	9.2	6.8	5.6	5.6	5.9	5.6	5.2	6.5	4.1	0.5	58.8
60代	(781)	3.2	4.0	3.7	5.0	3.6	2.4	2.6	4.1	3.8	3.6	2.7	0.9	73.4
70代	(883)	2.7	3.2	3.9	4.1	3.7	1.7	2.8	2.2	3.5	1.8	0.8	1.0	77.9
世帯年収別														
100万円未満	(31)	3.2	9.7	6.5	3.2	6.5	0.0	9.7	3.2	3.2	3.2	0.0	0.0	71.0
~300万円未満	(348)	4.9	5.5	4.9	2.0	3.4	2.0	2.9	2.9	5.7	2.6	2.3	0.9	74.1
~500万円未満	(804)	10.4	8.2	5.7	4.4	5.6	5.5	5.6	4.1	4.4	3.2	2.0	0.7	63.8
~1000万円未満	(1311)	11.7	9.1	8.4	7.6	7.2	7.9	6.1	5.5	4.2	4.7	3.9	0.8	54.6
1000万円以上	(395)	6.8	9.4	8.9	9.1	7.1	6.6	7.1	5.3	4.3	5.1	2.0	1.0	52.4

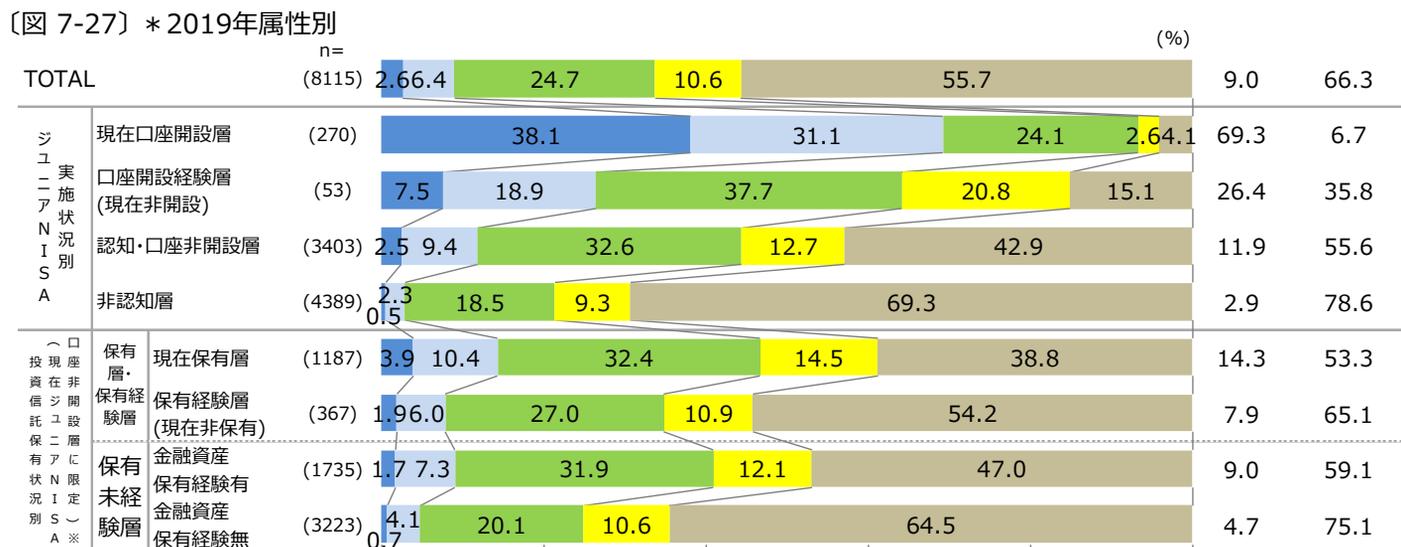
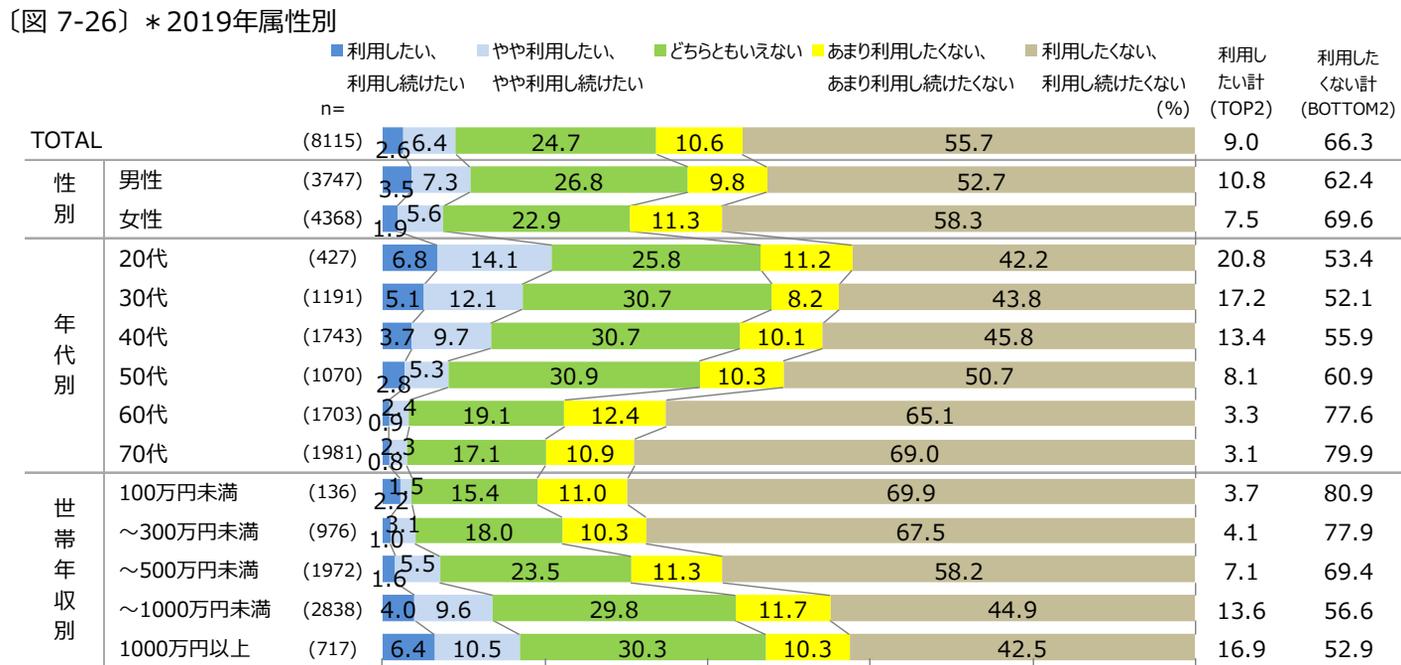
〔図 7-24〕 * 2019年属性別

	手取り収入が増えたら	身近な人に勧められたら	金融や投資を勉強して理解できたら	税制上の優遇措置が、より拡充してきたら	金融機関窓口などで、専門知識を持つ人に教えてもらえたら	貯蓄が一定額に達したら	初心者向けセミナーなど、仕組みをわかりやすく説明してもらえらる機会があったら	低リスクの投資信託商品が充実してきたら	経済が上向きになり、値上がり期待できる様になったら	手数料の低い投資信託商品が充実してきたら	退職金・相続などの臨時収入があったら	その他	特にない	
TOTAL	(3403)	9.0	8.0	7.0	5.9	5.8	5.6	5.3	4.6	4.2	3.9	2.6	0.8	61.7
投資状況別														
保有層・保有経験層														
現在保有層	(963)	7.7	5.0	5.3	8.3	5.3	5.1	3.9	4.8	4.5	5.1	2.1	1.8	62.1
保有経験層(現在非保有)	(252)	4.4	6.3	5.2	5.2	3.6	2.4	2.4	3.6	3.6	4.8	1.6	0.0	72.2
保有未経験層														
金融資産保有経験有	(991)	8.0	8.2	7.8	6.9	5.2	6.4	5.7	3.5	5.1	3.5	3.4	0.6	58.9
金融資産保有経験無	(829)	14.7	12.5	9.9	3.6	8.2	7.5	8.4	6.6	3.5	4.0	3.4	0.4	55.2

7. ジュニアNISAの浸透状況、今後の利用意向

(10) ジュニアNISAの今後の利用意向(20歳未満の親族がいる者) 〔Q22③:単数回答〕

- ジュニアNISAの利用・継続利用意向は、「利用したい計」(TOP2)が9.0%と前回よりやや増加。
〔図7-25〕 * 今回の変動は調査パネル変更の影響も考えられる
- 「利用したい計」は若年層や、高年収層ほど増加傾向。〔図7-26〕
- ジュニアNISAの現在口座開設層では、「利用したい計」は69.3%と高い。〔図7-27〕



※ジュニアNISA非認知層含む

7. ジュニアNISAの浸透状況、今後の利用意向

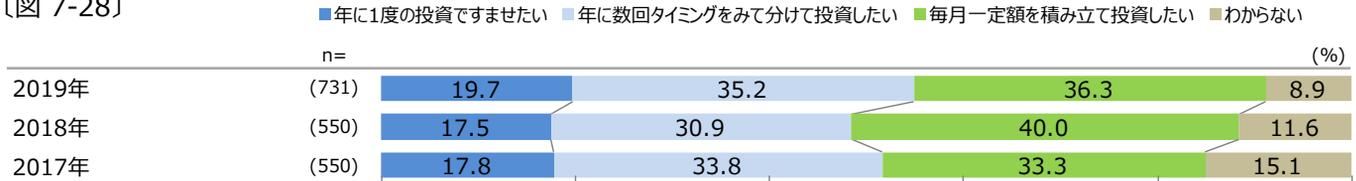
(11) ジュニアNISAでの投資方法意向(20歳未満の親族がいる ジュニアNISA今後利用意向者)[Q23②:単数回答]

- 実施したい投資方法では、「毎月一定額積み立て投資」(36.3%)が前回よりやや減少し、「年に数回タイミングをみて投資したい」(35.2%)がやや増加。〔図7-28〕

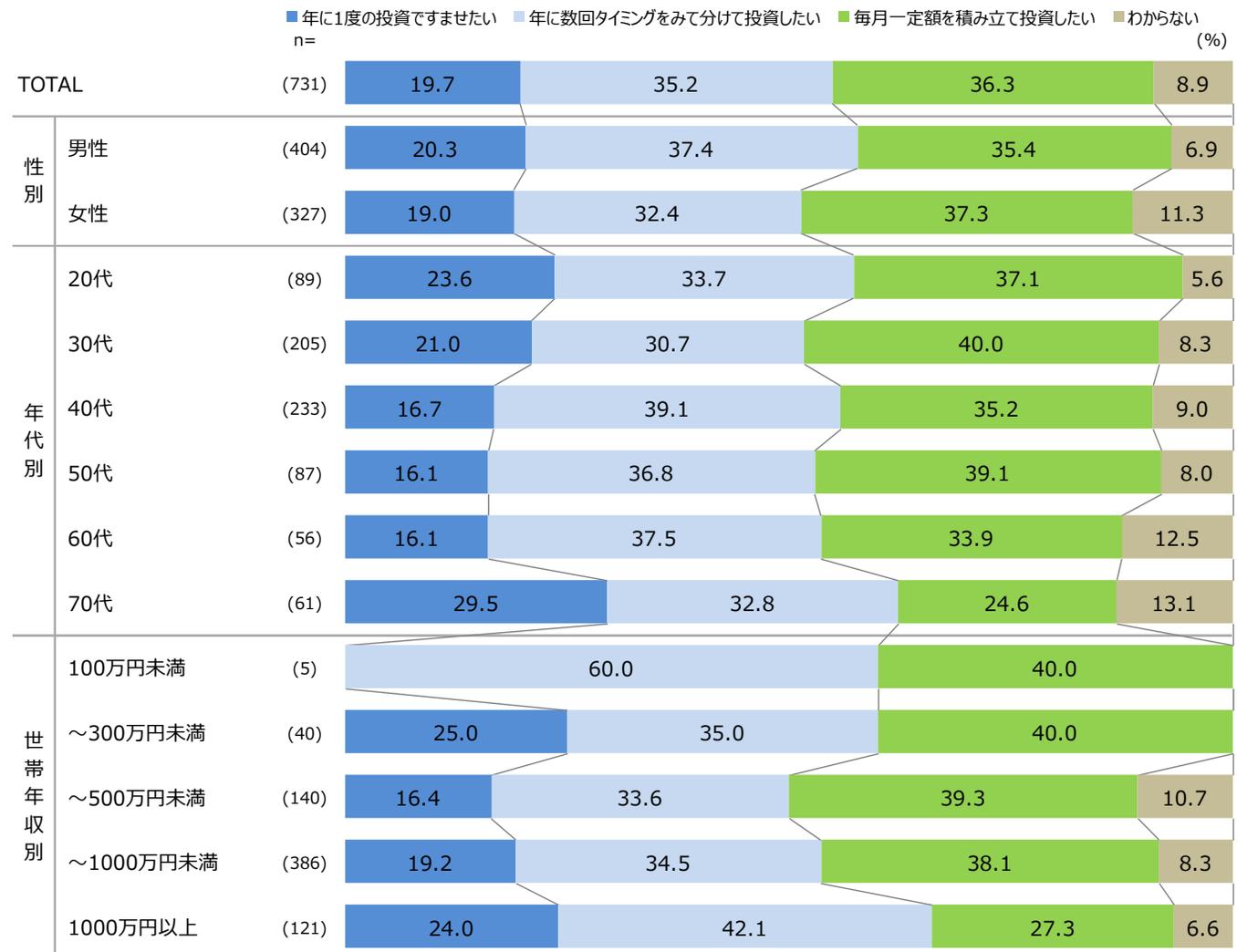
* 今回の変動は調査パネル変更の影響も考えられる

- 年代別では、30代で「毎月一定額積み立て投資」(40.0%)がやや高い。〔図7-29〕

〔図 7-28〕



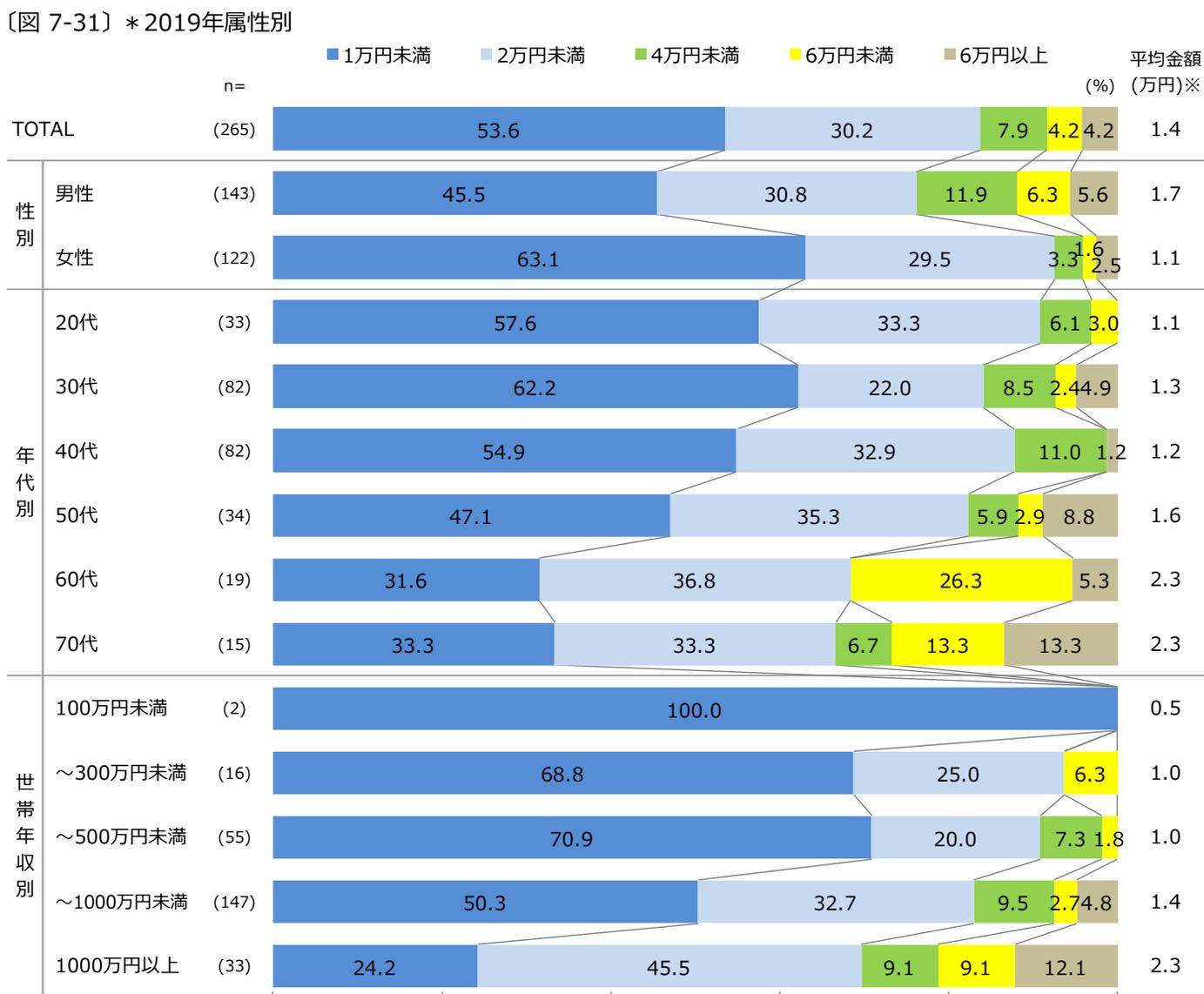
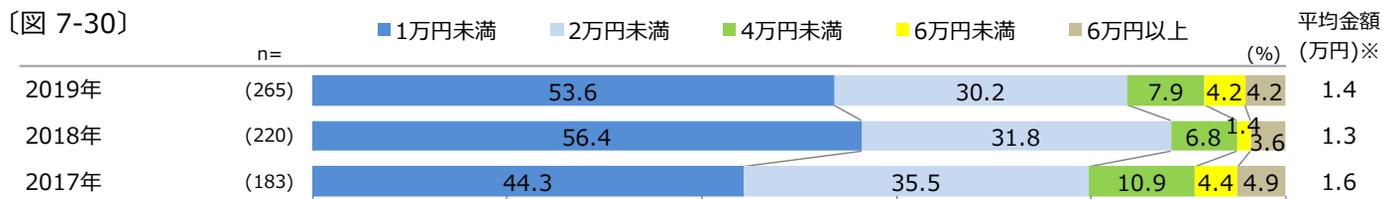
〔図 7-29〕 * 2019年属性別



7. ジュニアNISAの浸透状況、今後の利用意向

(12) ジュニアNISAでの月次積立投資希望額(20歳未満の親族がいるジュニアNISA毎月一定額積立投資者)[Q24_3:単数回答]

- ジュニアNISAでの毎月積立額は、「1万円未満」(53.6%)が最も高く、平均金額は「1.4万円」。
〔図7-30〕



※平均値算出にあたってのウエイト値 1万円未満：0.5万円／2万円未満：1.5万円／4万円未満：3万円／6万円未満：5万円／6万円以上：6万円

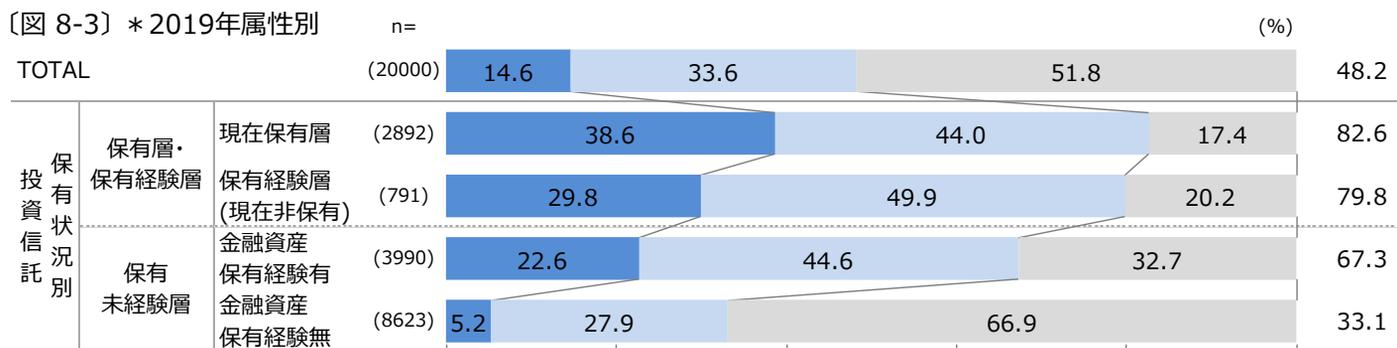
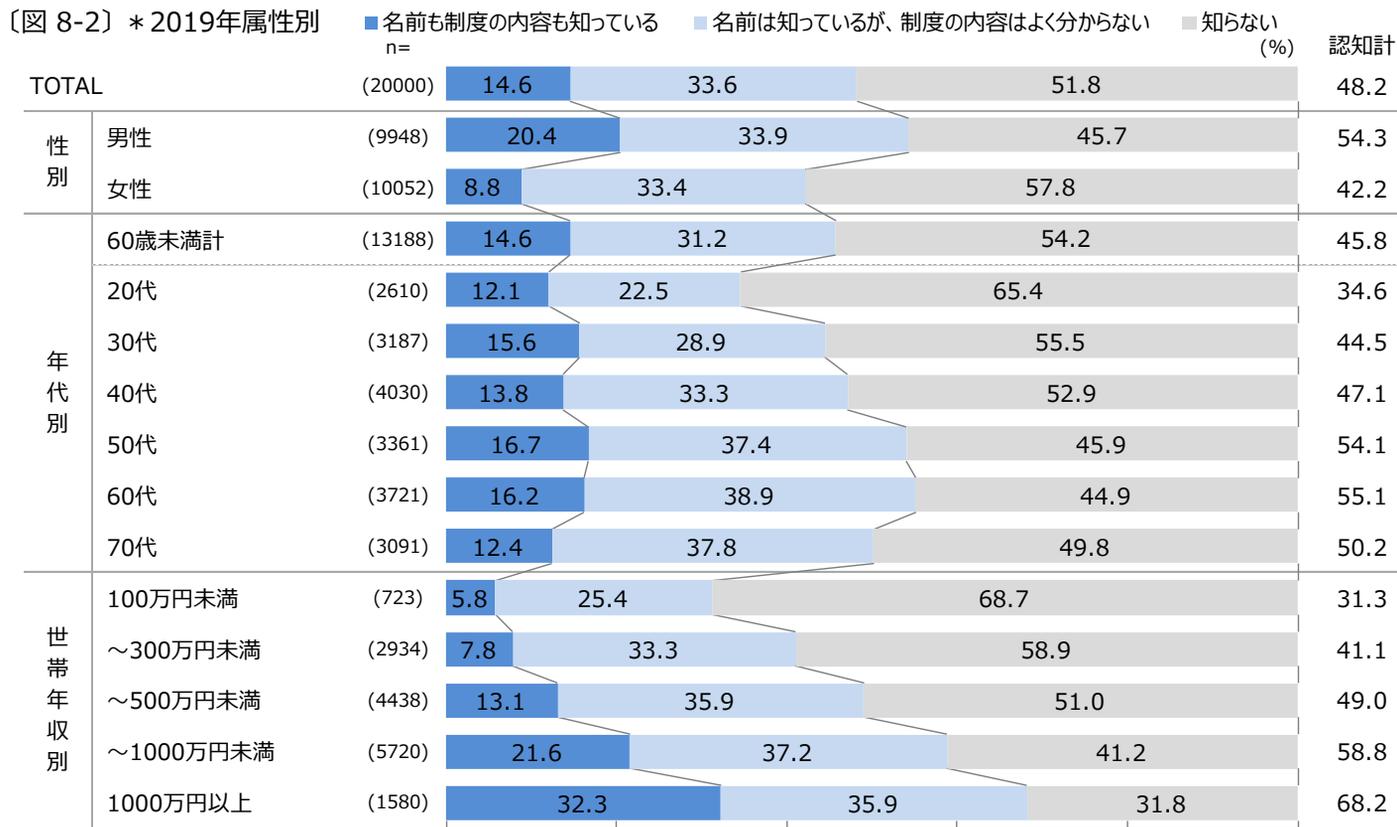
8. 企業型確定拠出年金の浸透状況、 今後の利用意向



8. 企業型確定拠出年金の浸透状況、今後の利用意向

(1) 企業型確定拠出年金の認知〔Q15④:単数回答〕

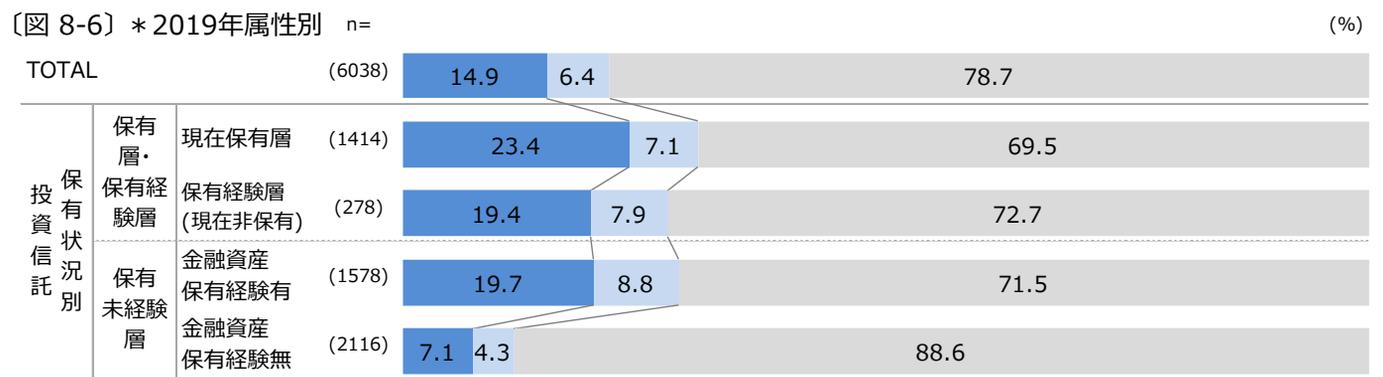
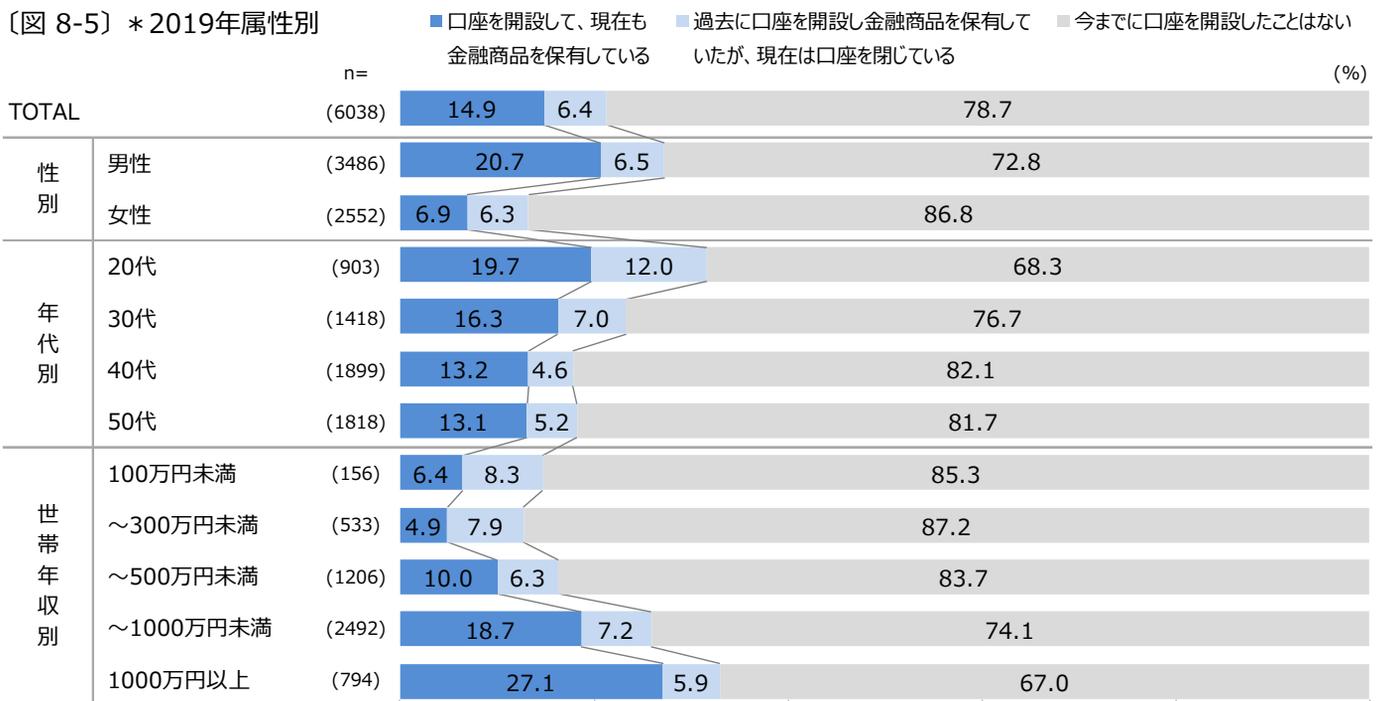
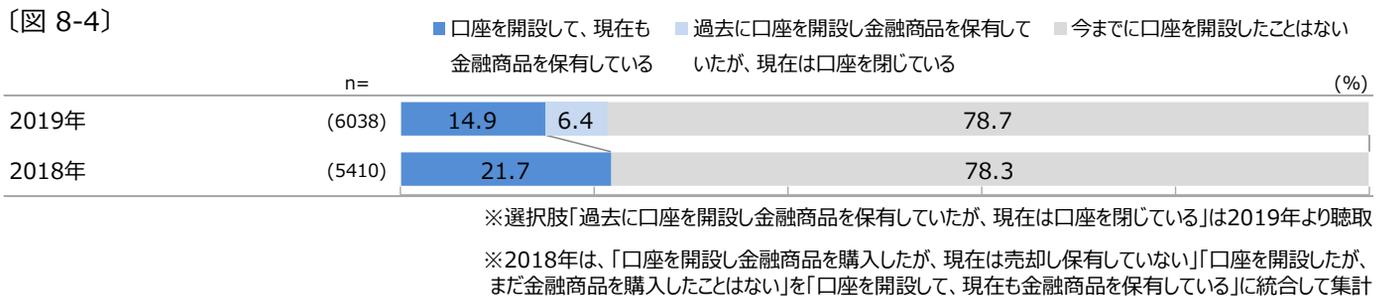
- 企業型確定拠出年金の認知率(認知計：48.2%)は前回より微増。制度内容認知率は14.6%で前回と変わらず。〔図8-1〕
- 高齢層ほど認知率は高くなる傾向。制度内容認知率は、30代・50代・60代でやや高い。世帯年収別では年収が上がるにつれて認知率、制度内容認知率ともに高くなる。〔図8-2〕
- 投資信託保有状況別でみると、投資への関与が強い層ほど認知率が高い。保有未経験層(金融資産保有経験無)での認知率は33.1%、制度内容認知率は5.2%にとどまる。〔図8-3〕



8. 企業型確定拠出年金の浸透状況、今後の利用意向

(2) 企業型確定拠出年金の利用状況(60歳未満の制度認知者) 〔Q16_2①:単数回答〕

- 企業型確定拠出年金での現在金融商品保有率は14.9%。口座開設未経験が78.7%を占める。〔図8-4〕
- 同制度での現在金融商品保有率は、若年層、高年収層ほど高い傾向。〔図8-5〕
- 投資信託現在保有層の23.4%が、同制度で現在金融商品を保有している。〔図8-6〕



8. 企業型確定拠出年金の浸透状況、今後の利用意向

(3) 企業型確定拠出年金での保有金融商品(60歳未満で、企業型確定拠出年金での現在金融商品保有者)[Q17_3①:重複回答]

- 企業型確定拠出年金での保有金融商品では、「投資信託計*」が62.5%。
投資信託商品の中では「国内株式に主に投資する投資信託」(35.2%)の保有率が高い。〔図8-7〕
- 年代別では20代で「国内株式に主に投資する投資信託」が他の年代よりやや低い。
世帯年収別では高年収層で「投資信託計*」が高い傾向。〔図8-8〕
- 金融商品の保有を「定期預金・保険」(定期預金か保険商品保有)、「債券投信」(国内か海外債券に主に投資する投信保有)、「株式投信」(国内か海外株式に主に投資する投信保有)、「不動産投信」(不動産投信に主に投資する投信保有)、「その他」(様々な資産に投資する投信かその他商品保有)に分類して併用状況を確認した。
その結果、各年代で「定期預金・保険」1種類の保有が20%台で最も高く、「株式のみ」1種類の保有が10%台でこれに続く。40代では「定期預金・保険」+「債券投信」+「株式投信」の3種類の保有がやや高い。〔図8-9〕

* 投資信託計…「国内債券に主に投資～様々な資産に投資する投資信託」のいずれかを保有している者の割合

〔図 8-7〕

	n=	定期預金	保険商品	投資 信託計 (*)	投資信託						その他	わから ない・ 答えたく ない
					国内債券 に主に 投資する 投資信託	外国債券 に主に 投資する 投資信託	国内株式 に主に 投資する 投資信託	外国株式 に主に 投資する 投資信託	不動産 投資信託 に主に 投資する 投資信託	様々な資 産に投資 する投資 信託 (除くJリート)		
2019年	(898)	40.0	12.9	62.5	27.1	22.8	35.2	28.0	5.0	11.4	1.2	13.7
2018年	(1172)	48.8	23.7	47.6	24.4	18.9	29.7	23.3	3.9	10.3	2.0	7.1

※2018年は、「口座を開けし金融商品を購入したが、現在は売却し保有していない」「口座を開けしたが、まだ金融商品を購入したことはない」を「口座を開けして、現在も金融商品保有している」に統合して集計し、「定期預金」「保険商品」は案分算出している

〔図 8-8〕 * 2019年属性別

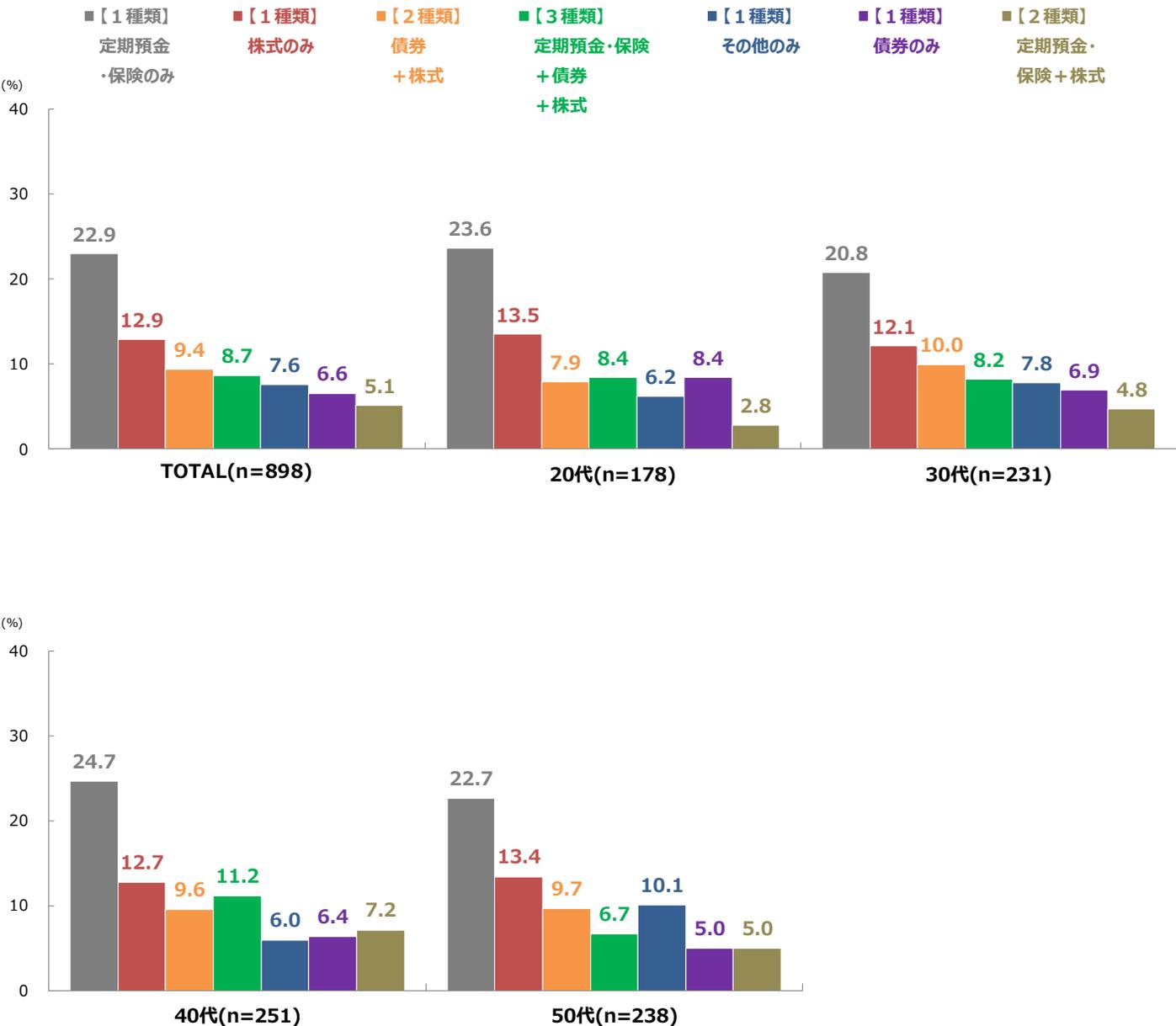
	n=	定期預金	保険商品	投資 信託計 (*)	投資信託						その他	わから ない・ 答えたく ない
					国内債券 に主に 投資する 投資信託	外国債券 に主に 投資する 投資信託	国内株式 に主に 投資する 投資信託	外国株式 に主に 投資する 投資信託	不動産 投資信託 に主に 投資する 投資信託	様々な資 産に投資 する投資 信託 (除くJリート)		
TOTAL	(898)	40.0	12.9	62.5	27.1	22.8	35.2	28.0	5.0	11.4	1.2	13.7
性別												
男性	(721)	39.8	12.8	66.0	29.8	25.0	37.9	30.8	5.5	11.7	1.0	12.2
女性	(177)	40.7	13.6	48.0	15.8	14.1	24.3	16.4	2.8	10.2	2.3	19.8
年代別												
20代	(178)	42.1	14.0	63.5	29.8	23.6	29.8	27.0	6.2	11.2	1.7	11.8
30代	(231)	38.5	11.7	65.4	31.2	21.6	38.5	32.9	8.7	12.1	1.3	13.4
40代	(251)	45.0	13.5	62.2	27.1	24.3	37.8	27.1	2.4	8.4	0.4	12.7
50代	(238)	34.5	12.6	59.2	21.0	21.8	33.2	24.8	3.4	13.9	1.7	16.4
世帯年収別												
100万円未満	(10)	50.0	30.0	50.0	30.0	10.0	30.0	20.0	0.0	20.0	0.0	0.0
～300万円未満	(26)	53.8	11.5	46.2	23.1	15.4	15.4	23.1	7.7	11.5	0.0	19.2
～500万円未満	(121)	43.8	10.7	55.4	22.3	24.8	30.6	28.9	2.5	4.1	0.8	18.2
～1000万円未満	(465)	39.8	13.8	67.1	28.8	22.6	38.9	29.9	4.7	13.3	1.5	11.0
1000万円以上	(215)	39.1	14.0	65.1	27.9	25.6	36.3	28.4	7.9	10.7	1.4	8.8

8. 企業型確定拠出年金の浸透状況、今後の利用意向

(3) 企業型確定拠出年金での保有金融商品(60歳未満で、企業型確定拠出年金での現在金融商品保有者)[Q17_3①:重複回答]

〔図 8-9〕【年代別での金融商品保有種類別比率】

* 2019年属性別



※金融商品の保有分類：「定期預金・保険」=定期預金か保険商品保有、「債券投信」=国内か海外債券に主に投資する投信保有、「株式投信」=国内か海外株式に主に投資する投信保有、「不動産投信」=不動産投信に主に投資する投信保有、「その他」=様々な資産に投資する投信かその他商品保有に分類して併用状況を確認した。

8. 企業型確定拠出年金の浸透状況、今後の利用意向

(4) 企業型確定拠出年金のマッチング拠出実施状況(60歳未満で、企業型確定拠出年金での現在金融商品保有者)(Q30:単数回答)

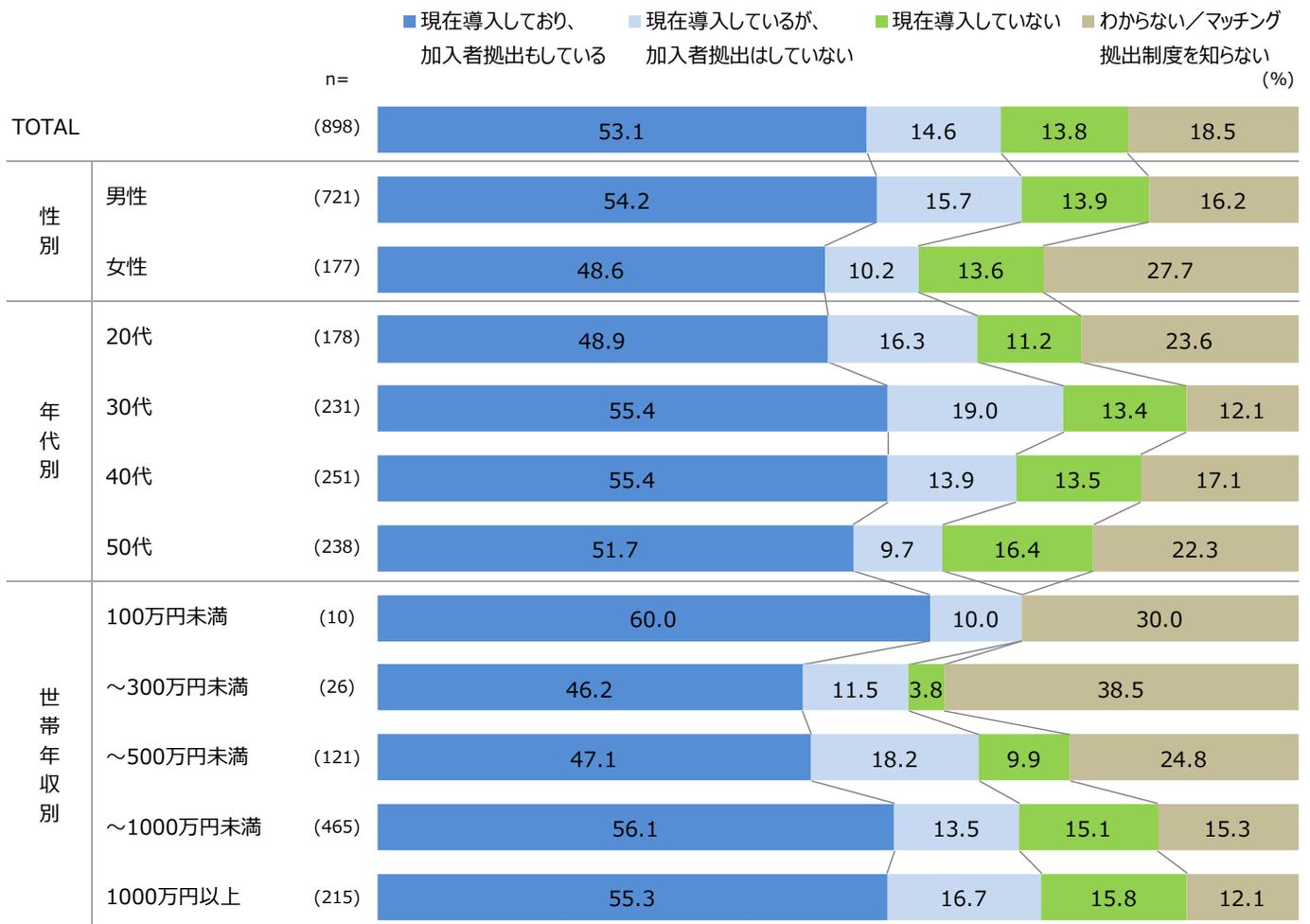
- マッチング拠出の実施率は53.1%で、前回より14.1ポイント増加し、「わからない/マッチング拠出制度を知らない」(18.5%)は16.2ポイント減少。〔図8-10〕

* 今回の変動は調査パネル変更の影響も考えられる

- マッチング拠出実施者は、30代以上で半数以上とやや多い。〔図8-11〕



〔図 8-11〕 * 2019年属性別



9. 個人型確定拠出年金（iDeCo）の 浸透状況、今後の利用意向



9. 個人型確定拠出年金(iDeCo)の浸透状況、今後の利用意向

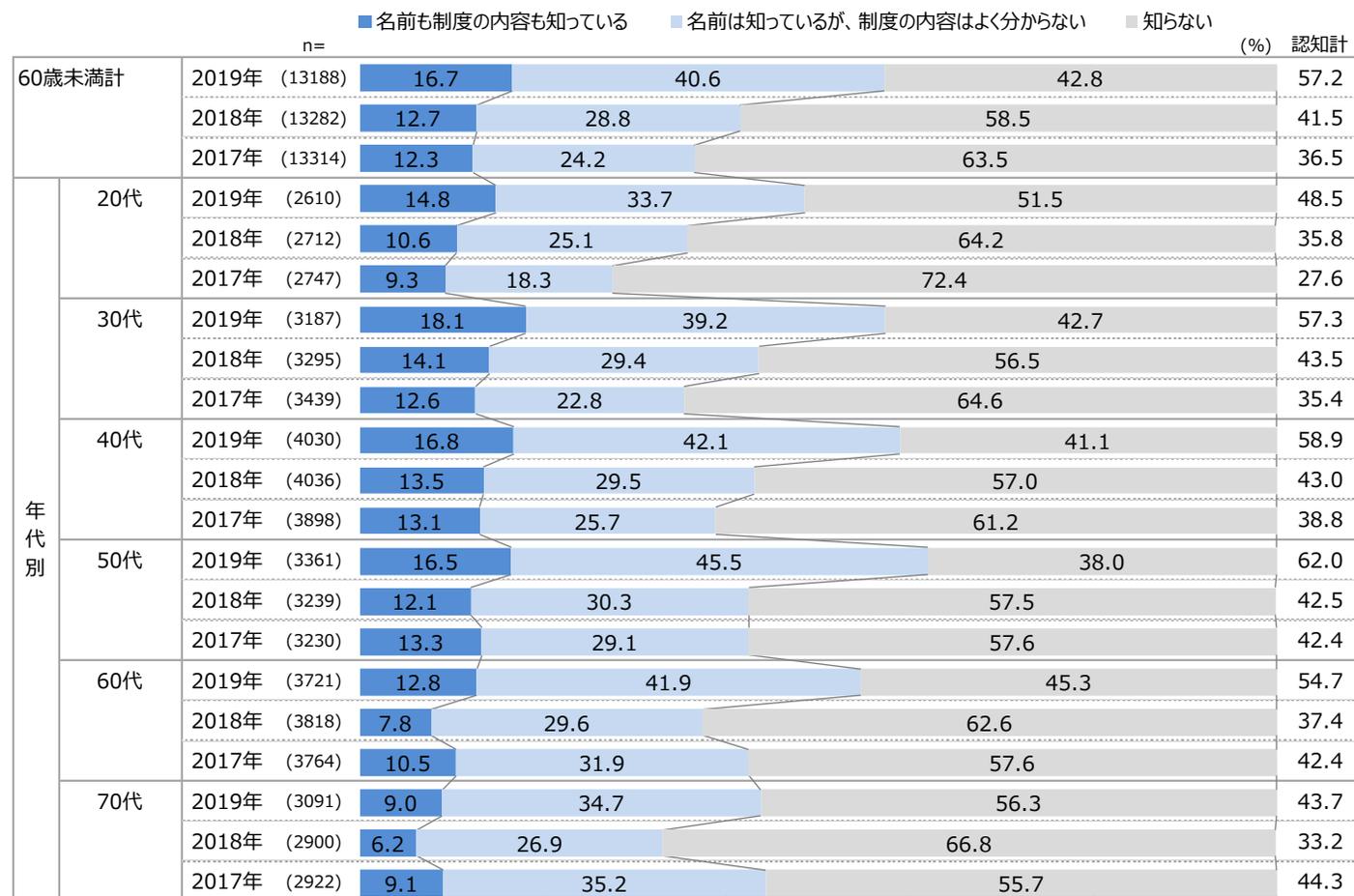
(1) 個人型確定拠出年金の認知〔Q15⑤:単数回答〕

- 個人型確定拠出年金の認知率(認知計：54.7%)は前回より15.2ポイント増加。制度内容認知率(14.7%)もやや増加。〔図9-1〕 * 今回の変動は調査パネル変更の影響も考えられる
- 年代別で見ると、前回に比べて全ての年代で認知率が増加している。〔図9-2〕
* 今回の変動は調査パネル変更の影響も考えられる
- 世帯年収別では、高年収層ほど認知率、制度内容認知率が高くなる。職業別では、専業主婦/主夫で認知率が低い。投資信託保有状況別では、投資への関与が強い層ほど認知率が高い。〔図9-3〕

〔図 9-1〕



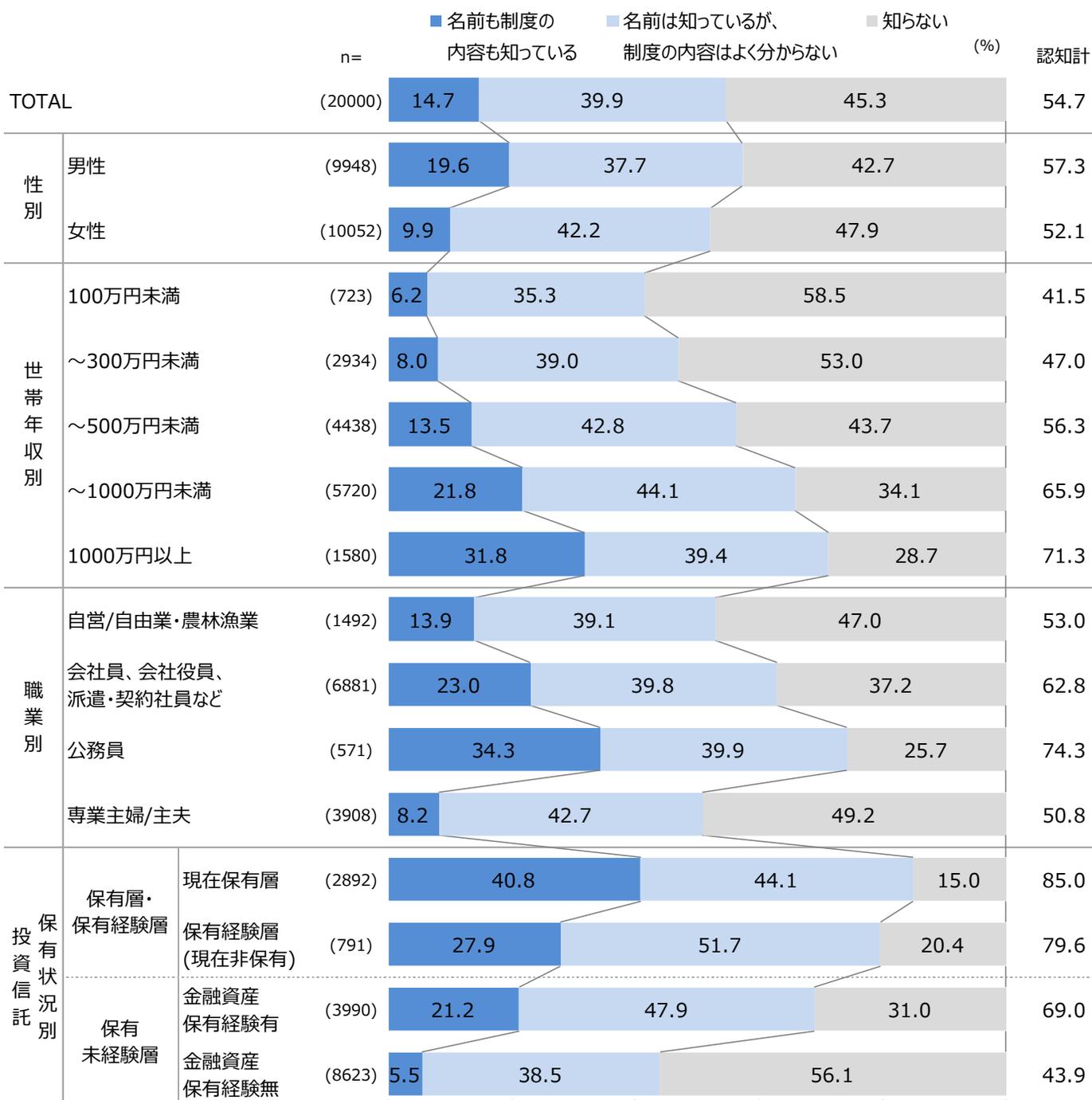
〔図 9-2〕



9. 個人型確定拠出年金(iDeCo)の浸透状況、今後の利用意向

(1) 個人型確定拠出年金の認知〔Q15⑤:単数回答〕

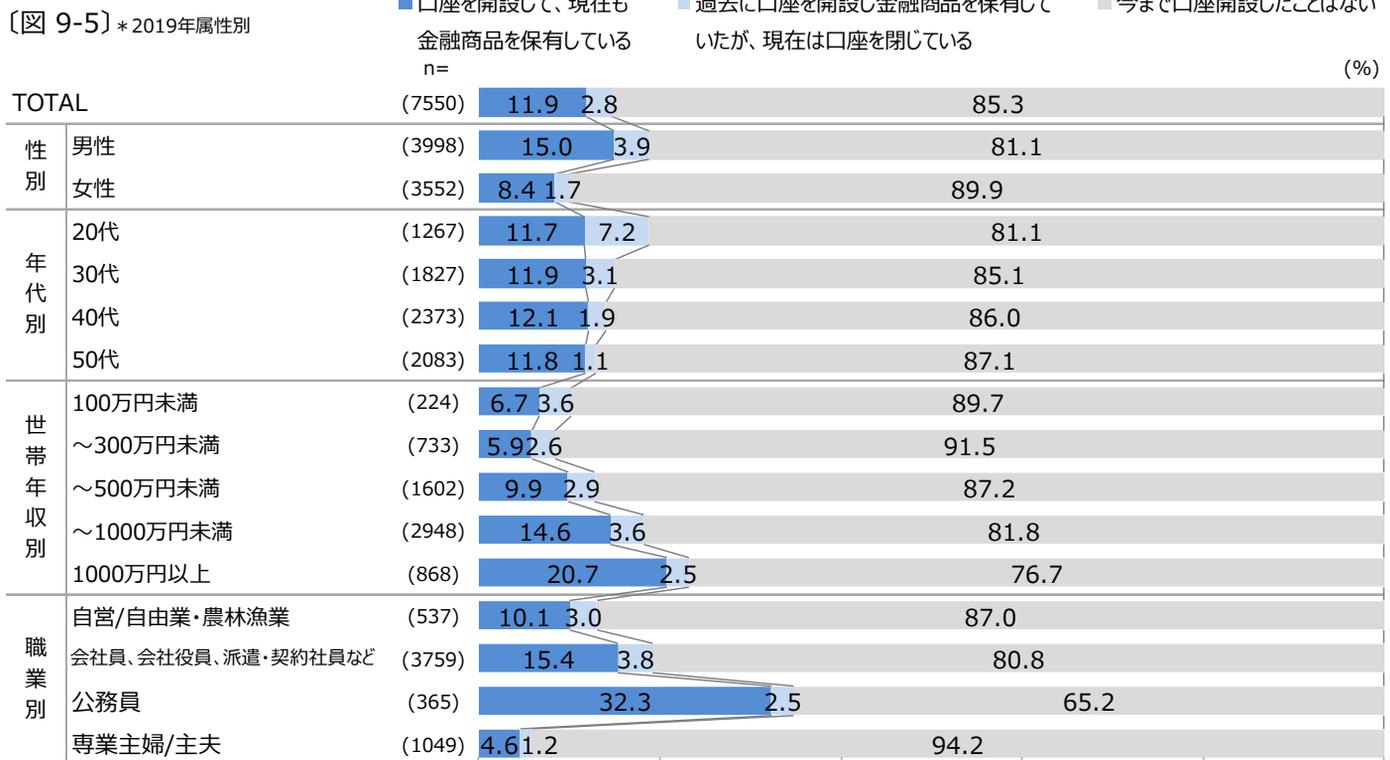
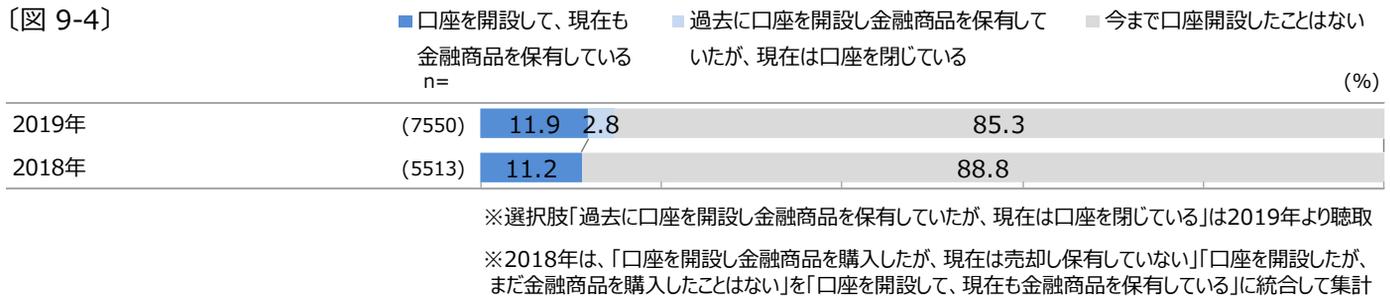
〔図 9-3〕 * 2019年属性別



9. 個人型確定拠出年金(iDeCo)の浸透状況、今後の利用意向

(2) 個人型確定拠出年金の利用状況(60歳未満の制度認知者) 〔Q16_2②:単数回答〕

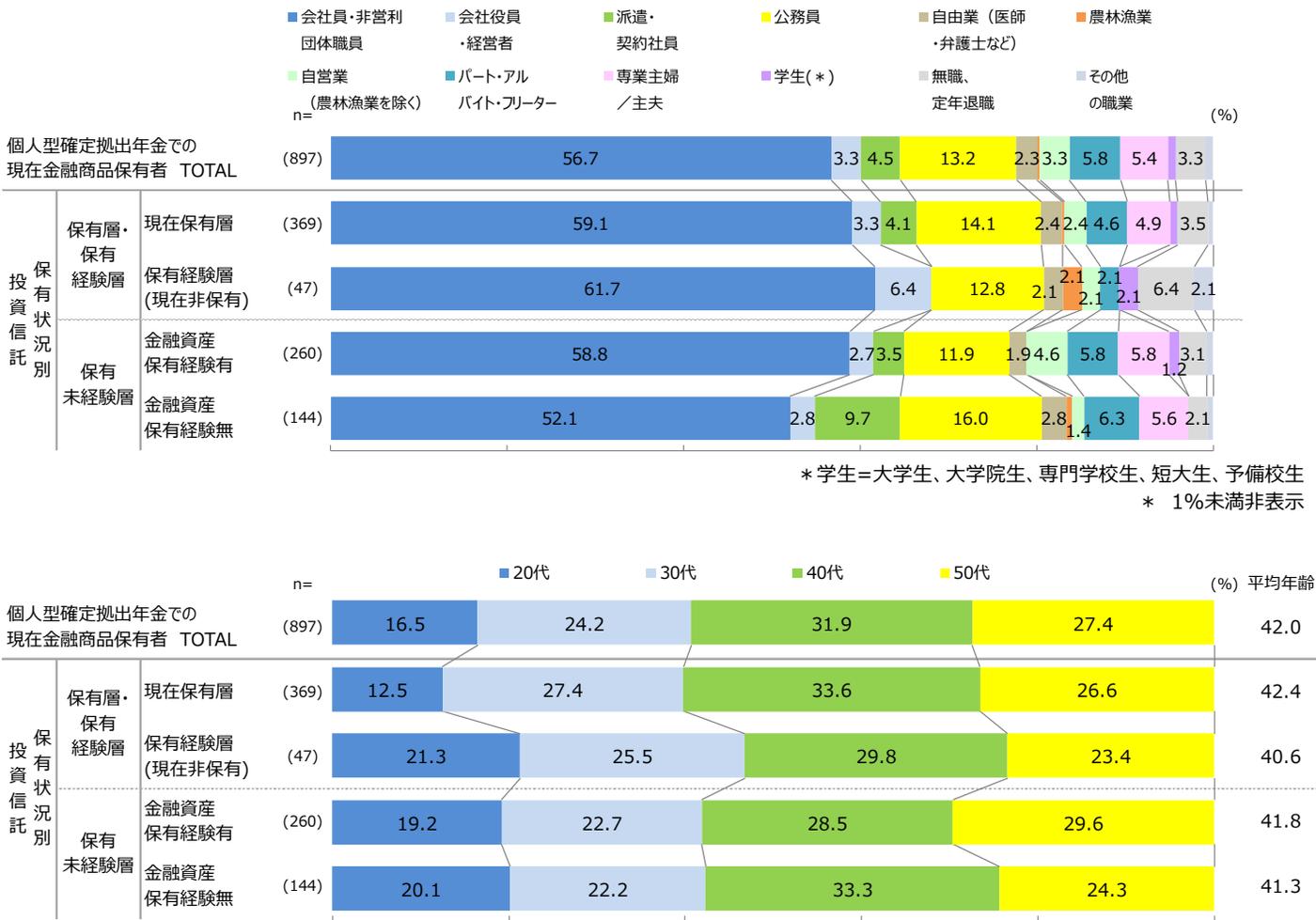
- 個人型確定拠出年金認知者のうち、口座開設率は11.9%。85.3%が口座未開設。〔図9-4〕
- 現在金融商品保有率は、女性より男性で高く、年代での差はみられない。世帯年収別では「1000万円以上」で高い。また、職業では公務員が最も高い。〔図9-5〕
- 投資信託保有状況別でみると、投資信託への関与が強い層ほど、個人型確定拠出年金での現在金融保有率も高くなる。〔図9-6〕
- 個人型確定拠出年金での現在金融商品保有者の平均年齢は42.0歳。〔図9-7〕



9. 個人型確定拠出年金(iDeCo)の浸透状況、今後の利用意向

(2) 個人型確定拠出年金の利用状況(60歳未満の制度認知者) 〔Q16_2②:単数回答〕

〔図 9-7〕【個人型確定拠出年金 現在金融商品保有者の年代／職業 投信保有状況別】* 2019年属性別



9. 個人型確定拠出年金(iDeCo)の浸透状況、今後の利用意向

(3) 個人確定拠出年金での保有金融商品(60歳未満で、個人型確定拠出年金での現在金融商品保有者)[Q17_3②:重複回答]

- 個人型確定拠出年金での保有金融商品は、「投資信託計*」が60.4%で、「国内株式／外国株式に主に投資する投資信託」の保有率が30%以上と高い。〔図9-8〕
- 年代別でみると、30代・40代で「投資信託計*」が60%以上と高く、「国内株式／外国株式に主に投資する投資信託」「不動産投信に主に投資する投資信託」「様々な資産に投資する投資信託」の保有率がやや高い。職業別でみると、専業主婦/主夫では、「外国株式に主に投資する投資信託」保有率が他職業に比べて低い。〔図9-9〕

* 投資信託計・・・「国内債券に主に投資～様々な資産に投資する投資信託」のいずれかを保有している者の割合

〔図 9-8〕

	n=	定期預金	保険商品	投資信託計(*)	投資信託計(*)						その他	わからない・答えたくない (%)
					国内債券に主に投資する投資信託	外国債券に主に投資する投資信託	国内株式に主に投資する投資信託	外国株式に主に投資する投資信託	不動産投資信託に主に投資する投資信託(除くJリート)	様々な資産に投資する投資信託		
2019年	(897)	34.3	9.0	60.4	23.7	17.8	33.3	30.3	9.4	13.3	2.3	13.4
2018年	(615)	48.4	14.2	45.2	19.5	15.1	27.2	25.9	5.9	10.7	1.3	7.3

※2018年は、「口座を開けし金融商品を購入したが、現在は売却し保有していない」「口座を開けしたが、まだ金融商品を購入したことはない」を「口座を開けして、現在も金融商品を保有している」に統合して集計し、「定期預金」「保険商品」は案分算出している

〔図 9-9〕

* 2019年属性別

	n=	定期預金	保険商品	投資信託計(*)	投資信託計(*)						その他	わからない・答えたくない (%)
					国内債券に主に投資する投資信託	外国債券に主に投資する投資信託	国内株式に主に投資する投資信託	外国株式に主に投資する投資信託	不動産投資信託に主に投資する投資信託(除くJリート)	様々な資産に投資する投資信託		
TOTAL	(897)	34.3	9.0	60.4	23.7	17.8	33.3	30.3	9.4	13.3	2.3	13.4
性別												
男性	(599)	33.9	10.5	63.8	24.5	19.7	35.7	32.6	10.5	13.7	2.2	10.9
女性	(298)	35.2	6.0	53.7	22.1	14.1	28.5	25.8	7.0	12.4	2.7	18.5
年代別												
20代	(148)	37.2	15.5	56.1	26.4	18.9	28.4	26.4	4.7	6.1	1.4	11.5
30代	(217)	33.6	9.7	61.8	23.0	19.4	36.9	33.2	12.9	13.8	2.3	14.3
40代	(286)	33.6	5.6	64.7	22.4	16.4	35.3	33.2	10.1	16.4	1.7	12.6
50代	(246)	34.1	8.5	56.9	24.4	17.5	30.9	26.8	8.1	13.4	3.7	14.6
世帯年収別												
100万円未満	(15)	33.3	0.0	53.3	13.3	20.0	33.3	40.0	0.0	13.3	6.7	13.3
～300万円未満	(43)	34.9	11.6	60.5	23.3	16.3	27.9	32.6	16.3	25.6	7.0	11.6
～500万円未満	(158)	31.6	7.0	62.0	26.6	22.2	39.9	34.8	14.6	10.8	5.1	13.3
～1000万円未満	(431)	35.3	10.7	62.2	25.8	19.0	34.6	29.2	6.3	12.8	1.6	10.7
1000万円以上	(180)	36.7	10.6	62.8	23.9	15.0	32.2	30.6	13.9	13.3	1.1	12.2
職業別												
自営/自由業・農林漁業	(54)	38.9	0.0	63.0	22.2	20.4	38.9	42.6	13.0	9.3	1.9	16.7
会社員、会社役員、派遣・契約社員など	(579)	34.7	11.1	62.2	25.4	19.7	34.0	31.6	9.3	13.3	1.9	11.6
公務員	(118)	30.5	6.8	58.5	23.7	15.3	33.1	28.8	10.2	13.6	1.7	12.7
専業主婦/主夫	(48)	33.3	8.3	54.2	22.9	6.3	31.3	10.4	2.1	8.3	6.3	20.8

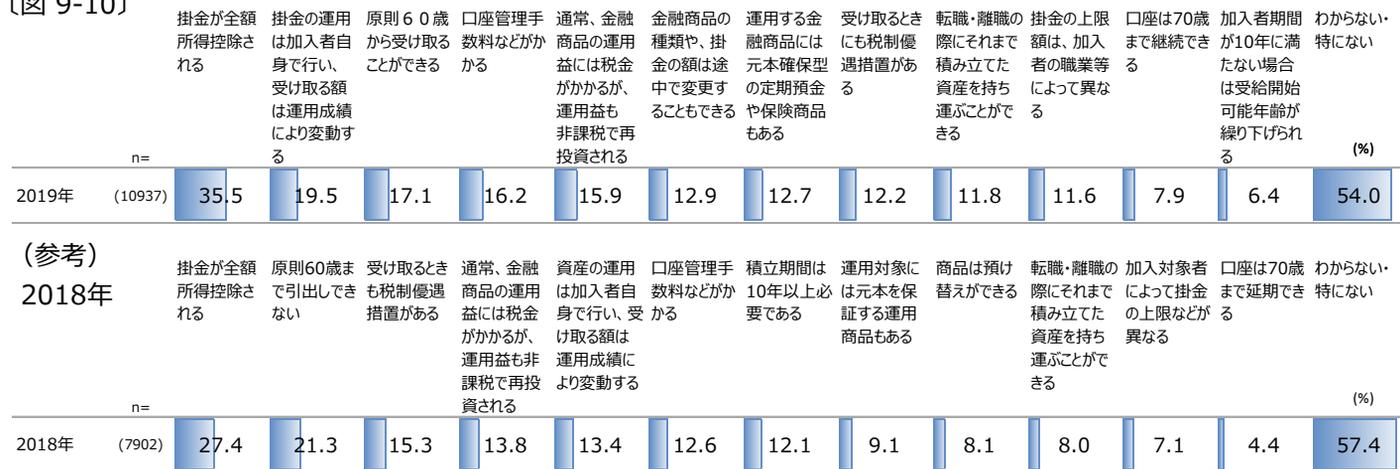
9. 個人型確定拠出年金(iDeCo)の浸透状況、今後の利用意向

(4) 個人型確定拠出年金の特徴認知(制度認知者全体)[Q27①:複数回答]

- 個人型確定拠出年金の特徴では、「掛金が全額所得控除される」(35.5%)が最も高く、「掛金の運用は加入者自身で行い、受け取る額は運用成績により変動」(19.5%)が続く。〔図9-10〕

- 年代別で見ると、他の年代に比べて30代の認知率が高い項目が多い。〔図9-11〕

〔図 9-10〕



※今回(2019年)、選択肢に複数変更があったため2018年は参考とした

〔図 9-11〕 * 2019年属性別

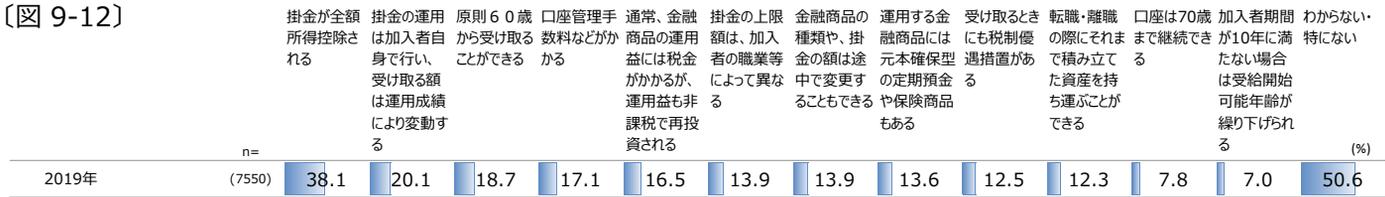


9. 個人型確定拠出年金(iDeCo)の浸透状況、今後の利用意向

(5) 個人型確定拠出年金の特徴認知(60歳未満の制度認知者) 〔Q27①:複数回答〕

- 60歳未満で個人型確定拠出年金認知者に絞ってみると、同制度の特徴認知率は「掛金が全額所得控除される」(38.1%)が最も高く、「掛金の運用は加入者自身で行い、受け取る額は運用成績により変動」(20.1%)が続く。他の項目は分散傾向。〔図9-12〕
- 世帯年収別では高年収層ほど各項目で認知率が高い傾向。職業別では、公務員で「掛金が全額所得控除される」が高く、専業主婦/主夫ではいずれの項目も認知率が低い。〔図9-13〕

〔図 9-12〕

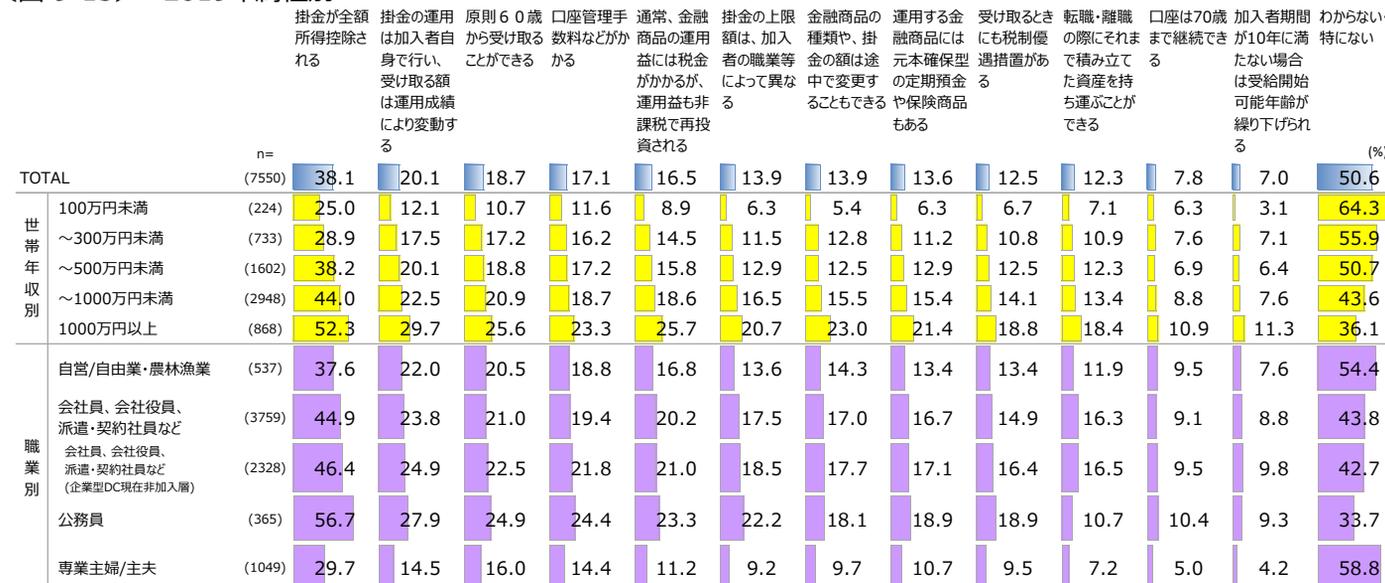


(参考)
2018年・2017年

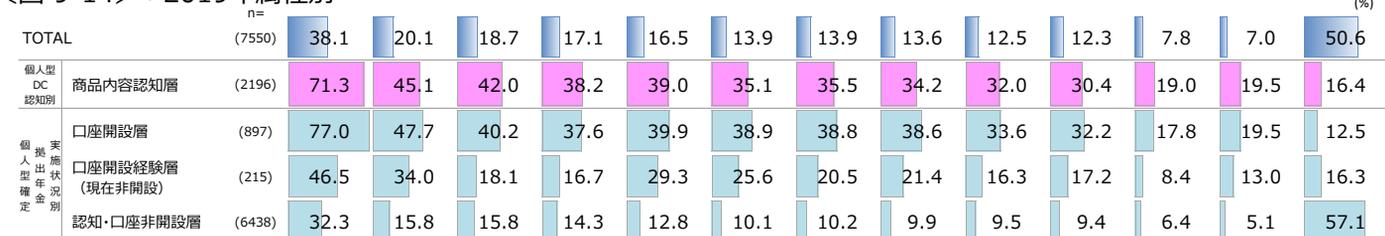


〔図 9-13〕 * 2019年属性別

※今回(2019年)、選択肢に複数変更があったため2018年は参考とした



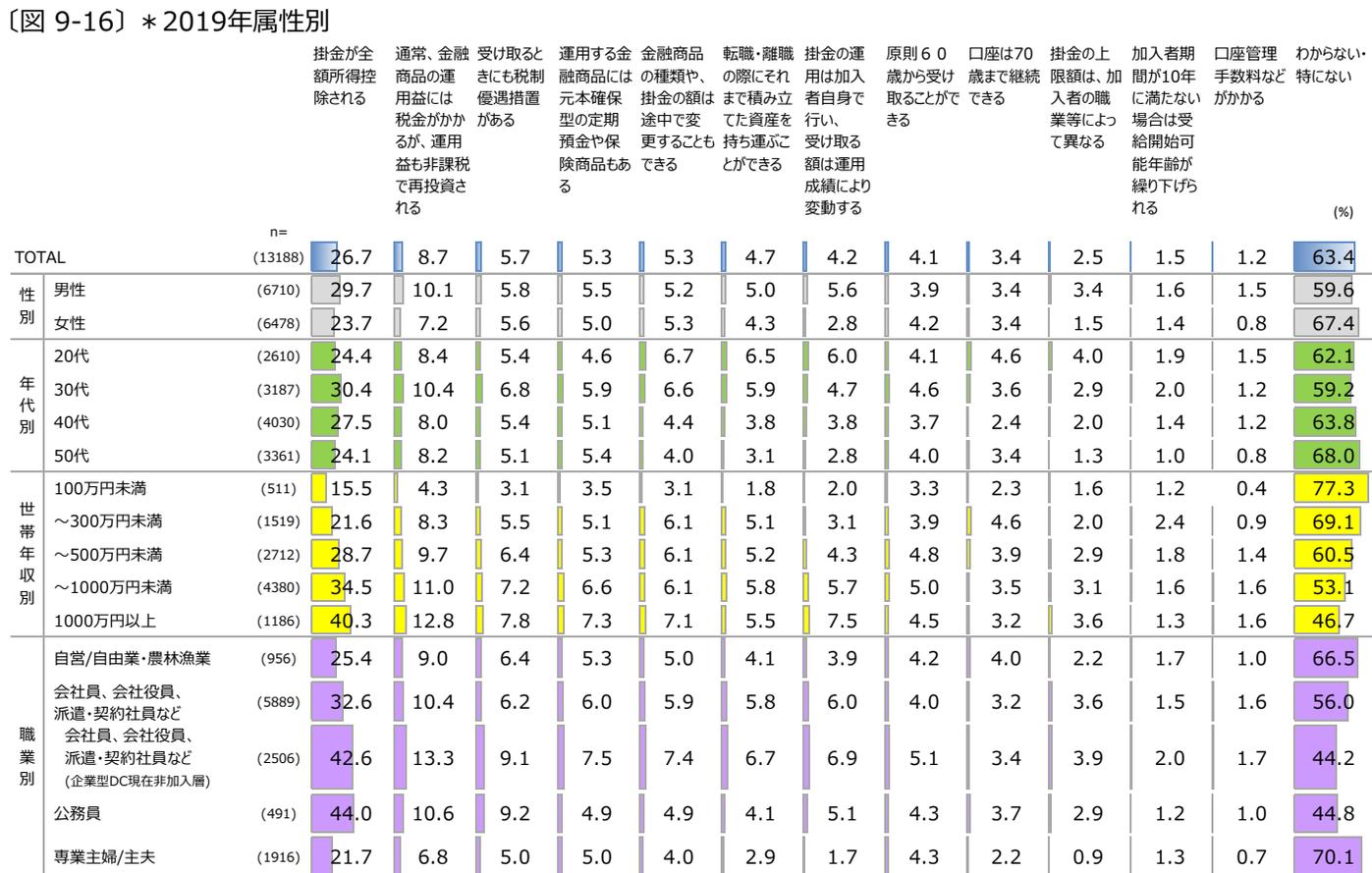
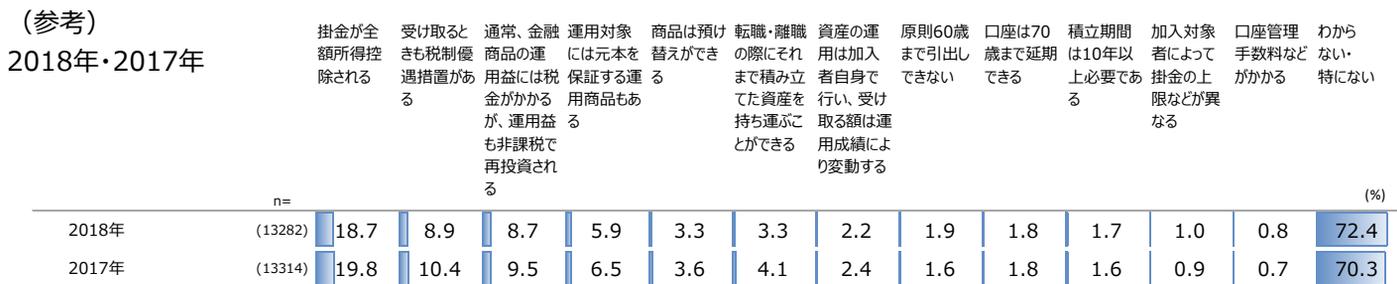
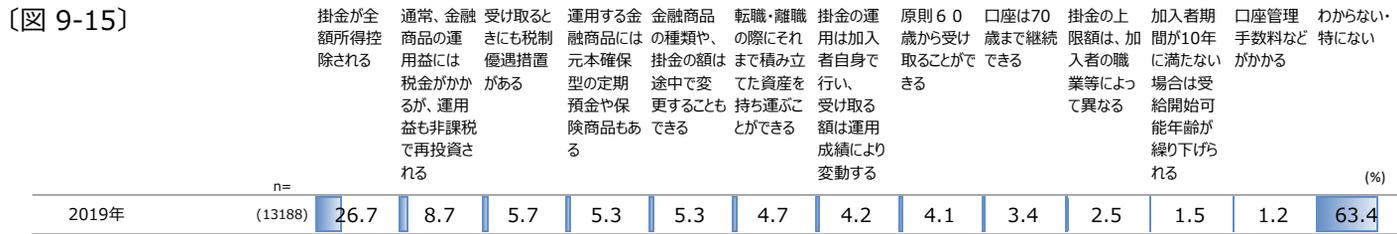
〔図 9-14〕 * 2019年属性別



9. 個人型確定拠出年金(iDeCo)の浸透状況、今後の利用意向

(6) 個人型確定拠出年金の魅力点(60歳未満の者)〔Q27②:重複回答〕

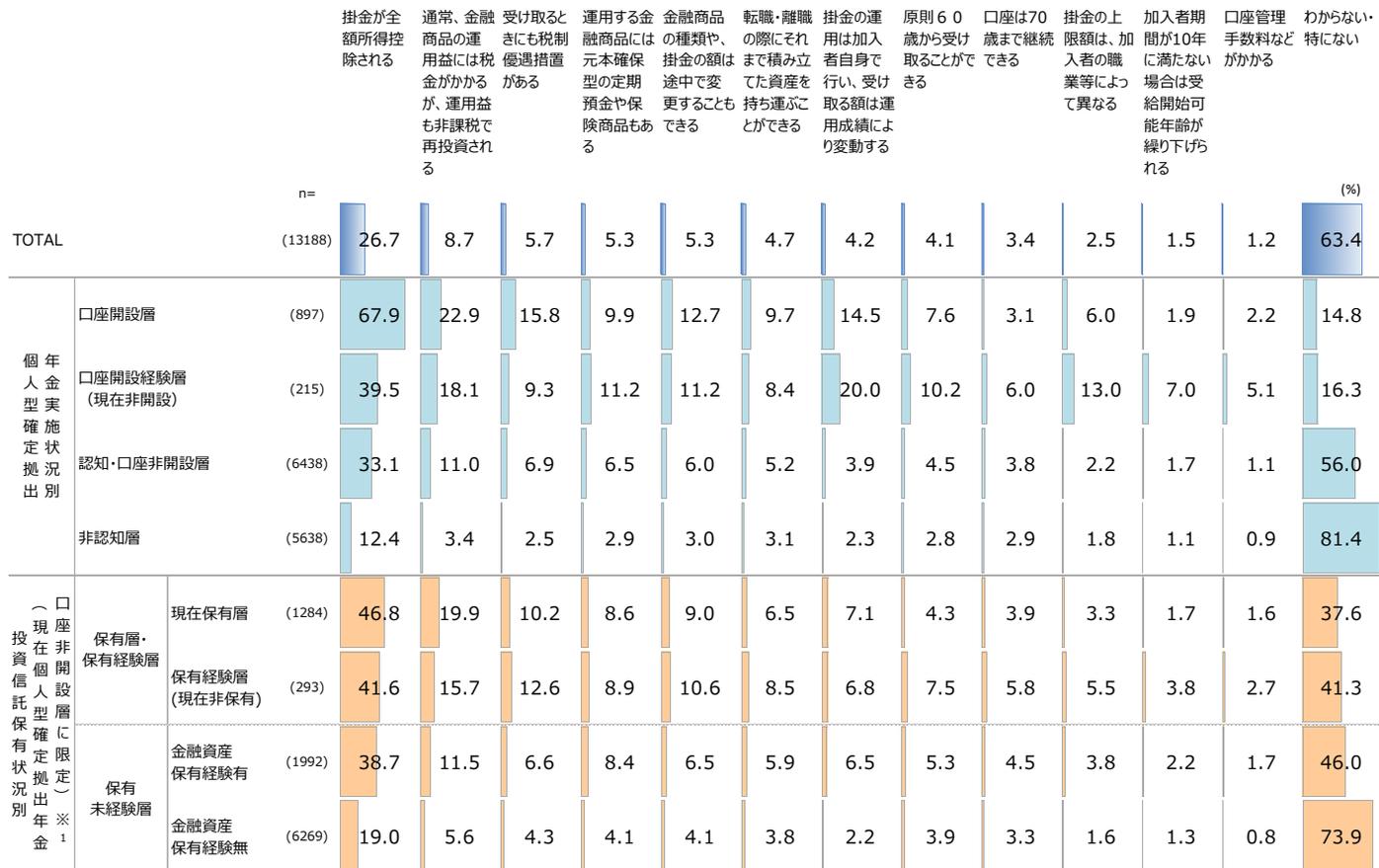
- 個人型確定拠出年金の魅力点では、「掛金が全額所得控除される」(26.7%)が最も高く、それ以外の項目は10%未満にとどまる。〔図9-15〕
- いずれの属性でも「掛金が全額所得控除される」が最も高い。〔図9-16〕〔図9-17〕



9. 個人型確定拠出年金(iDeCo)の浸透状況、今後の利用意向

(6) 個人型確定拠出年金の魅力点(60歳未満の者)〔Q27②:重複回答〕

〔図 9-17〕 * 2019年属性別



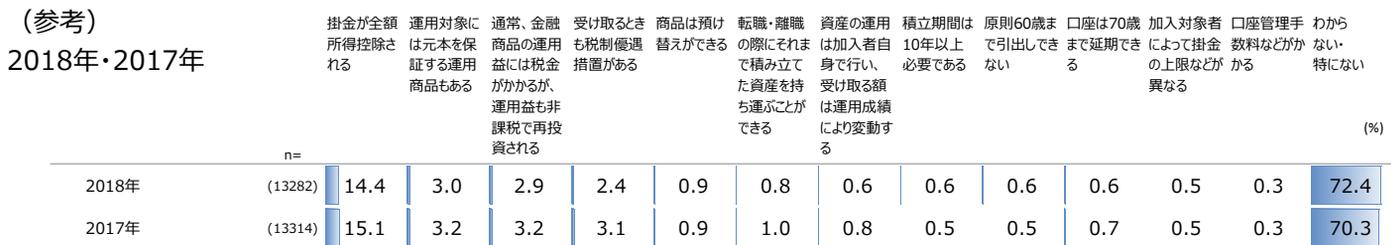
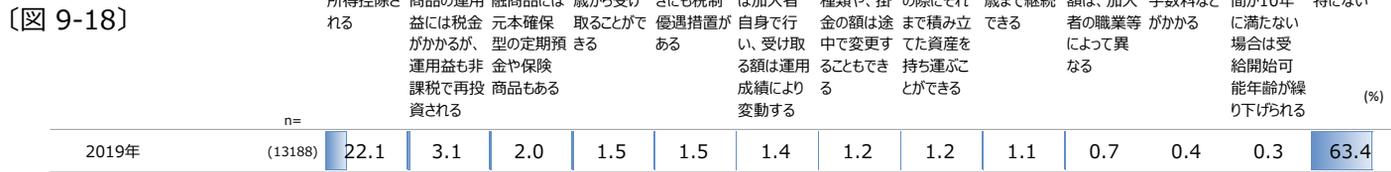
※1 個人型確定拠出年金非認知層含む

※2 “過去・現在保有の金融資産(Q6①②)”で「不明・回答拒否」の者は、金融資産保有状況が不明の為、「保有層・保有経験層」「保有未経験層」では除外している。

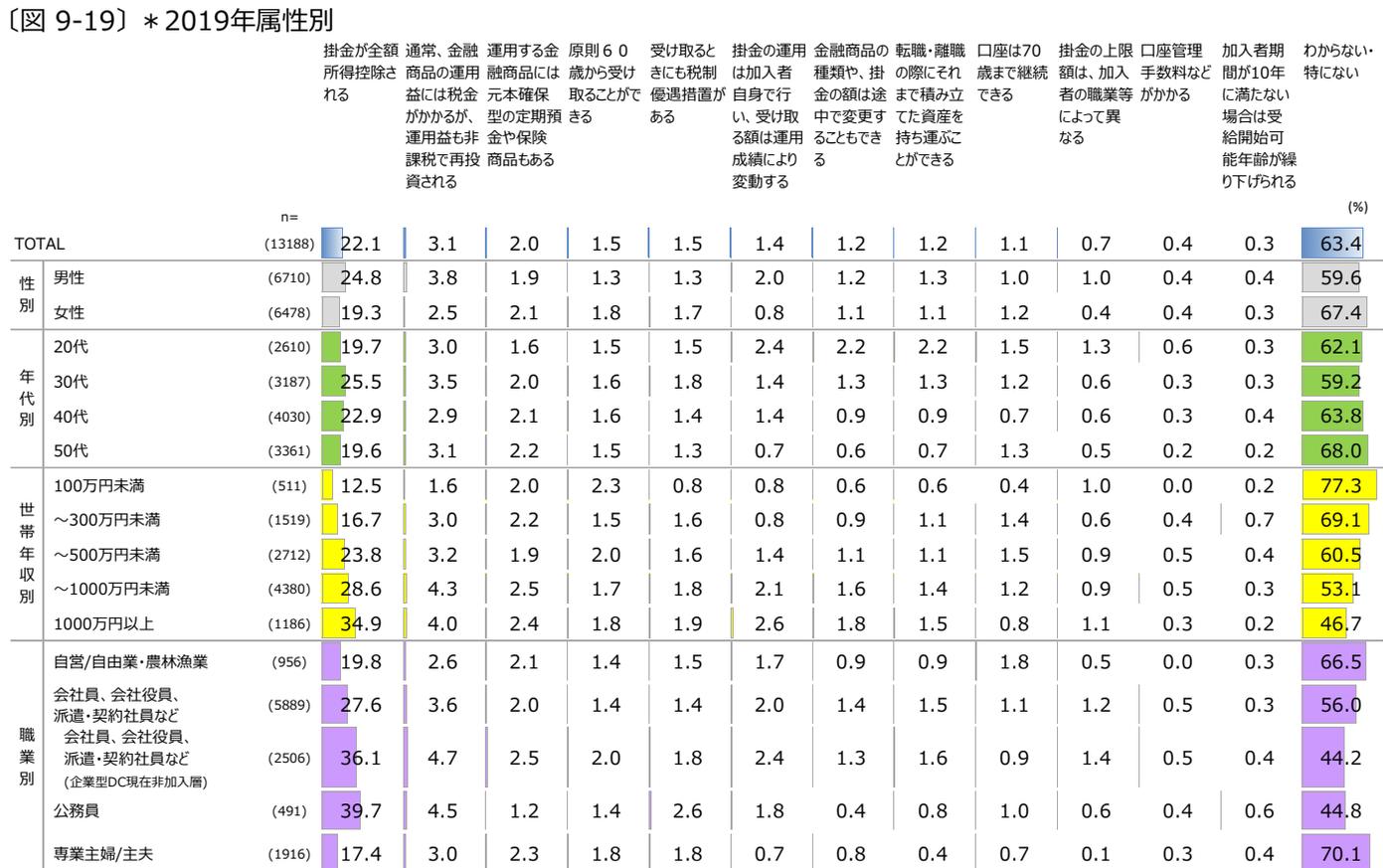
9. 個人型確定拠出年金(iDeCo)の浸透状況、今後の利用意向

(6) 個人型確定拠出年金の最魅力点(60歳未満の者)[Q27③:単数回答]

- 個人型確定拠出年金の最魅力点は、魅力点と同様に「掛金が全額所得控除される」(22.1%)が最も高い。〔図9-18〕
- また、魅力点と同様、いずれの属性でも「掛金が全額所得控除される」が最も高い。〔図9-19〕〔図9-20〕



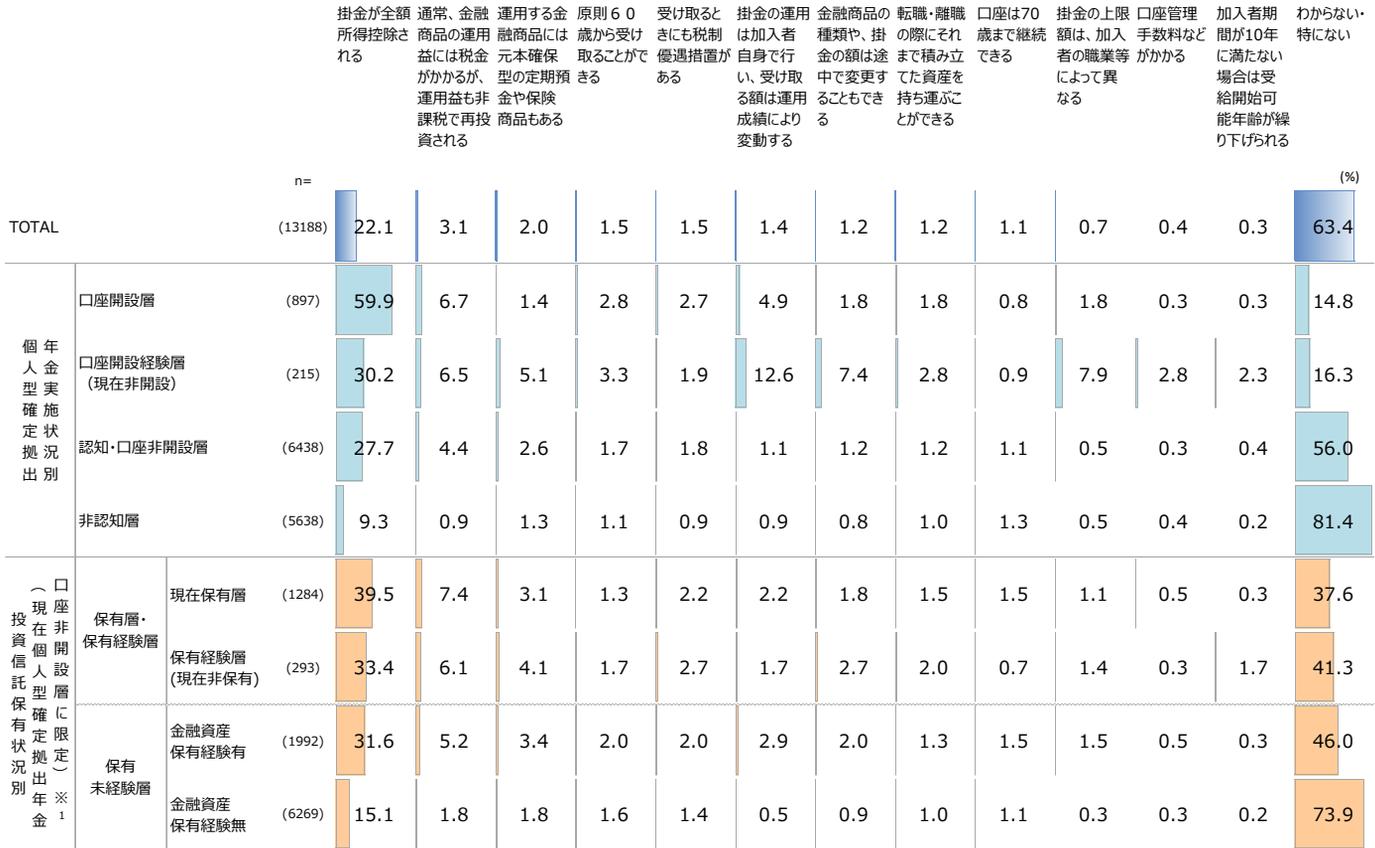
※今回（2019年）、選択肢に複数変更があったため2018年は参考とした



9. 個人型確定拠出年金(iDeCo)の浸透状況、今後の利用意向

(6) 個人型確定拠出年金の最魅力点(60歳未満の者)[Q27③:単数回答]

[図 9-20] * 2019年属性別



※1 個人型確定拠出年金非認知層含む

※2 “過去・現在保有の金融資産(Q6①②)”で「不明・回答拒否」の者は、金融資産保有状況が不明の為、「保有層・保有経験層」「保有未経験層」では除外している。

9. 個人型確定拠出年金(iDeCo)の浸透状況、今後の利用意向

(7) 個人型確定拠出年金の口座開設・投資性商品未購入理由および口座未開設理由 (60歳未満の口座開設・投資性商品未購入、口座未開設層)〔Q25:重複回答〕

- 個人型確定拠出年金で投資性商品(定期預金・保険を除く商品)未購入や口座未開設の理由は、「投資に回すお金がない」(25.2%)が最も高い。これに続く「投資は元本が保証されない」(23.3%)は、前回から10.9ポイント増加。〔図9-21〕 * 今回の変動は調査パネル変更の影響も考えられる
- 若年層では、「投資は元本が保証されない」が低いものの、「制度内容を知らない」「投資の知識がない/知識がないと難しそう」という理解不足への懸念がやや高い。世帯年収が低い層では、これらに加えて「投資に回すお金がない」との経済的理由も高い傾向。また、職業別では、専業主婦/主夫で高い項目が多い傾向。〔図9-22〕

〔図 9-21〕

	n=	投資に回す お金がない から	投資は元本 が保証され ないから	制度の内容 を知らないか ら	投資の知識 がないから /知識がな いと難しそ うだから	制度が複雑 でよく理解 できないか ら	どの金融商 品を購入し たらよいか わからないか ら	口座開設の 申込手続き が煩雑で面 倒だから	企業型確 定拠出年 金に加入し ているの で	投資したい 金融商品が ないから	既に十分な 資産があ り、投資は 必要ないか ら	金融機関に 勧められて 口座開設し ただけだから	その他	特に理由は ない	(%)
2019年	(6661)	25.2	23.3	18.8	18.1	16.0	10.4	9.4	6.6	5.3	1.0	0.1	2.9	27.0	
2018年	(5141)	22.1	12.4	17.6	17.4	13.4	11.6	6.0	8.0	3.9	1.0	0.3	1.9	34.1	
2017年	(4555)	21.7	14.0	17.2	14.3	12.8	11.5	7.2	10.3	4.9	0.9	0.2	1.9	31.8	

〔図 9-22〕 * 2019年属性別

	n=	投資に回す お金がない から	投資は元本 が保証され ないから	制度の内容 を知らないか ら	投資の知識 がないから /知識がな いと難しそ うだから	制度が複雑 でよく理解 できないか ら	どの金融商 品を購入し たらよいか わからないか ら	口座開設の 申込手続き が煩雑で面 倒だから	企業型確 定拠出年 金に加入し ているの で	投資したい 金融商品が ないから	既に十分な 資産があ り、投資は 必要ないか ら	金融機関に 勧められて 口座開設し ただけだから	その他	特に理由は ない	(%)
TOTAL	(6661)	25.2	23.3	18.8	18.1	16.0	10.4	9.4	6.6	5.3	1.0	0.1	2.9	27.0	
性別															
男性	(3389)	23.4	19.9	16.0	12.2	12.0	8.0	9.4	10.4	6.2	1.1	0.1	3.1	29.2	
女性	(3272)	27.0	26.8	21.7	24.3	20.1	12.9	9.3	2.7	4.4	0.9	0.0	2.6	24.8	
年代別															
20代	(1075)	27.5	15.2	22.0	22.0	17.6	12.3	9.5	6.9	4.3	0.8	0.3	3.3	28.7	
30代	(1604)	25.6	20.6	22.1	20.7	18.3	13.6	11.3	6.7	6.2	1.2	0.0	2.5	24.8	
40代	(2103)	25.8	25.3	17.7	17.2	15.4	9.0	9.3	6.2	5.3	0.7	0.0	2.9	26.0	
50代	(1879)	22.7	28.0	15.3	14.7	13.8	8.2	7.8	6.9	5.1	1.3	0.1	2.8	29.1	
世帯 年収 別															
100万円未満	(205)	40.5	25.4	14.6	19.0	15.6	9.8	8.8	0.5	3.9	2.0	0.0	1.0	29.3	
~300万円未満	(683)	38.2	24.9	24.3	22.5	20.4	9.7	10.2	1.0	5.4	0.4	0.0	2.8	24.3	
~500万円未満	(1431)	30.2	23.2	20.8	21.2	17.1	12.4	10.3	3.8	5.1	1.1	0.1	3.4	24.0	
~1000万円未満	(2523)	22.1	23.9	17.0	16.3	15.3	10.4	8.8	9.9	5.9	1.0	0.0	3.3	24.0	
1000万円以上	(711)	12.0	25.0	16.2	10.4	12.8	8.6	10.7	14.8	7.0	1.8	0.3	3.0	24.2	
職業 別															
自営/自由業・ 農林漁業	(477)	24.7	23.3	15.9	15.1	15.9	7.3	8.6	0.8	7.1	1.5	0.0	2.5	32.1	
会社社員、会社役員、 派遣・契約社員など	(3181)	20.6	21.9	16.4	13.2	12.2	9.0	9.1	13.1	5.5	1.0	0.1	2.9	26.1	
公務員	(271)	19.6	25.1	17.0	16.2	18.5	14.0	10.3	0.7	8.5	1.5	0.4	4.1	26.9	
専業主婦/主夫	(998)	26.8	28.5	20.6	25.8	20.0	12.5	9.8	1.2	4.2	1.0	0.0	3.0	26.0	

9. 個人型確定拠出年金(iDeCo)の浸透状況、今後の利用意向

(7) 個人型確定拠出年金の口座開設・投資性商品未購入理由および口座未開設理由 (60歳未満の口座開設・投資性商品未購入、口座未開設層)〔Q25:重複回答〕

〔図 9-23〕 * 2019年属性別

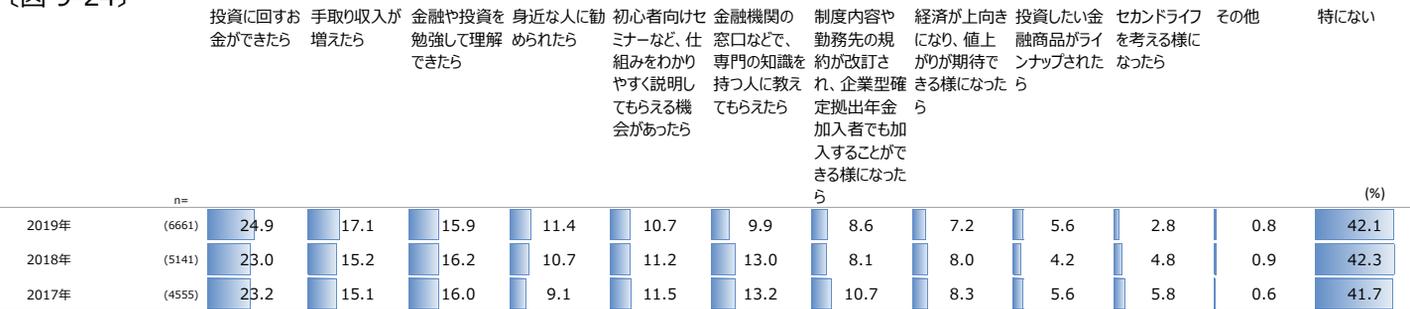


9. 個人型確定拠出年金(iDeCo)の浸透状況、今後の利用意向

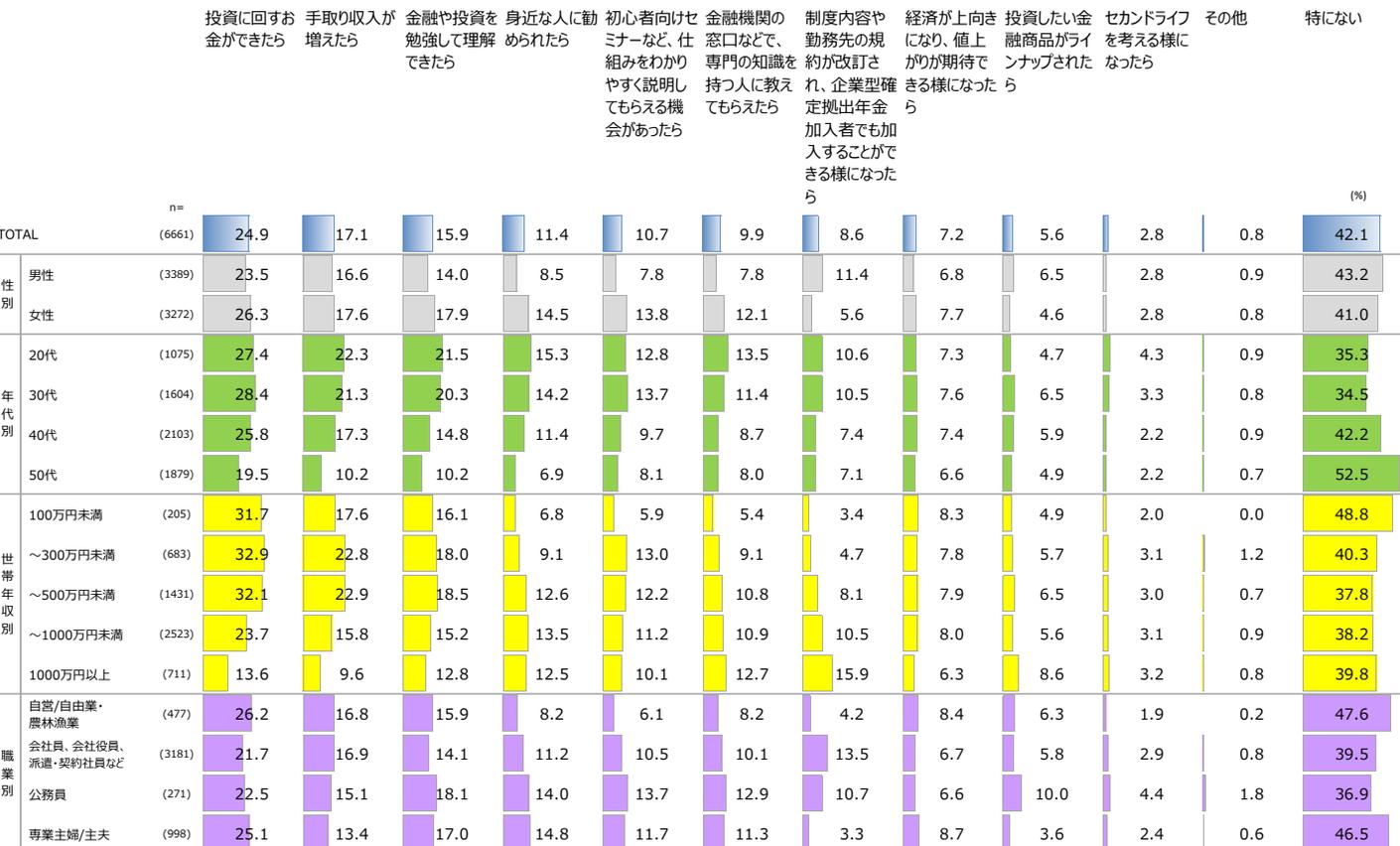
(8) 個人型確定拠出年金での投資性商品購入および口座開設検討のきっかけ (60歳未満の口座開設・投資性商品未購入、口座未開設層)〔Q26:重複回答〕

- 個人型確定拠出年金での投資性商品(定期預金・保険を除く商品)購入や、口座開設検討のきっかけは、「投資に回すお金ができたら」(24.9%)が前回同様に最も高い。これに、「手取り収入が増えたら」(17.1%)、「金融や投資を勉強して理解できたら」(15.9%)が続く。〔図9-24〕
- 年代別では、若年層ほど「金融や投資を勉強して理解できたら」「身近な人に勧められたら」「初心者向けセミナーなどでわかりやすく説明してもらえたら」「専門の知識を持つ人に教えてもらえたら」など知識習得機会がきっかけになる模様。〔図9-25〕

〔図 9-24〕



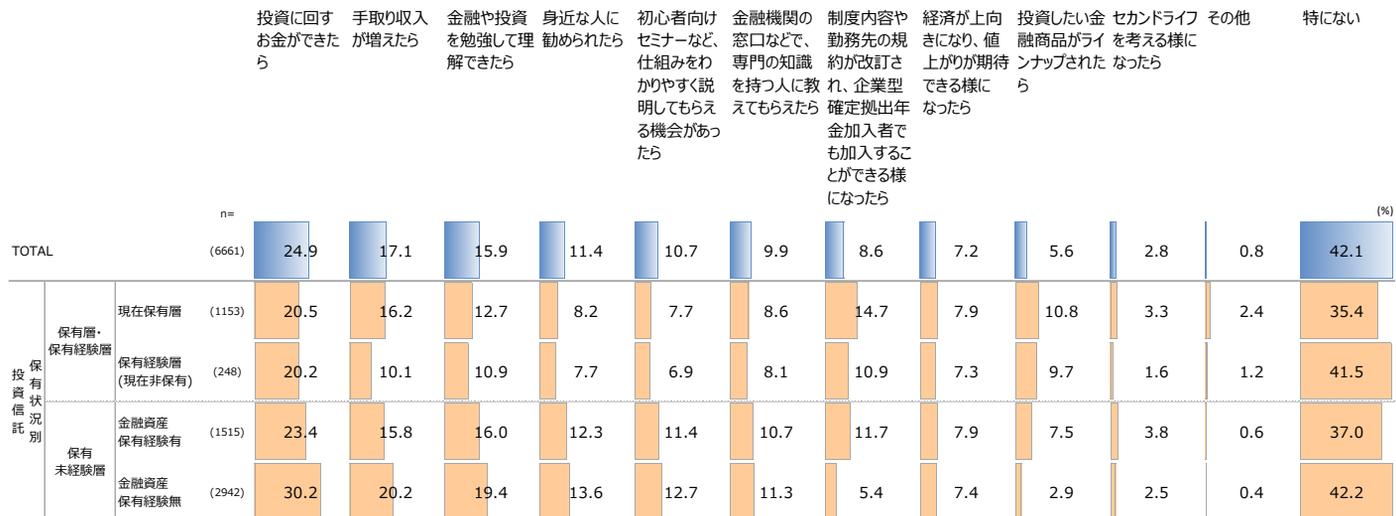
〔図 9-25〕 * 2019年 属性別



9. 個人型確定拠出年金(iDeCo)の浸透状況、今後の利用意向

(8) 個人型確定拠出年金での投資性商品購入および口座開設検討のきっかけ (60歳未満の口座開設・投資性商品未購入、口座未開設層)〔Q26:重複回答〕

〔図 9-26〕 * 2019年属性別



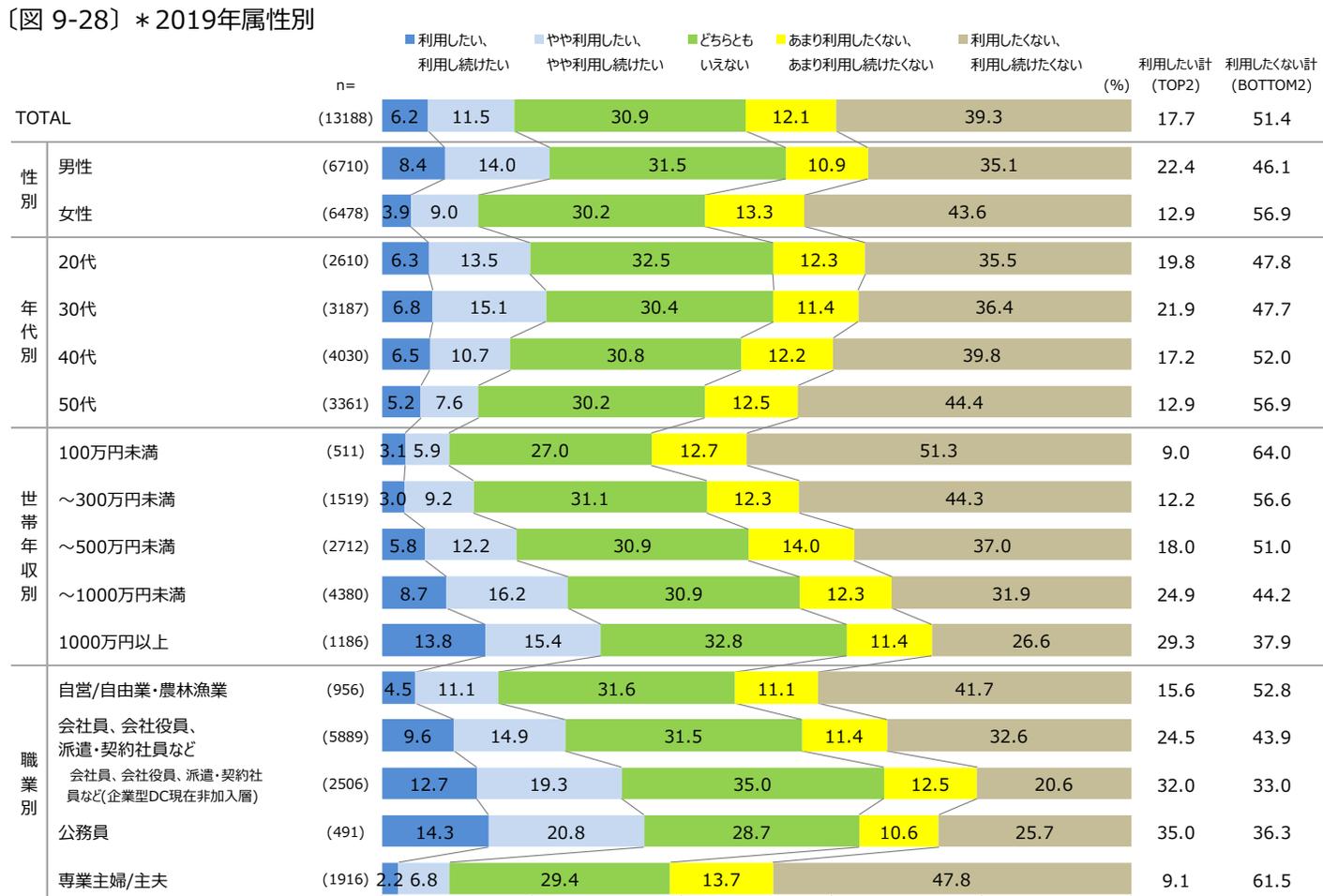
9. 個人型確定拠出年金(iDeCo)の浸透状況、今後の利用意向

(9) 個人型確定拠出年金の今後の利用・継続利用意向(60歳未満の者) 〔Q28:単数回答〕

- 個人型確定拠出年金の利用意向は「利用したい計」(TOP2)が17.7%、「利用したくない計」(BOTTOM2)が51.4%と、前回より利用意向が高くなった。〔図9-27〕

* 今回の変動は調査パネル変更の影響も考えられる

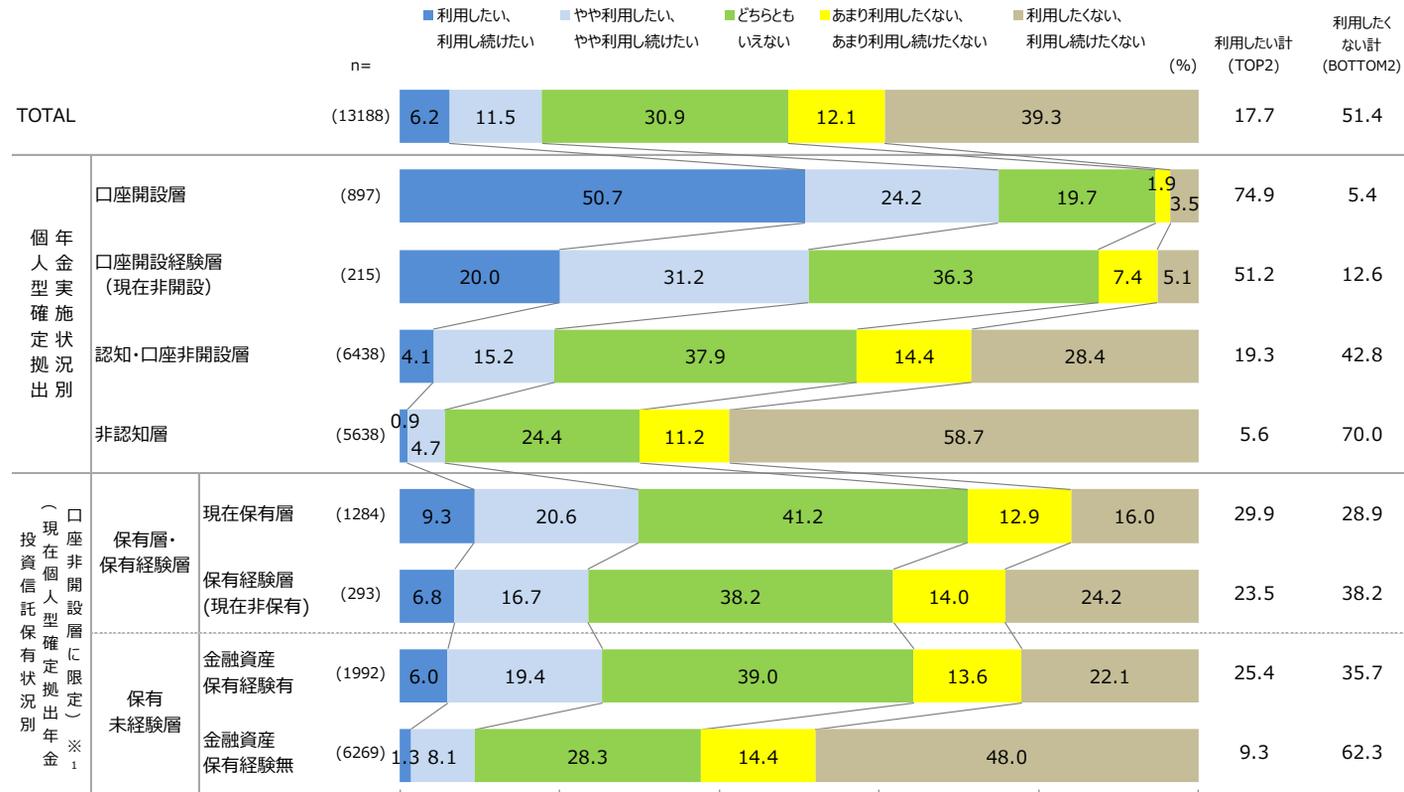
- 「利用したい計」は30代、公務員が他層に比べて高く、世帯年収が上がるほど高くなる。〔図9-28〕
- 個人型確定拠出年金の口座開設層では、「利用したい計」は74.9%と高い。また、口座非開設層を投資信託保有状況別にみると、投資信託への関与が強い層ほど利用意向が強い傾向。〔図9-29〕



9. 個人型確定拠出年金(iDeCo)の浸透状況、今後の利用意向

(9) 個人型確定拠出年金の今後の利用・継続利用意向(60歳未満の者) 〔Q28:単数回答〕

〔図 9-29〕 * 2019年属性別



※1 個人型確定拠出年金非認知層含む

※2 “過去・現在保有の金融資産(Q6①②)”で「不明・回答拒否」の者は、金融資産保有状況が不明の為、「保有層・保有経験層」「保有未経験層」では除外している。

9. 個人型確定拠出年金(iDeCo)の浸透状況、今後の利用意向

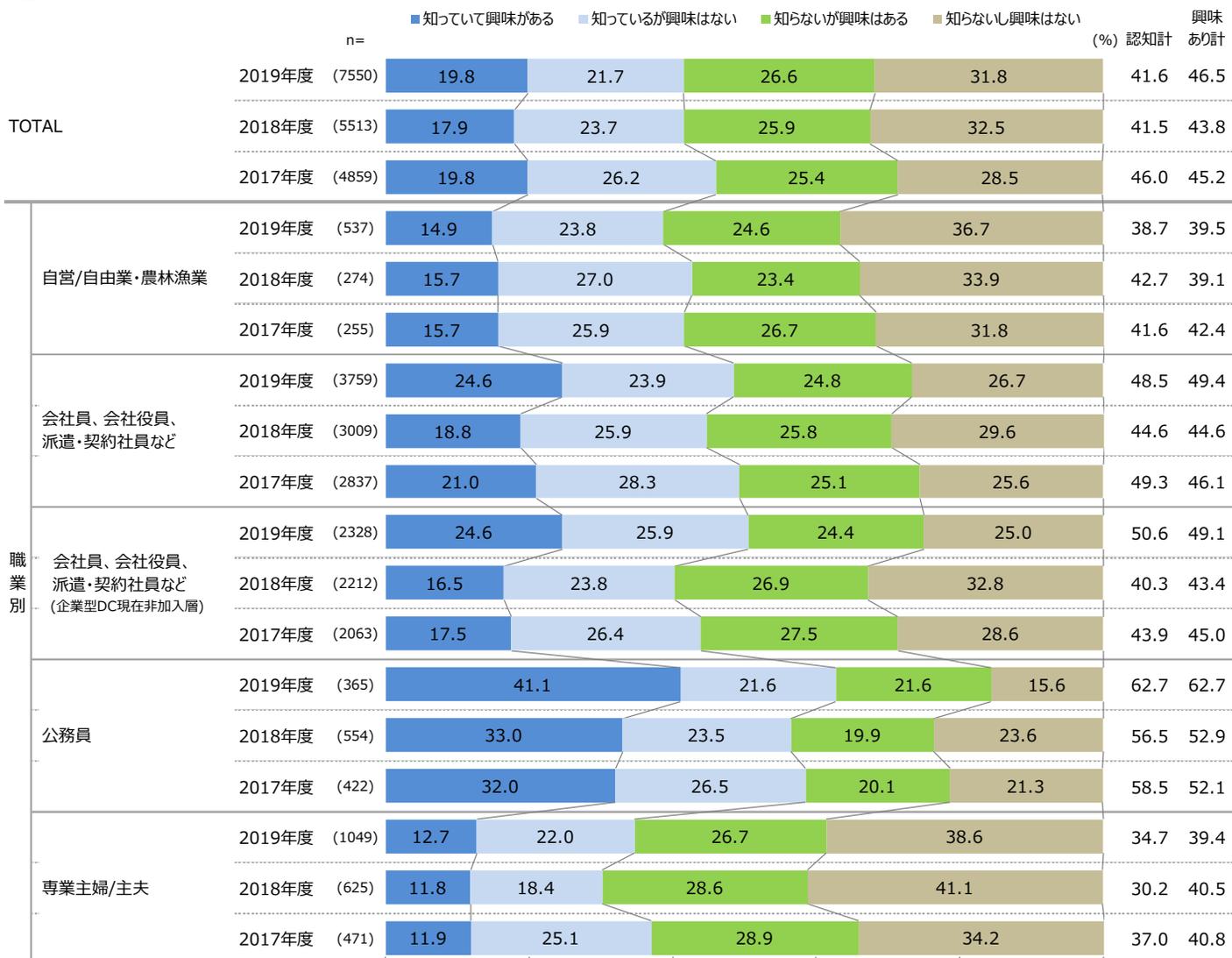
(10) 個人型確定拠出年金の利用対象者拡大に関する認知と興味度 (60歳未満の個人型確定拠出年金認知者)[Q29:単数回答]

- 60歳未満の個人型確定拠出年金認知者における、同制度利用者拡大の認知率(認知計)は41.6%と前回と同水準。職業別では、会社員、会社役員、派遣・契約社員など(企業型DC現在非加入層)(50.6%)で前回より10.3ポイント、公務員で6.2ポイント増加。公務員では認知率・興味度(興味あり計)ともに、他の職業に比べて高い。〔図9-30〕

* 今回の変動は調査パネル変更の影響も考えられる

- 公務員、専業主婦/主夫を属性別に分けてみると、公務員では、30代・40代の認知率が他の年代に比べて高い。専業主婦/主夫では、30代の「興味あり計」がやや高い。〔図9-31〕

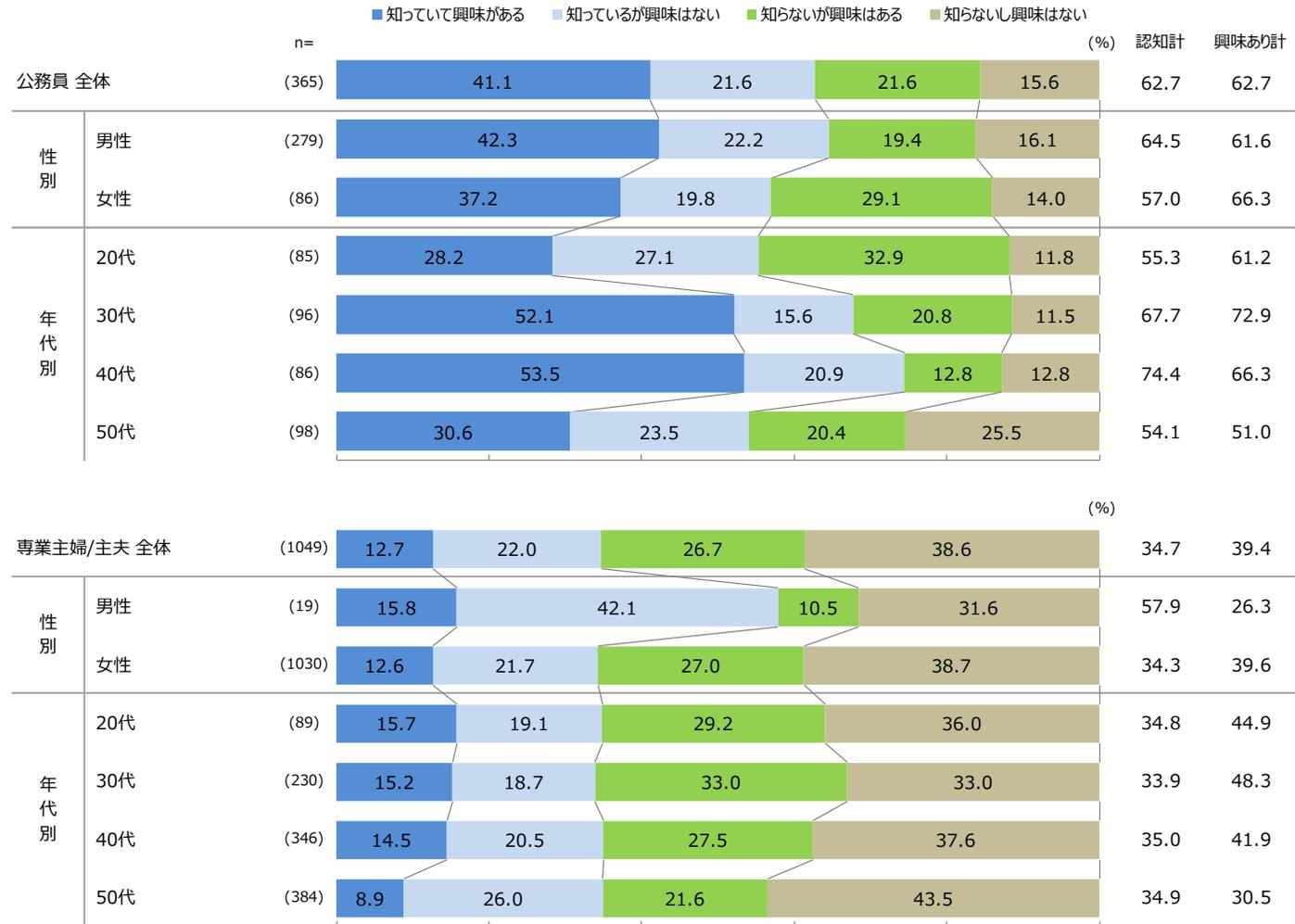
〔図 9-30〕



9. 個人型確定拠出年金(iDeCo)の浸透状況、今後の利用意向

(10) 個人型確定拠出年金の利用対象者拡大に関する認知と興味度 (60歳未満の個人型確定拠出年金認知者)[Q29:単数回答]

〔図 9-31〕 * 2019年属性別



10. その他項目

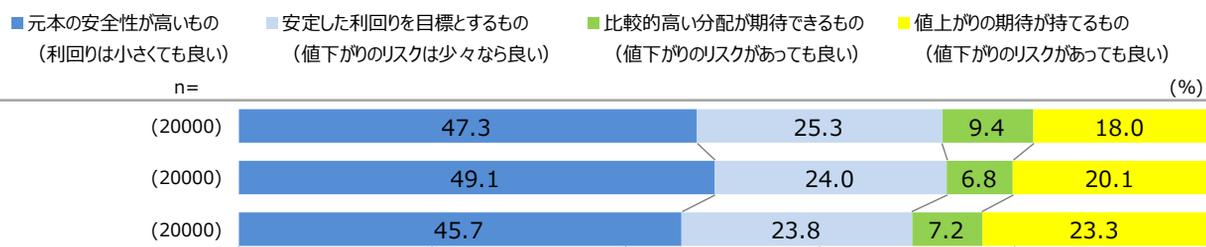


10. その他項目

(1) NISAで投資する場合に、選択したい金融商品〔Q31①:単数回答〕

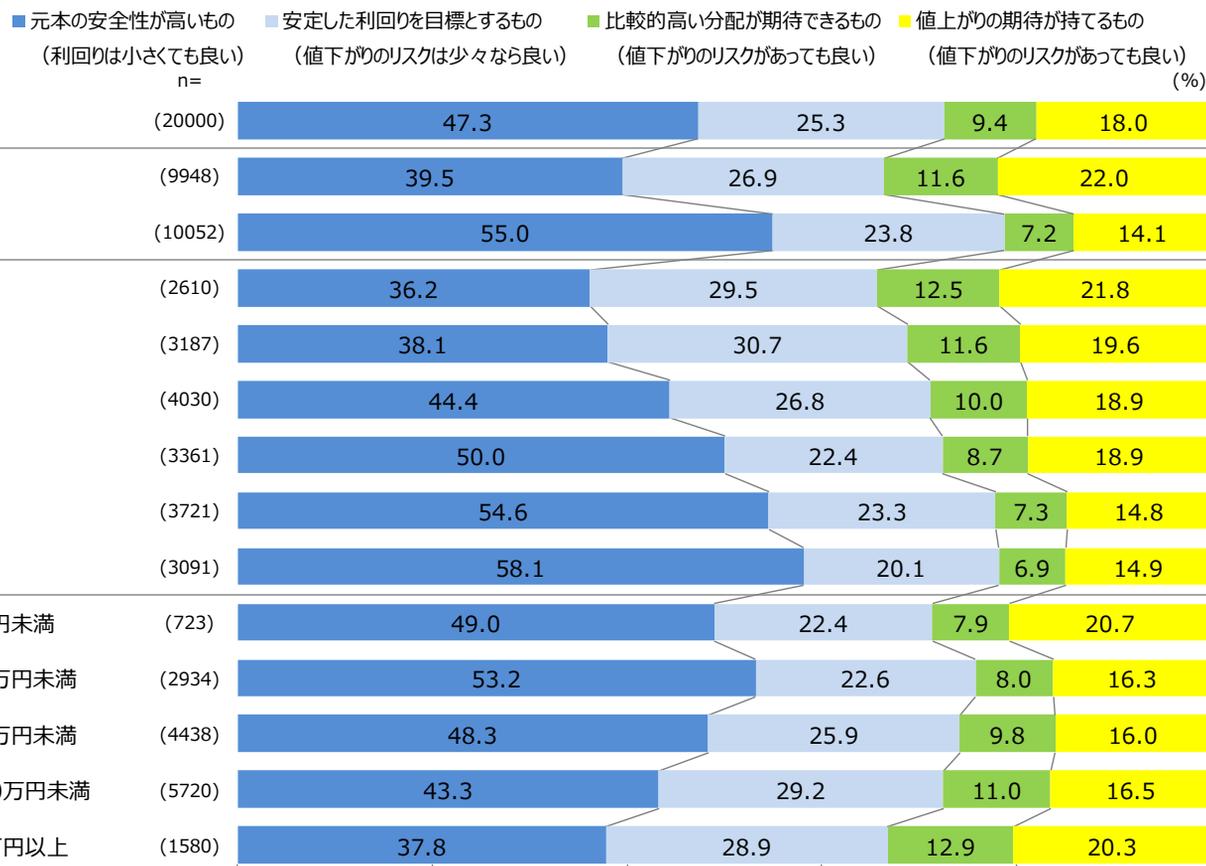
- NISAで投資したい商品は、前回と同様に「元本安全」商品(47.3%)が最も高い。〔図10-1〕
- 高齢層ほど「元本安全」商品が増加。また高年収層ほど「元本安全」商品が減少し、「安定利回り目標」「比較的高い分配が期待できる」商品が増加する傾向。〔図10-2〕
- 今後NISA利用意向有層全体では「安定利回り目標」商品が最も高い。〔図10-3〕

〔図 10-1〕



※選択肢「元本の安全性が高いもの」は2018年まで「極力元本が安全であるもの」で聴取

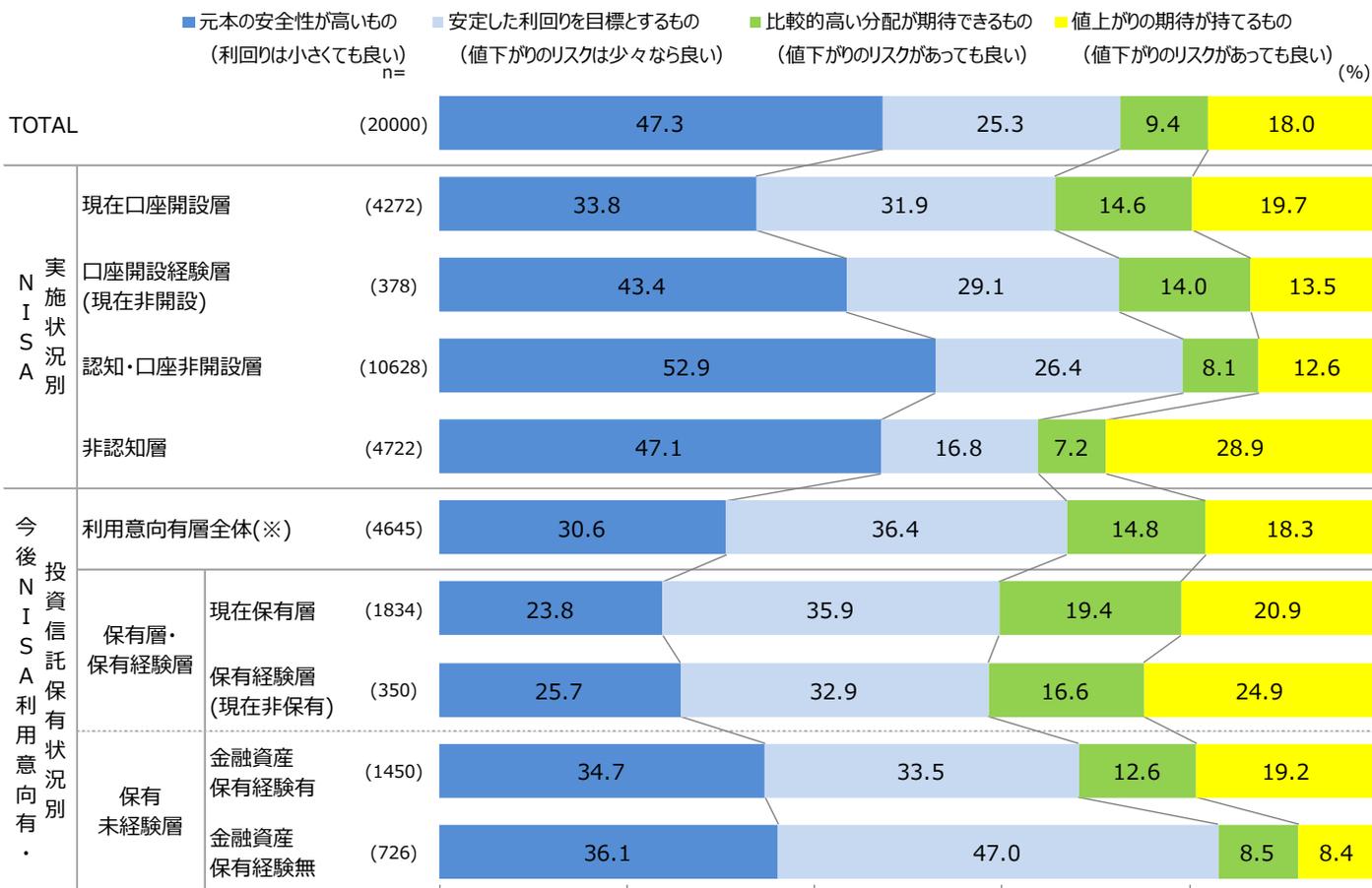
〔図 10-2〕 * 2019年属性別



10. その他項目

(1) NISAで投資する場合に、選択したい金融商品〔Q31①:単数回答〕

〔図 10-3〕 * 2019年属性別



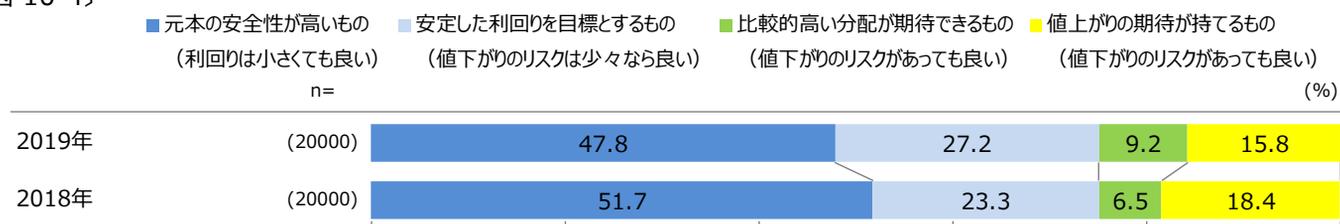
※「利用意向有層全体」では、「過去・現在保有の金融資産(Q6①②)」で「不明・回答拒否」の者も含めているが、「保有層・保有経験層」「保有未経験層」では金融資産の保有状況が不明の為、除外している。

10. その他項目

(1) つみたてNISAで投資する場合に、選択したい金融商品〔Q31②:単数回答〕

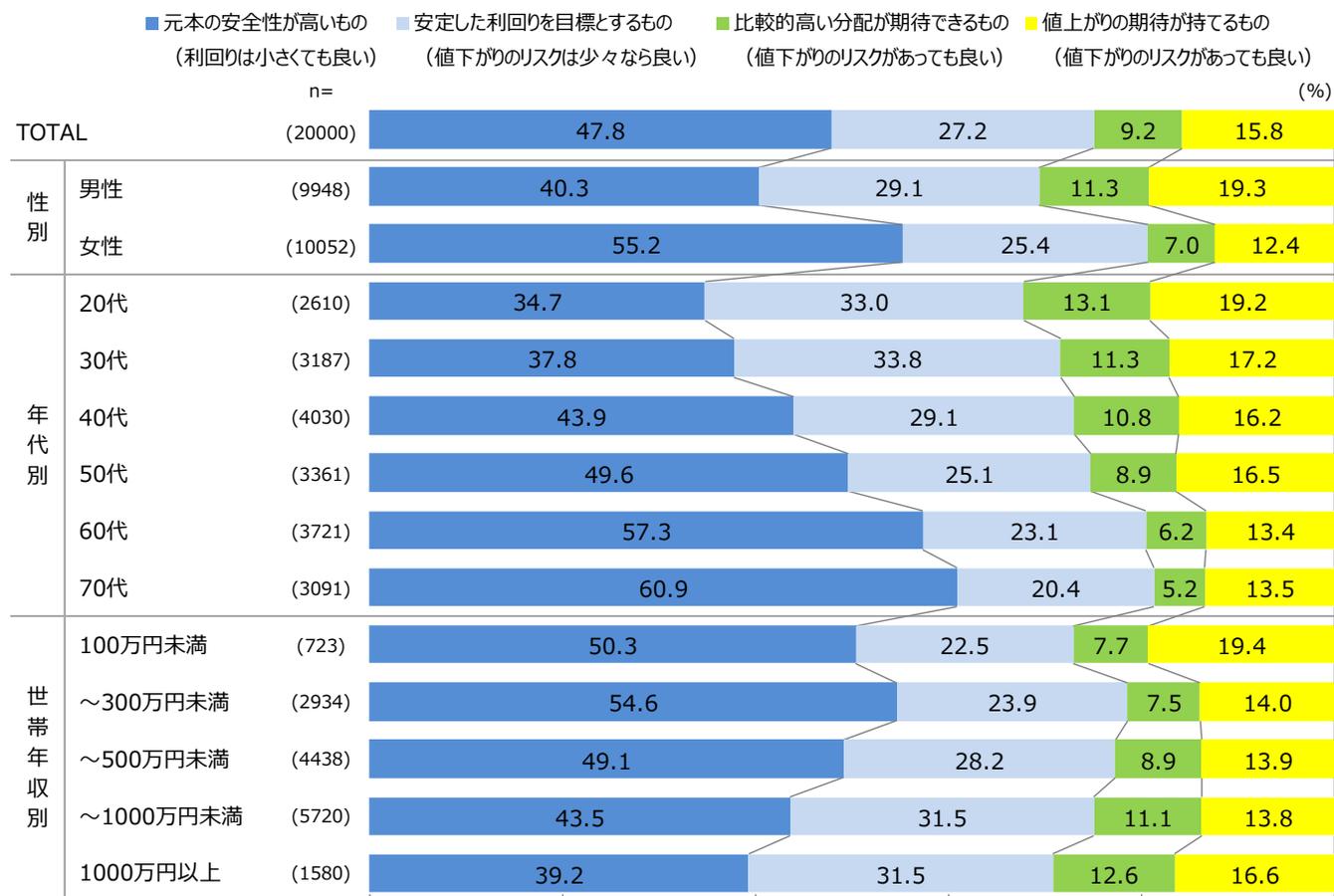
- つみたてNISAで投資したい商品は、「元本安全」商品(47.8%)が最多。〔図10-4〕
- 「元本安全」商品は高齢層ほど増加し、他の商品項目は減少する。また、世帯年収が高いほど「元本安全」商品が減少し、「安定利回り目標」「比較的高い分配が期待できる」商品が増加する傾向。〔図10-5〕
- 今後つみたてNISA利用意向有層では、「安定利回り目標」商品が44.9%と高い。〔図10-6〕

〔図 10-4〕



※選択肢「元本の安全性が高いもの」は2018年まで「極力元本が安全であるもの」で聴取

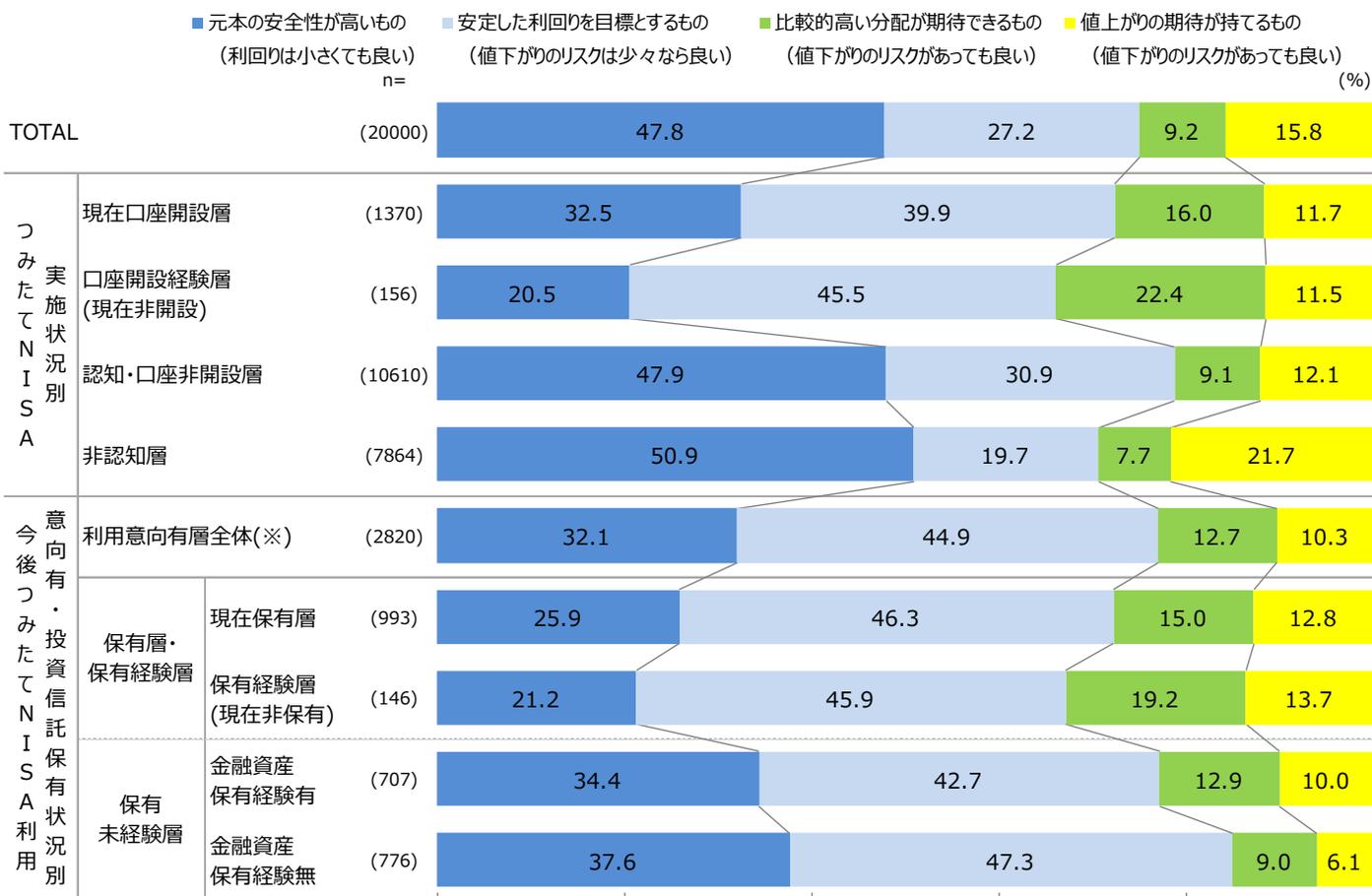
〔図 10-5〕 * 2019年属性別



10. その他項目

(1) つみたてNISAで投資する場合に、選択したい金融商品〔Q31②:単数回答〕

〔図 10-6〕 * 2019年属性別



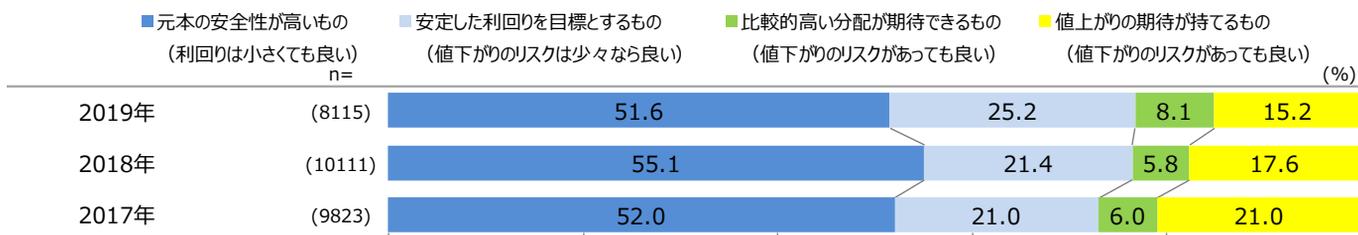
※「利用意向有層全体」では、「過去・現在保有の金融資産(Q6①②)」で「不明・回答拒否」の者も含めているが、「保有層・保有経験層」「保有未経験層」では金融資産の保有状況が不明の為、除外している。

10. その他項目

(1) ジュニアNISAで投資する場合に、選択したい金融商品 (20歳未満の親族がいる者)〔Q31③:単数回答〕

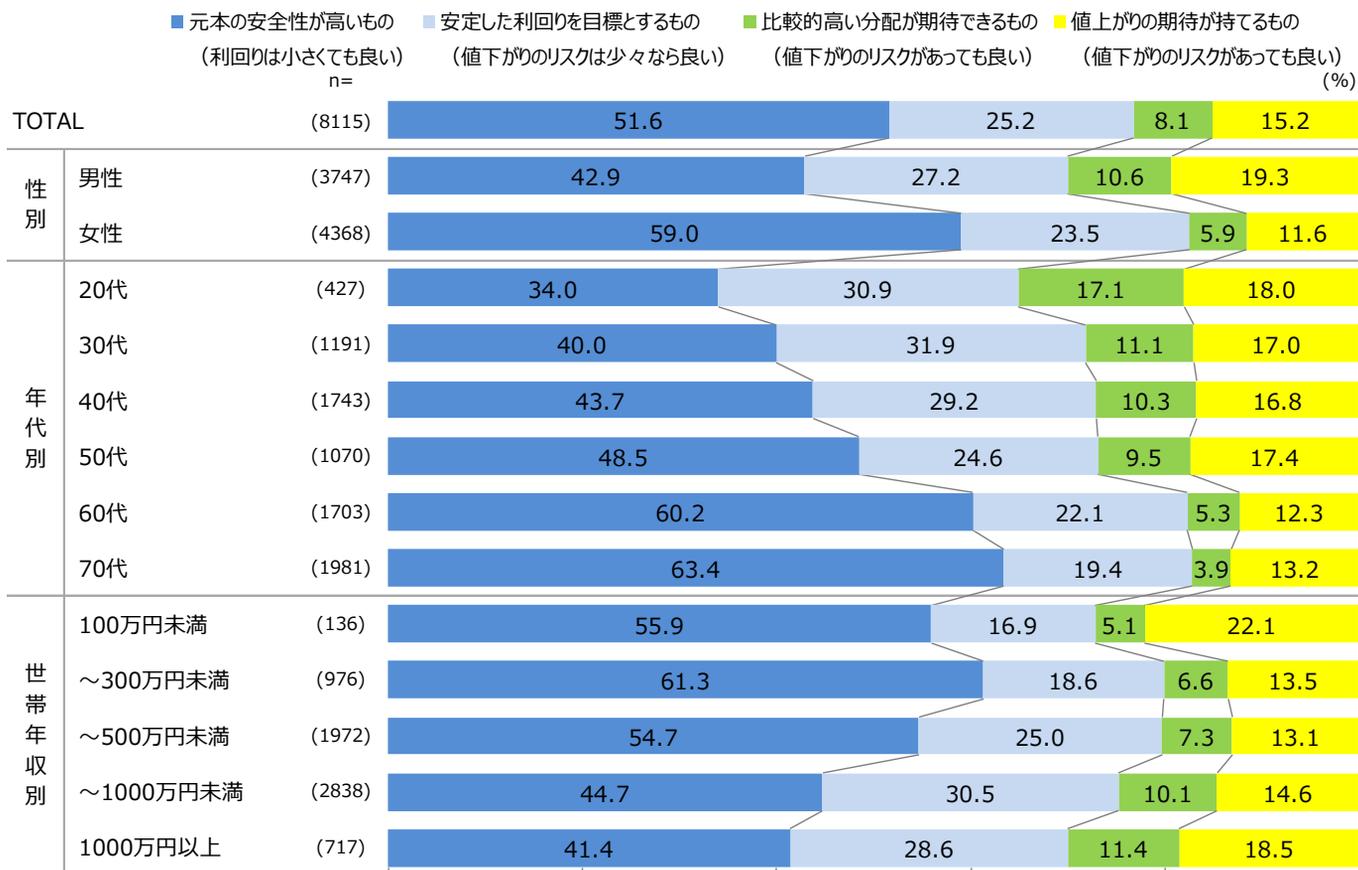
- ジュニアNISAで投資したい商品は、「元本安全」商品(51.6%)が最も高いが、前回より僅かに減少し、「安定利回り目標」商品(25.2%)が僅かに増加。〔図10-7〕
* 今回の変動は調査パネル変更の影響も考えられる
- NISAと同様に高齢層ほど「元本安全」商品が高い。世帯年収が高いほど「元本安全」商品が低く、「安定利回り目標」「比較的高い分配が期待できる」商品が高くなる傾向。〔図10-8〕
- 今後ジュニアNISA利用意向有層では、「安定利回り目標」商品が40%以上と高い。〔図10-9〕

〔図 10-7〕



※選択肢「元本の安全性が高いもの」は2018年まで「極力元本が安全であるもの」で聴取

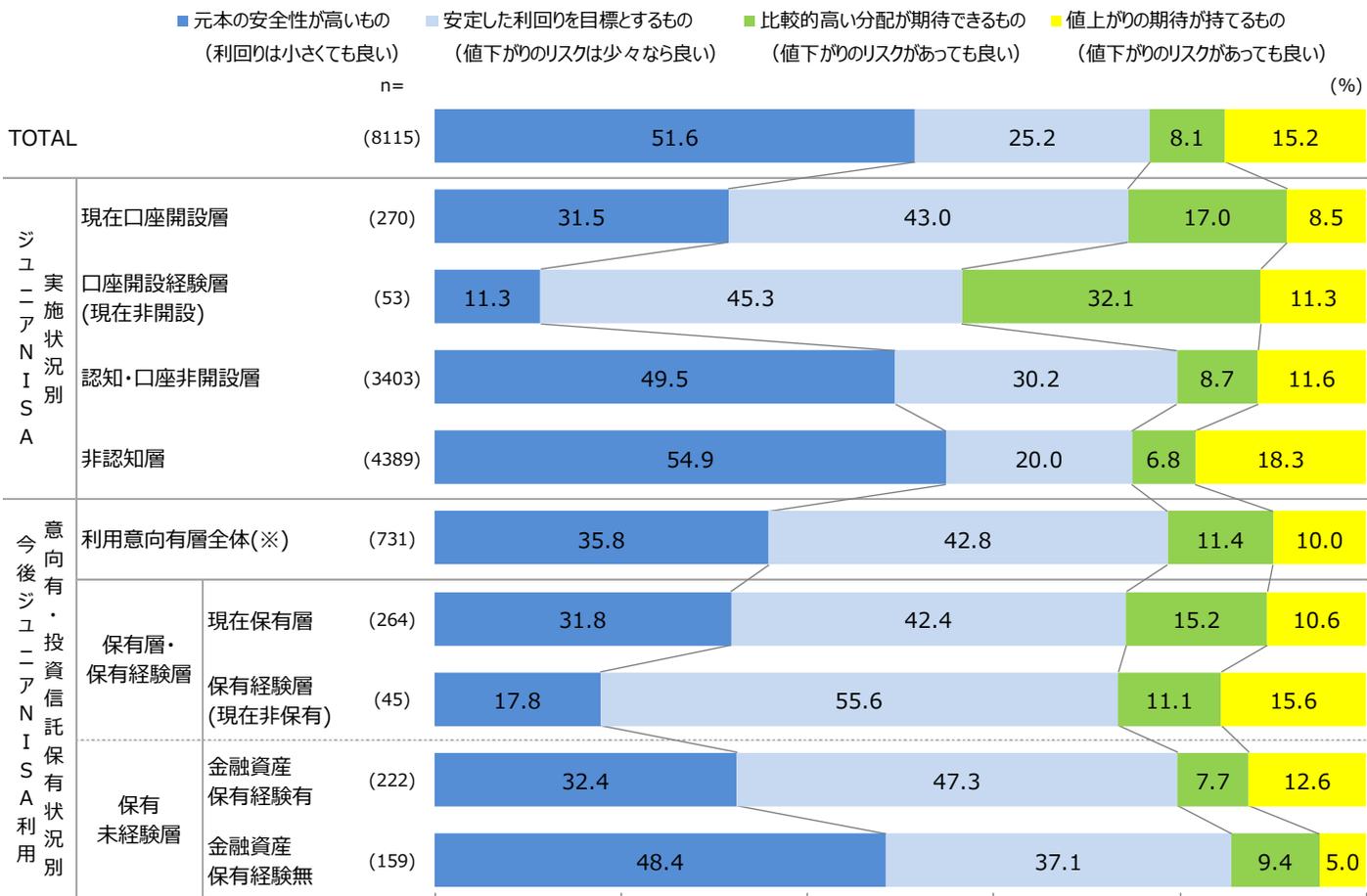
〔図 10-8〕 * 2019年属性別



10. その他項目

(1) ジュニアNISAで投資する場合に、選択したい金融商品 (20歳未満の親族がいる者)〔Q31③:単数回答〕

〔図 10-9〕 * 2019年属性別



※「利用意向有層全体」では、「過去・現在保有の金融資産(Q6①②)」で「不明・回答拒否」の者も含めているが、「保有層・保有経験層」「保有未経験層」では金融資産の保有状況が不明の為、除外している。

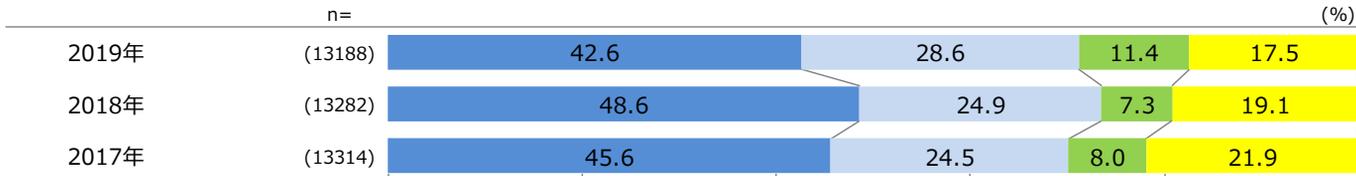
10. その他項目

(1) 企業型確定拠出年金で投資する場合に、選択したい金融商品 (60歳未満の者)〔Q31④:単数回答〕

- 企業型確定拠出年金で投資したい商品は、「元本安全」商品(42.6%)が最も高く、前回より6ポイント減少。〔図10-10〕 * 今回の変動は調査パネル変更の影響も考えられる
- 年代が上がるほど「元本安全」商品が高くなる。また高年収層ほど「元本安全」商品が低く、「安定利回り目標」商品が高くなる。〔図10-11〕
- 企業型確定拠出年金の現在口座開設層では、「安定利回り目標」商品(35.3%)が最も高い。〔図10-12〕

〔図 10-10〕

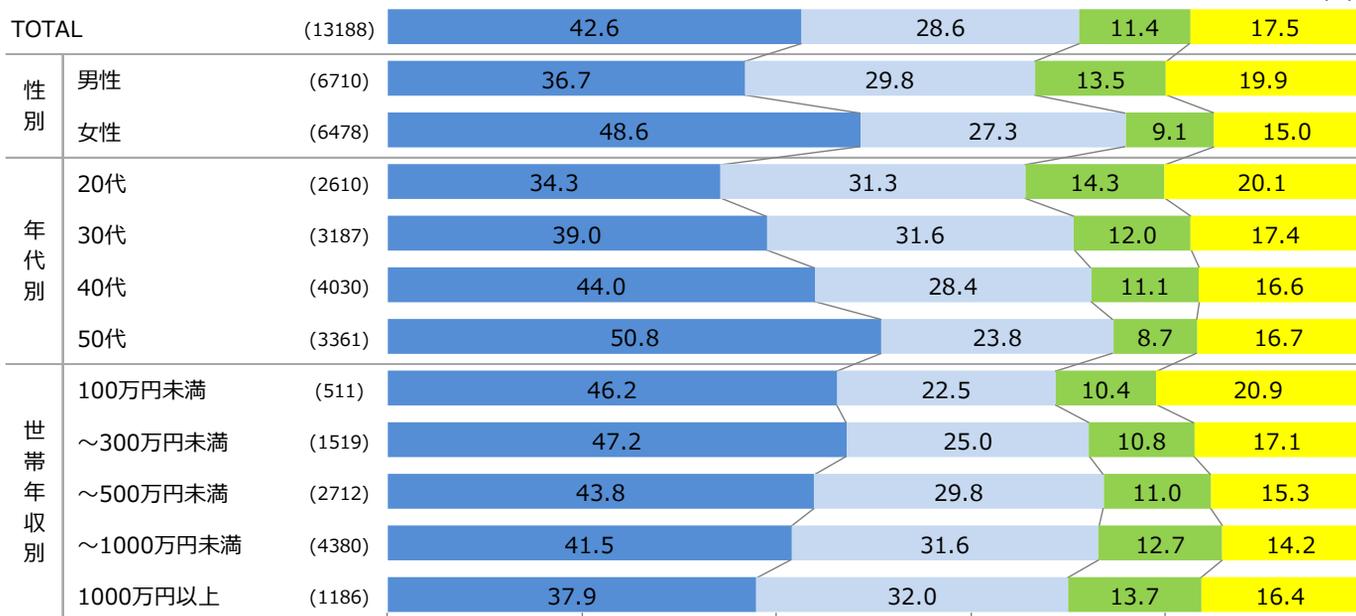
■ 元本の安全性が高いもの (利回りは小さくても良い) ■ 安定した利回りを目標とするもの (値下りのリスクは少々なら良い) ■ 比較的高い分配が期待できるもの (値下りのリスクがあっても良い) ■ 値上がりの期待が持てるもの (値下りのリスクがあっても良い) (%)



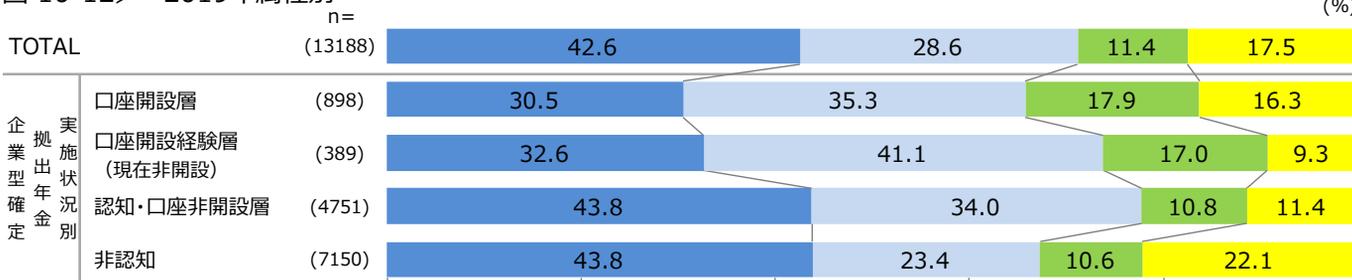
〔図 10-11〕 * 2019年属性別

※選択肢「元本の安全性が高いもの」は2018年まで「極力元本が安全であるもの」で聴取

■ 元本の安全性が高いもの (利回りは小さくても良い) ■ 安定した利回りを目標とするもの (値下りのリスクは少々なら良い) ■ 比較的高い分配が期待できるもの (値下りのリスクがあっても良い) ■ 値上がりの期待が持てるもの (値下りのリスクがあっても良い) (%)



〔図 10-12〕 * 2019年属性別

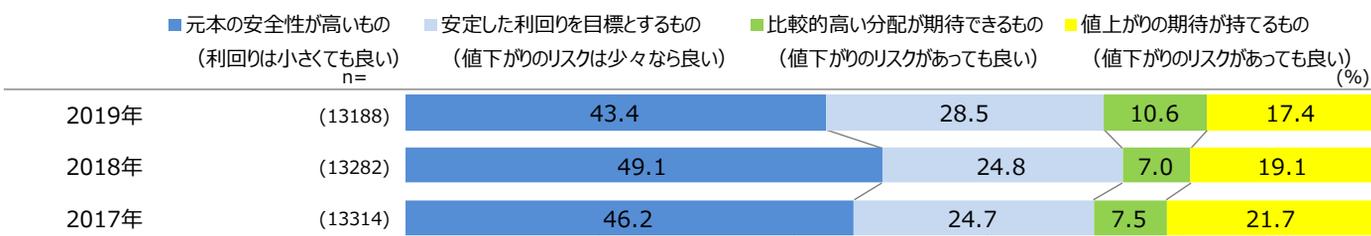


10. その他項目

(1) 個人型確定拠出年金で投資する場合に、選択したい金融商品 (60歳未満の者)〔Q31⑤:単数回答〕

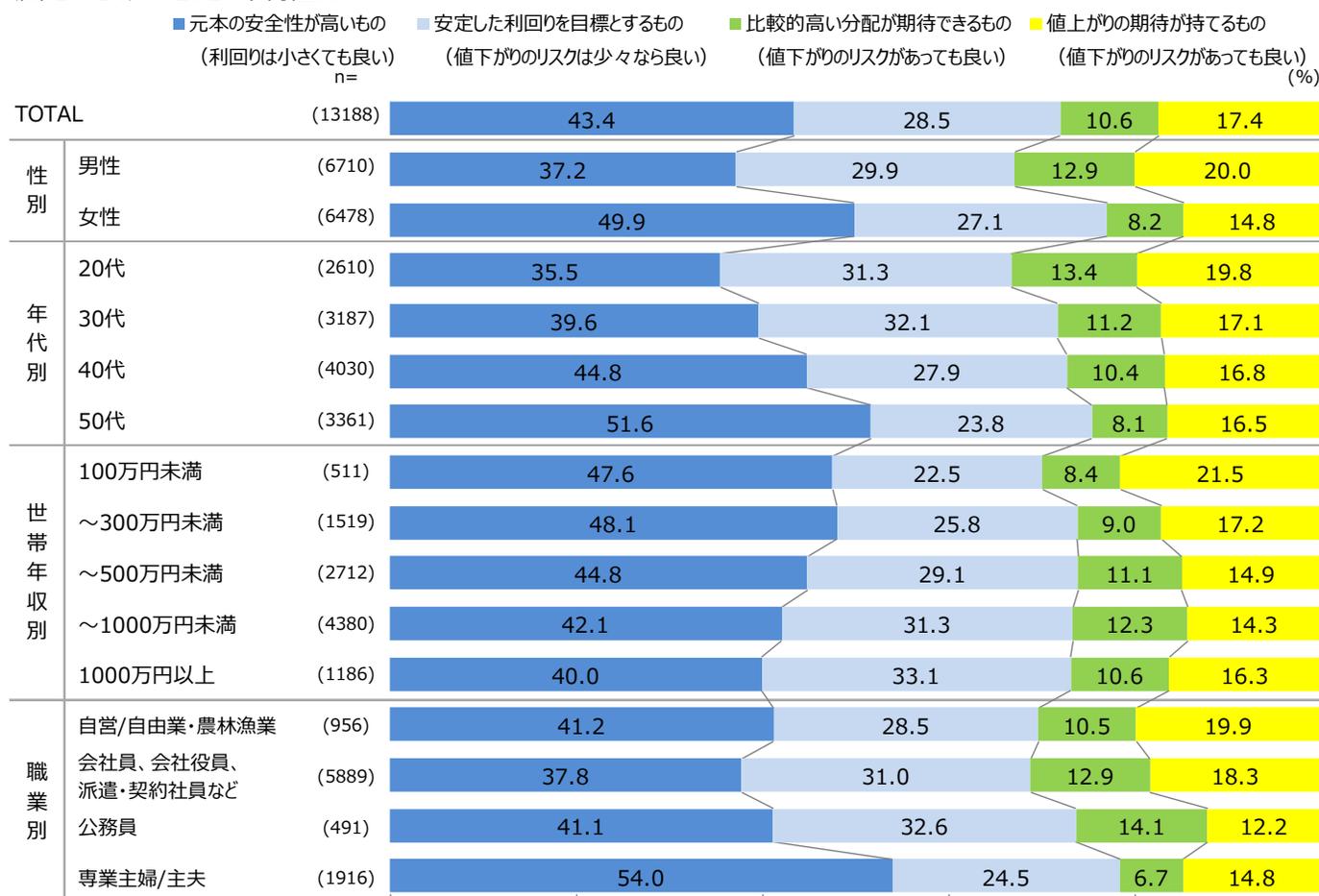
- 個人型確定拠出年金で投資したい商品は、「元本安全」商品(43.4%)が最も高いが、前回より5.7ポイント減少。〔図10-13〕 * 今回の変動は調査パネル変更の影響も考えられる
- 「元本安全」商品は高齢層ほど増加し、職業別では専業主婦/主夫で54.0%と高い。「安定利回り目標」商品は、世帯年収が上がるほど高くなる。〔図10-14〕
- 個人型確定拠出年金の今後利用意向有層(金融資産保有経験無を除く)では「安定利回り目標」商品が他の商品タイプと比べて高い。〔図10-15〕

〔図 10-13〕



※選択肢「元本の安全性が高いもの」は2018年まで「極力元本が安全であるもの」で聴取

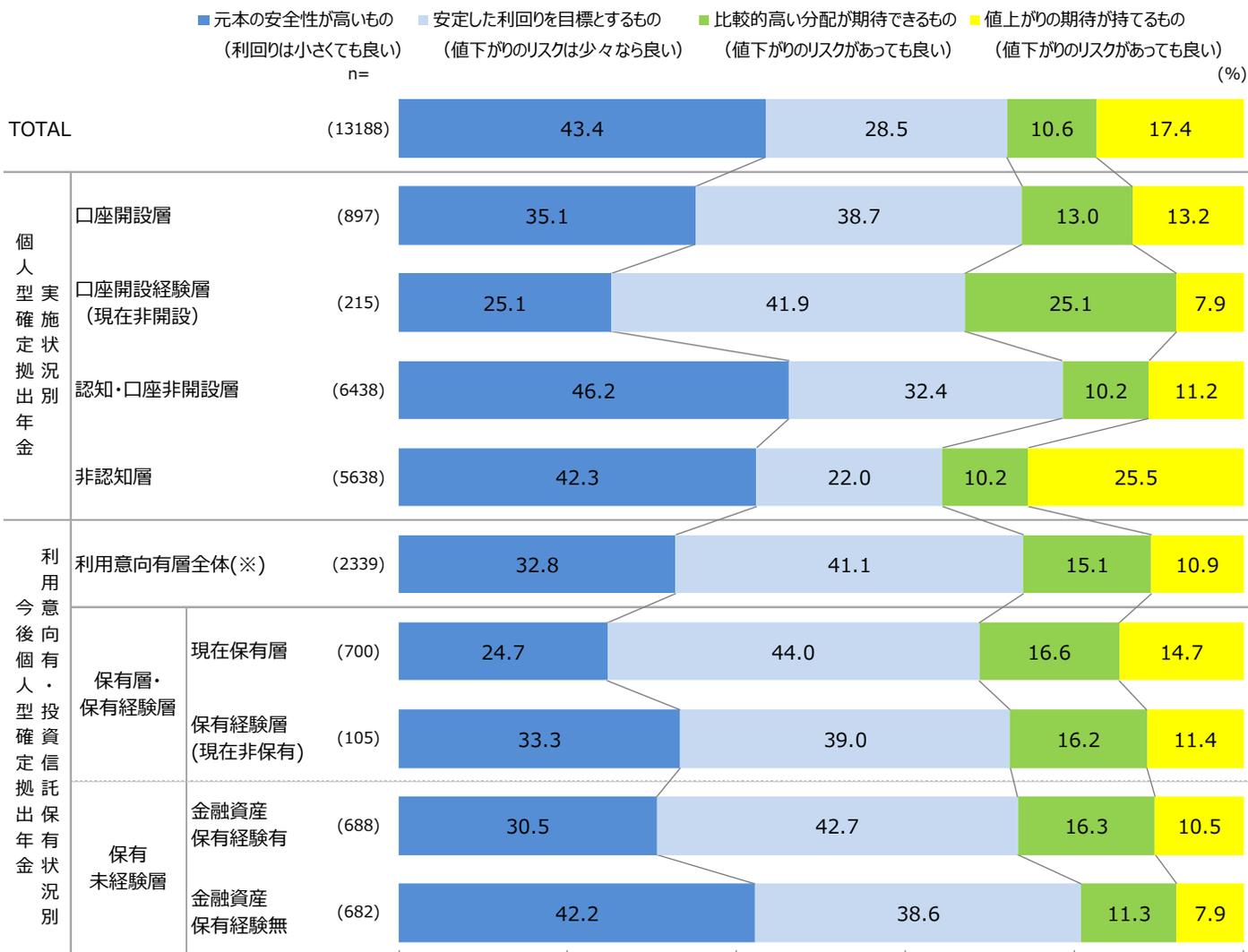
〔図 10-14〕 * 2019年属性別



10. その他項目

(1) 個人型確定拠出年金で投資する場合に、選択したい金融商品 (60歳未満の者)[Q31⑤:単数回答]

〔図 10-15〕 * 2019年属性別



※「利用意向有層全体」では、「過去・現在保有の金融資産(Q6①②)」で「不明・回答拒否」の者も含めているが、「保有層・保有経験層」「保有未経験層」では金融資産の保有状況が不明の為、除外している。

末尾添付資料：調査票



添付資料：調査票

Q1 あなたの性別を教えてください。

男性

女性

Q2 あなたの年齢をお答えください。

歳

Q3 あなたの職業をお知らせください。

会社員・非営利団体職員

会社役員・経営者

派遣・契約社員

公務員

自由業（医師・弁護士など）

農林漁業

自営業（農林漁業を除く）

パート・アルバイト・フリーター

専業主婦/主夫

大学生、大学院生、専門学校生、短大生、予備校生

無職、定年退職

その他の職業

添付資料：調査票

Q4 あなたの親族に20歳未満の人はいますか。あてはまる人数をお答えください。

		1人	2人	3人以上	該当する親族で、 20歳未満の人はいない
あなたの子ども（20歳未満）	→	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
あなたの孫（20歳未満）	→	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

Q5 あなたの世帯年収と、個人年収をお知らせください。

		100万円未満	100～300万円未満	300～500万円未満	500～800万円未満	800～1000万円未満	1000～1500万円未満	1500万円以上	わからない・答えたくない
あなたの世帯年収	→	<input type="radio"/>							
あなたの個人年収	→	<input type="radio"/>							

添付資料：調査票

- 世帯ではなく、あなた個人でお持ちの資産についてお答えください。
- 財形貯蓄や確定拠出年金を通じての購入も含めて、お答えください。

Q6 あなたはこれまでに「現金・預貯金（円）以外の金融資産」を保有したことがありますか。

※ 「現金・預貯金（円）以外の金融資産」・・・外貨預金、株式、債券（国債・公社債など）、投資信託、FX、ETF、Jリートなど。

土地や不動産そのもの、保険は除きます。

	①	②
	保有したことがある金融資産	現在保有している金融資産
	↓	↓
外貨預金	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
国内株式	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
外国株式	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
投資信託(除くETF、Jリート)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
ETF	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
不動産投信（Jリート）	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
個人向け国債	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
国内債券(個人向け国債除く)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
外国債券	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
先物、オプション、コモディティ商品(金など)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
FX	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
その他（具体的に <input type="text"/> ）	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
この中で保有したものはない✓ 保有しているものはない	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
わからない・答えたくない	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

添付資料：調査票

<Q7①聴取対象：投資信託現在保有者(Q6②=4)>

<Q7②聴取対象：ETF現在保有者(Q6②=5)>

<Q7③聴取対象：Jリート現在保有者(Q6②=6)>

■金融商品についてお伺いします。

■世帯ではなく、あなた個人でお持ちの資産についてお答えください。

■財形貯蓄や確定拠出年金を通じての購入も含めて、お答えください。

Q7 現在あなたは、以下の金融商品をどの程度の期間、保有していますか。

※複数のファンドを保有している方は平均保有期間でお答えください。

		1年未満	1年以上 ～3年未満	3年以上 ～5年未満	5年以上 ～10年未満	10年以上
①	投資信託(除くETF、Jリート)	→ ●	●	●	●	●
②	ETF	→ ●	●	●	●	●
③	不動産投信(Jリート)	→ ●	●	●	●	●

Q8 あなたは、以下の金融商品をどの程度ご存知ですか。

※ 「ETF」とは、株価指数などに連動する投資信託で、日本の証券取引所に上場しているものを指します。

※ 「不動産投信(Jリート)」とは、不動産に投資する、日本の証券取引所に上場しているものを指します。

		名前も商品の名称も知っている	名前は知っていても、商品の名称にはよく分からない	知らない
①	ETF	→ ●	●	●
②	不動産投信(Jリート)	→ ●	●	●

<Q9①聴取対象：ETF認知者(Q8①=1-2)>

■金融商品についてお伺いします。

Q9 金融商品のETF（株価指数などに連動する投資信託で日本の証券取引所に上場しているもの）には以下の様な特徴があります。

それぞれの特徴を読んで、各質問にあてはまるものを全てお答えください。

- ※ 成行（なりゆき）注文とは...売買価格を指定せず、銘柄、数量のみを指定して取引する形態のこと
- ※ 指値注文とは...一口当りの売買価格を指定して注文すること

	①	②	③
	あなたが知っている特徴	あなたが魅力を感じた特徴	あなたが最も魅力を感じた特徴
	↓	↓	↓
元本保証はない	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
一般的な投資信託の購入価額は一日1つの基準価額であるが、ETFはその時々取引価格が購入価額となる	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
成行（なりゆき）・指値注文が可能	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
証券会社ごとに購入時の手数料が異なる	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
運用管理費用(信託報酬)などの手数料は、一般的な投資信託より低い	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
分散投資ができるのでリスクの低減が期待できる	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
指数などに連動するので値動きがわかりやすい	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
わからない・特になし	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>

<Q10①②聴取対象：ETF保有経験者および内容認知者(Q6①=5 or Q8①=1)>

■金融商品についてお伺いします。

ETF（株価指数などに連動する投資信託で日本の証券取引所に上場しているもの）を保有したことがある方、内容についてご存知の方に、お伺いします。

Q10 ETFで不満を感じるのどのような点ですか。あてはまるものを全てお答えください。

そのうち特に不満を感じている点を1つあげてください。

	① 不満を感じる点	② その中で特に不満を感じている点
	↓	↓
仕組みや運用実績がわかりにくい	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
専門知識がないと商品を選びにくい	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
リターン（収益）が低い	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
分配金が少ない	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
株式に比べて面白さに欠ける	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
購入後の運用に関する情報が少ない	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
手続きがわずらわしい	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
種類が多く選択に迷う	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
元本保証がない	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
その他（ <input type="text"/> ）	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
わからない・特にない	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

■金融商品についてお伺いします。

Q11 以下の金融商品の「E T F」の説明文を読んで、あなたは今後、どの程度購入してみたいと思いますか。また現在保有している方は、今後どの程度保有し続けたいとお考えですか。あてはまるものを1つだけお答えください。

E T Fの特徴

「E T F」とは、日本の証券取引所に上場している投資信託です。取引所に上場されていることから株式と同様に成行・指値注文等が可能で、取引所の時価で売買が可能です。日経平均やTOPIXなどの指数などに連動するので値動きがわかりやすい金融商品です。

投資信託の中でも運用管理費用(信託報酬)などの手数料が一般的に低くなっていることも特徴の一つです。

※ 成行（なりゆき）注文とは...売買価格を指定せず、銘柄、数量のみを指定して取引する形態のこと

※ 指値注文とは...一口当りの売買価格を指定して注文をすること

- 購入してみたい、保有し続けたい
- やや購入してみたい、やや保有し続けたい
- どちらともいえない
- あまり購入したくない、あまり保有し続けたくない
- 購入したくない、保有し続けたくない

<Q12①聴取対象：Jリート認知者(Q8②=1-2)>

■金融商品についてお伺いします。

Q12 金融商品の不動産投信〔Jリート〕（不動産に投資する、日本の証券取引所に上場しているもの）には以下の様な特徴があります。

それぞれの特徴を読んで、各質問にあてはまるものを全てお答えください。

	① あなたか知っている特徴	② あなたか魅力を感じた特徴	③ あなたか最も魅力を感じた特徴
	↓	↓	↓
少額から不動産投資できる	■	■	●
複数の不動産に分散して投資できる	■	■	●
専門家が運用や物件の管理などを行う	■	■	●
物件の賃料収入を主な分配金原資としている	■	■	●
運用益のほとんどが分配されている (投資法人に係る課税の特例制度があるため)	■	■	●
インフレになると不動産価格や賃料が上がり、 リートの価格や分配金も上がるので、インフレ対策になる	■	■	●
比較的高い利回りが期待できる	■	■	●
保有する資産にはオフィスビル、住宅、商業施設、ホテル、物流施設 などの建物を、単体あるいは複合で保有するタイプがある	■	■	●
ファンドによって決算期（分配）が分散している	■	■	●
株式と同様に取引所で売買ができるため、換金性・流動性が高い	■	■	●
開示されている情報が入手しやすい	■	■	●
元本保証がない	■	■	●
わからない・特にない	■	■	●

<Q13①②聴取対象：Jリート保有経験者および内容認知者(Q6①=6 or Q8②=1)>

■金融商品についてお伺いします。

不動産投信〔Jリート〕（不動産に投資する、日本の証券取引所に上場しているもの）を保有したことがある方、内容についてご存知の方に、お伺いします。

Q13 不動産投信〔Jリート〕で不満を感じるのどのような点ですか。あてはまるものを全てお答えください。

そのうち特に不満を感じている点を1つあげてください。

	① 不満を感じてる点	② その中で特に不満を感じている点
	↓	↓
仕組みや運用実績がわかりにくい	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
専門知識がないと商品を選びにくい	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
リターン（収益）が低い	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
分配金が少ない	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
株式に比べて面白さに欠ける	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
債券に比べてリスクが高い	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
購入後の運用に関する情報が少ない	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
手続きがわずらわしい	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
最低購入価額が高い	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
種類が多く選択に迷う	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
元本保証がない	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
その他（ <input type="text"/> ）	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
わからない・特にない	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

■金融商品についてお伺いします。

Q14 以下の金融商品の「不動産投信〔Jリート）」の説明文を読んで、あなたは今後、どの程度購入してみたいと思いますか。

また現在保有している方は、今後どの程度保有し続けたいとお考えですか。あてはまるものを1つだけお答えください。

不動産投信〔Jリート）の特徴

「不動産投信〔Jリート）」とは、日本の証券取引所に上場している投資信託の一種で、不動産に投資する金融商品です。

一般的な不動産投資とは異なり、専門家が運用を行い、少額から複数の不動産に分散して投資ができます。

物件から得られた賃料など運用益のほとんどが分配されるため、分配利回りが比較的高いとされている金融商品です。

また不動産価格や賃料に連動して値動きするのでインフレ対策にもなると言われています。

取引所で売買されているので流動性があり、実物不動産とは異なり換金しやすい商品です。

- 購入してみたい、保有し続けたい
- やや購入してみたい、やや保有し続けたい
- どちらともいえない
- あまり購入したくない、あまり保有し続けたくない
- 購入したくない、保有し続けたくない

■投資制度についてお伺いします。

Q15 あなたは、以下の投資に関する制度についてご存知ですか。それぞれあてはまるものをお答えください。

- ※ NISAとは、20歳以上を対象に2014年から始まった、投資から得られる収益に対する非課税制度です。毎年120万円までの新規投資額から得られる収益に対し、5年間非課税となります。
- ※ つみたてNISAとは、20歳以上を対象に、2018年1月から始まった制度です。投資対象商品は金融庁が定めた要件を満たす「長期の積立・分散投資に適した一定の投資信託」に限定されており、毎年40万円までの新規投資額から得られる収益に対し、非課税となります。非課税期間は最長で20年間となります。
- ※ ジュニアNISAとは、2016年から始まった、投資から得られる収益に対する非課税制度です。0歳～19歳の未成年者が対象ですが、親権者が子や孫に代わって運用を管理できます。毎年80万円までの新規投資額から得られる収益に対し、5年間非課税となります。
- ※ 確定拠出年金とは、国民年金や厚生年金保険などの公的年金と異なり、加入者自身が運用を行う私的年金制度です。また確定拠出年金は「企業型」と「個人型」に分かれますが、「企業型」の加入対象者は確定拠出年金を導入している企業の従業員です。

		名前も制度の内容も知っている	名前は知っているが、制度の内容はよく分からない	知らない
①	NISA →	●	●	●
②	つみたてNISA →	●	●	●
③	ジュニアNISA →	●	●	●
④	企業型確定拠出年金 →	●	●	●
⑤	個人型確定拠出年金【iDeCo (イデコ)】 →	●	●	●

<Q16_1①聴取対象：NISA認知者(Q15①=1-2)>

<Q16_1②聴取対象：つみたてNISA認知者(Q15②=1-2)>

<Q16_1③聴取対象：ジュニアNISA認知者(Q15③=1-2)>

■投資制度についてお伺いします。

以下の投資制度をご存知の方にお伺いします。

Q16_1 あなたは、以下の投資制度で口座を開設し、株式や投資信託などの金融商品を購入したことがありますか。それぞれあてはまるものを1つだけお答えください。

□座を開設して、現在も金融商品を保有している	□座を開設し金融商品を購入したが、現在は売却し保有していない (□座は閉じていない)	□座を開設したが、また金融商品を購入したとはない	過去に□座を開設し金融商品を保有していたが、現在は□座を閉じている	過去に□座を開設したが、金融商品を保有することなく□座を閉じた	過去に□座を開設したが、	今までに□座を開設したとはない
------------------------	---	--------------------------	-----------------------------------	---------------------------------	--------------	-----------------

①	NISA	→	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
②	つみたてNISA	→	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
③	ジュニアNISA	→	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

添付資料：調査票

<Q16_2①聴取対象：60歳未満の企業型確定拠出年金認知者(Q2<60 且つ Q15④=1-2)>

<Q16_2②聴取対象：60歳未満の個人型確定拠出年金認知者(Q2<60 且つ Q15⑤=1-2)>

■投資制度についてお伺いします。

以下の投資制度をご存知の方にお伺いします。

Q16_2 あなたは、以下の投資制度で口座を開設し、株式や投資信託などの金融商品を購入したことがありますか。それぞれあてはまるものを1つだけお答えください。

□ 口座を開設して、現在も金融商品を保有している

現在に□ 口座を開設し金融商品を保有しているが、現在は□ 口座を閉じている

今までに□ 口座を開設したことはない

①	企業型確定拠出年金	→	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
②	個人型確定拠出年金 【iDeCo (イデコ)】	→	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

添付資料：調査票

<Q16_3①聴取対象：60歳以上の企業型確定拠出年金認知者(Q2 ≥ 60 且つ Q15④=1-2)>

<Q16_3②聴取対象：60歳以上の個人型確定拠出年金認知者(Q2 ≥ 60 且つ Q15⑤=1-2)>

■投資制度についてお伺いします。

以下の投資制度をご存知の方にお伺いします。

Q16_3 あなたは、以下の投資制度で口座を開設し、株式や投資信託などの金融商品を購入したことがありますか。それぞれあてはまるものを1つだけお答えください。

		□ 口座を開設して、現在も金融商品を保有している	過去に□ 口座を開設し金融商品を保有していたが、現在は□ 口座を閉じている	今まで□ 口座を開設したことはない
①	企業型確定拠出年金	→ ●	●	●
②	個人型確定拠出年金 【iDeCo (イデコ)】	→ ●	●	●

添付資料：調査票

<Q17_1①聴取対象：NISA口座開設・現在金融商品保有者(Q16_1①=1)>

<Q17_1②聴取対象：つみたてNISA口座開設・現在金融商品保有者(Q16_1③=1)>

■投資制度についてお伺いします。

現在、以下の制度で金融商品を保有している方にお伺いします。

Q17_1 あなたが現在保有している金融商品を、各制度ごとにお答えください。

		株式	国内債券に主に投資する投資信託	外国債券に主に投資する投資信託	国内株式に主に投資する投資信託	外国株式に主に投資する投資信託	不動産投資信託に主に投資する投資信託（除くJリート）	様々な資産に投資する投資信託	ETF（上場株式投資信託）	Jリート（不動産投資信託）	その他（左記にあてはまらないもの）	わからない・答えたくない
①	NISA →	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>					
②	ジュニアNISA →	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>					

<Q17_2聴取対象：ジュニアNISA口座開設・現在金融商品保有者(Q16_1②=1)>

■投資制度についてお伺いします。

現在、以下の制度で金融商品を保有している方にお伺いします。

Q17_2 あなたがつみたてNISAで現在保有している金融商品をお答えください。

		国内債券に主に投資する投資信託	外国債券に主に投資する投資信託	国内株式に主に投資する投資信託	外国株式に主に投資する投資信託	不動産投資信託に主に投資する投資信託	様々な資産に投資する投資信託	ETF（上場株式投資信託）	その他（左記にあてはまらないもの）	わからない・答えたくない
	つみたてNISA →	<input type="checkbox"/>								

添付資料：調査票

<Q17_3①聴取対象：60歳未満の企業型確定拠出年金口座開設・現在金融商品保有者(Q2<60且つQ16_2①=1)>

<Q17_3②聴取対象：60歳未満の個人型確定拠出年金口座開設・現在金融商品保有者(Q2<60且つQ16_2②=1)>

■投資制度についてお伺いします。

現在、以下の制度で金融商品を保有している方にお伺いします。

Q17_3 あなたが現在保有している金融商品を、各制度ごとにお答えください。

		定期預金	保険商品	国内債券に主に投資する投資信託	外国債券に主に投資する投資信託	国内株式に主に投資する投資信託	外国株式に主に投資する投資信託	不動産投資信託に主に投資する投資信託	様々な資産に投資する投資信託	その他（左記にあてはまらないもの）	わからない・答えたくない
①	企業型確定拠出年金	→	<input type="checkbox"/>								
②	個人型確定拠出年金 【iDeCo（イデコ）】	→	<input type="checkbox"/>								

<Q18①聴取対象：NISA口座開設・現在金融商品保有者(Q16_1①=1)>

<Q18②聴取対象：ジュニアNISA口座開設・現在金融商品保有者(Q16_1③=1)>

■NISA/ジュニアNISAについてお伺いします。

NISAまたはジュニアNISAで、「口座を開設して、現在も金融商品を保有している」方にお伺いします。

Q18 あなたは現在NISA/ジュニアNISA口座で積立投資を実施していますか。

		実施している	実施していない	
①	NISA	→	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
②	ジュニアNISA	→	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

添付資料：調査票

<Q19①聴取対象：NISA口座開設・現在金融商品保有者(Q16_1①=1)>

<Q19②聴取対象：つみたてNISA口座開設・現在金融商品保有者(Q16_1②=1)>

<Q19③聴取対象：ジュニアNISA口座開設・現在金融商品保有者(Q16_1③=1)>

■NISA/ジュニアNISAについてお伺いします。

NISA、つみたてNISA、またはジュニアNISAで、「口座を開設して、現在も金融商品を保有している」方にお伺いします。

Q19 あなたが、NISA/つみたてNISA/ジュニアNISAの口座を開設した金融機関などを教えてください。

※ 勤務先を通じて口座を開設された方は、「勤務先を通じて」を選択してください。

		証券会社	ネット証券	銀行	投資信託の運用会社	信託銀行	信用金庫	その他 (左記以外の金融機関)	勤務先を通じて	わからない・答えたくない
①	NISA	→	●	●	●	●	●	●	●	●
②	つみたてNISA	→	●	●	●	●	●	●	●	●
③	ジュニアNISA	→	●	●	●	●	●	●	-	●

添付資料：調査票

<Q20①聴取対象：NISA口座開設・現在金融商品未購入者および口座未開設者(Q16_1①= 3 or 5 or 6) >

<Q20②聴取対象：つみたてNISA口座開設・現在金融商品未購入者および口座未開設者(Q16_1②= 3 or 5 or 6) >

<Q20③聴取対象：ジュニアNISA口座開設・現在金融商品未購入者および口座未開設者(Q16_1③= 3 or 5 or 6) >

■NISA/ジュニアNISAについてお伺いします。

NISA、つみたてNISA、またはジュニアNISAで、「口座を開設したが、まだ金融商品を購入したことはない」方、

「過去に口座を開設したが、金融商品を保有することなく口座を閉じた」方、

「今までに口座を開設したことはない」方にお伺いします。

Q20 以下の制度で、金融商品を購入していない、または金融商品を保有することなく口座を閉じた、または口座を開設していないのはなぜですか。それぞれあてはまるものをいくつでもお答えください。

			口座開設の申込み手続きが煩雑で面倒だから	非課税期間が短いから	株式や投資信託以外の商品（国債、公社債など）が購入できないから	年間の非課税投資限度額（NISA120万円/つみたてNISA40万円/ジュニアNISA80万円）が小さいから	どの商品を購入してよいかわからないから	経済状況など、商品購入や口座開設のタイミングを見定めているから	制度の内容を知らないから	制度が複雑でよく理解できないから	投資に回すお金がないから	既に十分な資産があり、投資は必要ないから	投資の知識がないから	知識がないと難しそうだから	金融機関に勧められて口座開設したただだから	投資自体に関心がないから	その他（具体的に）	特に理由はない
①	NISA	→	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="text"/>	<input type="checkbox"/>
②	つみたてNISA	→	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="text"/>	<input type="checkbox"/>
③	ジュニアNISA	→	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="text"/>	<input type="checkbox"/>

添付資料：調査票

- <Q21①聴取対象：NISA口座開設・現在金融商品未購入者および口座未開設者(Q16_1①=3 or 5 or 6)>
 <Q21②聴取対象：つみたてNISA口座開設・現在金融商品未購入者および口座未開設者(Q16_1②= 3 or 5 or 6) >
 <Q21③聴取対象：ジュニアNISA口座開設・現在金融商品未購入者および口座未開設者(Q16_1③= 3 or 5 or 6) >

■NISA/ジュニアNISAについてお伺いします。

NISA、つみたてNISA、またはジュニアNISAで、「口座を開設したが、まだ金融商品を購入したことはない」方、
 「過去に口座を開設したが、金融商品を保有することなく口座を閉じた」方、
 「今までに口座を開設したことはない」方にお伺いします。

Q21 あなたが、以下の制度で金融商品の購入や口座の開設を検討するきっかけとなりそうな項目を、全てお答えください。

		身近な人（家族・友人など）に勧められたり	金融機関の窓口などで、専門の知識を持つ人に教えてもらえたり	金融機関の窓口などで、仕組みをわかりやすく説明してもらえたり機会があったり	初心者向けセミナーなど、	金融や投資を勉強して理解できたり	貯蓄が一定額に達したり	手取り収入が増えたり	退職金・相続などでの臨時収入があったり	低リスクの投資信託商品が充実してきたり	手数料の低い投資信託商品が充実してきたり	値上がり期待できる様になったり	経済が上向きになり、	税制上の優遇措置が、より拡充してきたり	職場で制度が導入されたり	その他	特になし
①	NISA	→	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
②	つみたてNISA	→	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
③	ジュニアNISA	→	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	-	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

■NISA/ジュニアNISAについてお伺いします。

Q22 下記の説明を読んで、あなたは今後NISA/つみたてNISA/ジュニアNISAをどの程度利用したいと思えますか。現在利用している方は、今後どの程度利用し続けたいとお考えですか。

<NISAの特徴>

NISAは、毎年120万円までの株式や投資信託への投資から得られる収益（収益分配金・配当金、譲渡益）が、5年間非課税になる制度です。

20歳以上が対象となります。

<つみたてNISAの特徴>

つみたてNISAは20歳以上を対象とした非課税制度です。

投資対象商品は「長期の積立・分散投資に適した一定の投資信託」に限定されており、

毎年40万円までの新規投資額から得られる収益に対し、非課税となります。

非課税期間は最長で20年間となります。

※購入方法は定期かつ継続的な買い付けに限られています。また現行のNISAとつみたてNISAの2つの制度を併用して利用することはできません。

<ジュニアNISAの特徴>

ジュニアNISAは、毎年80万円までの投資から得られる収益（収益分配金・配当金、譲渡益）が、5年間非課税になる制度です。

0歳～19歳の未成年者が対象ですが、親権者が子や孫に代わって運用を管理できます。

NISAとは異なり子や孫が18歳になるまでは口座内の金融資産や資金を払い出すことはできません。

また口座内の金融資産や資金は、子や孫のために用いることができます。

		利用したい、 利用し続けたい	やや利用したい、 やや利用し続けたい	どちらとも いえない	あまり利用したくない、 あまり利用し続けたくない	利用したくない、 利用し続けたくない
①	NISA	→ ●	●	●	●	●
②	つみたてNISA	→ ●	●	●	●	●
③	ジュニアNISA	→ ●	●	●	●	●

<Q23①聴取対象：NISA今後利用意向者(Q22①=1-2)>

<Q23②聴取対象：ジュニアNISA今後利用意向者(Q22③=1-2)>

■NISA/ジュニアNISAについてお伺いします。

NISA、ジュニアNISAを「今後利用したい、利用し続けたい」とお考えの方にお伺いします。

Q23 あなたはNISA、ジュニアNISAで、どのような投資方法を実施したいですか。お気持ちに最も近いものを1つだけお答えください。

		年に1度の投資ですませたい	年に数回タイミングをみて分けて投資したい	毎月一定額を積み立て投資したい	わからない
①	NISA	→	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
②	ジュニアNISA	→	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

<Q24_1聴取対象：NISAでの毎月一定額積立投資意向者(Q23①=3)>

■NISA/ジュニアNISAについてお伺いします。

NISAで「毎月一定額を積み立て投資したい」とお考えの方にお伺いします。

Q24_1 あなたはNISAで、毎月いくらずつ積み立てたいですか。お気持ちに最も近いものを1つだけお答えください。

- 2万円未満
- 4万円未満
- 6万円未満
- 8万円未満
- 8万円以上

<Q24_2聴取対象：つみたてNISA今後利用意向者(Q22②=1-2)>

つみたてNISAを「利用したい、利用し続けたい」とお考えの方にお伺いします。

Q24_2 あなたはつみたてNISAで、毎月いくらずつ積み立てたいですか。お気持ちに最も近いものを1つだけお答えください。

- 1万円未満
- 2万円未満
- 3万円未満
- 3万円以上

<Q24_3聴取対象：ジュニアNISAでの毎月一定額積立投資意向者(Q23③=3)>

■NISA/ジュニアNISAについてお伺いします。

ジュニアNISAで「毎月一定額を積み立て投資したい」とお考えの方にお伺いします。

Q24_3 あなたはジュニアNISAで、毎月いくらずつ積み立てたいですか。お気持ちに最も近いものを1つだけお答えください。

- 1万円未満
- 2万円未満
- 4万円未満
- 6万円未満
- 6万円以上

<Q25聴取対象：60歳未満で、個人型確定拠出年金で口座開設・投資性商品未購入者および口座未開設者
{ Q2<60 且つ (「Q17_3②で1か2のみ回答」or「Q16_2②=3」) } >

■個人型確定拠出年金についてお伺いします。

個人型確定拠出年金【iDeCo (イデコ)】で、「投資信託を購入していない」方、「今までに口座を開設したことはない」方にお伺いします。

Q25 個人型確定拠出年金で、投資信託を購入していない、または口座を開設していないのはなぜですか。
あてはまるものをいくつでもお答えください。

- 企業型確定拠出年金に加入しているから
- 投資は元本が保証されないから
- 口座開設の申込手続きが煩雑で面倒だから
- 制度の内容を知らないから
- 制度が複雑でよく理解できないから
- 投資したい金融商品がないから
- 投資に回すお金がないから
- 既に十分な資産があり、投資は必要ないから
- 投資の知識がないから／知識がないと難しそうだから
- どの金融商品を購入したらよいかわからないから
- 金融機関に勤められて口座開設しただけだから
- その他（具体的に)
- 特に理由はない

Q26聴取対象：60歳未満で、個人型確定拠出年金で口座開設・投資性商品未購入者および口座未開設者
{ Q2<60 且つ (「Q17_3②で1か2のみ回答」or「Q16_2②=3」) } >

■個人型確定拠出年金についてお伺いします。

個人型確定拠出年金【iDeCo（イデコ）】で、「投資信託を購入していない」方、「今までに口座を開設したことはない」方にお伺いします。

Q26 あなたが、個人型確定拠出年金で、投資信託の購入や口座の開設を検討するきっかけとなりそうな項目を、全てお答えください。

- 制度内容や勤務先の規約が改訂され、企業型確定拠出年金加入者でも加入することができる様になったら
- 身近な人（家族・友人など）に勧められたら
- 金融機関の窓口などで、専門の知識を持つ人に教えてもらえたら
- 初心者向けセミナーなど、仕組みをわかりやすく説明してもらえる機会があったら
- 金融や投資を勉強して理解できたら
- 投資したい金融商品がラインナップされたら
- 投資に回すお金ができたら
- 手取り収入が増えたら
- 経済が上向きになり、値上がり期待できる様になったら
- セカンドライフを考えるようになったら
- その他（）
- 特にない

<Q27①聴取対象：個人型確定拠出年金認知者(Q15⑤=1-2)>

■個人型確定拠出年金についてお伺いします。

Q27 個人型確定拠出年金【iDeCo（イデコ）】には以下の特徴があります。それぞれの特徴を読んで、各質問にあてはまるものを全てお答えください。

	① あなたが知っている特徴	② あなたが魅力を感じた特徴	③ あなたが最も魅力を感じた特徴
	↓	↓	↓
掛金が全額所得控除される	■	■	●
掛金の運用は加入者自身で行い、受け取る年金資産の額は各自の運用成績により変動する	■	■	●
掛金の上限額は、加入者の職業等によって異なる	■	■	●
通常、金融商品の運用益には税金がかかるが、運用益も非課税で再投資される	■	■	●
運用する金融商品には元本確保型の定期預金や保険商品もある	■	■	●
金融商品の種類や、掛金の額は途中で変更することもできる	■	■	●
転職・離職の際にそれまで積み立てた資産を持ち運ぶことができる	■	■	●
口座管理手数料などがかかる	■	■	●
積み立てた年金資産は、原則60歳から受け取ることができる	■	■	●
受け取るときにも税制優遇措置がある（一時金は「退職所得控除」年金は「公的年金等控除」）	■	■	●
通算で加入者期間が10年に満たない場合は受給開始可能年齢が繰り下げられる	■	■	●
口座は70歳まで継続できる	■	■	●
わからない・特になし	■	■	●

<Q28聴取対象：60歳未満>

■個人型確定拠出年金についてお伺いします。

Q28 下記の説明を読んで、あなたは今後個人型確定拠出年金制度をどの程度利用したいと思いますか。現在利用している方は、今後どの程度利用し続けたいとお考えですか。あてはまるものを1つだけお答えください。

個人型確定拠出年金とは、国民年金や厚生年金保険などの公的年金と異なり、加入者自身が運用を行う私的年金制度です。
「掛金は全額所得控除」「運用益は非課税で再投資可能」「受け取り時の控除措置」など、様々な税制優遇措置を受けることができます。
また転職・離職の際にそれまで積み立てた資産を持ち運ぶことができます。
但し原則として60歳まで引き出しができません。また口座管理費などの手数料がかかります。

- 利用したい、利用し続けたい
- やや利用したい、やや利用し続けたい
- どちらともいえない
- あまり利用したくない、あまり利用し続けたくない
- 利用したくない、利用し続けたくない

<Q29聴取対象：60歳未満の個人型確定拠出年金認知者(Q2<60 且つ Q15⑤=1-2)>

■個人型確定拠出年金についてお伺いします。

個人型確定拠出年金【iDeCo（イデコ）】をご存知の方にお伺いします。

Q29 個人型確定拠出年金の利用対象者が2017年1月から専業主婦・公務員の方にも拡大され、これにより日本に住む基本的に60歳未満のすべての人が確定拠出年金を利用できるようになりました。
あなたはこの改正についてご存知でしたか。またこの制度に興味がありますか。

- 知っていて興味がある
- 知っているが興味はない
- 知らないが興味はある
- 知らないし興味はない

<Q30聴取対象：60歳未満の企業型確定拠出年金口座開設・現在金融商品保有者(Q2<60且つQ16_2①=1)>

■企業型確定拠出年金についてお伺いします。

企業型確定拠出年金で金融資産を保有している方にお伺いします。

Q30 あなたの職場は企業型確定拠出年金における、マッチング拠出制度を導入していますか。
またマッチング拠出の加入者拠出をしていますか。

※マッチング拠出とは、確定拠出年金において、事業主（企業）の拠出額に上乗せする形で加入者（従業員）が拠出できる制度です。

- 現在導入しており、加入者拠出もしている
- 現在導入しているが、加入者拠出はしていない
- 現在導入していない
- わからない／マッチング拠出制度を知らない

<Q31④⑤聴取対象：60歳未満全員(Q2<60)>

■投資制度についてお伺いします。

Q31 各制度で新規投資、追加投資（増額）を考えるとした場合、あなたはどのような金融商品を選択しますか。お気持ちに最も近いものを1つだけお答えください。

			元本の安全性が高いもの （利回りは小さくても良い）	安定した利回りを目標とするもの （値下がりリスクは少々なっても良い）	比較的高い分配が期待できるもの （値下がりリスクがあっても良い）	値上がりの期待が持てるもの （値下がりリスクがあっても良い）
①	NISA	→	●	●	●	●
②	つみたてNISA	→	●	●	●	●
③	ジュニアNISA	→	●	●	●	●
④	企業型確定拠出年金	→	●	●	●	●
⑤	個人型確定拠出年金 【iDeCo（イデコ）】	→	●	●	●	●